

SB14 (第153図) II区D16・17グリッドに位置し、四方を方形周溝墓ST5・9・14~16に囲まれている。柱間は長辺3間、短辺1間で、長軸をN21°Wにとる。墓域内の空閑地に位置することから、建物域に分布する掘立柱建物とは性格を異にする可能性がある。

SB15 (第154図) III区L28グリッドに位置し、SB16と一部重複する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN84°Wにとる。SP466の土層断面には柱痕が認められる。また、SP464から弥生時代後期の土器が出土している。

SB16 (第154図) III・VIII区L28・29グリッドに位置し、SB15と一部重複する。長辺3間、短辺2間、長軸方向N86°Eとなる側柱建物として復元したが、両長辺の柱配置が著しく不均等であり、さらに北側柱列の掘形がほかに比べ浅いため、その認定に不安を残している。一方で、この建物を認めた場合、その北・西・南をコ字状に画する溝SD168・170・363・364を伴う可能性が高い。

SB17 (第155図) III区K27・28グリッド、SB15の南東に近接して位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN64°Eにとる。柱穴の多くから弥生時代後期の土器(第248図10)が出土している。

SB18 (第156図) III・IV区K26・27グリッドに位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN42°Eにとる。7基の柱穴で断面円形の柱根(第302図1~4)を検出した。

SB19 (第156図) IV区J・K25グリッドに位置する。各辺1間で、長軸をN4°Eにとる。すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面略長方形の厚い板状を呈すいわゆる「五平柱」状(以下、五平状)の柱で、長辺に直交するように据えられていた。SP719・720・722(第303図1~3)の柱根で年輪年代が示され、最も新しいSP720の年代は37 B.C.(推定伐採年代4 A.D. + a)である。

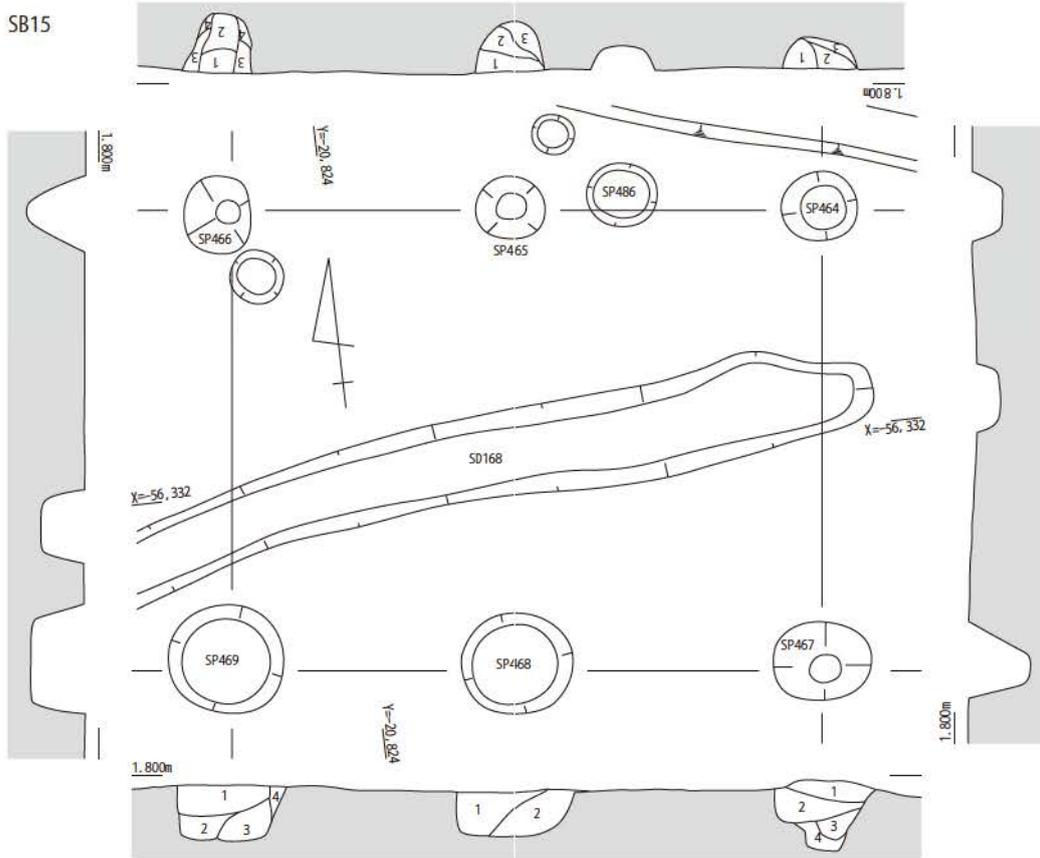
SB20 (第155図) IV区I・J26・27グリッドに位置する。東西2間、南北1間ではほぼ正方形の平面形を呈する。南北辺がわずかに長く、長軸方向はN28°Eとなる。SP723・724・726には柱根が遺存していた。いずれの柱根も断面五平状を呈し、東西辺に直交するように据えられていた。SP723・724の柱根(第303図4・5)で年輪年代が示されており、より新しいSP723の年代は43 B.C.(推定伐採年代3 B.C. + a)である。

SB21 (第157図) IV区I27グリッドに位置する。長辺1間、北側短辺1間、南側短辺2間で、長軸をN13°Eにとる。北西隅の柱穴は土坑に切られ消失したとみられるが、残る三隅の柱穴には柱根が遺存していた。いずれも断面五平状で、長辺に直交する。

SB22 (第157図) IV区H26・27、I26グリッドに位置する。南北2間、東西1間で正方形に近い平面形を呈すが、東西軸がわずかに長く、方位はN71°Wである。西・南辺の柱穴4基には柱根が遺存していた。断面五平状もしくは板状で、長辺に直交する。SP690~692の柱根(第303図6~8)で年輪年代が示され、最も新しいSP691の年代は27 B.C.(推定伐採年代14 A.D. + a)である。

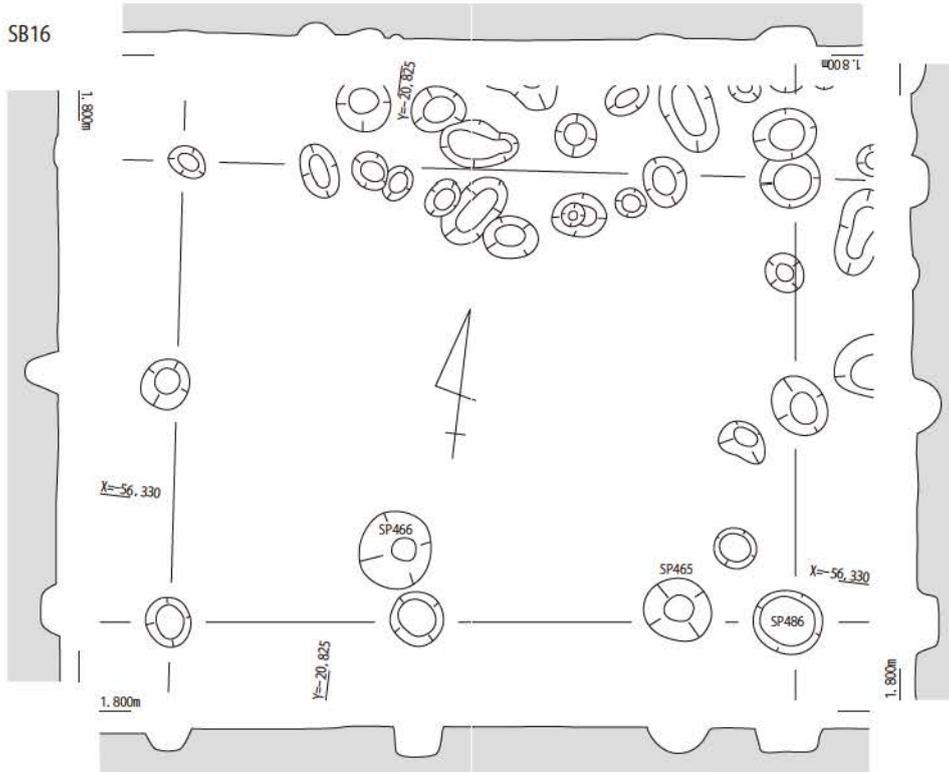
SB23 (第158図) IV区H27グリッド、SB22の北にほぼ直列して位置し、SB24と一部重複する。柱間は長辺3間、短辺2間で、長軸をN15°Eにとる。両長辺の柱間は中央が広く、特に西辺で顕著である。また、両短辺西側の柱間に各1基のピットが認められ、これが伴うとすれば、後述するSB25と同様の配置となる。各辺の柱穴計10基では柱根を検出した。両長辺に並ぶ各4本の柱根は断面五平状で、長辺に直交する。一方、両短辺中央の各1本は断面半円形で、弧面を外へ向けている。この異なる形状の柱の構成と配置もSB25と同じである。SP695の柱根(第303図9)については年輪年代33 A.D.(推定伐採年代73 A.D. + a)が示されている。遺物はSP699から弥生時代後期の土器が出土している。

SB15

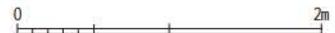


- | | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| SP464 | SP465 | SP466 | SP467 | SP468 | SP469 |
| 1 暗灰色粘質土 | 1 黑褐色粘質土 | 1 黑褐色粘質土 | 1 暗灰色粘質土 | 1 黑褐色砂質土 | 1 暗灰色粘質土 |
| 2 灰色粘質土 | 2 灰黃褐色粘質土 | 2 灰黃褐色粘質土 | 2 黑褐色粘質土 | 2 黑褐色粘質土 | 2 黑褐色粘質土 |
| 3 灰色砂質土 | 3 黃灰色砂質土 | 3 黃灰色砂質土 | 3 黑褐色砂質土 | 3 黑褐色砂質土 | 3 黑褐色砂質土 |
| | 4 灰褐色砂質土 | 4 灰褐色砂質土 | 4 灰黃褐色砂質土 | 4 灰黃褐色砂質土 | 4 灰黃褐色砂質土 |

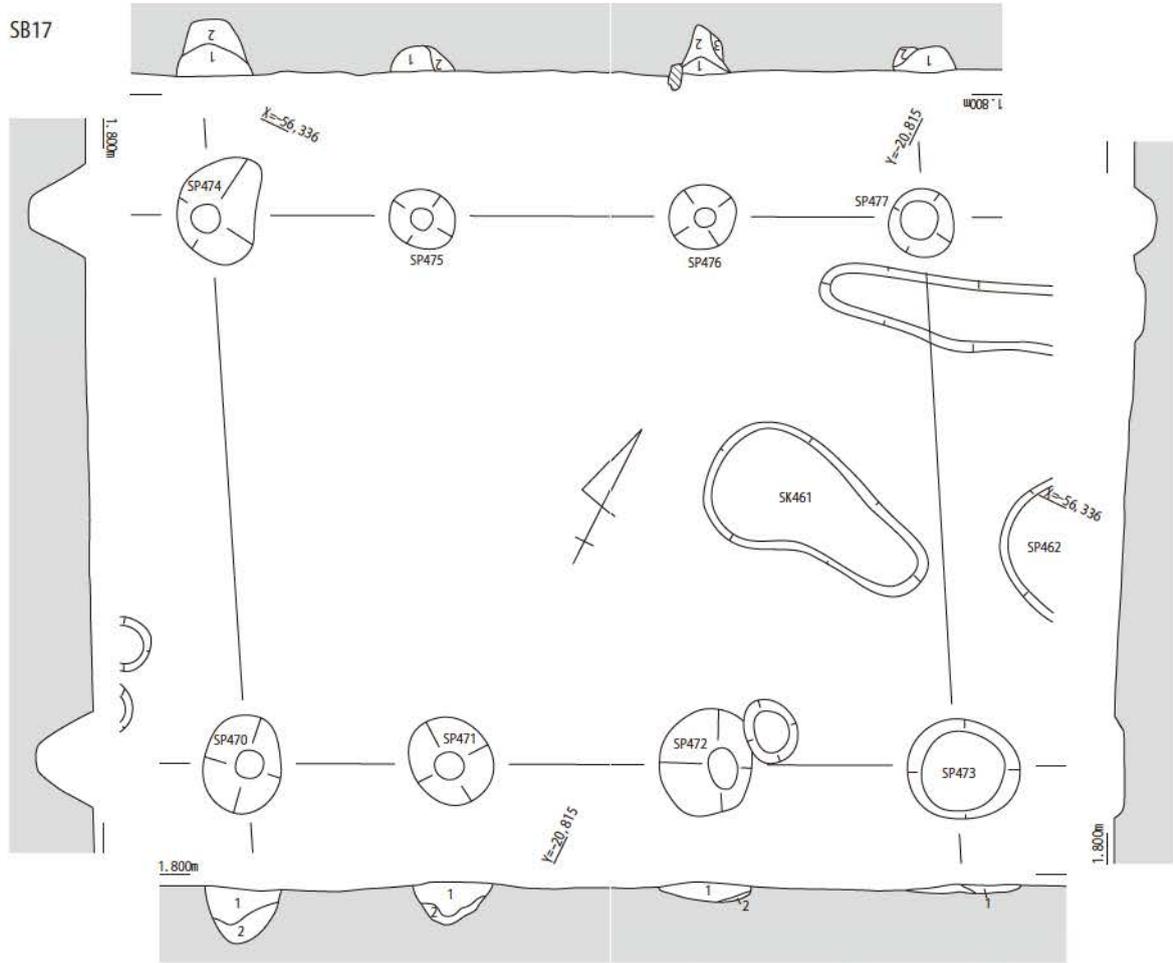
SB16



第154図 SB15・16実測図(縮尺1/50)

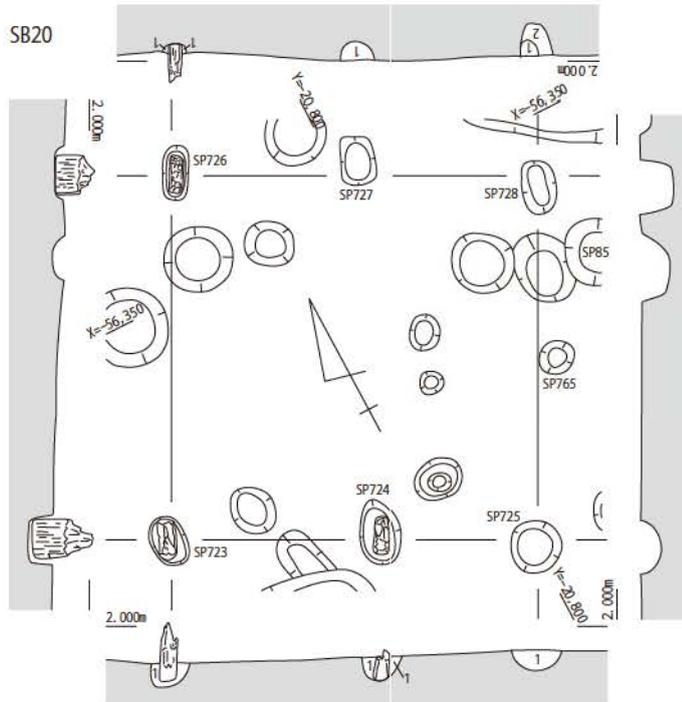


SB17



- | | | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|------------------------------|---|-------------------------------|
| SP470
1 暗灰色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP471
1 暗灰色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP472
1 暗灰色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP473
1 暗灰色粘質土 | SP474
1 暗灰色粘質土
2 暗灰色砂質土 | SP475
1 暗灰色粘質土
2 灰色砂質土 | SP476
1 暗灰色粘質土
2 灰色粘質土
3 灰色砂質土 | SP477
1 暗灰色粘質土
2 灰褐色砂質土 |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|------------------------------|---|-------------------------------|

SB20



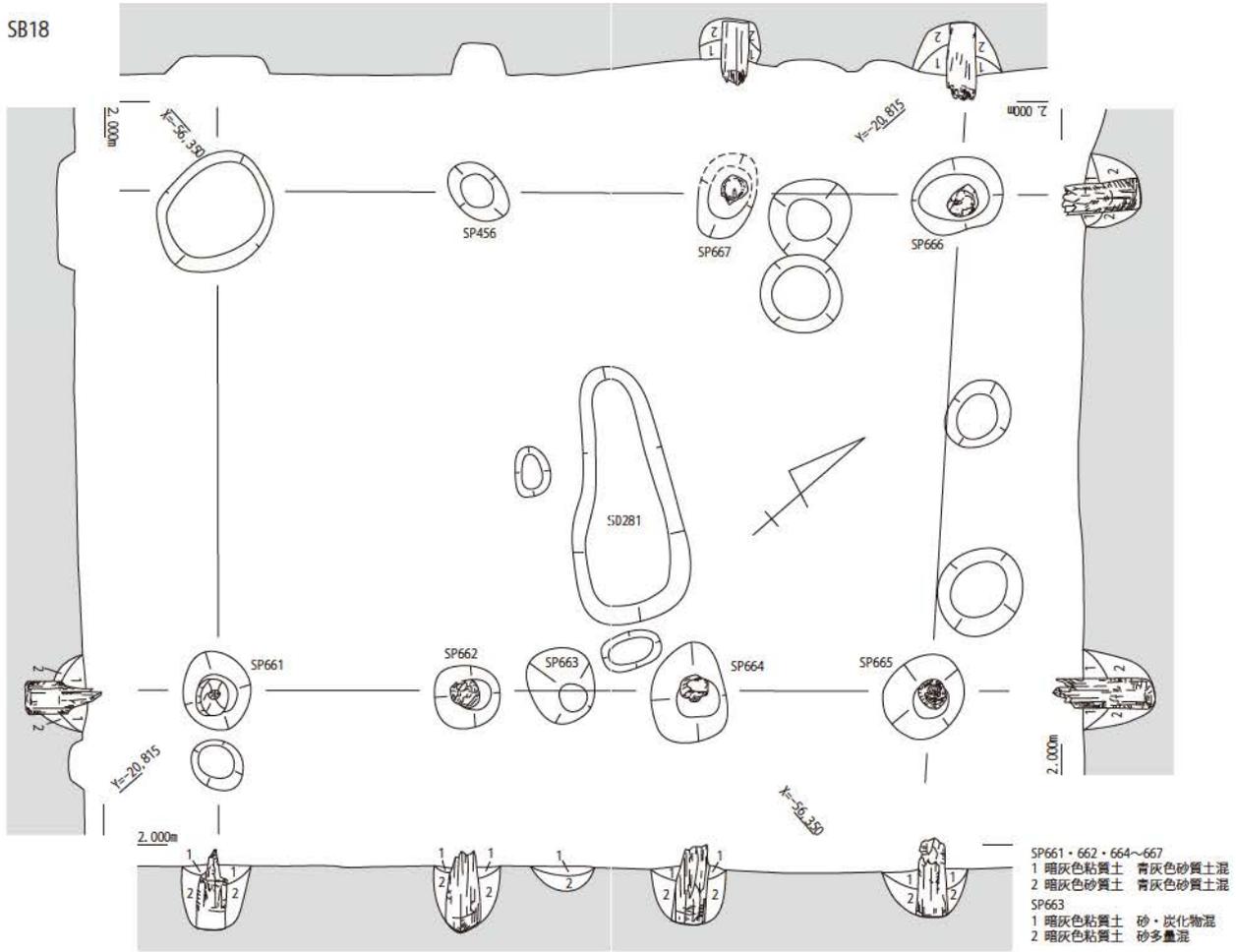
- | |
|-------------------------------|
| SP723
1 黒褐色砂質土 |
| SP724
1 暗褐色粘質土 |
| SP725
1 暗褐色粘質土 |
| SP726
1 暗褐色砂質土 |
| SP727
1 暗褐色粘質土 |
| SP728
1 黒褐色粘質土
2 暗褐色砂質土 |



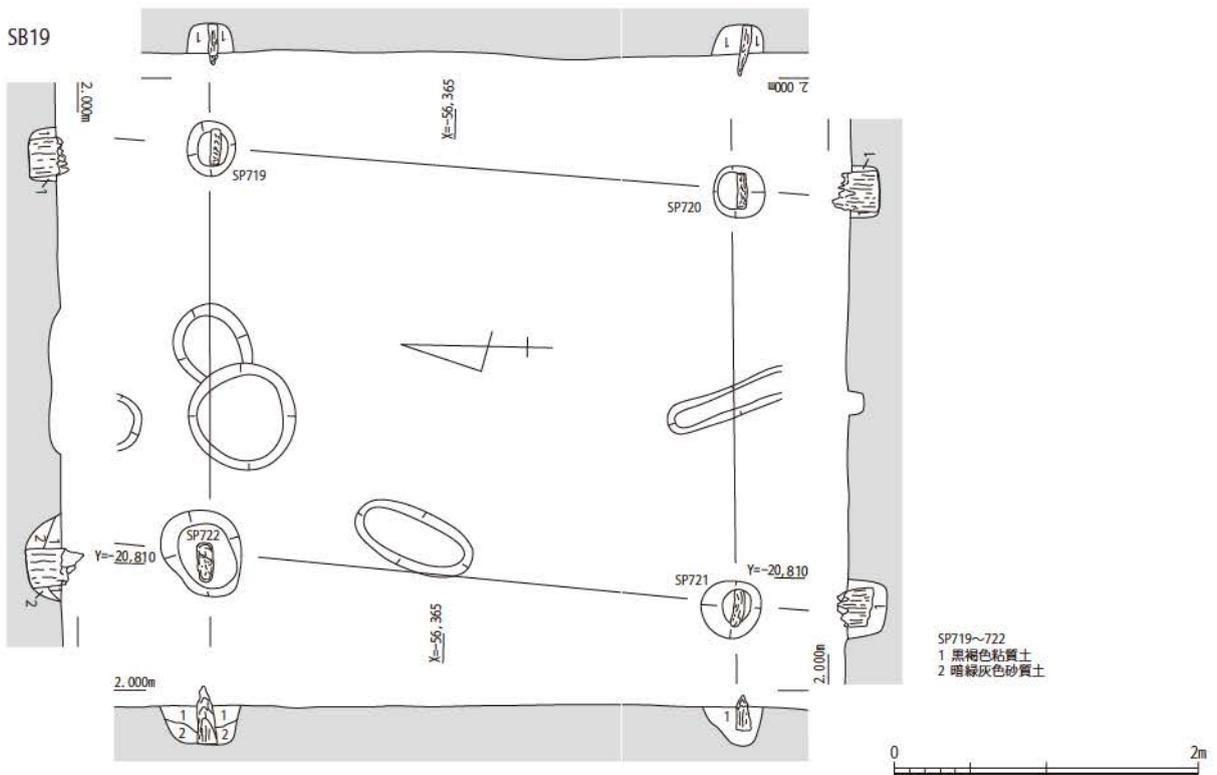
第155図 SB17・20実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構

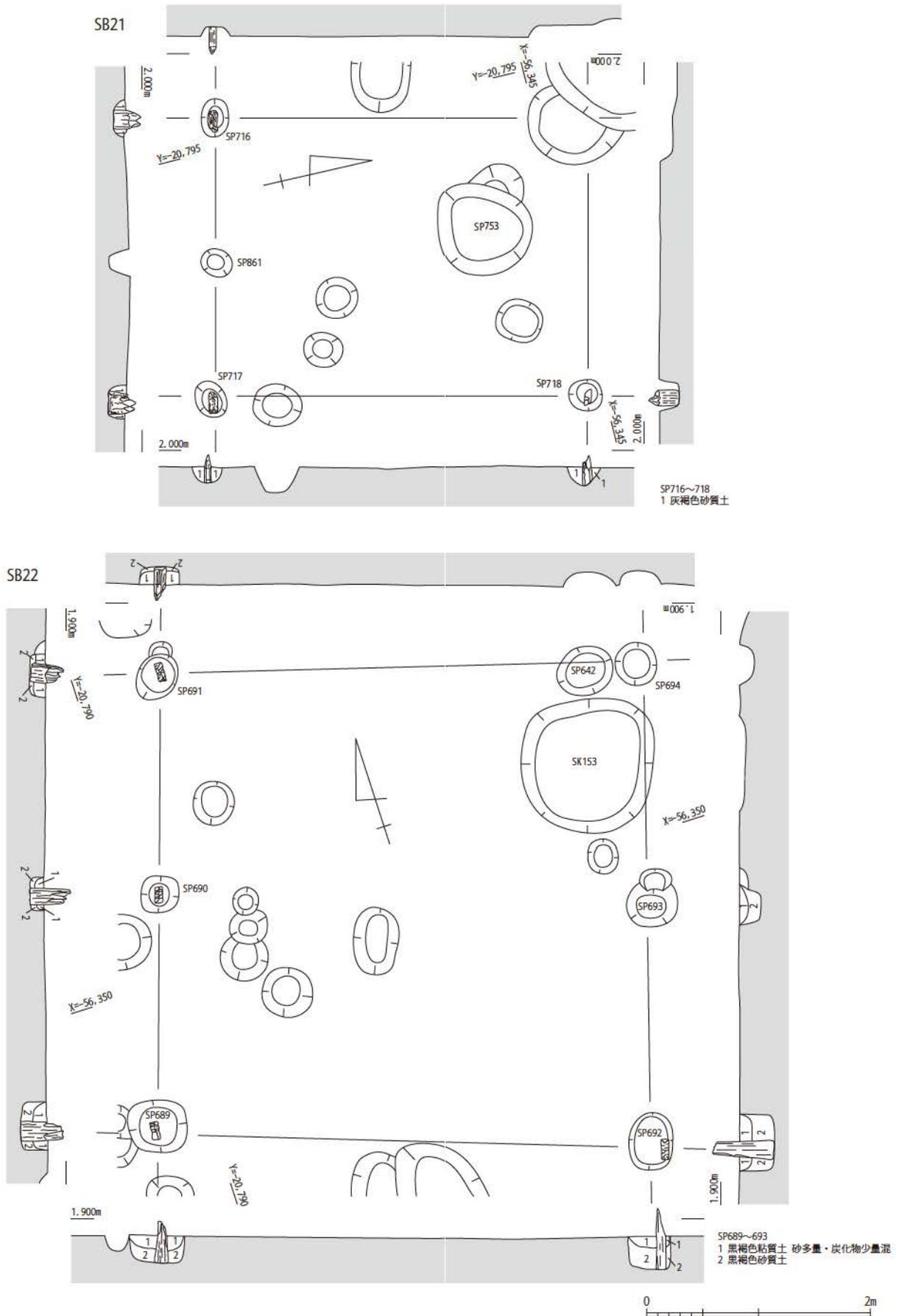
SB18



SB19

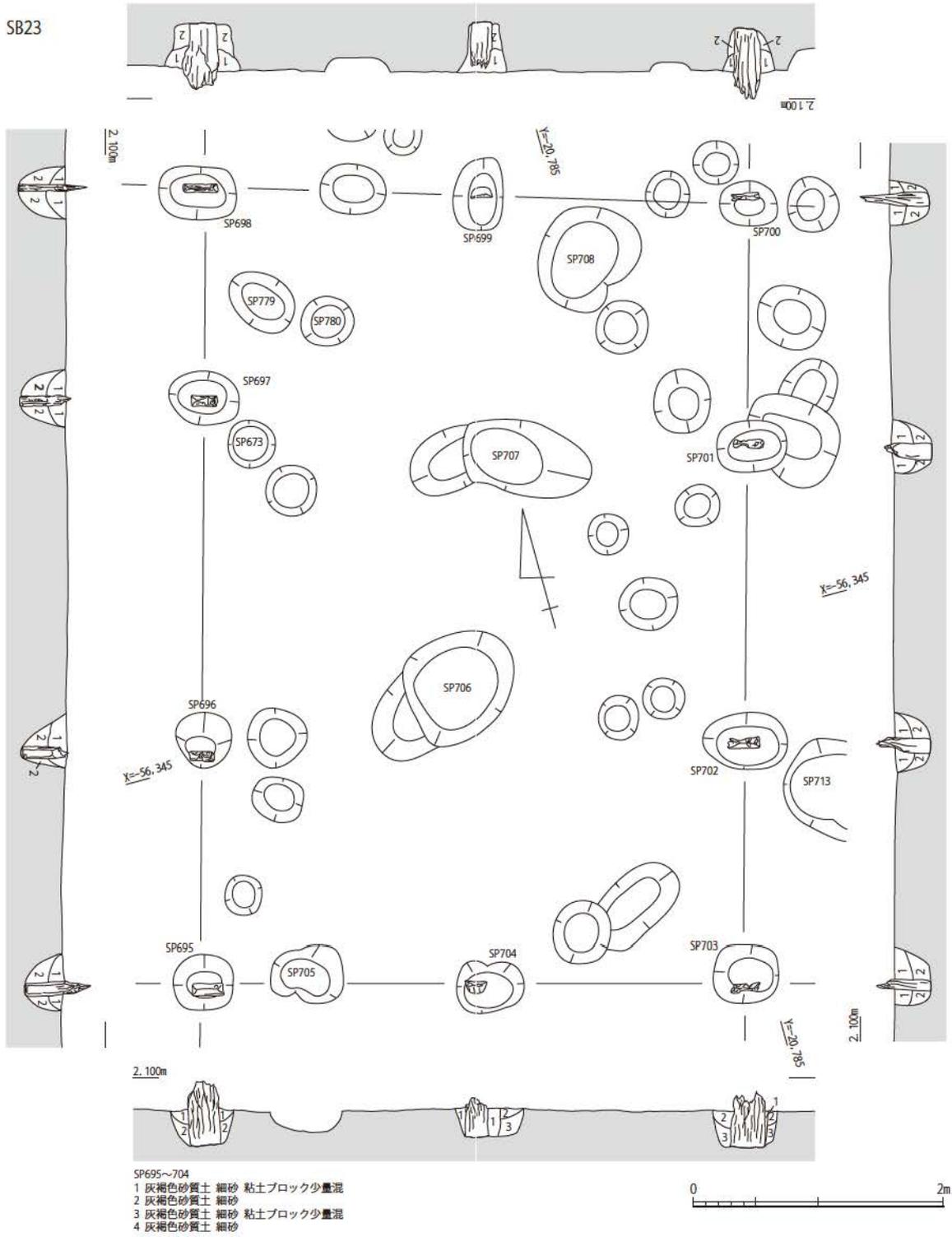


第156図 SB18・19実測図(縮尺1/50)



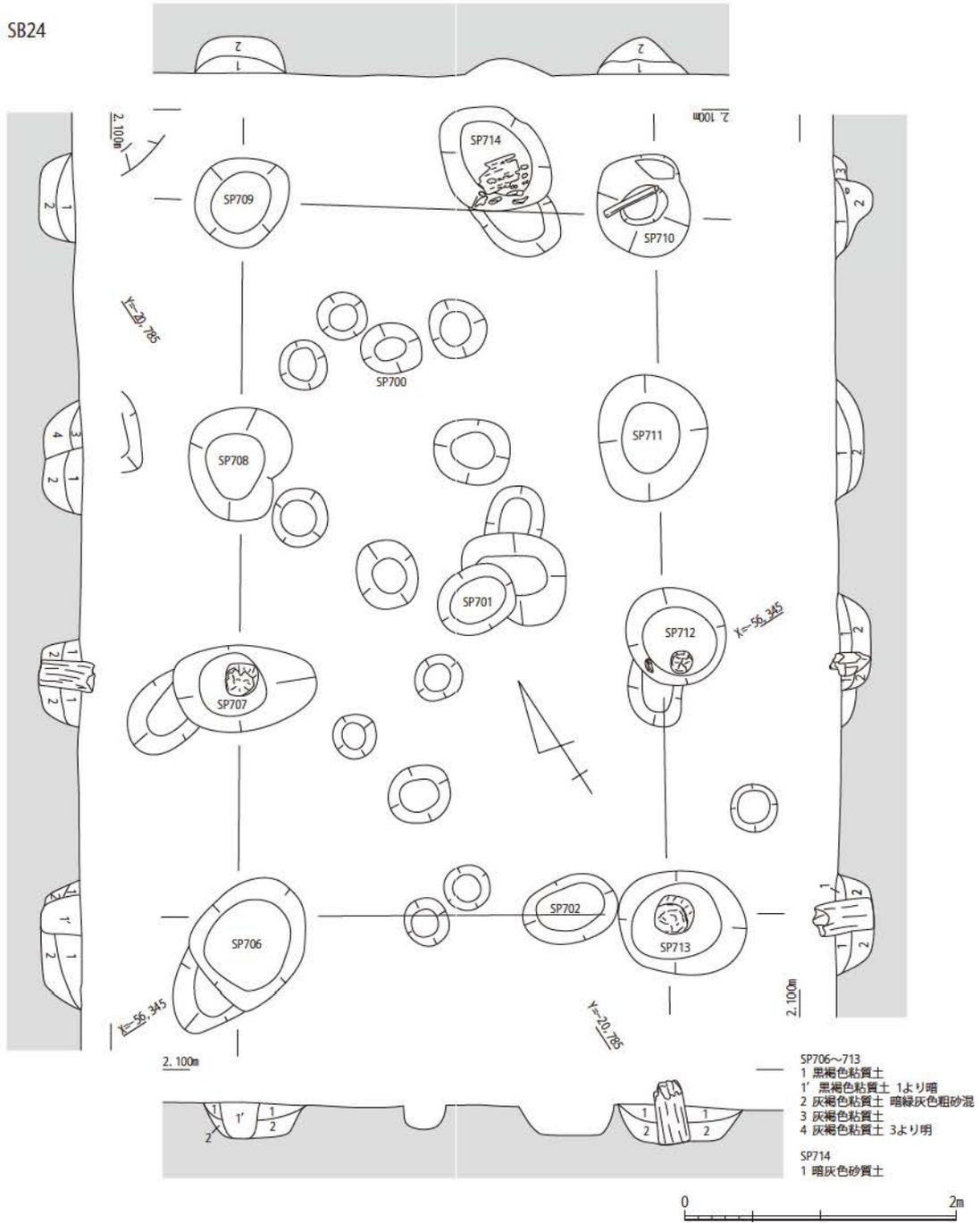
第157図 SB21・22実測図(縮尺1/50)

SB23



第158図 SB23実測図(縮尺1/50)

SB24



第159図 SB24実測図(縮尺1/50)

SB24 (第159図) IV区H27グリッドに位置し、SB23の北東に重複する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN33° Eにとる。SP707・712・713の3基で柱根を検出した。いずれも断面円形を呈するが、丸太ではなく、芯去り材を利用している。SP707・713の柱根(第302図6・7)で年輪年代が示され、より新しいSP707の年代は9 B. C. (推定伐採年代32A. D. + a)である。遺物はSP706で弥生時代後期の土器が出土している。

SB25 (第160図) IV区G25、H25・26グリッドに位置する。明確なものとしては本遺跡で最大規模の掘立柱建物である。長軸をN15° Eにとり、特殊な柱配列をもつ。まず、長辺については、西列の3間のうち、中央の柱間が極端に広く、ほぼ均等な東列の柱間と対応しない。一方、短辺は北列・南列とも辺を2等分する位置に柱を設け、さらにその西側の柱間を2分割する柱を配している。また、このような側柱の配置を取り込む形で、北西隅と南西隅にそれぞれ方形の小区画が認められる。柱根は計11基の柱穴で遺存していた。両長辺に並ぶ各4本の柱根は断面五平状で、長辺に直交する。一方、両短辺中央の柱根は断面半円形で、弧面を外側へ向けている。北辺の西側柱間を分割している柱根も同様である。SP559・566・567・569・570の柱根(第303図10~14)で年輪年代が示され、最も新しいSP566の年代は113B. C. (推定伐採年代73B. C. + a)である。遺物はSP566で弥生時代後期の土器が出土している。

SB26 (第161図) IV区G25・26グリッド、SB25の北東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN13° Eにとる。多くの柱穴の土層断面で腐朽した柱の痕跡が認められる。遺物はSP573・574で弥生時代後期の土器が出土している。

SB27 (第162図) IV区G26グリッド、SB26の北東に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN76° Wにとる。西辺はSB28の東辺の一部にほぼ重なる。SP588で弥生時代後期の土器が出土している。

SB28 (第163図) IV区G26グリッドに位置する。長辺4間、短辺1間である。長軸をN11° Eにとり、東辺に重複するSB27とはほぼ直交する。また、西側ではSB29と重複している。柱根は6基の柱穴で遺存しており、断面五平状のものと、円形のものが認められた(第304図)。断面五平状の柱は長辺に直交するように据えられたもので、下端が凸状に加工されている。断面円形の柱は長辺の中央に配されたもので、側面全周を巡る溝が作出されている。SP593の柱根(同図2)の年輪年代測定ではB. C. 171 (推定伐採年代131B. C. + a)の値が示されている。

SB29 (第162図) IV区G・H26グリッドに位置し、SB28の西側に重複する。長辺1間、短辺2間で、長軸をN64° Wにとる。平面形は正方形に近い。

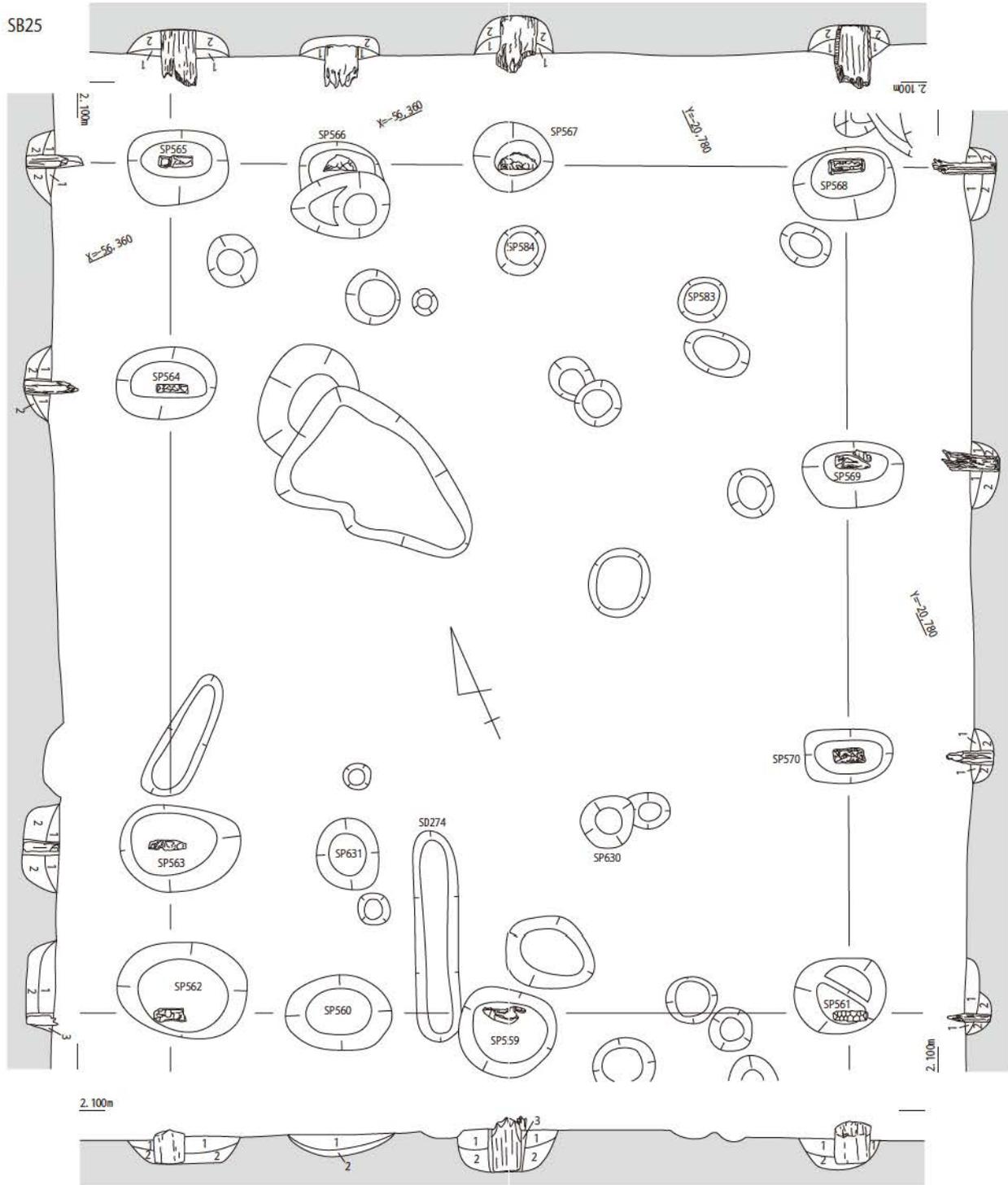
SB30 (第161図) IV区Z20・21、A21グリッド、方形周溝墓ST22の東に位置する。柱間は各辺1間で、長軸をN73° Wにとる。平面形は正方形に近く、中央に位置するSP513もこれに伴う可能性がある。四隅の柱穴で柱根を検出した。いずれも断面円形ないし多角形を呈する(第302図8)。

SB31 (第164図) IV区I・J28グリッド、周溝建物SH8の南に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN5° Wにとる。北西隅の柱穴SP788では柱根を検出した。断面五平状で長辺に直交するように据えられていた。

SB32 (第164図) IV区G26・27グリッド、SB28の北東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN3° Eにとる。柱穴の土層断面では腐朽した柱の痕跡が認められる。

SB33 (第165図) IV区I27・28グリッド、SB23の北西、SH8の南に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN0° にとる。6基の柱穴すべてで柱根やその残片を検出した。形状がわかるものはいずれも断面円形を呈する。柱根の¹⁴C年代測定から構築時期は80~120A. D. の可能性が高いとされる。

SB25

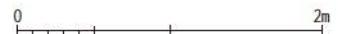
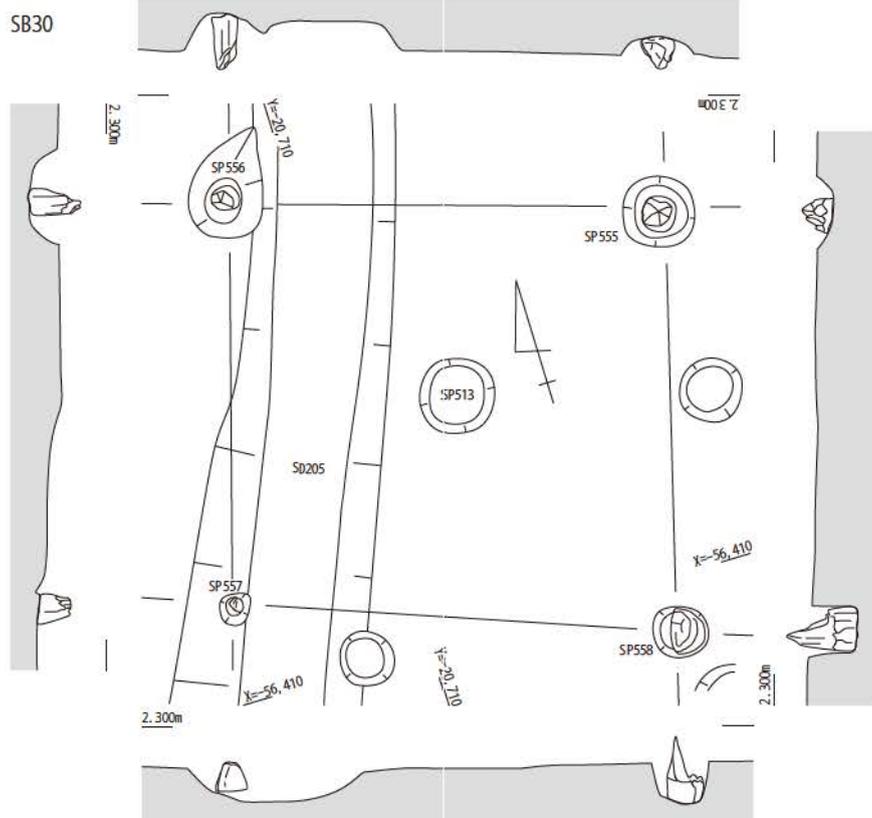
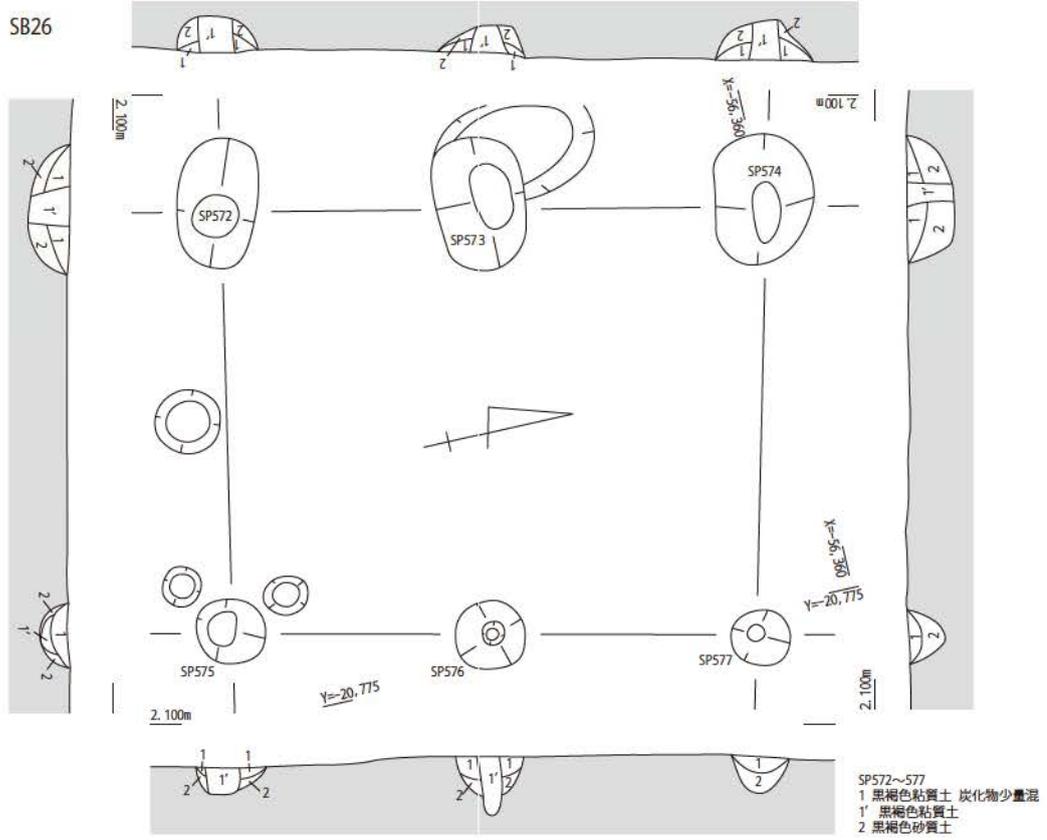


- SP559~570
 1 黒褐色粘質土
 2 黒褐色砂質土 粘質土ブロック混
 3 黒褐色砂質土

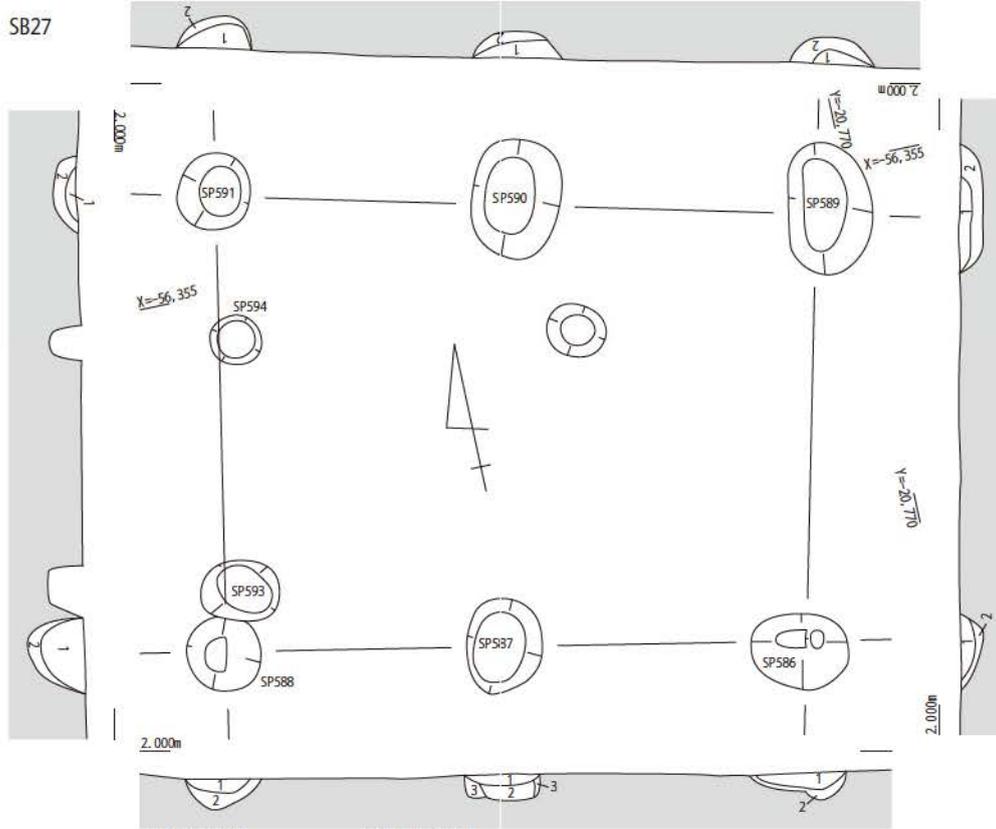
0 2m

第160図 SB25実測図(縮尺1/50)

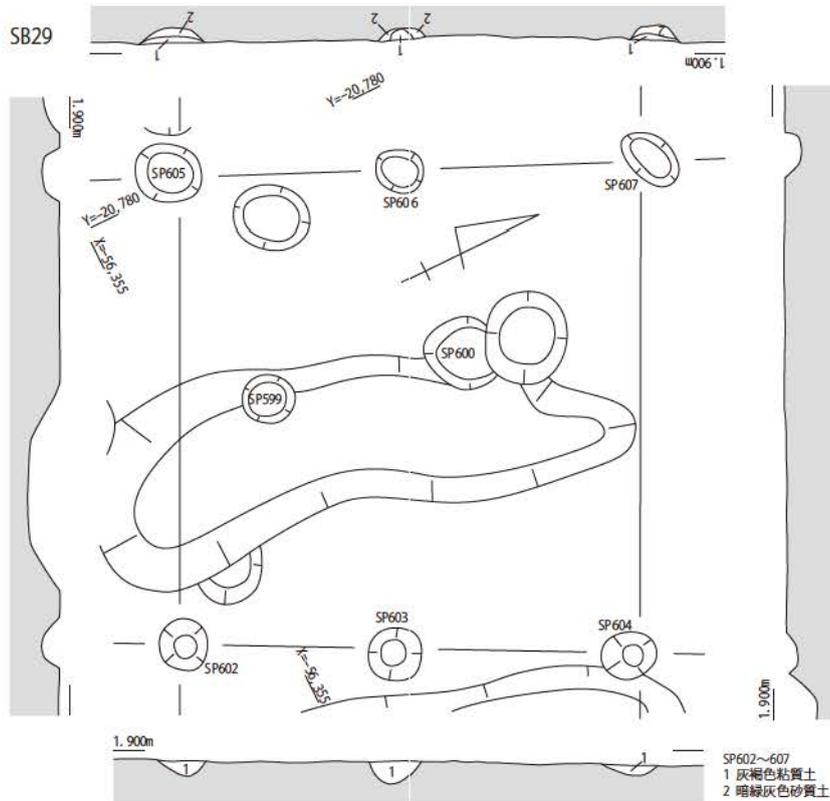
第1節 遺構



第161図 SB26・30実測図(縮尺1/50)



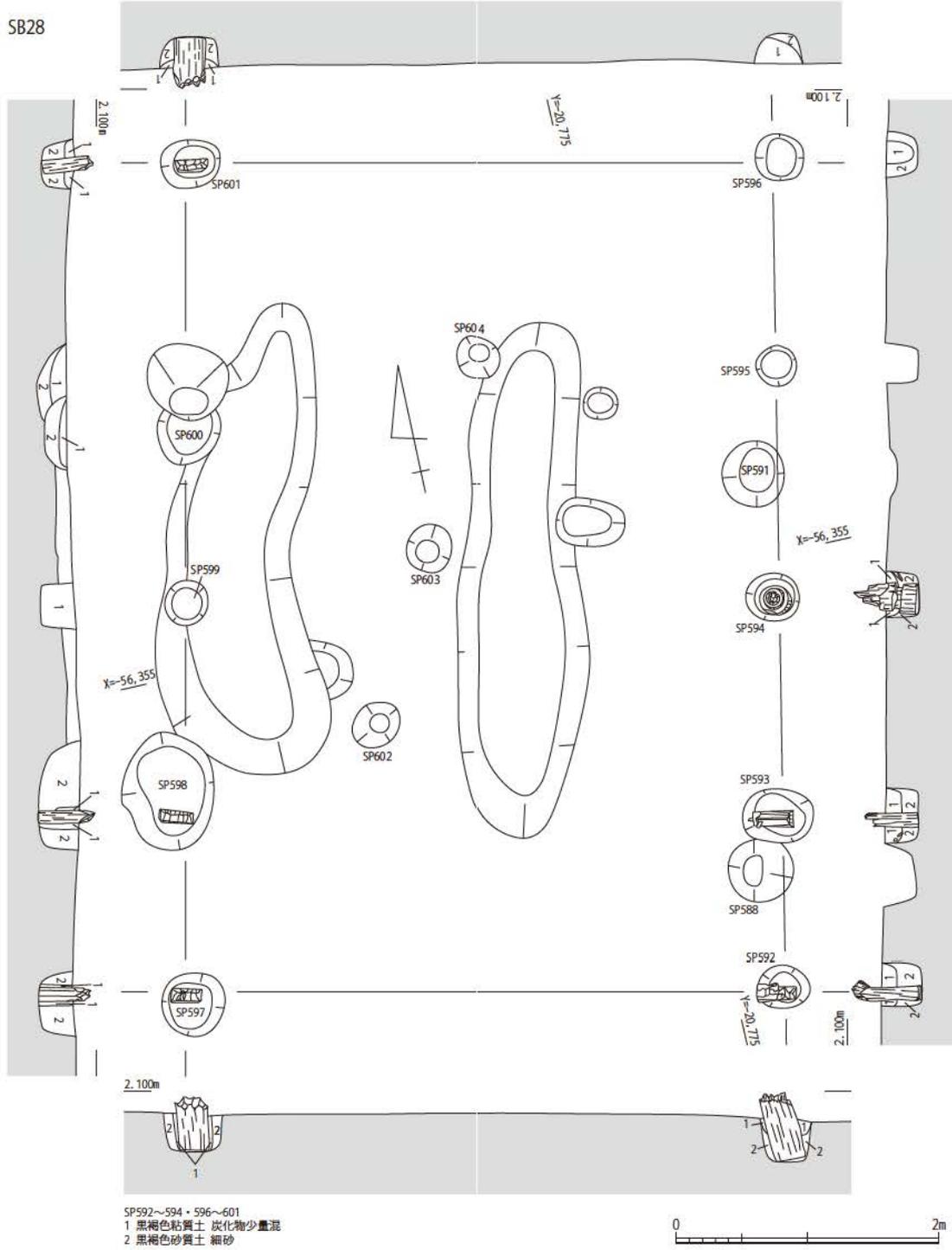
- | | |
|-------------------|--------------------|
| SP586・587・590 | SP588・589・591 |
| 1 黒褐色粘質土 暗灰砂質土混 | 1 灰黄色砂質土 黒褐色粘質土少量混 |
| 2 灰黄色砂質土 細砂 | 2 黒褐色粘質土 |
| 3 黒褐色砂質土 粘質土ブロック混 | |



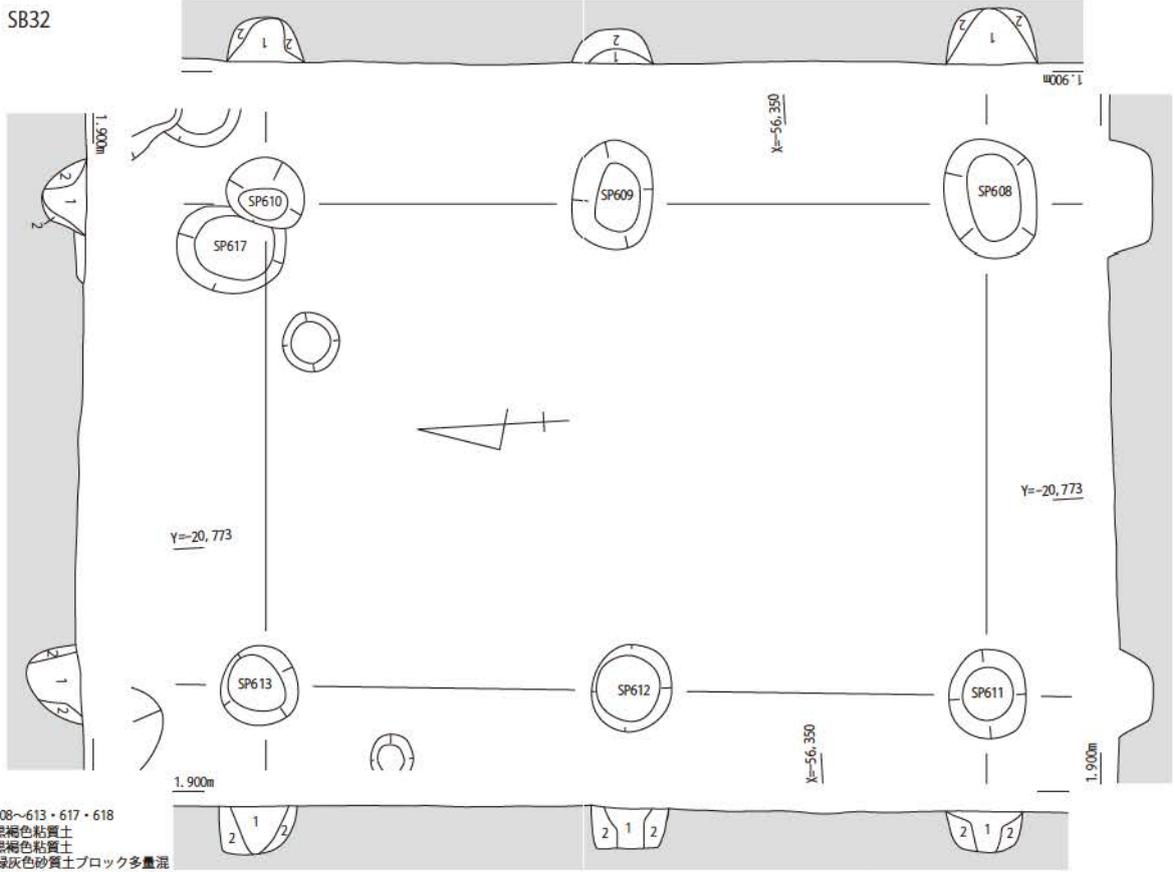
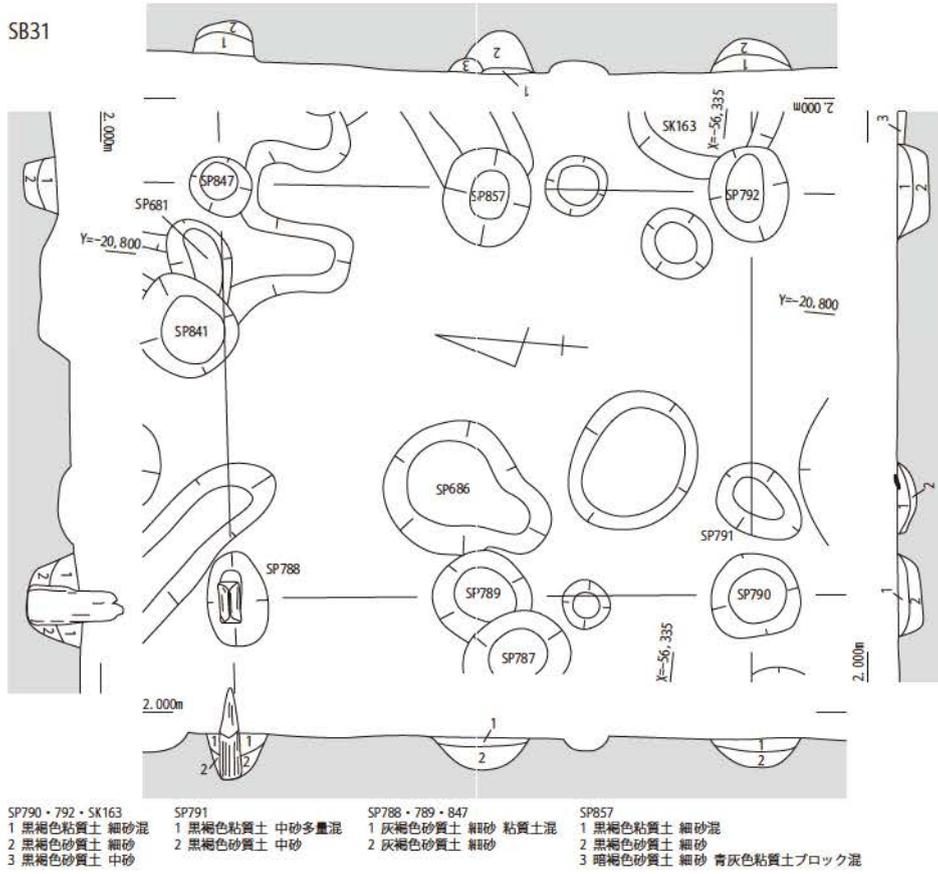
- | |
|-----------|
| SP602~607 |
| 1 灰褐色粘質土 |
| 2 暗緑灰色砂質土 |



第162図 SB27・29実測図(縮尺1/50)



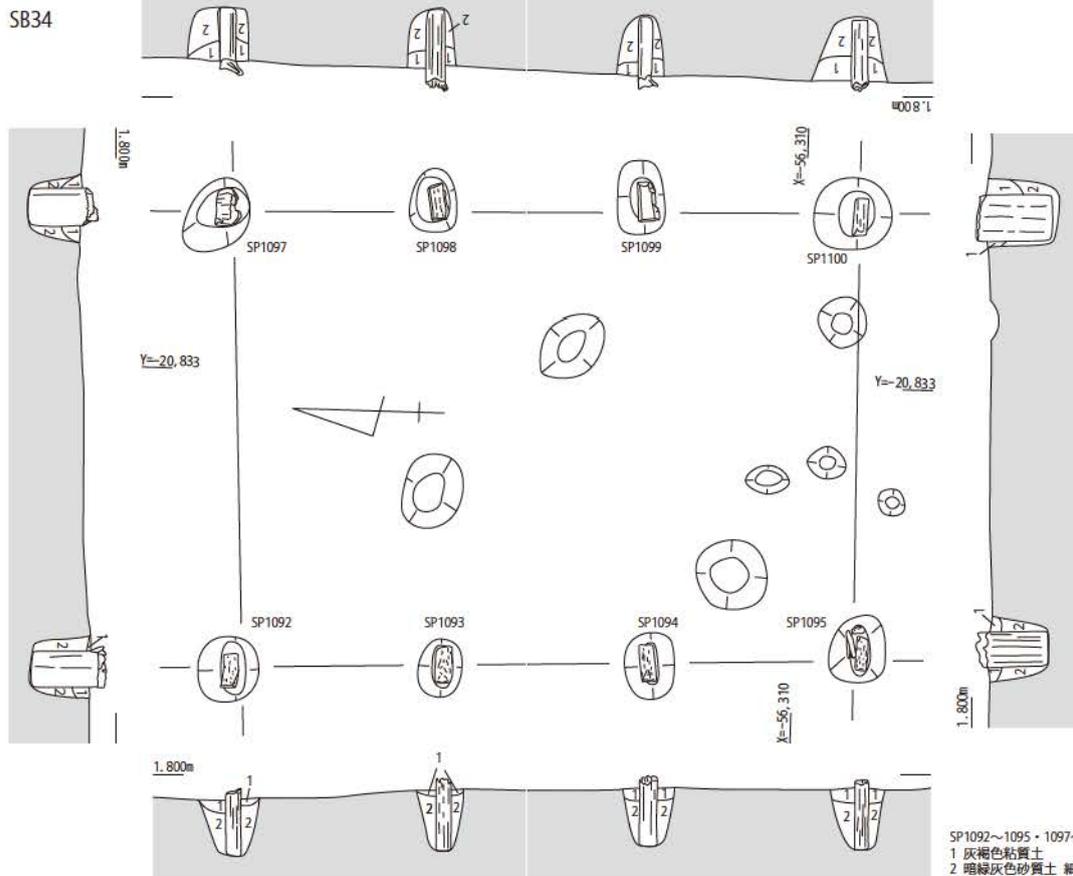
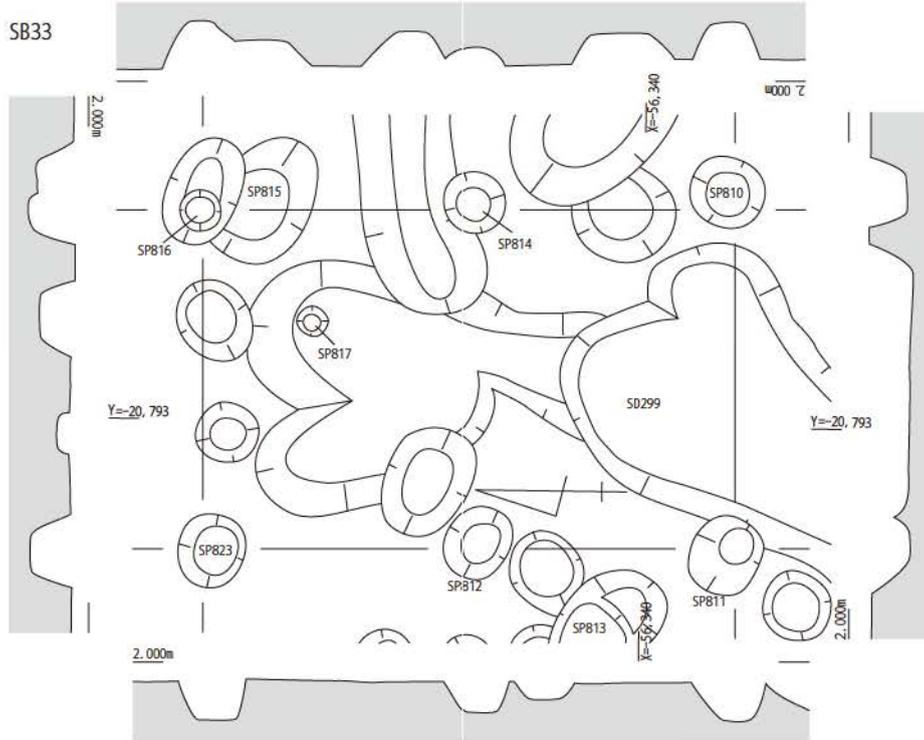
第163図 SB28実測図(縮尺1/50)



第164図 SB31・32実測図(縮尺1/50)



第1節 遺構



第165図 SB33・34実測図(縮尺1/50)

SB34 (第165図) Ⅷ区M30・31グリッド、周溝建物SH10の南東に近接して位置する。SB37と重複する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN2° Wにとる。8基すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面五平状の柱で(第305図)、長辺に直交するように据えられていた。SP1095の柱根(同図4)の年輪年代測定で、107B. C.(推定伐採年代67B. C. + a)の値が示されている。

SB35 (第166図) Ⅷ区O30グリッド、調査範囲の北西端で検出した。長辺3間、短辺1間で、長軸をN3° Eにとる。柱穴の土層断面には径10cm前後の腐朽した柱の痕跡を残すものがみられる。

SB36 (第166図) Ⅷ区M・N31グリッドに位置し、周溝建物SH10の南側に重複する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN77° Wにとる。SP1146では弥生時代後期の土器を検出した。SH10とはその周溝SD370を柱穴が切っていることから、後出するものと判断できる。

SB37 (第167図) Ⅷ区M30・31グリッドに位置し、SB34の南東に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN75° Wにとる。SP1159では礎板が出土しており、年輪年代測定で65B. C.(推定伐採年代25B. C. + a)の値が示されている。

SB38 (第167図) Ⅷ区K・L29・30グリッドに位置する。柱間は東側の長辺1間、西側の長辺2間、短辺1間で、長軸をN25° Eにとる。平面形は細長い方形で、やや歪んでいる。すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面五平状で、長辺に直交するように据えられていた。

SB39 (第168図) Ⅷ区K30・31グリッドに位置する。柱間は各辺2間で、長軸をN16° Eにとる。5基の柱穴で柱根を検出した。SP1194~1196の柱根は断面五平状で、長辺に直交して据えられていた。一方、SP1197・1226の柱は断面円形の細い丸木材が用いられていた。遺物はSP1227から弥生時代後期の土器(第249図13)が出土している。

SB40 (第168図) Ⅷ区M30グリッド、SB34の南に位置する。柱間は長辺1間、短辺2間で、長軸をN10° Eにとる。5基の柱穴で柱根を検出した。細い丸木を用いており、端部を杭状に尖らせている。掘形や柱根の規模からすると、上屋をもたない構造物の可能性もある。

SB41 (第169図) Ⅱ区I16グリッド、墓域の西側を画す溝SD75を挟んで方形周溝墓ST1と対称的な位置にある。南側でSB42が重複する。正方形に近い平面形を呈し、柱間は長辺2間、短辺1間で、長軸をN67° Wにとる。SP405・406・407・409では断面五平状の柱根が遺存していた。遺物はSP320から弥生時代後期の土器が出土している。

SB42 (第169図) Ⅱ区I15・16グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB41の南東に重複する。柱間は長辺2間、短辺1間である。長軸をN17° Eにとり、SB41とはおおよそ直交する。

SB43 (第170図) Ⅱ区I15グリッド、溝SD75沿いの西側でSB42の南に近接して位置する。柱間は長辺2間、北側短辺1間、南側短辺2間である。長軸をN17° Eにとり、SB42と直列している。図示していないが、SP327・402・404では断面五平状の柱根が遺存していた。

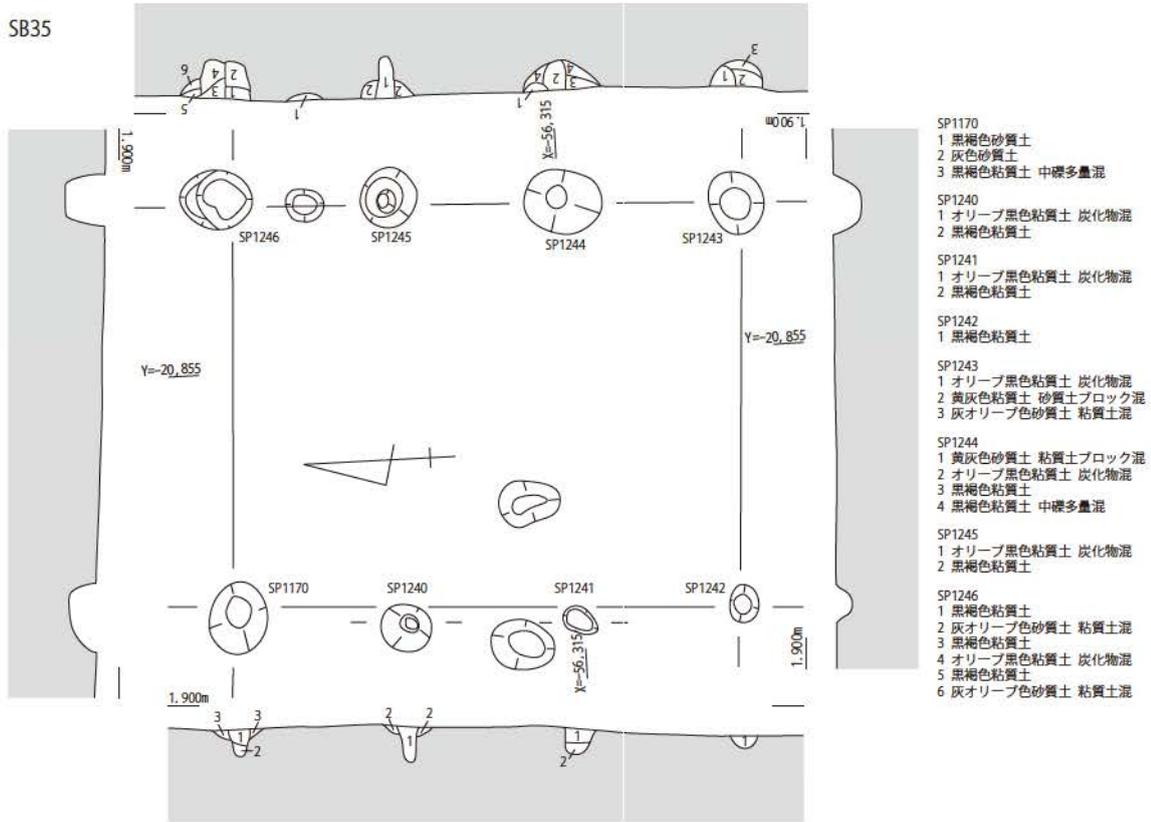
SB44 (第170図) Ⅱ区I・J13・14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB45の北東に重複する。柱間は長辺2間、短辺1間である。長軸をN12° Eにとり、SB42・43などとおおよそ揃う。

SB45 (第171図) Ⅱ区J13・14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB44の大部分に重複する。柱間は長辺3間、短辺1間である。長軸をN15° Eにとり、SB42~44などとおおよそ揃う。遺物はSP277から弥生時代後期の土器が出土している。

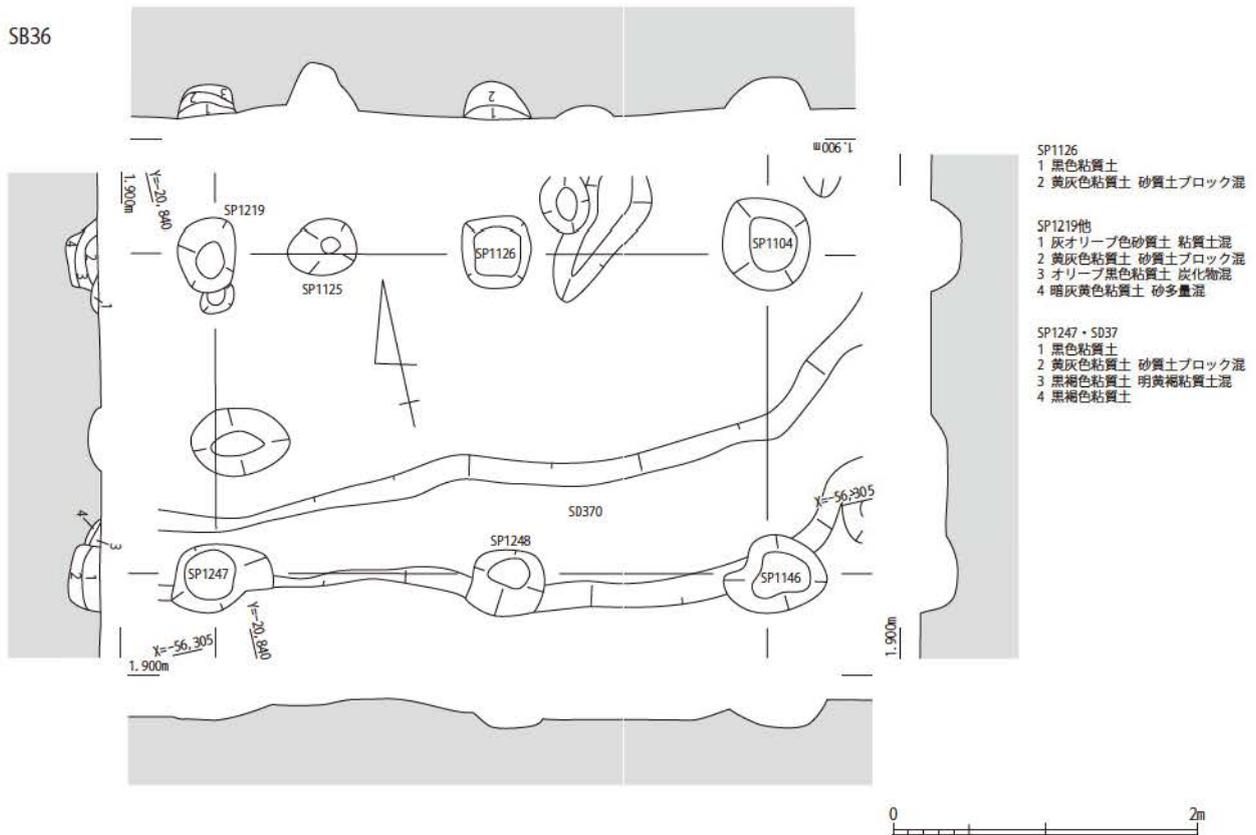
SB46 (第171図) Ⅱ区J12・13グリッド、溝SD75沿いの西側でSB45の南西に位置する。長辺2間、短辺1間で、正方形に近い平面形を呈す。長軸をN60° Wにとり、付近ではSB41とおおよそ揃う。

第1節 遺構

SB35

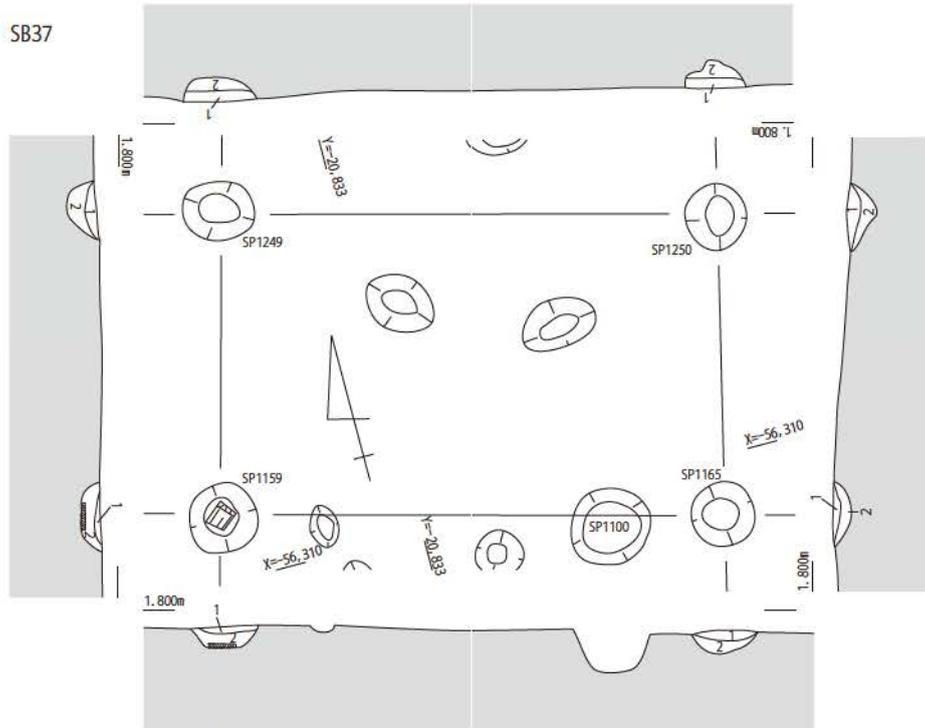


SB36



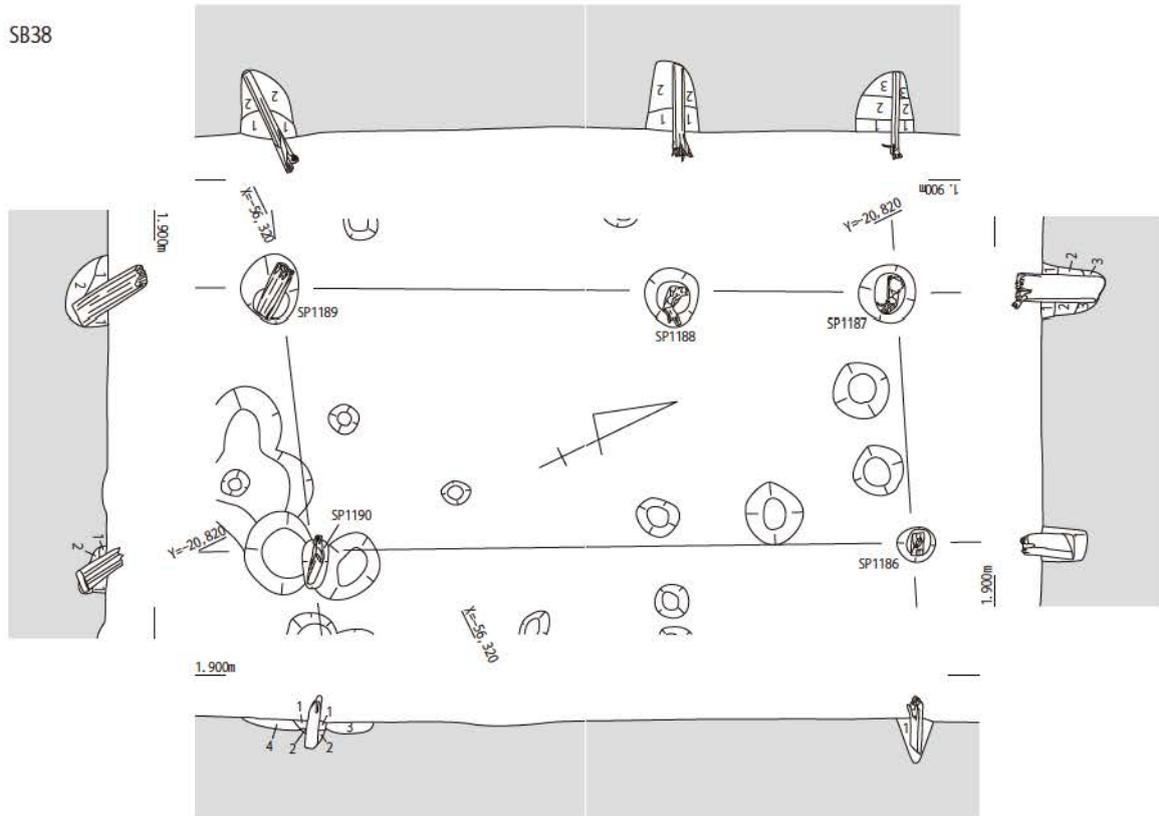
第166図 SB35・36実測図(縮尺1/50)

SB37



SP1159・1165・1249・1250
 1 灰黄色粘質土 砂少量混
 2 黒色粘質土 砂少量混

SB38

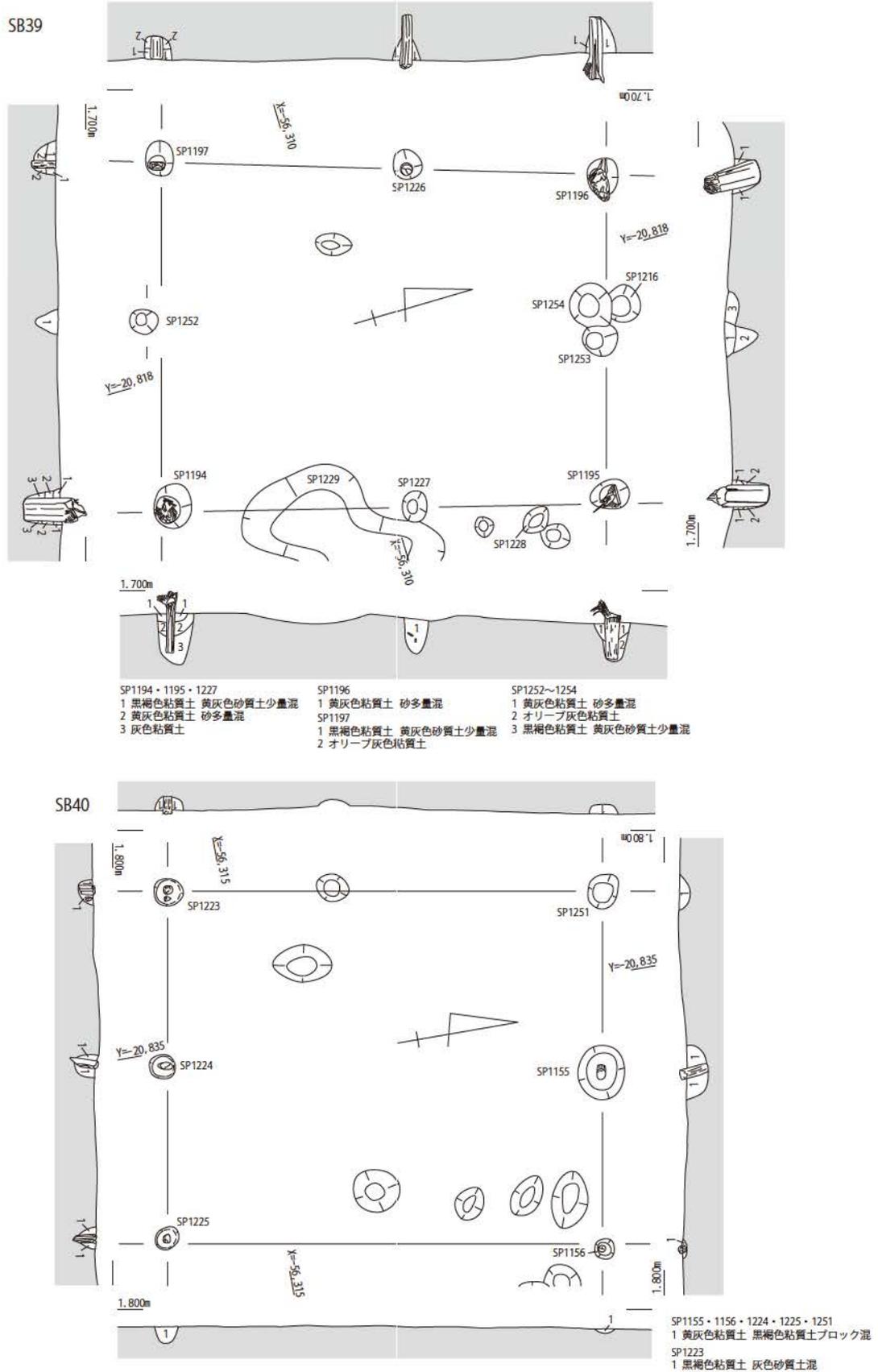


<p>SP1186 1 オリーブ黒色粘質土 砂多量混</p> <p>SP1187 1 灰オリーブ色粘質土 砂多量・黒褐色粘土ブロック混 2 黒褐色粘質土 3 灰色粘質土</p>	<p>SP1188～1190他 1 栗褐色粘質土 黄褐色粘質土ブロック混 2 灰オリーブ色粘質土 3 栗褐色粘質土 黄褐色粘質土ブロック混 4 栗褐色粘質土 砂多量混</p>
--	---

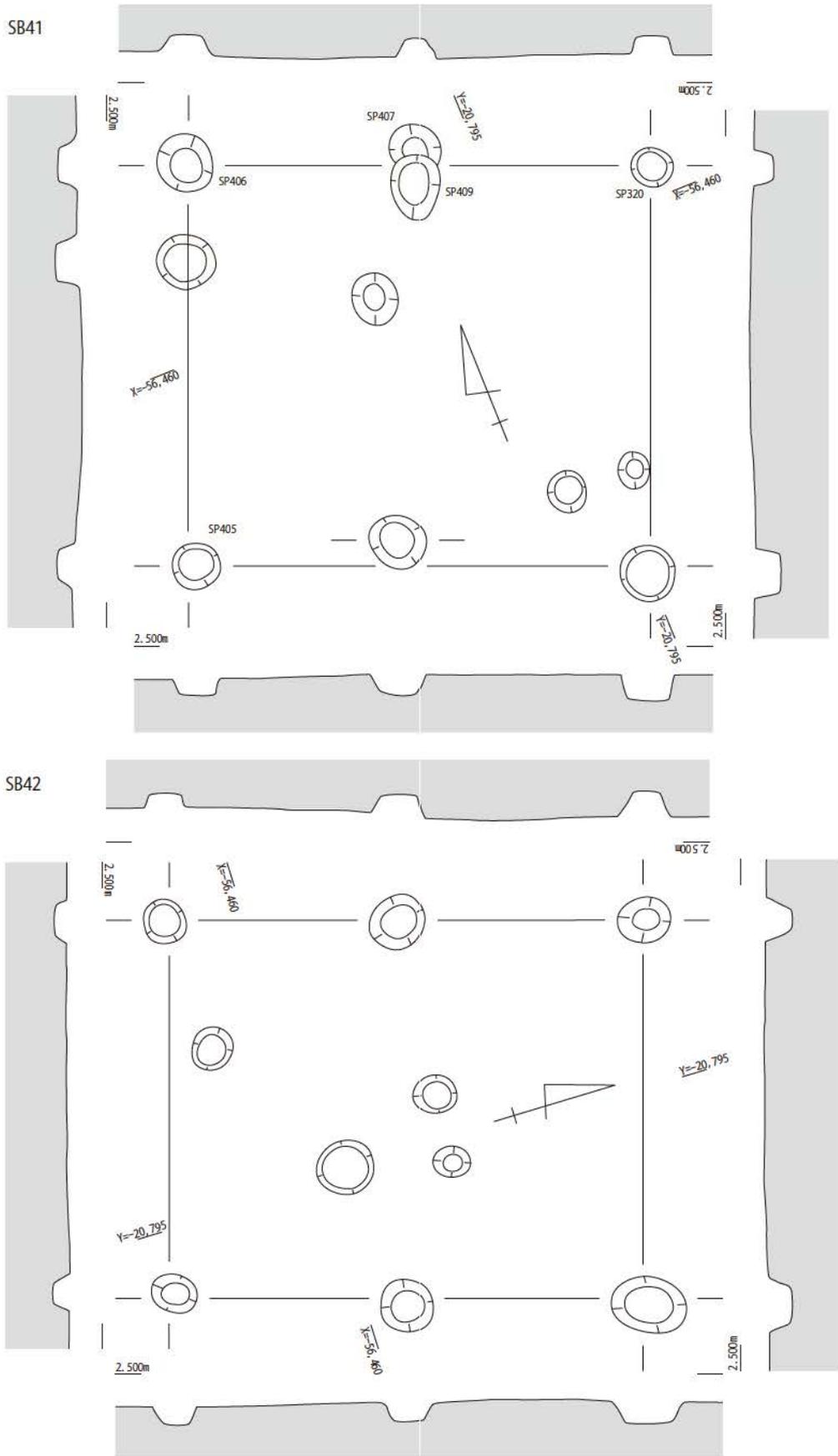


第167図 SB37・38実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構



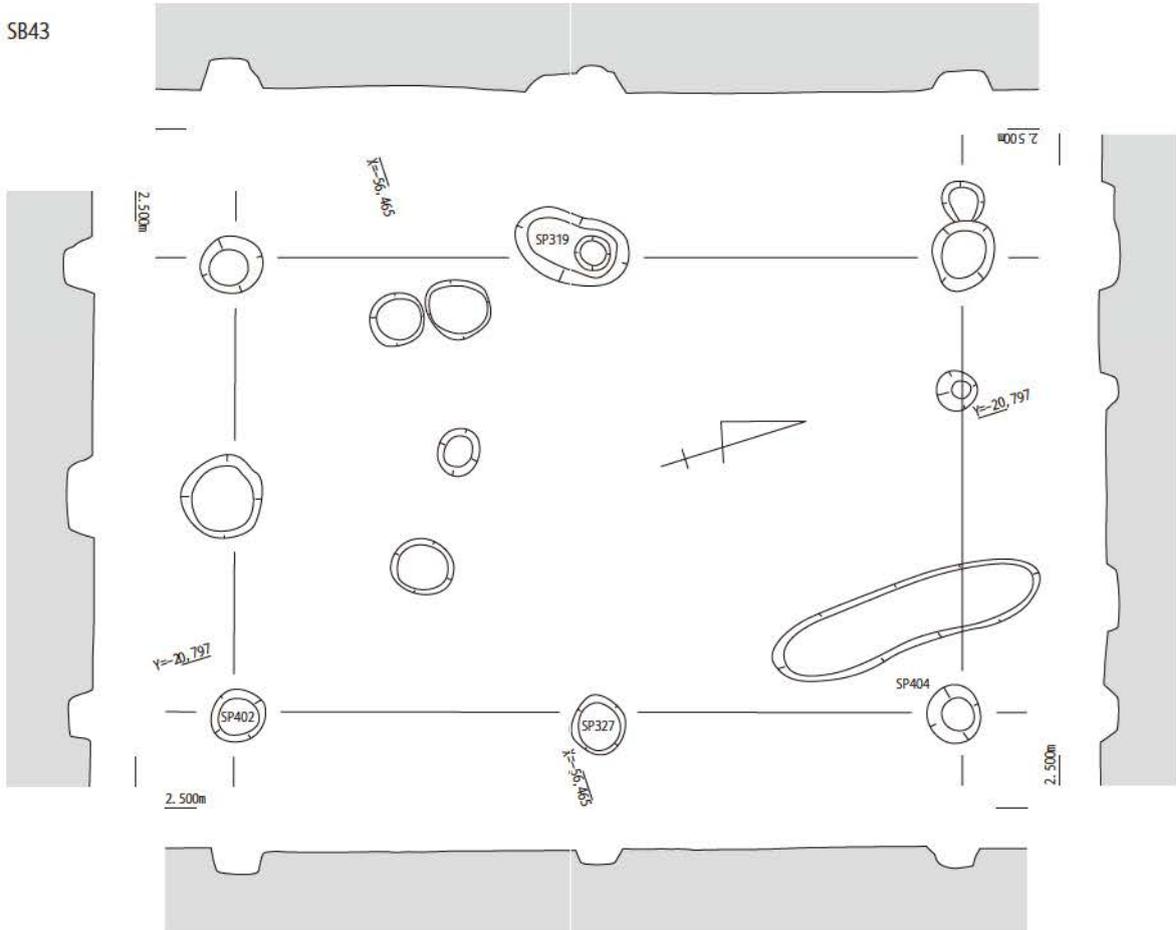
第168図 SB39・40実測図(縮尺1/50)



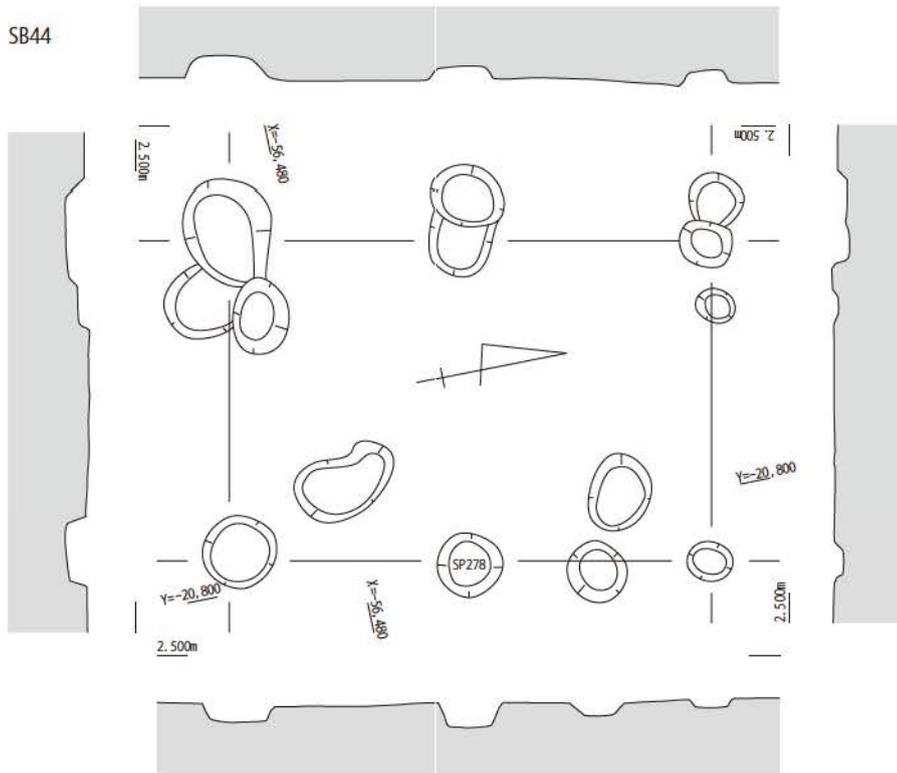
第169図 SB41・42実測図(縮尺1/50)



SB43

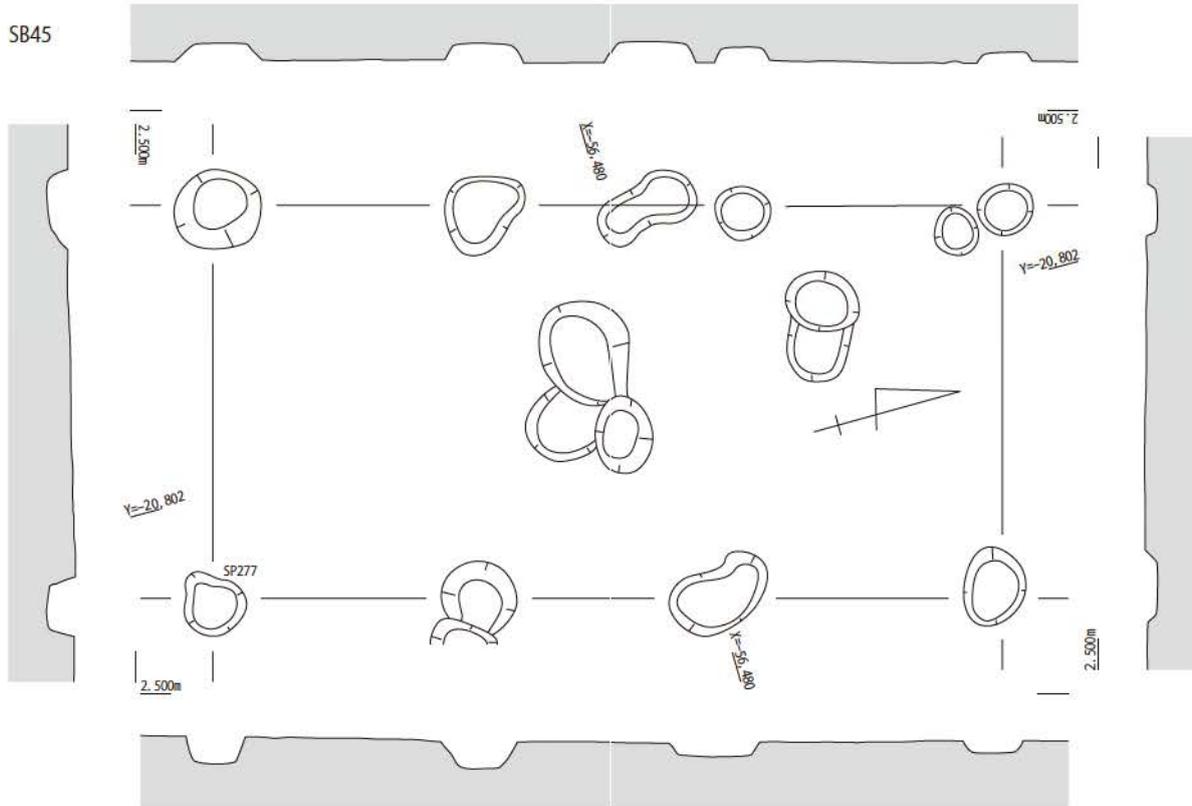


SB44

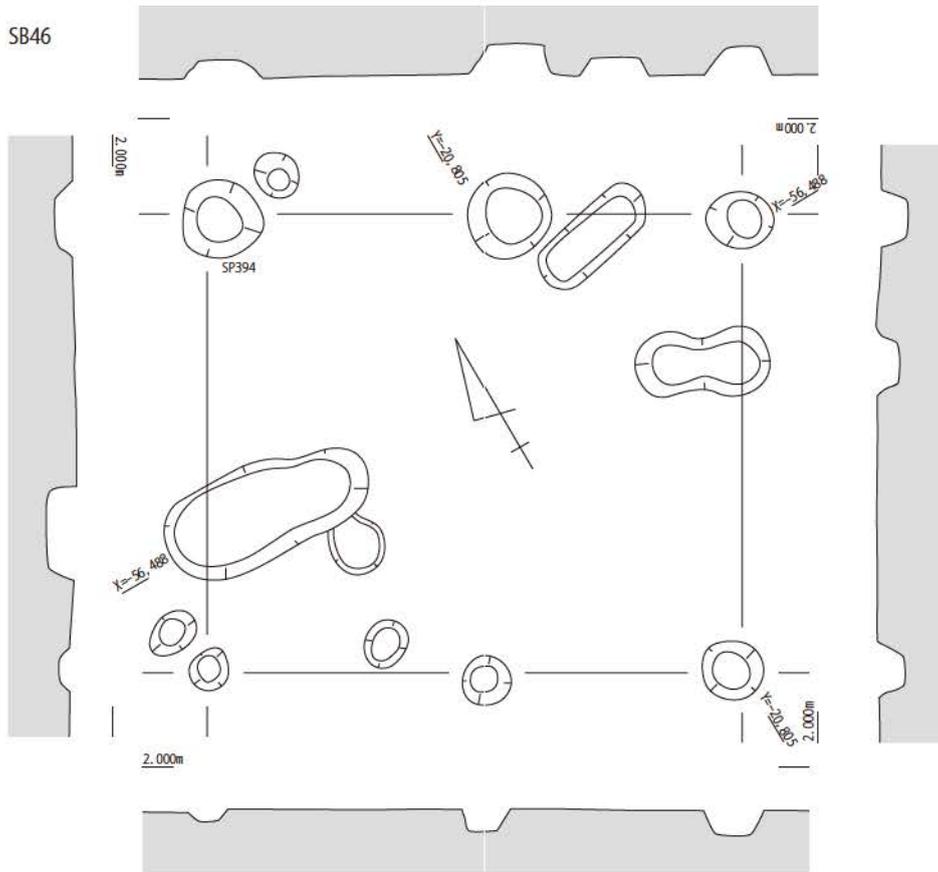


第170図 SB43・44実測図(縮尺1/50)

SB45



SB46



第171図 SB45・46実測図(縮尺1/50)

SB47 (第172図) Ⅲ区M・N28・29グリッドに位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN85° Eにとる。長軸方向は東方に位置するSB16とほぼ揃う。

SB48 (第172図) Ⅲ区L27グリッドに位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN80° Eにとる。長軸方向は付近ではSB16・47などとおおよそ揃う。SP479から弥生時代後期の土器が出土している。

SB49 (第173図) Ⅲ区L・M27グリッド、SB48の西に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN79° Eにとる。SB48とほぼ直列する。

SB50 (第173図) Ⅲ区L26グリッド、SB49の南に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN4° Eにとる。長軸方向は付近ではSB19・31・33・51などとおおよそ揃う。

SB51 (第174図) Ⅳ区J・K27グリッド、SB18の北東に接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN3° Eにとる。長軸方向は付近ではSB19・31・33・50などとおおよそ揃う。

SB52 (第174図) Ⅳ区I24グリッドに位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN25° Eにとる。長軸方向は付近ではSB25・53とほぼ揃う。

SB53 (第175図) Ⅳ区I23・24グリッド、SB52の南西に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、正方形に近い平面形を呈す。長軸をN28° Eにとり、付近ではSB25・52とほぼ揃う。遺物はSP736で弥生時代後期の土器が出土している。

SB54 (第175図) Ⅳ区I23・24グリッド、SB52の南東に位置し、SB53の北東に接する。西側長辺1間、東側長辺2間、短辺2間で、長軸をN57° Eにとる。SB53と平面図上SP730を共有しており、実際は先後関係があると考えられるが、明らかにできなかった。

SB55 (第176図) Ⅳ区H・I24グリッド、SB52～54の北東に近接して位置する。南東隅の柱穴が削平されたと想定し、南北2間、東西1間ではほぼ正方形のプランを認めた。南北方向の軸はN29° Eを測り、SB25・52・53とおおよそ揃う。

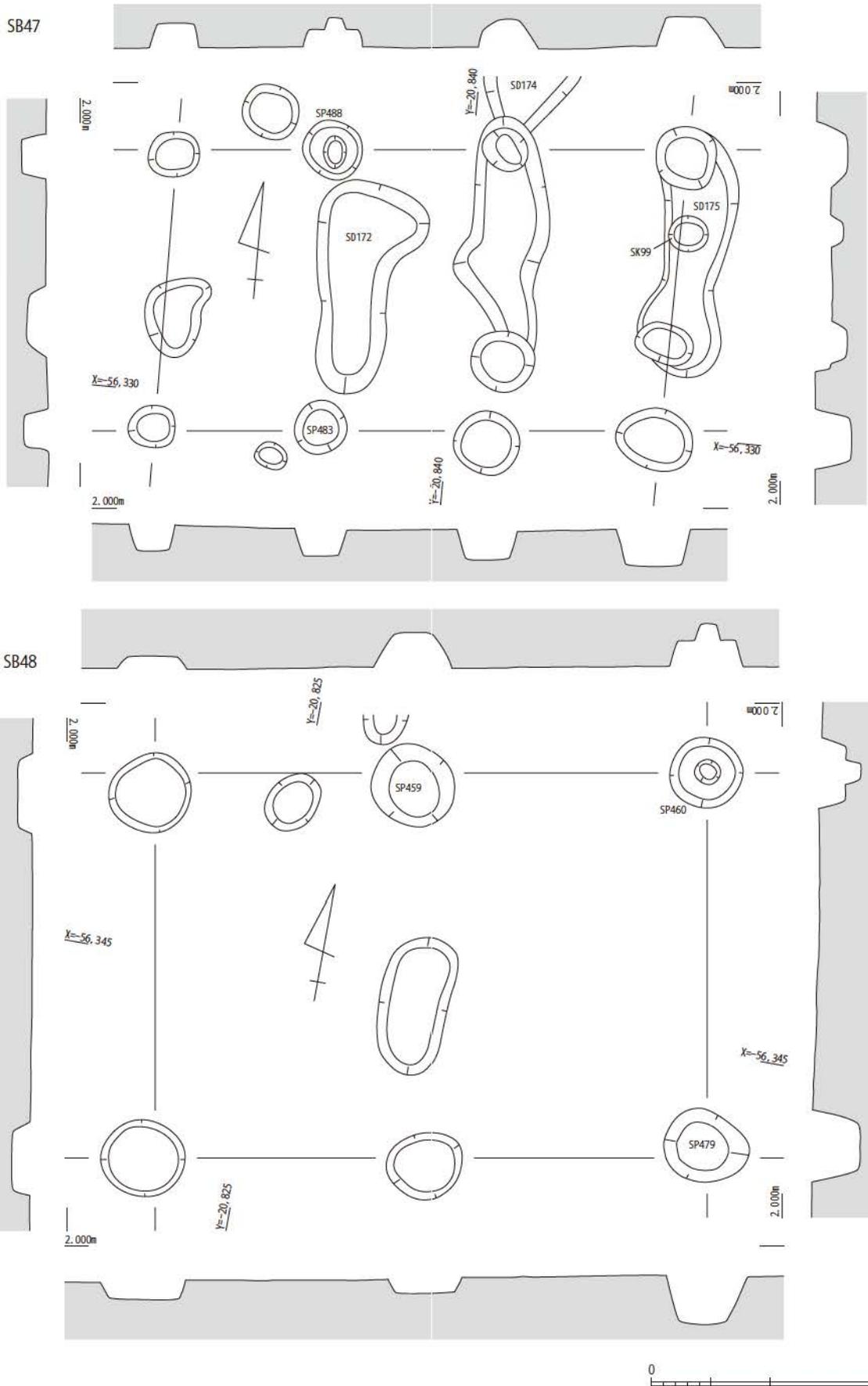
SB56 (第176図) Ⅳ区H26・27グリッド、SB22とSB29に東西を挟まれて位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN5° Wにとる。長軸方向は付近ではSB31～33とおおよそ揃う。SP614～616では礎板を検出した。遺物はSP615から弥生時代後期の土器が出土している。

SB57 (第177図) Ⅳ区H・I14グリッド、溝SD75沿いの東側にあり、方形周溝墓ST1・2の南西に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN22° Eにとる。長軸方向はSD75の西側に展開するSB42～45などとおおよそ揃う。遺物はSP283から弥生時代後期の土器が出土している。

SB58 (第177図) Ⅳ区G27・28グリッド、SB24の北東に位置する。北隅の柱穴が攪乱によって消失したと想定し、長辺2間、短辺1間のプランを認めた。長軸方向はN43° Wである。SP657から弥生時代後期の土器が出土している。

SB59 (第16図) Ⅳ区A・B23グリッド、墓域北半の東側に位置し、方形周溝墓ST25・61と重複する。長辺5間、短辺2間で、長軸をN85° Wにとる。遺構の重複により確認できない、あるいは検出深度の浅い柱穴が多いことから、その認定には不安を残している。遺物はSP533から弥生時代後期の土器が出土している。

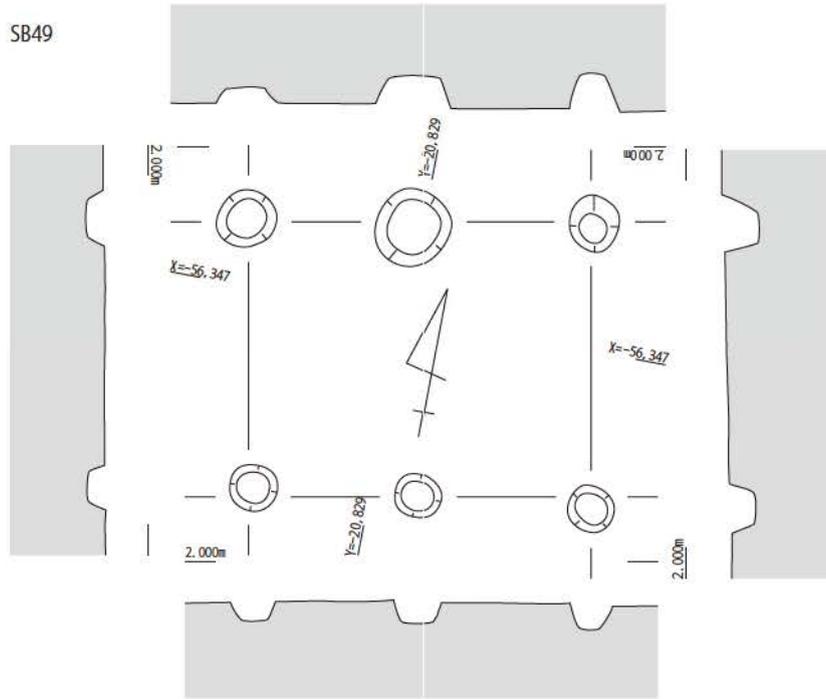
SB60 (第178図) Ⅵ区J30グリッド、周溝建物SH8・9の間に位置する。長辺4間、短辺2間で、長軸をN76° Eにとる。両長辺の柱穴規模と配置をみると、比較的規模の大きい柱穴の間に規模の小さい柱穴が配されており、後者の柱は建物の構造において補助的な役割を担ったものとも推察される。



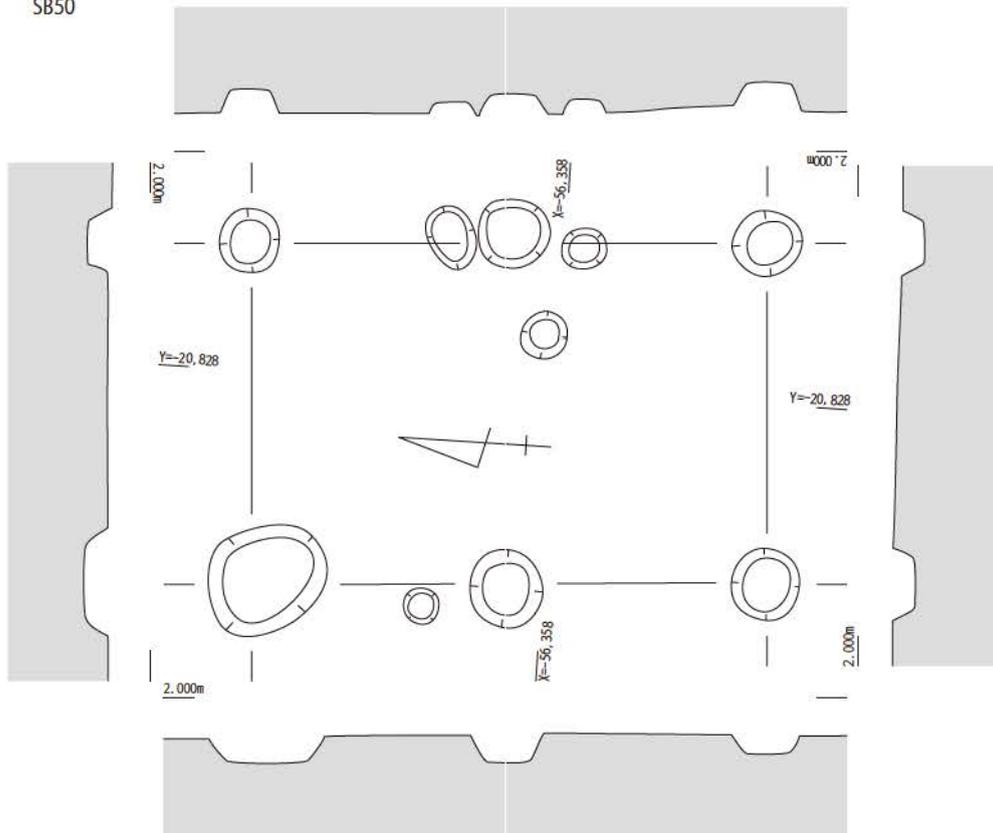
第172図 SB47・48実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構

SB49

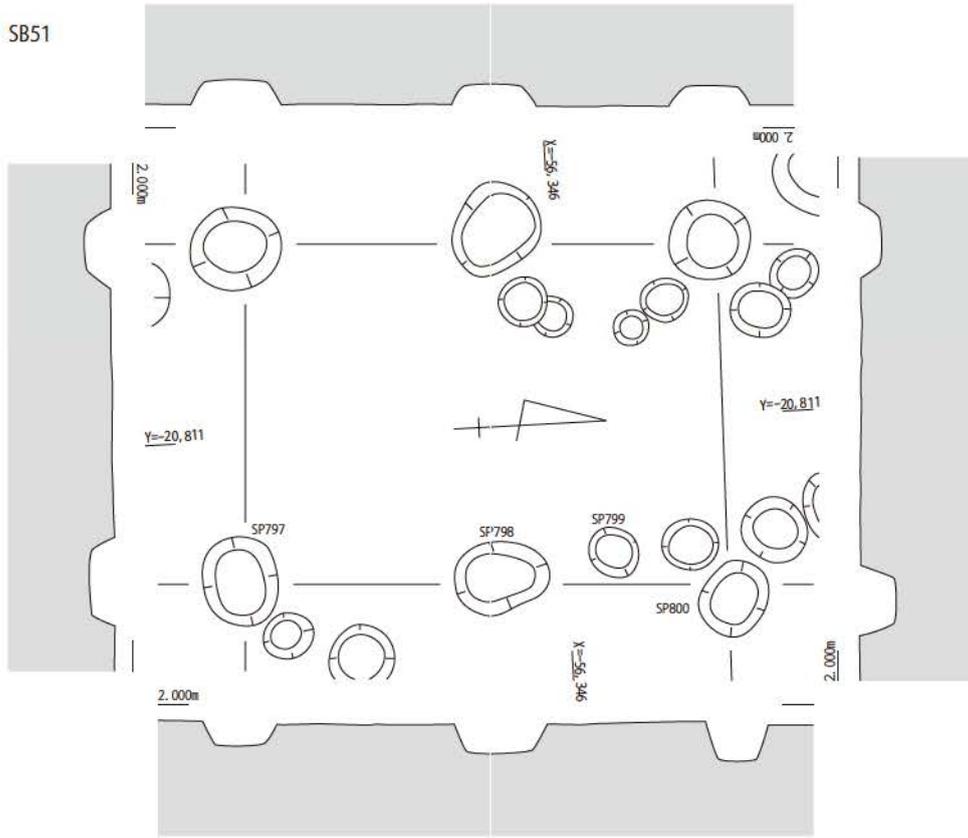


SB50

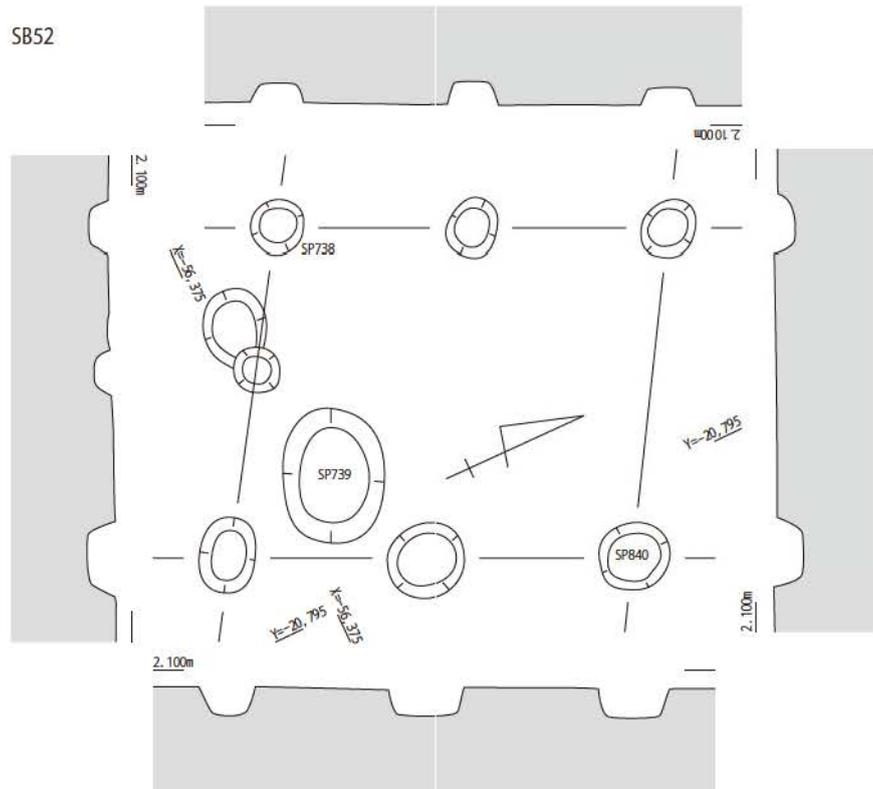


第173図 SB49・50実測図(縮尺1/50)

SB51



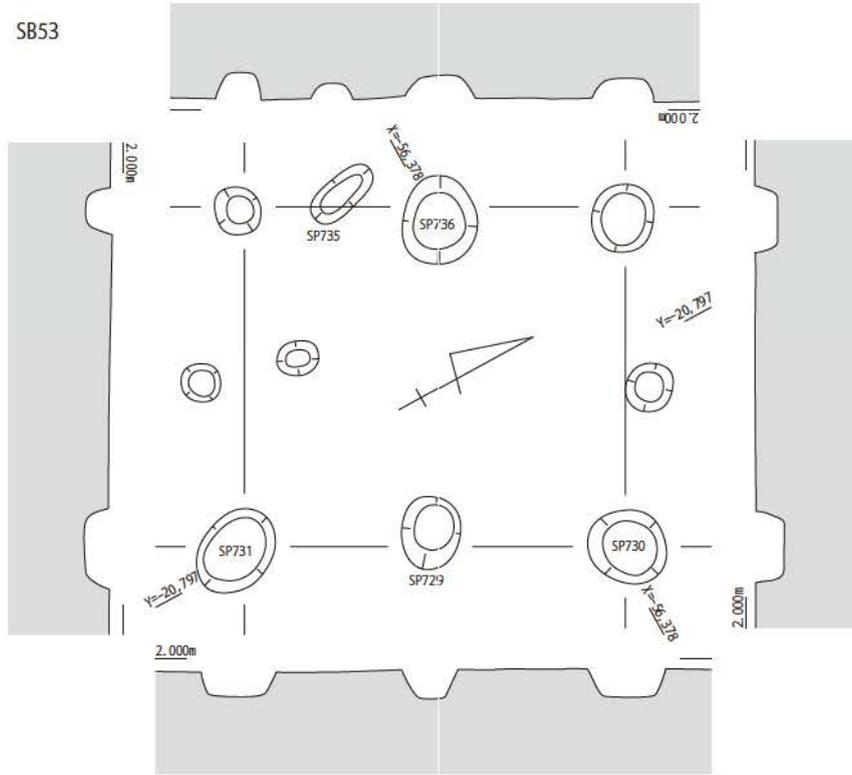
SB52



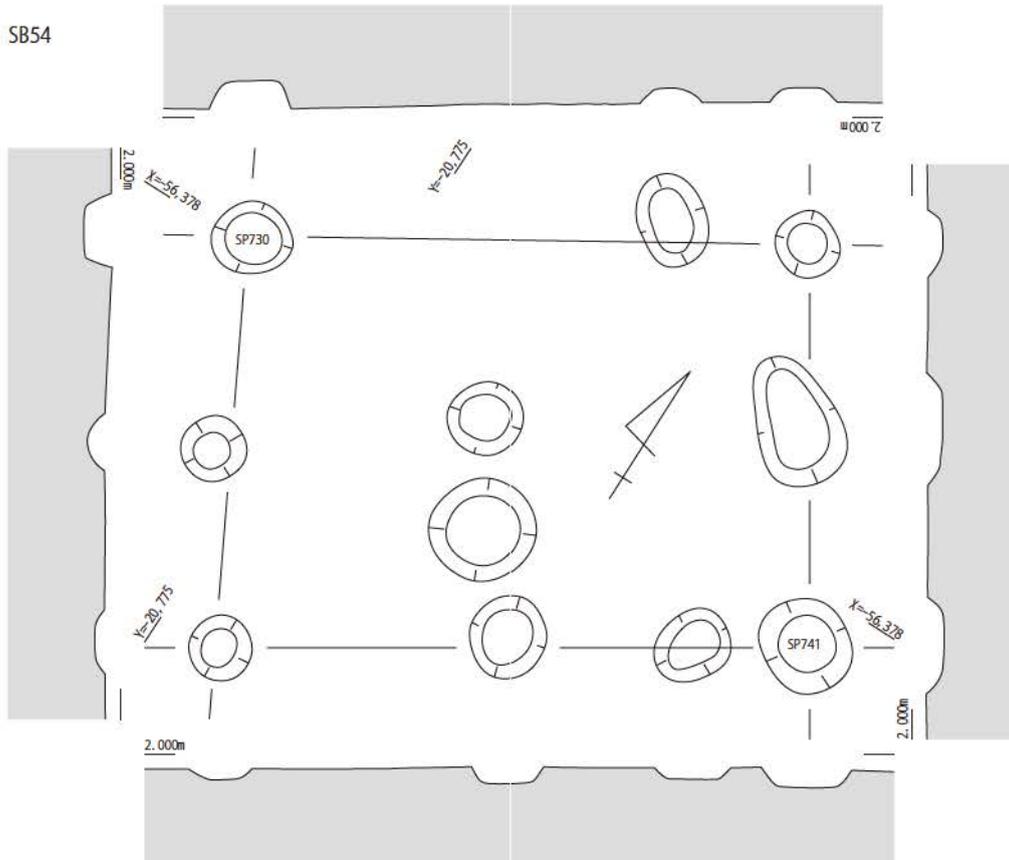
第174図 SB51・52実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構

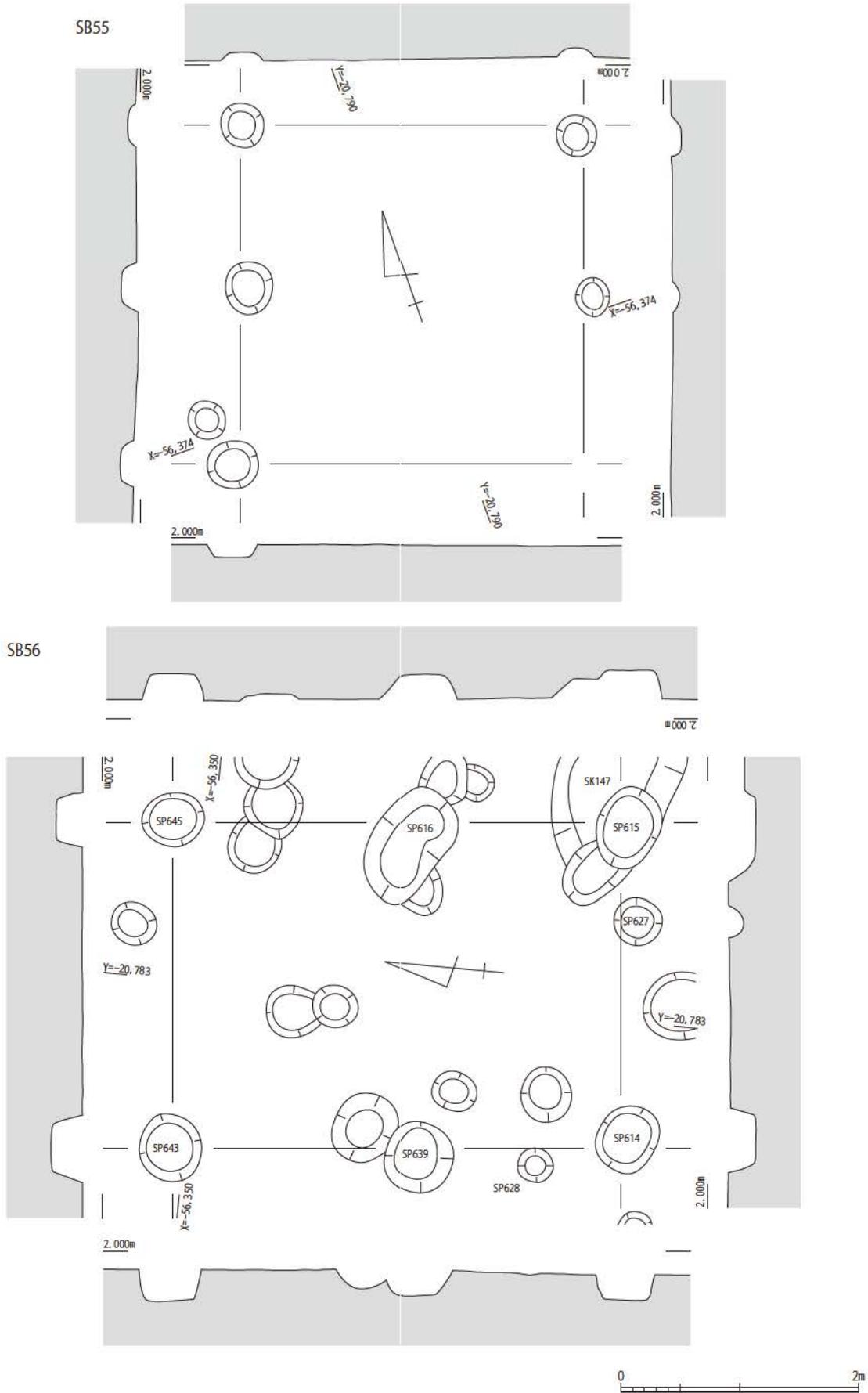
SB53



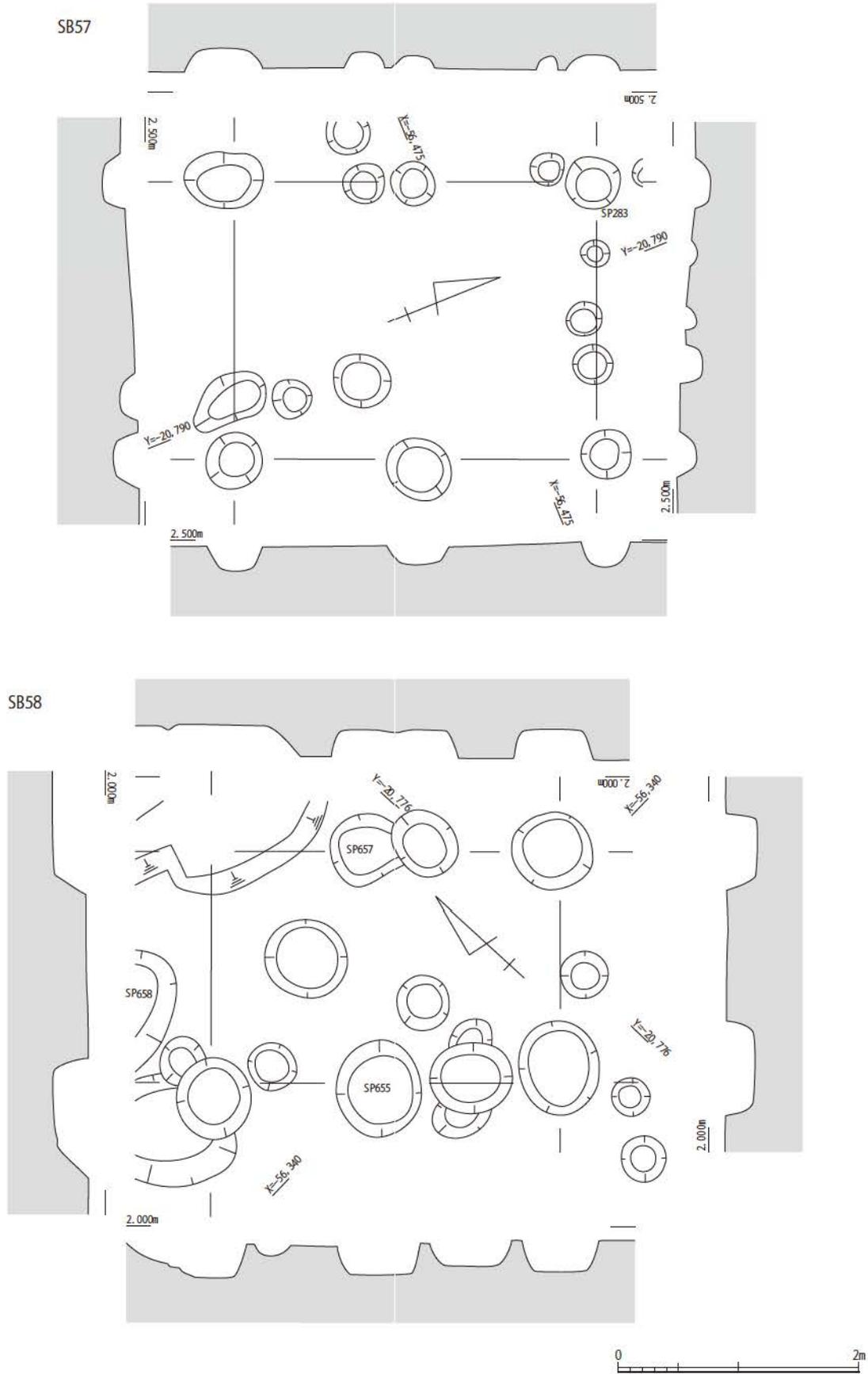
SB54



第175図 SB53・54実測図(縮尺1/50)



第1節 遺構



第177図 SB57・58実測図(縮尺1/50)

SB61 (第179図) VI区H30グリッド、方形周溝墓ST62の西に近接して位置し、周溝建物SH8の周溝SD331に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN21° Eにとる。南西隅を除く3基の柱穴で断面五平状の柱根が遺存していた。遺物はSP1043から弥生時代後期の土器が出土した。なお、北辺の西側延長線上からやや南にずれて位置するSP1061でも断面五平状の柱根を検出している。南辺の延長上においてもほぼ相対する位置にピットが認められ、これらが伴うとすれば、東西は2間(約3.7m)、長軸方向N71° Wの建物に復元できる。

SB62 (第178図) VI区F・G28・29グリッド、周溝建物SH5の東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN68° Eにとる。

SB63 (第179図) VI区I31グリッド、周溝建物SH8の北に位置する。柱間は各辺1間で、正方形に近い平面形を呈し、長軸をN2° Wにとる。SP1038から弥生時代後期の土器が出土している。

SB64 (第179図) VI区G29グリッド、方形周溝墓ST62の南に近接して位置し、周溝建物SH5の北側に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN28° Eにとる。西隅を除く3基の柱穴で柱根が遺存していた。柱根はいずれも丸太材を求心状に分割したもので、断面扇形を呈す(第306図)。設置方向については、樹皮側がおおよそ建物の外を向いている程度で、明確な規則性は認められない。

SB65 (第180図) II区I12グリッド、溝SD75沿いの東側にあたり、周溝建物SH1の西に位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN10° Wにとる。

SB66 (第180図) VI区J30・31グリッド、周溝建物SH9の内側に位置する。東側長辺2間、西側長辺1間、短辺1間で、長軸をN10° Eにとる。SP976・992では断面円形の柱根が遺存していた。SH9と新旧関係を具体的に示すものはないが、柱根を残すことから後出の可能性が高い。一方、SH9に伴う柱穴では礎板のみが遺存し、柱は抜き取られたと考えられる。

SB67 (第181図) VI区I31グリッド、SB63の西に近接して位置する。北側長辺1間、南側長辺2間、短辺1間で、長軸をN83° Eにとる。南辺両端の柱穴SP968・969では断面五平状の柱根が遺存していた。また、南辺中央の柱穴SP1008では礎板(第307図9)を検出し、その下から弥生時代後期の土器(第249図8)が出土している。

SB68 (第181図) IV・VI区I・J28・29グリッド、周溝建物SH8内の南西際に位置する。柱間は各辺1間で、長軸をN88° Wにとる。北西隅を除く3基の柱穴SP795・782・930では断面円形の柱根が遺存していた。また、SP795がSH8の周溝SD289を切っており、SB68がSH8より新しいと判断できる。

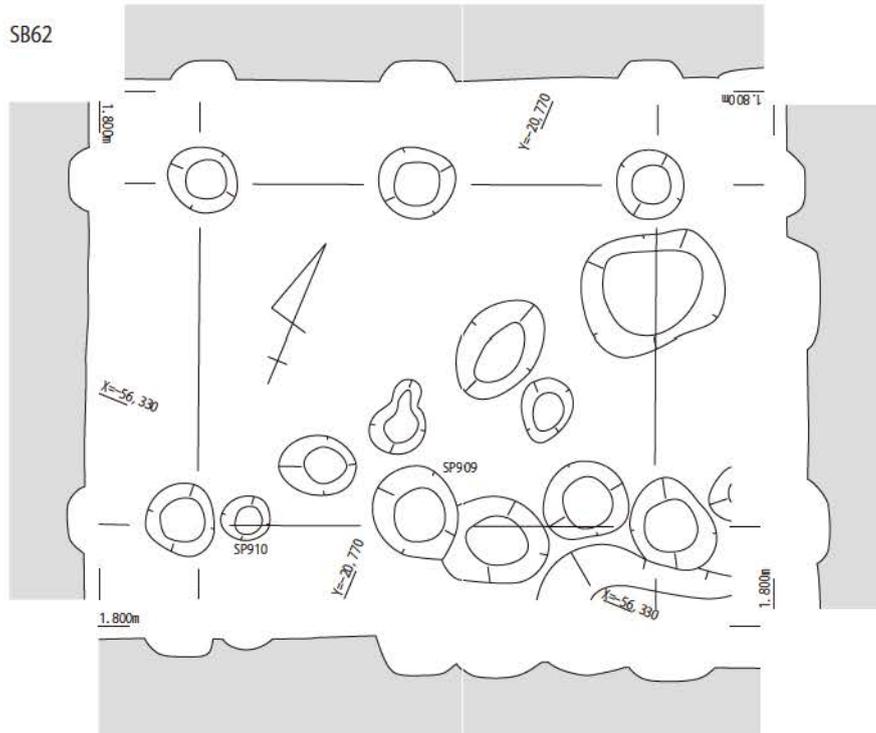
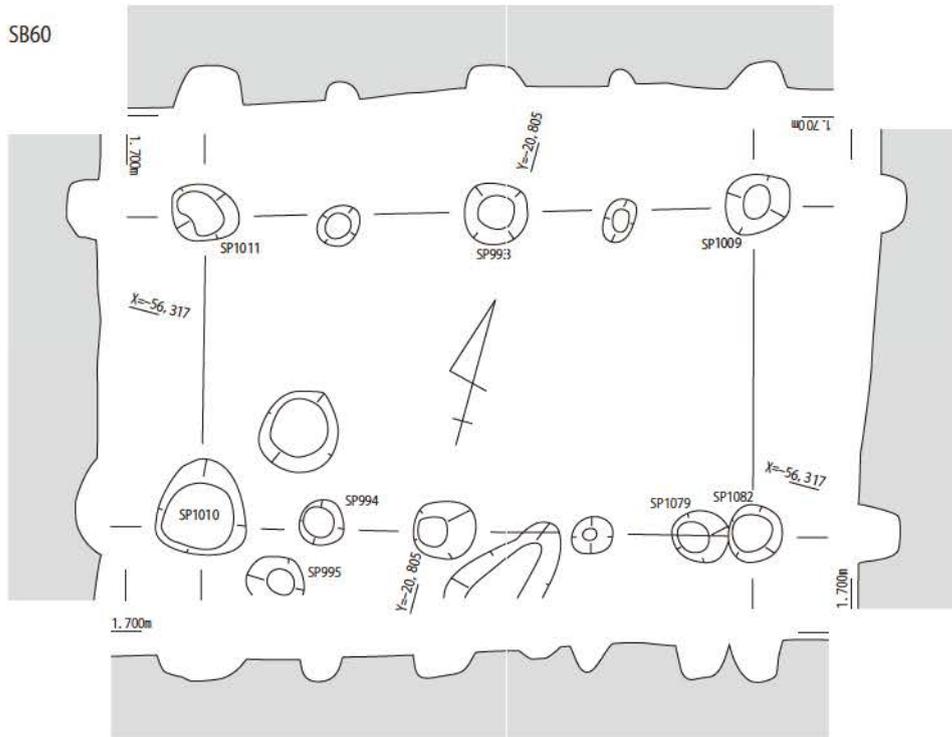
SB69 (第182図) II区I・J14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB44・45の北に近接する。南北2間、東西1間で、正方形に近い平面形を呈す。南北辺が若干長く、長軸方向はN11° Eである。北辺両端の柱穴SP399・400では断面円形の柱根が遺存していた。

2) 柱列

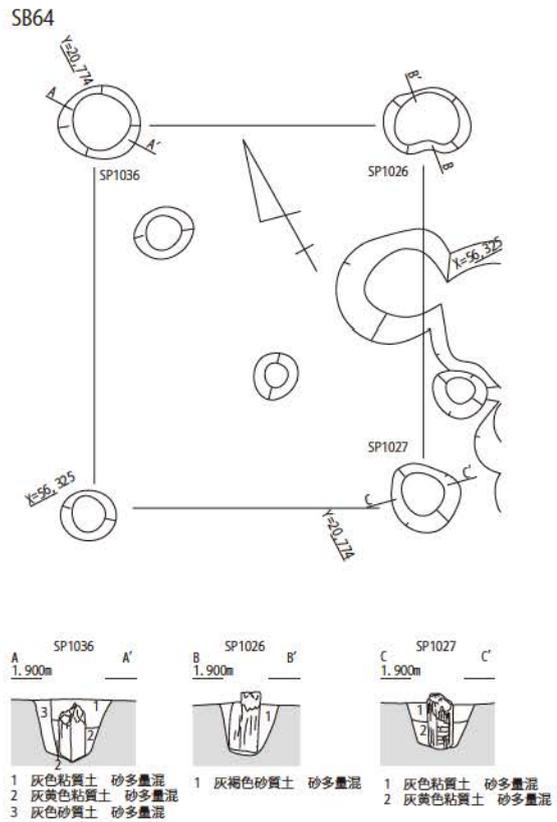
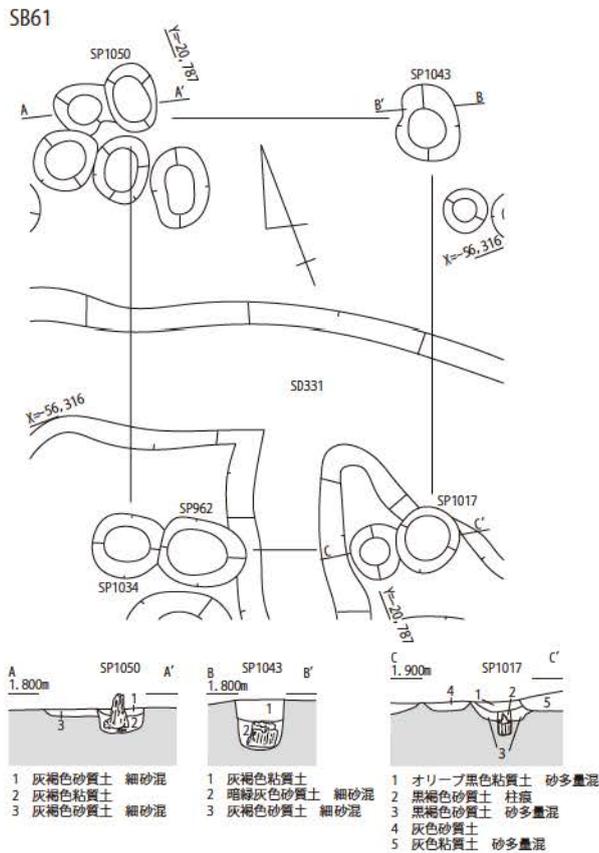
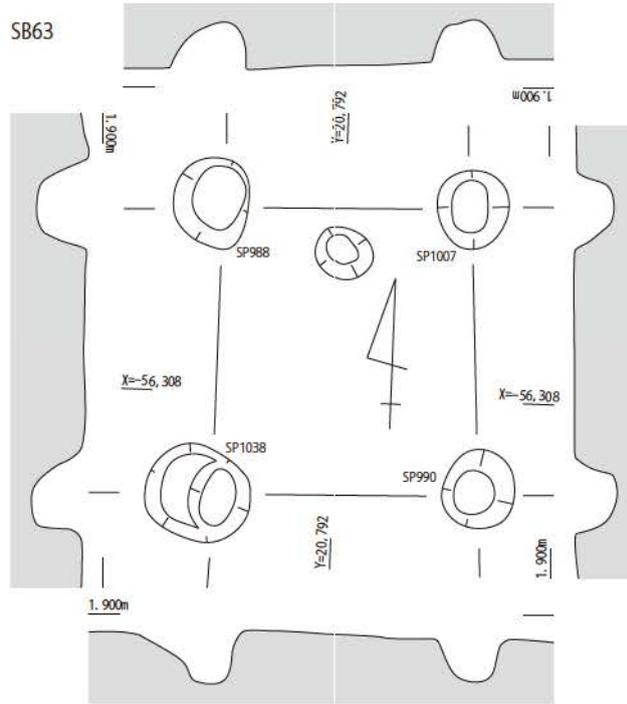
柱列1 (第182図) II区H16・17グリッド、方形周溝墓ST1の北に近接して位置する。N19° Eの方位で並ぶ4基のピットを基準とし、その両端から西方向へ並ぶピット4基を関連するものと捉えた。南列のピットSP398では断面円形を呈する大径の柱根が遺存しており、上屋をもつ建物の一部である可能性が高い。

柱列2 (第183図) III区N29、O28グリッド、SB47の西に位置する。4基のピットが等間隔に並んでおり、方位はN63° Eである。SP492・495では断面五平状の柱根が遺存していた。上屋をもつ建物の一部である可能性が高い。

第1節 遺構

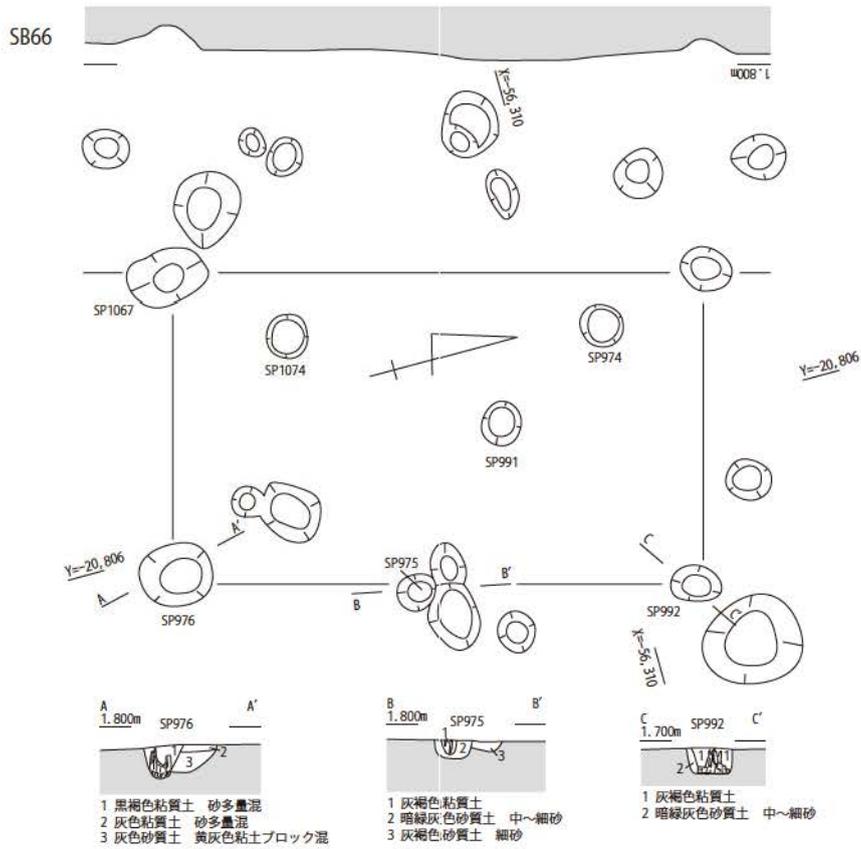
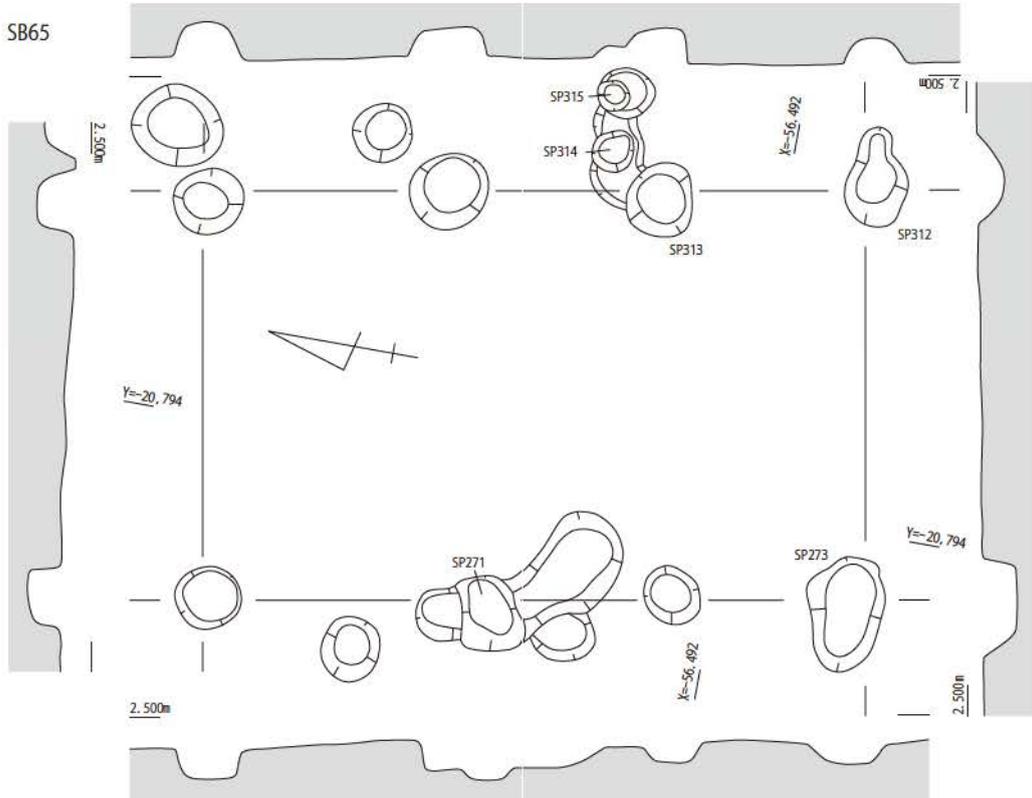


第178図 SB60・62実測図(縮尺1/50)

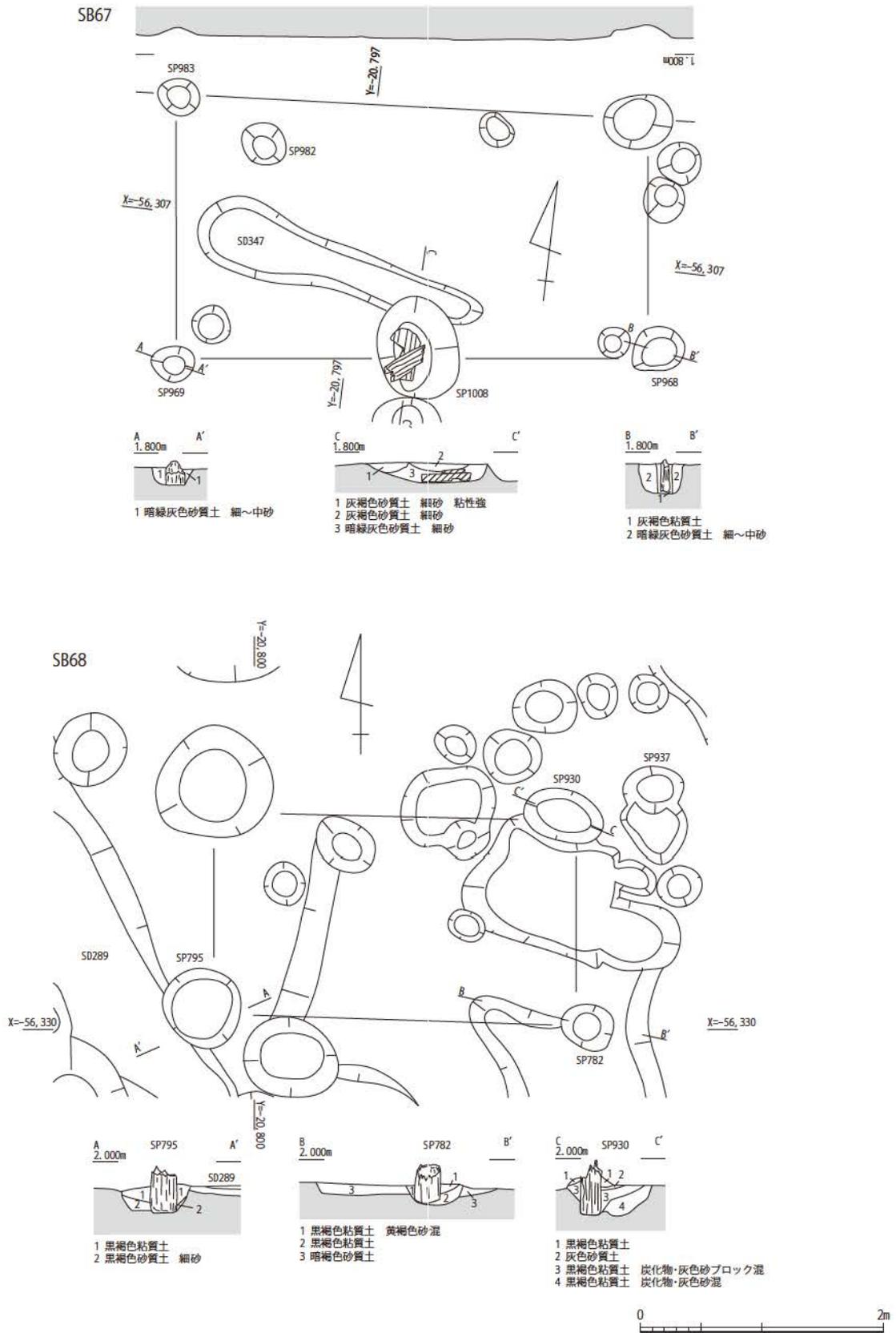


第179図 SB61・63・64実測図(縮尺1/50)

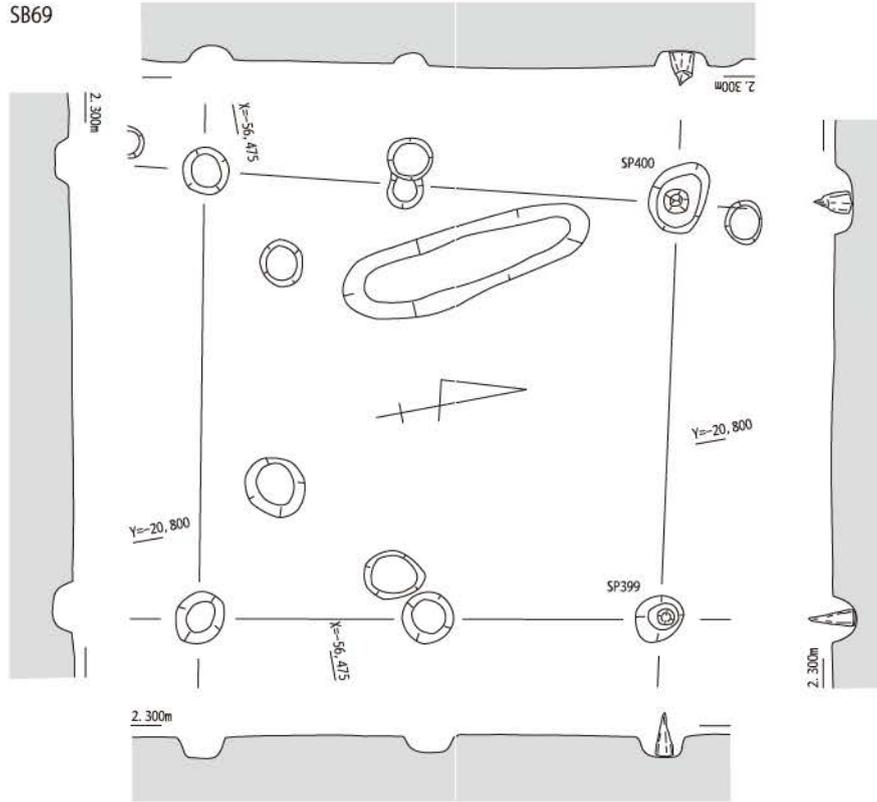
第1節 遺構



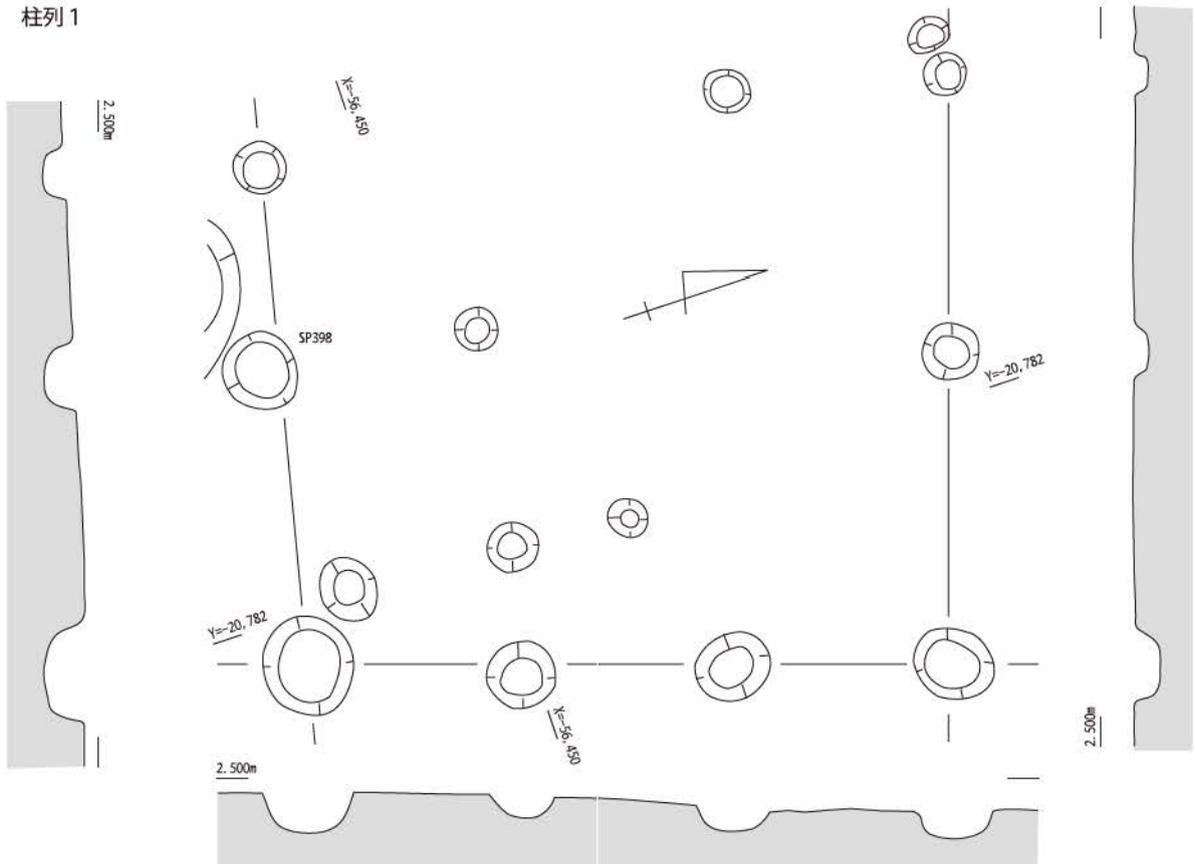
第180図 SB65・66実測図(縮尺1/50)



第181図 SB67・68実測図(縮尺1/50)

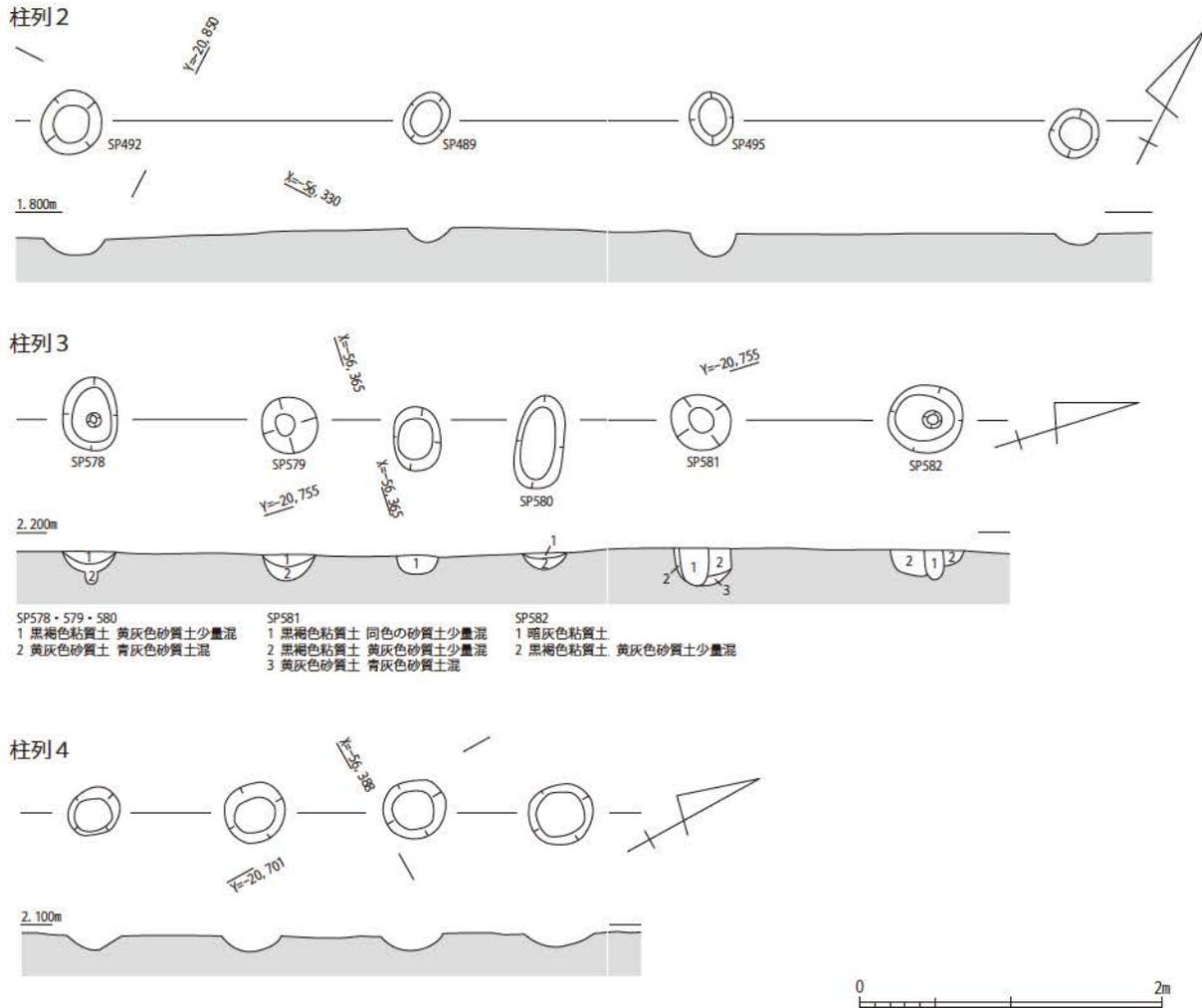


柱列 1



第182図 SB69・柱列1実測図(縮尺1/50)





第183図 柱列2・3・4実測図(縮尺1/50)

柱列3 (第183図) IV区G25グリッドに位置し、SB26の東辺と並列する。6基のピットからなり、方位をN18° Eにとる。ピット間は両端が広く、中央3間が狭い。また、中央部のピット2基はほかに比べて浅い。SP581・582の土層断面には径の小さい柱痕が認められ、SP578底面の痕跡からみても、設置されたのは杭状の材であろう。柵列の可能性が高いと考える。

柱列4 (第183図) IV区Z23グリッドに位置する。調査区東壁際で検出した4基のピットで、方位N30° Eに並ぶ。調査区外へ広がる掘立柱建物の一辺と推測される。

5 周溝建物

周溝建物と呼称するのは、おおよそ円形に巡る溝で区画された内部に多数のピットが認められる遺構であり、「平地(式)住居(建物)」と報告される場合が多い。すでに述べたように、本遺跡の主体をなす弥生時代の生活面は遺構確認面より上位に想定されることから、床面の垂直位置で建物を定義するのはそぐわないと考え、機能の面に言及できるだけの成果も得られなかったため、本書では単に遺構の特徴を表す呼称にとどめた。また、支柱配置については、区画内でバランスのとれた配置となるよう図上でピットを拾ったものであり、復元案の一つとして提示した。なかには、礎板が良好に遺存する事例も認められ、その配列はかなり蓋然性が高いものと考えている。なお、礎板の一部については年輪年代測定が実施され、伐採年代が明らかになったものもある(第5章第2節)。

今回確認した周溝建物は12基である。分布から大きく2つのグループに分かれ、墓域を挟んでSH 1～4が南側、SH 5～12が北西側に位置している。

SH 1 (第184図) II区G・H12・13グリッド、方形周溝墓ST 2・18の南西に位置する。平面形は東西方向にややつぶれた楕円形で、周溝内側の長軸約9m、短軸約8mを測る。周溝は西側で一部途切れている。6本の支柱配置を想定した。周溝区画内では、柱穴様を呈する多数のピットのほかに数基の土坑も認められるが、関連性は不明である。遺物は周溝から主に弥生時代後期の土器(第236図1～7)が出土している。

SH 2 (第185図) II区F11、G10・11グリッド、SH 1の南東に位置する。調査区外へ広がっており、半分程度を検出したものと考えられる。平面形は隅丸方形を呈するとみられ、周溝内側の調査区壁沿いで約8.6mを測る。周溝は西側で食い違い、途切れている。支柱配置は不明である。関連性は明らかでないがSP358から弥生時代後期の土器が出土している。

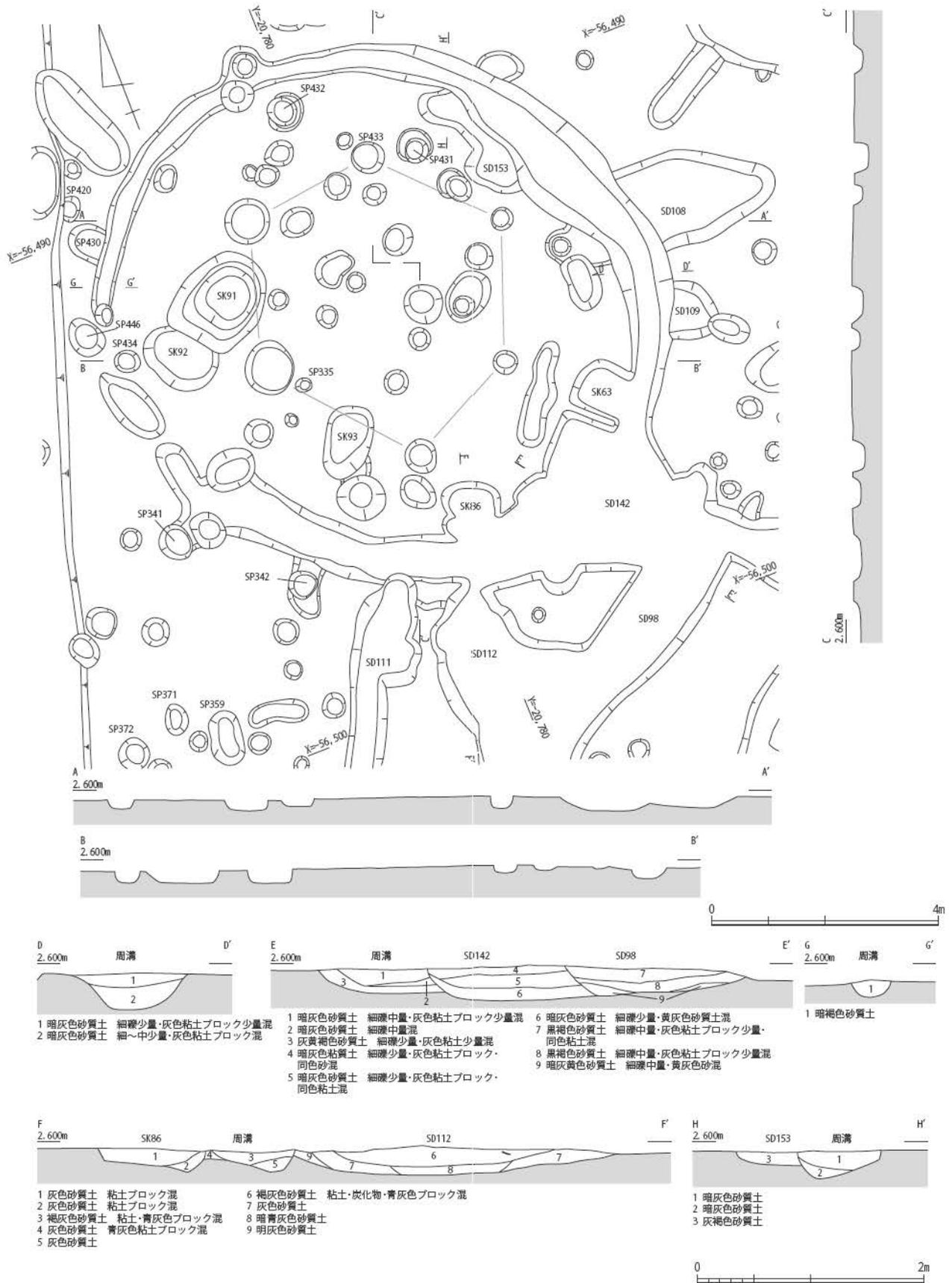
SH 3 (第185図) II区G・H10グリッド、SH 2の南西に位置する。東側が若干調査区外にかかっている。平面形は円形を呈し、周溝内側で径約5.5mを測る。周溝は東側で大きく途切れている。6本からなる支柱配置を想定した。SP362では礎板と考えられる板材が出土している。

SH 4 (第186図) II区F・G13グリッドに位置する。方形周溝墓ST 2・3・18と重複し、すべてに切られている。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約8mを測る。周溝は東側で途切れている。支柱配置は不明である。

SH 5 (第187図) VI区G・H28・29グリッド、方形周溝墓ST62の南に位置する。SD332を周溝とし、SH 6・8と部分的に重複する。平面形は隅丸多角形を呈し、周溝内側の対角線で約13mを測る。周溝は北側で大きく途切れている。支柱配置は明確でないが、中央部にある土坑SK190をとりまくようにピットの分布する状況がみられ、支柱穴となる可能性が高い。なお、SK190は検出面からの深さ約0.6mを測る大型の土坑で、遺物の出土はなく、堆積状況にも特記すべき点は認められない。重複するSH 6・8との新旧関係については、周溝SD332がSH 8の周溝SD331に間接的に切られており、それに先行することは間違いでない。一方、SH 6との間で周溝同士の切り合いは確認できないが、SK190をSH 6の周溝SD343が切っており、SK190がSH 5を構成する遺構であるとすれば、SH 6にも先行すると判断できる。遺物は主に周溝SD332から弥生時代後期の土器(第236図8～11)が出土した。

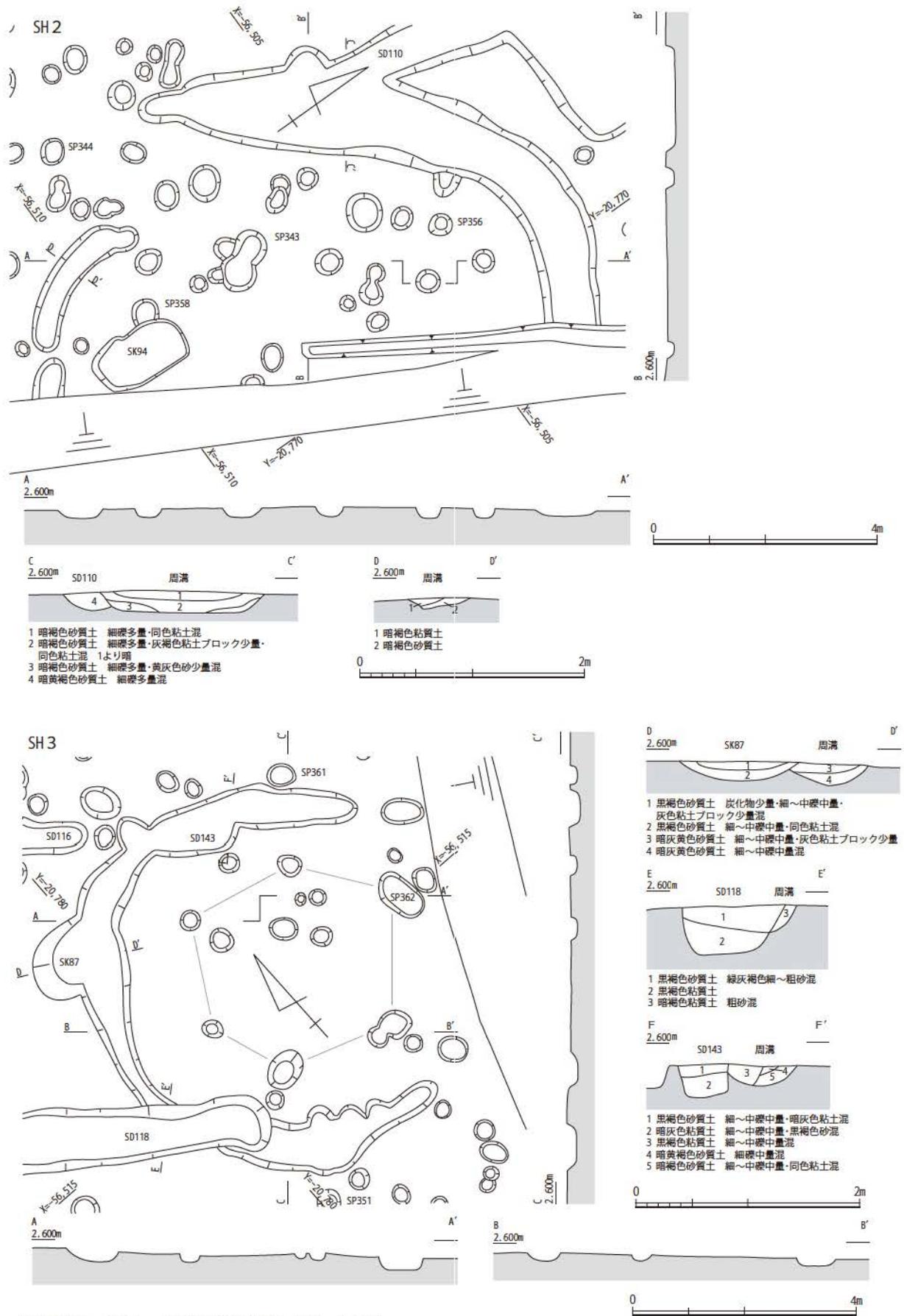
SH 6 (第187図) VI区G29、H・I29グリッドで検出したSD341・343を周溝とする建物である。周溝南半は削平されたものと思われる。平面形は円形をなすようであり、周溝内側の最大幅で約15mを測る。支柱穴は明らかでない。北側で方形周溝墓ST62、東西ではそれぞれSH 5・7と重複しており、これらに後出する。一方、SH 8とは、SD341がSH 8の柱穴SP946に切られており、これに先行すると判断できる。遺物は周溝を中心に弥生時代後期の土器(第236図12～23)が出土した。

SH 7 (第188～194図) VI区H・I28～30グリッド、SH 8周溝内側の東寄りに位置する。周溝はSD323で、南西に開口する。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約12mを測る。SH 8との新旧関係については、SH 8に伴う柱穴SP1025によって周溝SD323が切られており、これに先行すると判断できる。遺物は周溝から弥生時代後期の土器(第236図24～26)が出土した。また、周溝北東部で微細な骨片と焼土のブロックが認められた。支柱配置は明確でないが、年輪年代測定を実施した礎板のなかで、SP927に遺存したものが、配列からSH 8を構成すると想定したものより大幅に古い値を示しており、本建物に伴う可能性が考えられる。

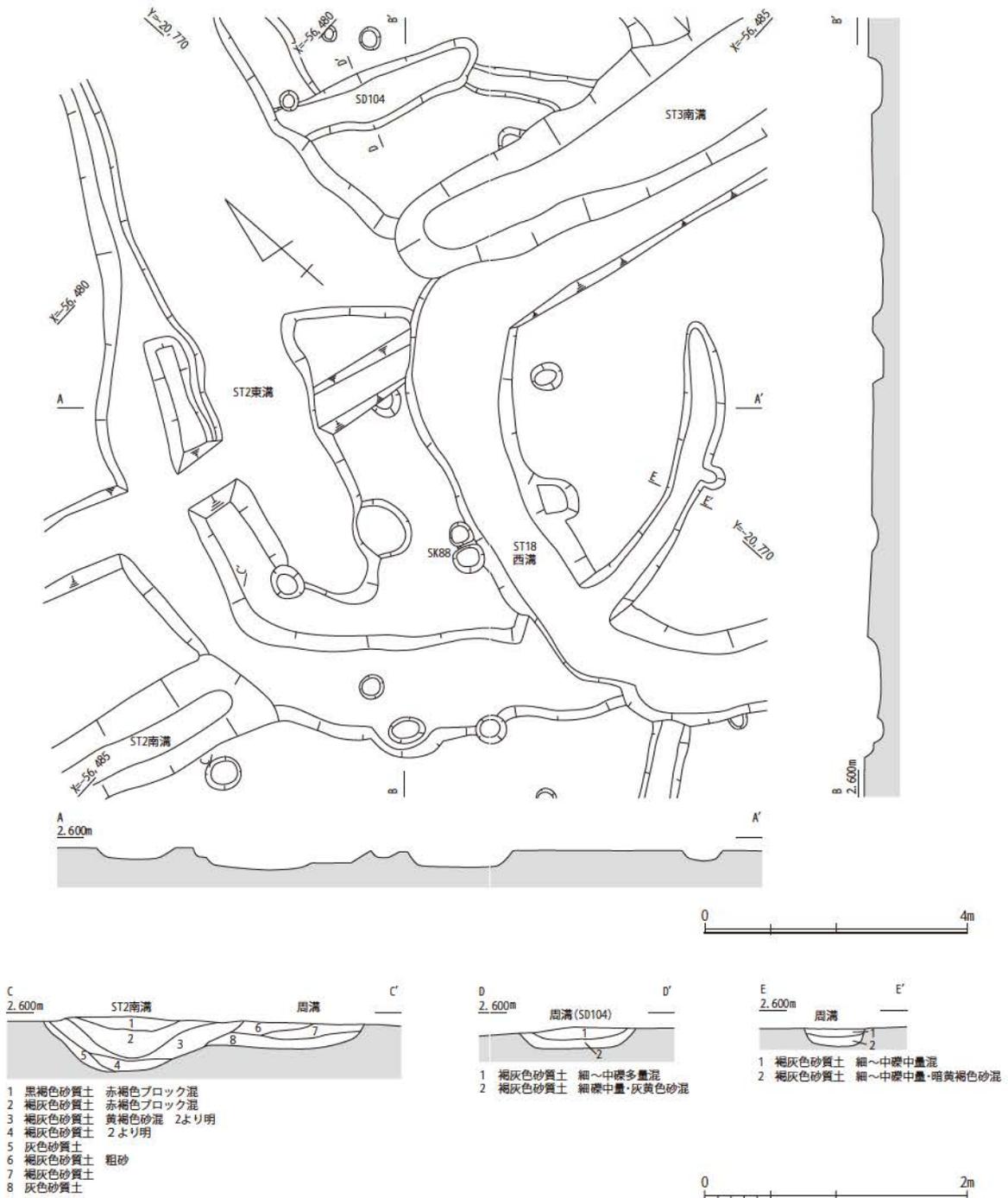


第184図 SH1 実測図(縮尺1/100 · 1/50)

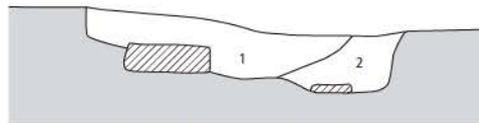
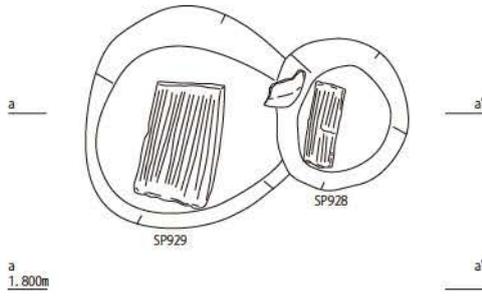
第1節 遺構



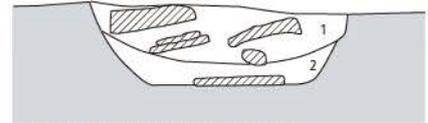
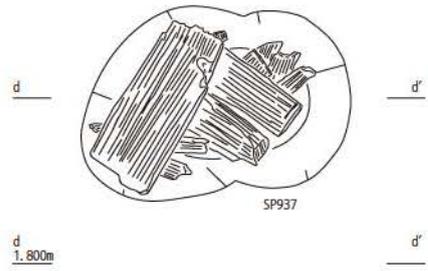
第185図 SH 2・3実測図(縮尺1/100・1/50)



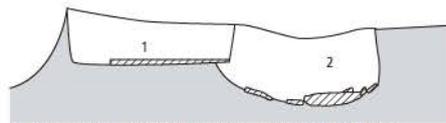
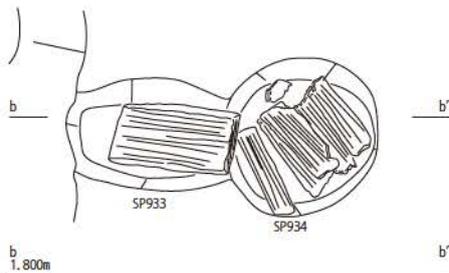
第186図 SH 4 実測図(縮尺1/100・1/50)



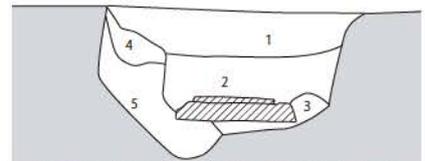
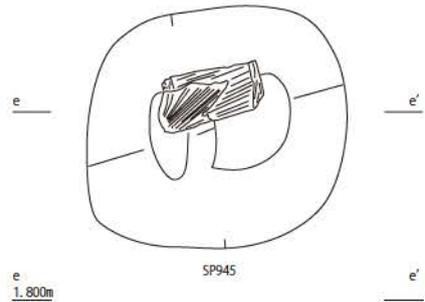
- 1 黒褐色粘質土 炭化物少量・灰オリーブ色砂質土ブロック混
- 2 黒褐色粘質土 灰色粘質土ブロック少量・灰オリーブ砂質土やや多量混



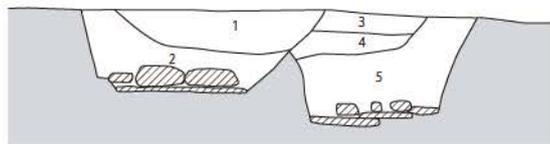
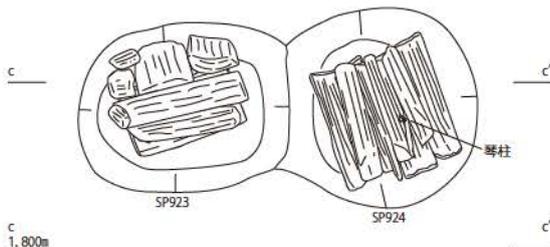
- 1 黒褐色粘質土 黄色砂質土ブロック少量混
- 2 黒褐色粘質土 黄色砂質土ブロック多量混



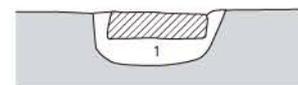
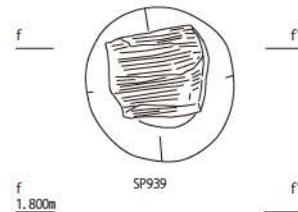
- 1 黒褐色粘質土 炭化物少量・灰オリーブ粘質土やや多量混
- 2 黒褐色粘質土 灰色粘質土ブロック・灰オリーブ砂質土混



- 1 黒色粘質土 炭化物少量・オリーブ色粘質土ブロック多量混
- 2 黒褐色粘質土 炭化物少量・オリーブ色粘質土ブロック少量混 1より暗
- 3 灰オリーブ色砂質土 黒褐色粘質土ブロック少量混
- 4 オリーブ色粘質土 黒褐色ブロック少量混
- 5 黒褐色粘質土 オリーブ色粘質土ブロック多量混



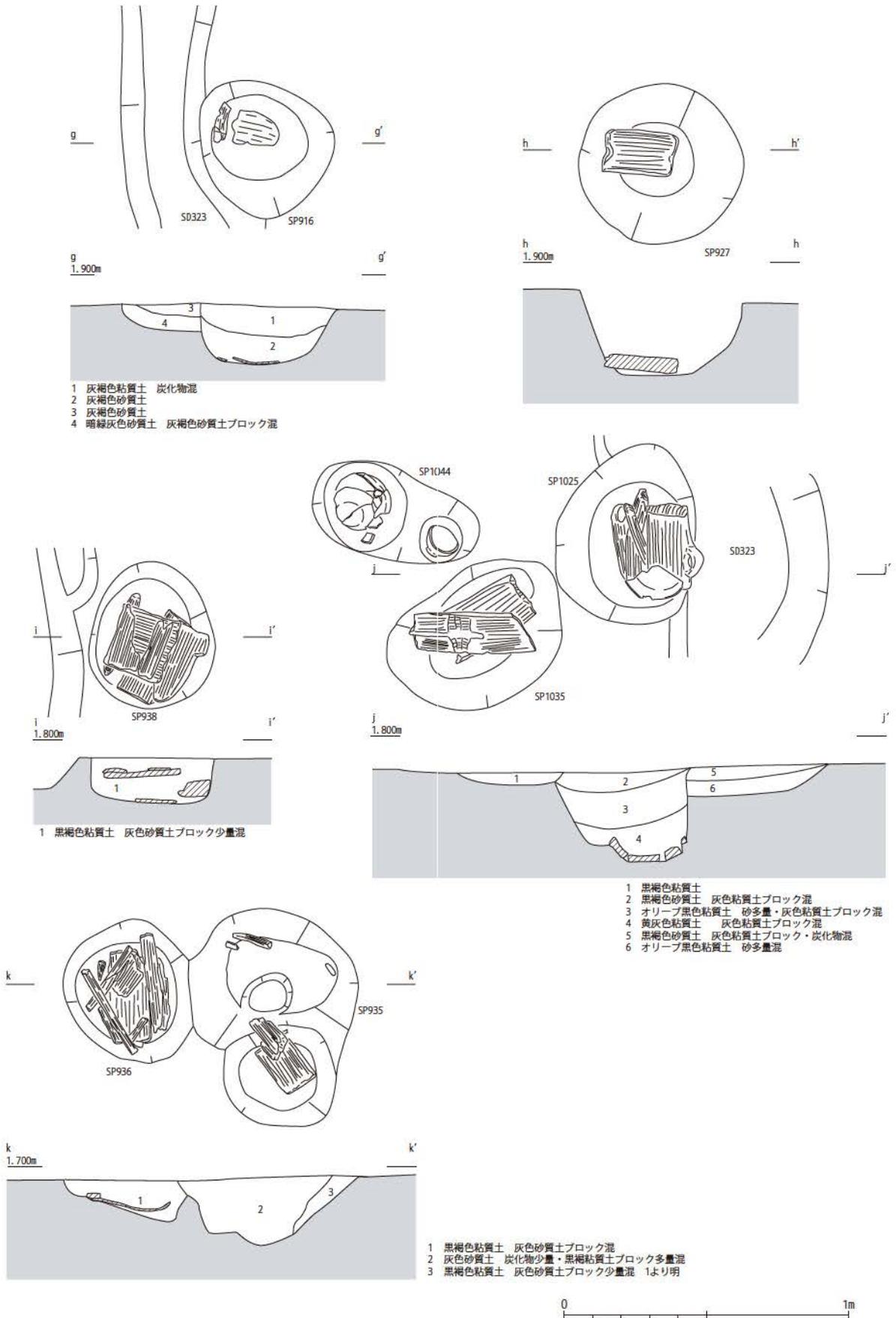
- 1 黒色粘質土 灰色砂質土少量混
- 2 灰色砂質土 黒色粘質土ブロック混
- 3 黒褐色粘質土 灰色粘質土ブロック混
- 4 黒褐色粘質土 灰色砂質土多量混
- 5 黒色粘質土 灰色砂質土少量混



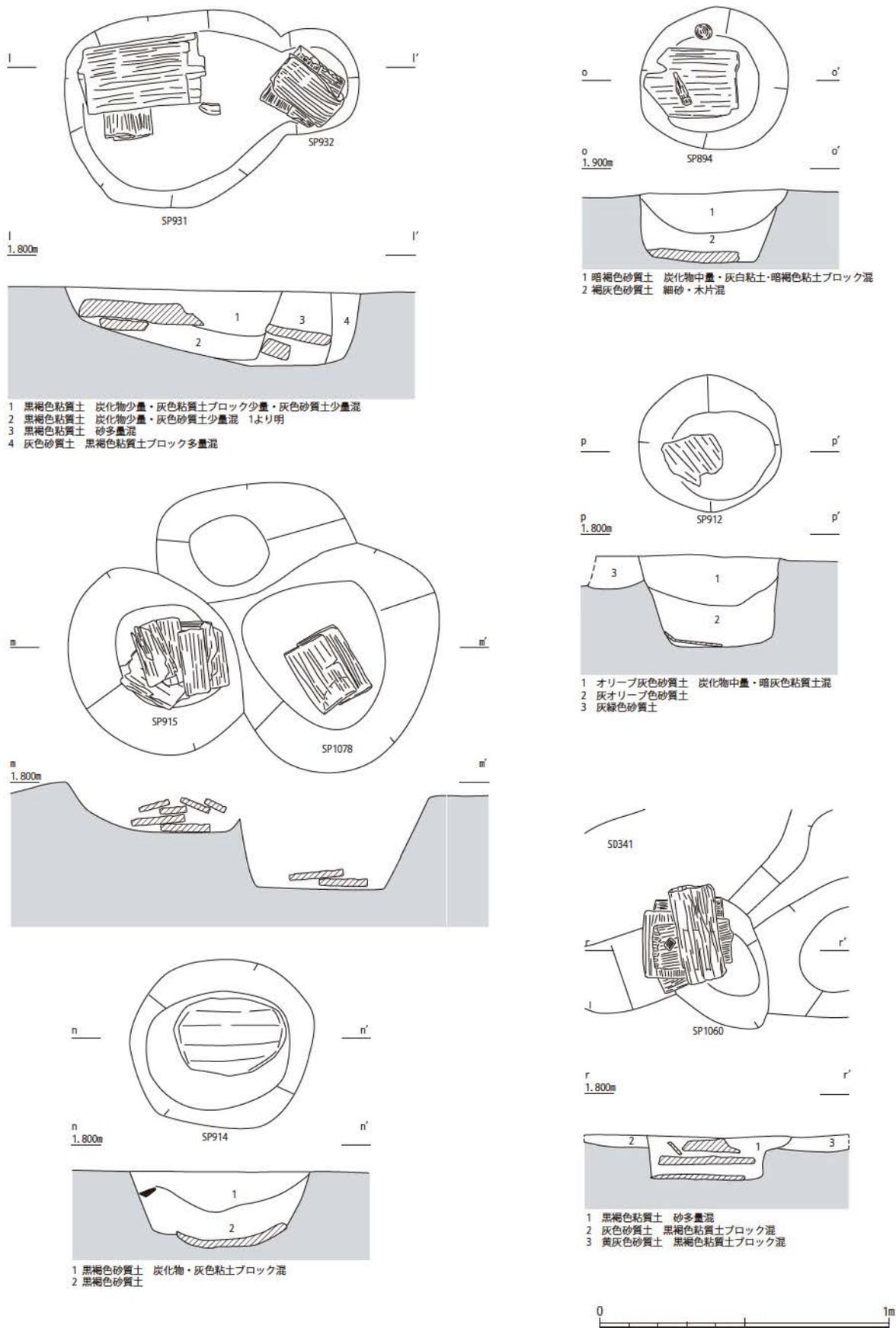
- 1 黒褐色粘質土 オリーブ色粘質土少量混



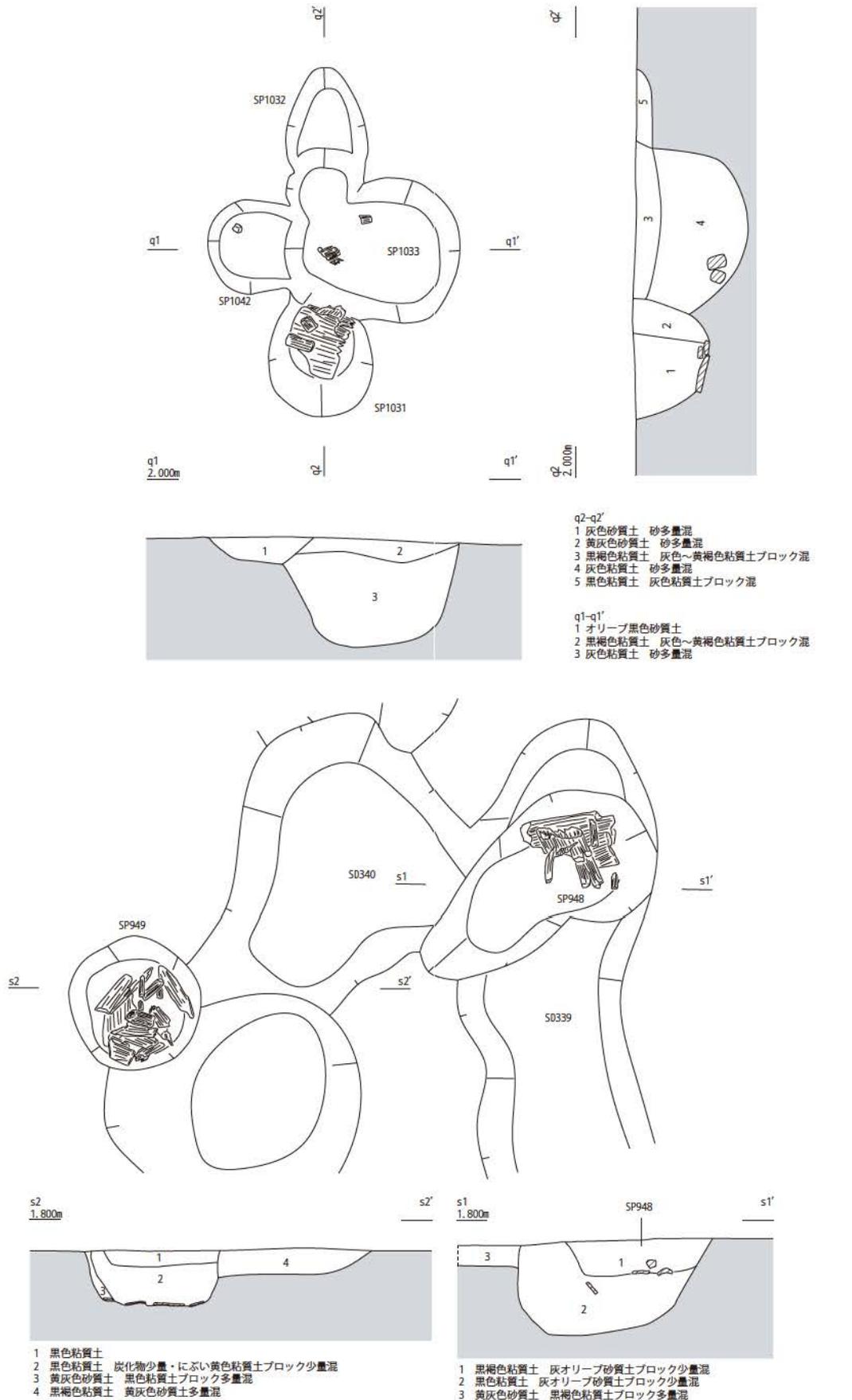
第189図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



第190図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



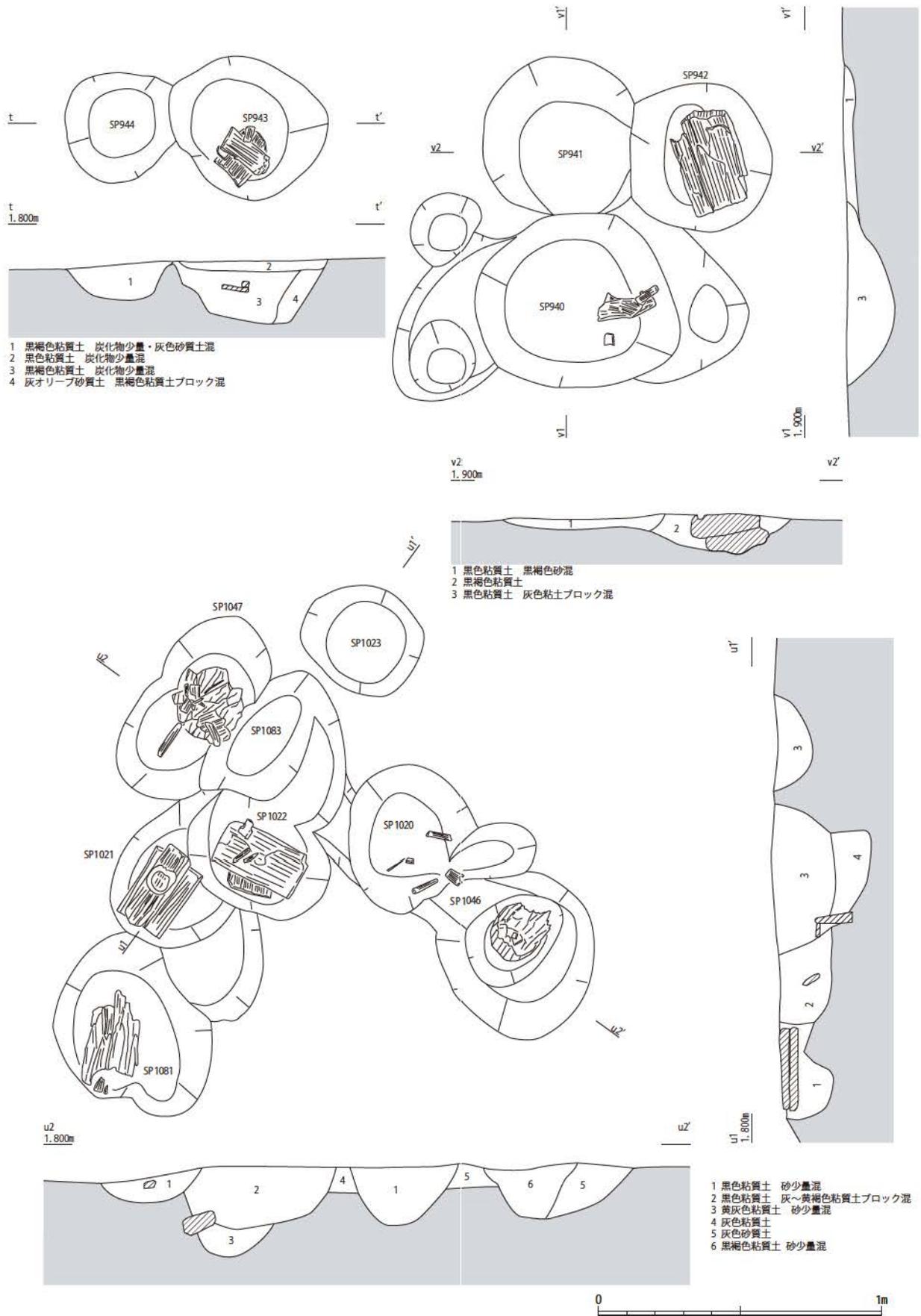
第191図 SH 7・8 柱穴実測図(縮尺1/20)



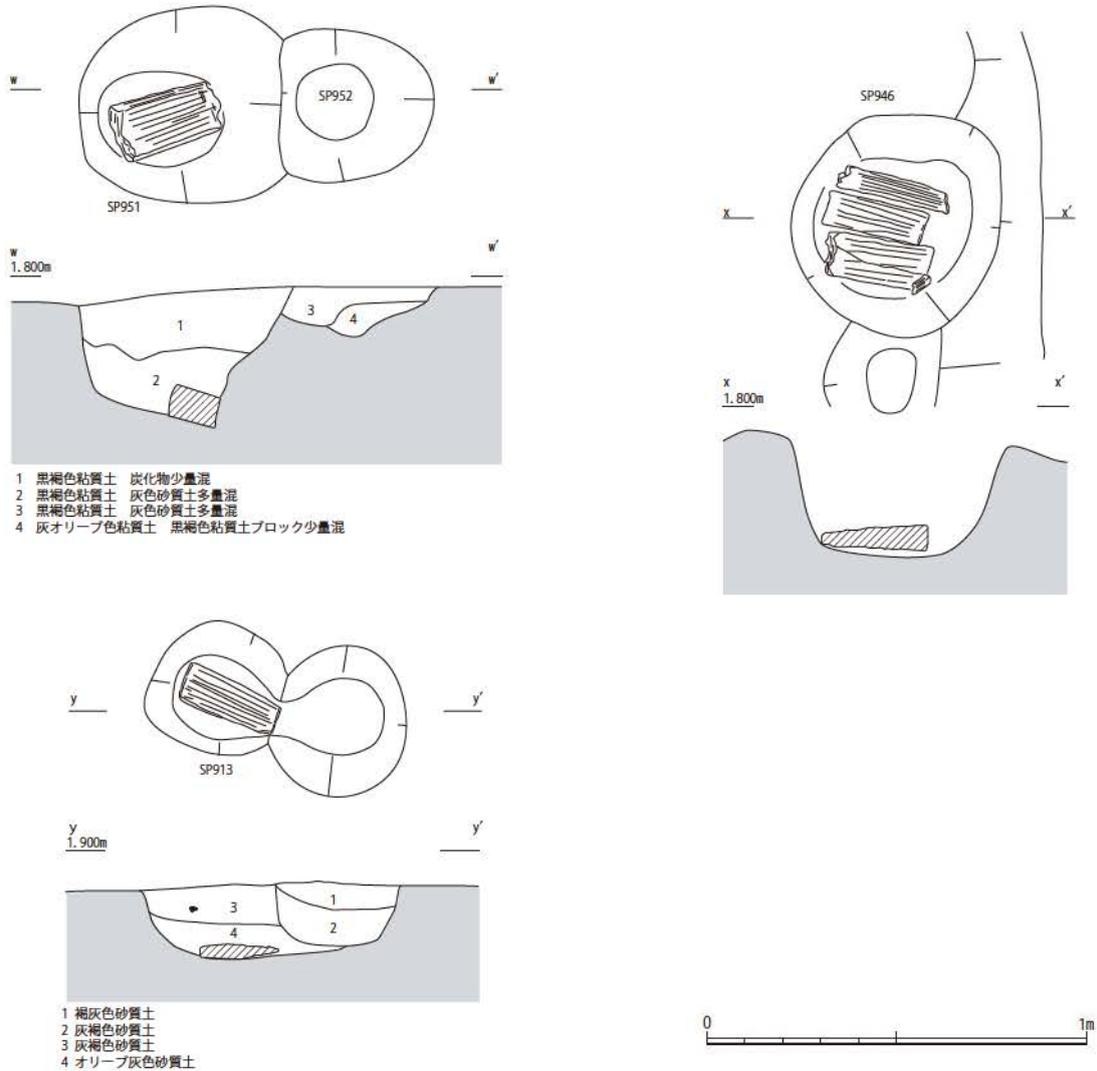
第192図 SH 7・8 柱穴実測図(縮尺1/20)



第1節 遺構



第193図 SH 7・8 柱穴実測図(縮尺1/20)



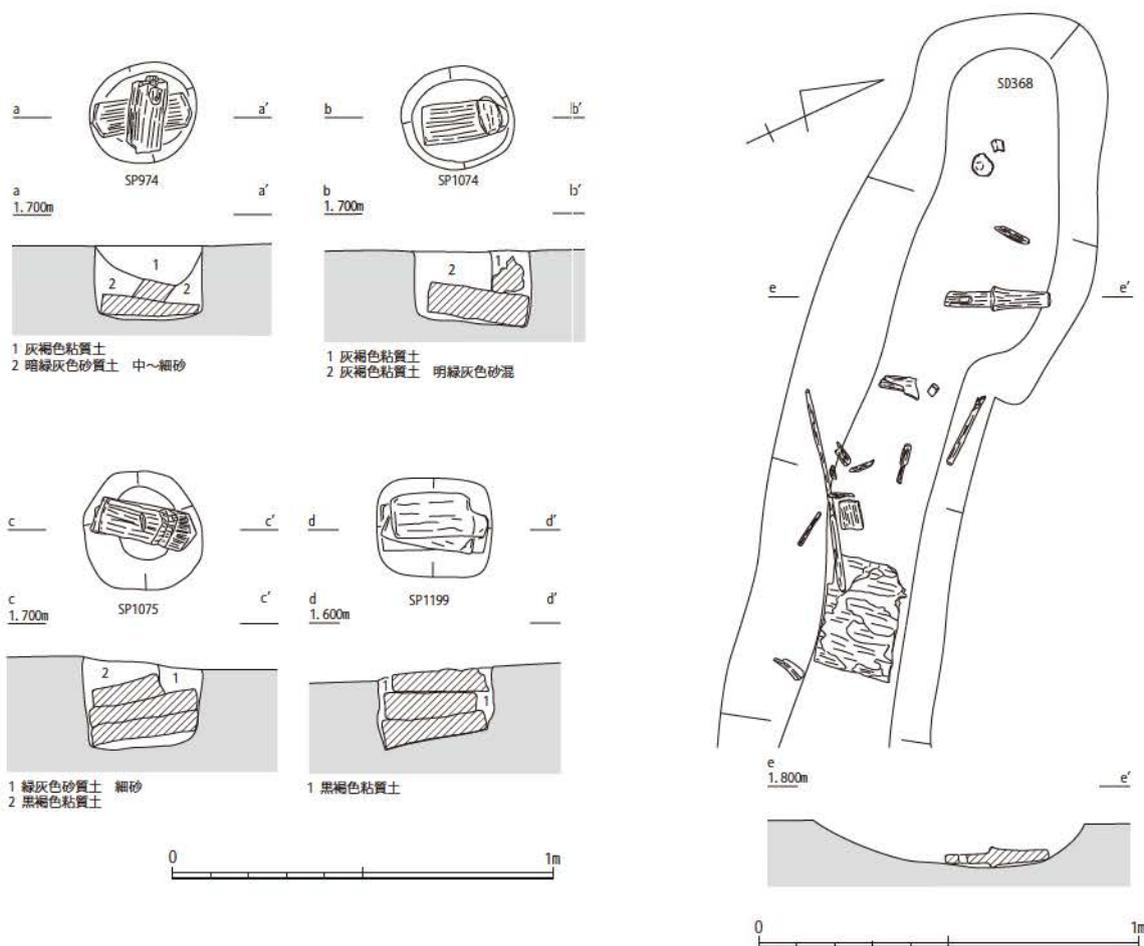
第194図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)

SH8 (第188~194図) IV・VI区H~J28~30グリッドに位置する。方形周溝墓ST62の南西に接し、これを切っている。また、既述したように重なり合うSH5~8のなかでは最も後出の建物である。周溝はSD289・333、SD300・331で、南北の2箇所で開催する。なお、それぞれはIV区とVI区で遺構番号を違えたものであるが、いずれも一連の溝である。平面形は円形を呈し、周溝内側で約19mを測る。周溝内側では礎板が遺存する多数の柱穴を検出し、それを基準に外周10本、内周5本となる2重の支柱配列を認めた。外周・内周共に建て替えが行われており、柱穴の切り合い関係から全体をわずかに西へずらしたものと判断できる。検出した柱穴の数からすれば、建て替えはこれにとどまらないであろう。礎板は安定を図るためか複数枚を重ねたものが多く、一部は建て替えに伴うとも考えられる。また、SP1021の礎板(第307図6)には建てられた柱の痕跡とみられる径10cm程の円形圧痕が観察される。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器(第237図1~21)が出土した。そのほか柱穴SP924では礎板の直上で琴柱(第295図2)が、SP1022では石包丁(第280図7)が出土した。礎板の一部は年輪年代測定が行われ、外周の柱穴SP929の礎板(第307図4)については伐採年代で84A.D.という値が示されている。

第1節 遺構



第195図 SH9全体・土層断面図(縮尺1/100・1/50)



第196図 SH9柱穴・遺物出土状況実測図(縮尺1/20)

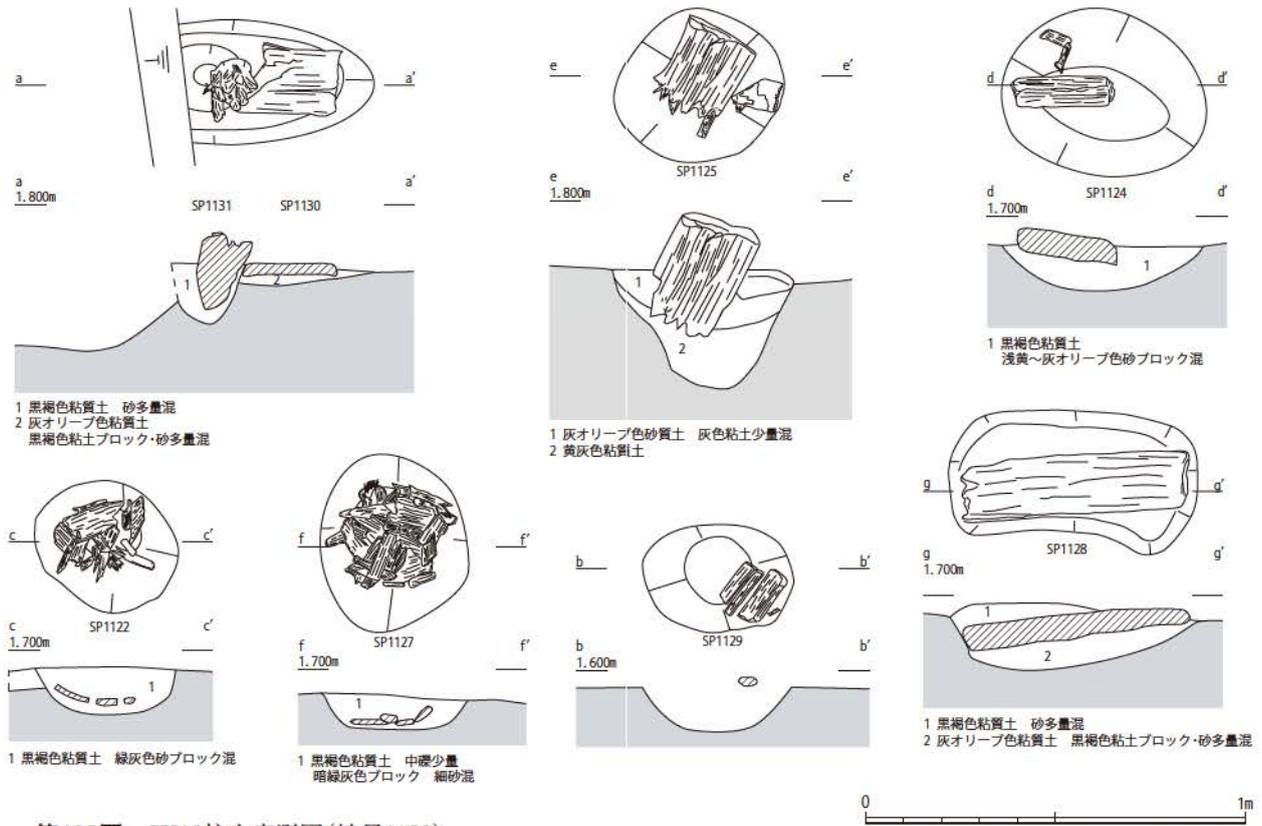
SH9 (第195・196図) VI・VIII区J・K30・31グリッド、SH8の北西に位置する。周溝はSD334・335・346・353・368である。二重になっており、外側のSD334を内側のSD335が切っていることから、再掘削が行われたと考えられる。いずれの溝も浅く、所々途切れており、西側ではほとんど検出できなかった。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約10mを測る。中央付近に礎板を残す柱穴が4基認められ、支柱穴と想定した。さらに、その周りを囲むように五角形の配置となるピットを抽出でき、これらも建物を構成する柱穴と考えられる。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器(第237図22~25)が出土している。また、SD368では支脚様の木製品(第300図14)が出土した。

SH10 (第197・198図) VIII区M・N31・32グリッドに位置し、一部調査区外へ広がる。SD355・370を周溝とする。周溝は南西で一部途切れ、北東部では検出できなかった。平面形は多角形を呈し、周溝内側の最大幅で約10.5mを測る。支柱穴は六角形となる配置を想定したが、それ以外にも礎板の遺存する柱穴は複数認められる。また、想定した支柱配列の北東やや外側に位置するSP1108から、断面三角形の木材(第301図6)に編物様の材が被さって出土した(図版第80)。屋根材の可能性はある。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器が出土した。また、同溝からは棒・板材も多く出土している。

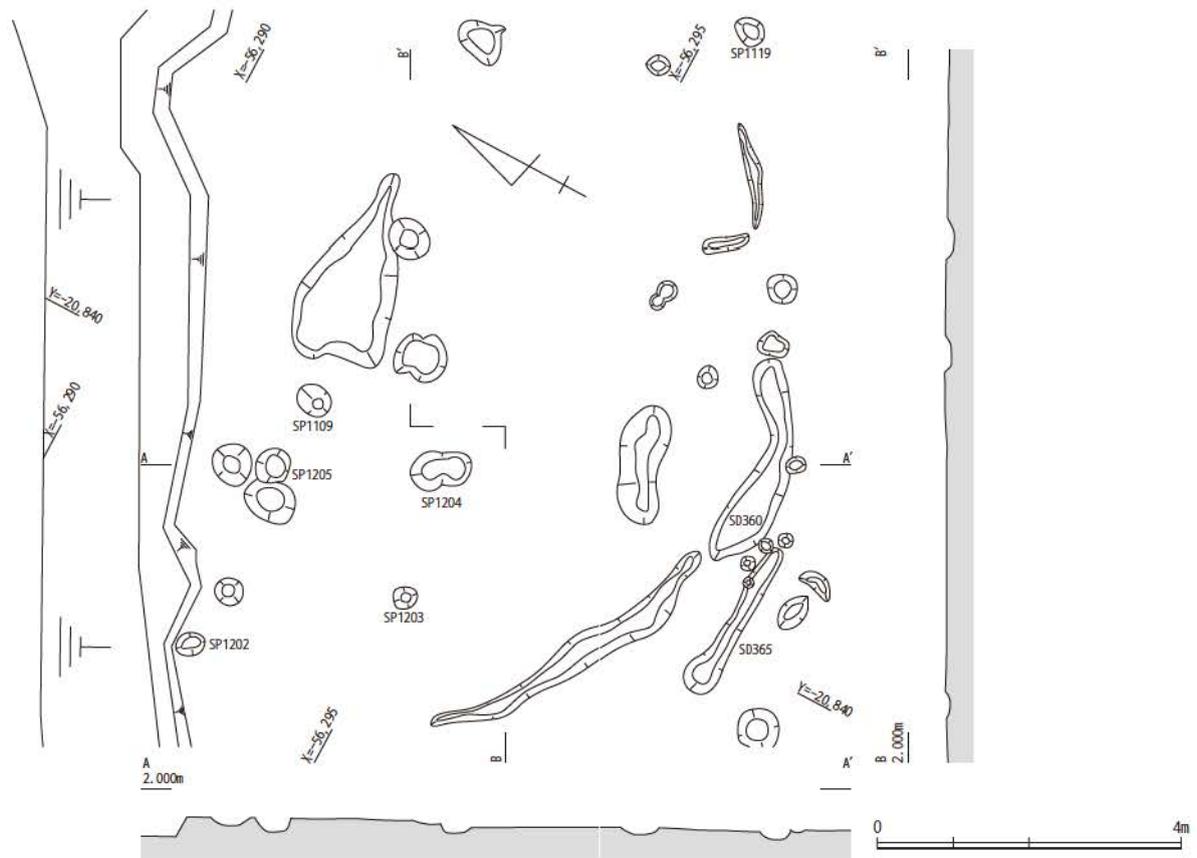
第1節 遺構



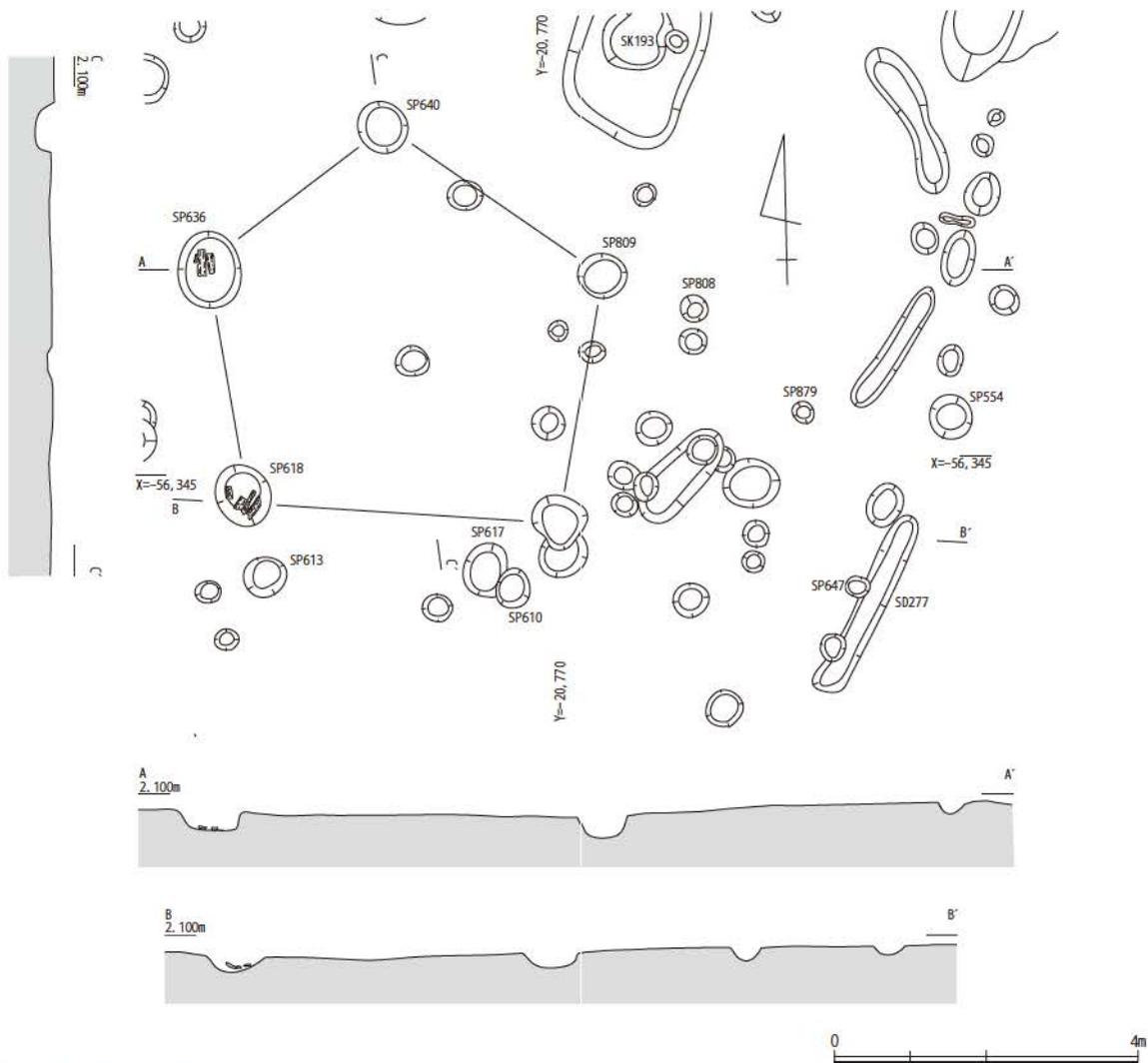
第197図 SH10全体・土層断面図(縮尺1/100・1/50)



第198図 SH10柱穴実測図(縮尺1/20)



第199図 SH11実測図(縮尺1/100・1/50)



第200図 SH12実測図(縮尺1/100)

SH11 (第199図) Ⅷ区L・M32グリッド、SH10の北東に位置する。SD360を周溝と考えたが、断片的にしか検出できず、認定に不安を残している。平面形を円形に復元すれば径約9mとなる。主柱穴は不明で、礎板を残す柱穴も認められない。SP1202～1204の3基では断面五平状の柱根が遺存していたが、同様の柱は掘立柱建物に用いられ、ほかの周溝建物では皆無であることから、伴う可能性は低いと考える。遺物はSD360から弥生時代後期の土器(第237図26・27)が出土した。また、同溝では多数の棒・板材を検出し、なかには炭化したものも認められた。

SH12 (第200図) Ⅳ区F・G27グリッドに位置する。周溝は明確でないが、礎板を検出したSP618・636を基準に五角形となる主柱配置を認め、周溝建物と類推した。柱列の東方にSD277などの溝が断片的ながら弧状をなしており、周溝の一部である可能性が高い。

6 井戸

井戸として報告する遺構はSE1・2およびSK3の3基である。SK3は現地調査において性格不明の土坑として処理していたが、後に類例を検索するなかで、特殊な施設を備えた井戸と認識するに至った。また、これら3基のほかに、Ⅱ区F20グリッドで平面円形の木組井戸を確認している。調査期間の制約から十分な調査を行い得ず、詳細を明らかにすることはできなかった。掘削された層位や埋土から中世

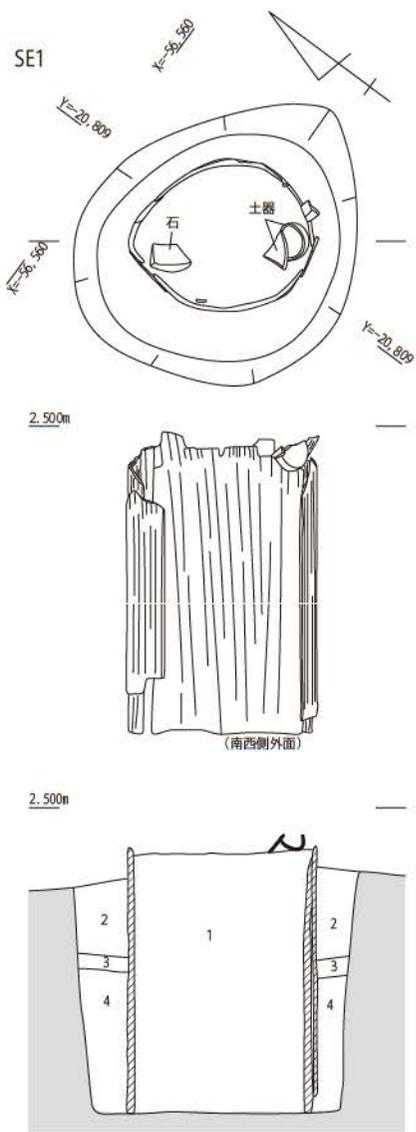
以降の所産と判断している。

以下、個別に説明する。なお、分類や用語は（宇野1982）に従った⁽¹⁾。

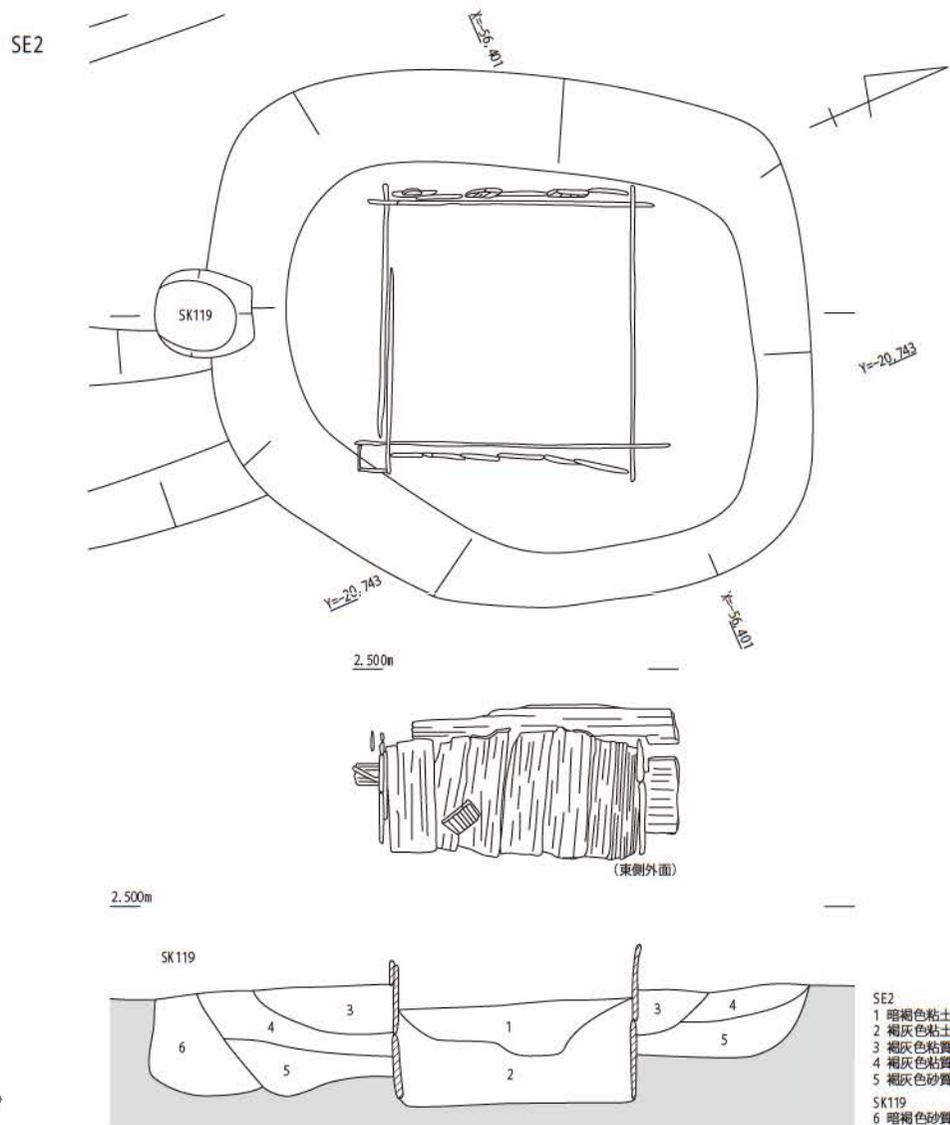
SE1（第201図） I区J5・6グリッドに位置する木組井戸である。井戸側は腐朽がかなり進んでいたが、丸太を分割して削り抜き、それを組み合わせた構造と考えられる。規模は内法で長軸0.45m、短軸0.37m、残存高は約0.8mを測る。削り抜いた材同士を固定する装置は認められないが、隙間を塞ぐように縦板が数枚外側に設置されていた。掘形は歪な円形を呈し、長軸0.85m、短軸0.7m、深さ0.63mを測る。底面は基盤層下部の礫層に達し、湧水が著しい。なお、調査時にもこの湧水に悩まされ、半截断面の写真撮影前に残りの埋土が崩落してしまった経緯がある。遺物は井戸側内の検出面上で弥生時代後期後葉～終末期に比定される鉢（第238図1）が出土した。また、井戸側内の埋土は検出面から底面に至るまで同質の粘質土であり、遺物は出土しなかった。

SE2（第201図） IV区D21グリッド、方形周溝墓ST33の墳丘部に位置する木組井戸である。井戸側は横板井籠組で、長辺両端に溝状の切り込みをつけて組み上げる構造である。さらに東・西面にのみ横板外面に接して縦板が打ち込まれていた。平面形はほぼ正方形で、内法一辺0.62～0.64m、残存高約0.4mを測る。各面とも2段目までが遺存していた。1段目の横板は、北・南面が上部のみに切り込みをもち、その上から上下に切り込みをもつ東・西面の板が組み合う（第311図）。その際、切り込みの深さが板幅に対して十分でないため、東・西面の横板と掘形底面との間に隙間が生じる。付設された縦板はそれに対応したものであろう。掘形はやや胴の張る隅丸長方形の平面形をもち、長軸約1.6m、短軸約1.4mを測る。底面は井戸側の設置箇所が段状に落ち込み、検出面からの深さ約0.3mを測る。遺物は、井戸側の外、掘形検出面で7世紀代に位置付けられる須恵器の甕と大型鉢（第238図2・3）が出土している。また、井戸側内では、検出面直下で曲物底板（第293図3）が出土したほか、長径10～15cmを測る数個の自然礫が検出面直下から底面にかけて認められた。

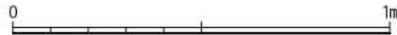
SK3（第202図） I区J3グリッド、総柱建物SB1の東に隣接する。溝SD22の立ち上がり斜面で平面プランを認識した。平面形は径0.7m前後を測る円形を呈する。掘形の南側、SD22立ち上がり斜面部分ではほぼ垂直に落ち、SD22の底面下約0.25mに達している。SD22の検出面からは深さ約0.74mを測る。一方、SD22中央寄りの壁はオーバーハングしているが、これは湧水によるものであろう。底面には一辺約0.5mの方形に細く浅い溝が巡り、その区画に収まるように大量の小円礫が集積していた。円礫の層は厚さ約0.2mで、上面には大粒の炭化物が敷かれていた。円礫層が立方体をほぼ保っていたことから、その周囲には側板が設置されていた可能性が高く、底面を巡る溝はその設置痕跡と考えられる。板そのものについては、以下に述べるように木製遺物が良好に遺存する堆積環境においてそれのみ完全に腐朽・消失したとは考えにくく、施設廃絶時に抜き取られたとみている。この円礫を詰めた方形区画は湧水を濾過する目的で構築された施設であり、さらに木炭を敷くことで浄水を図ったものと考えられる⁽²⁾。井戸全体の構造としては、下部施設に側板が設置された可能性が高いことや、掘形南側がほぼ垂直を保っていることから、本来は木組井戸であり、井戸側は廃絶時に抜き取られたと推測できる。井戸側の撤去と間をおかず埋められたため、地盤が砂質であるにもかかわらず形状が維持されたのであろう。遺物は、円礫・炭化物層の直上で弥生時代後期後葉の壺口頸部（第239図2）と蔓製品（第300図5）が折り重なって出土した。また、その上部で釣瓶などの木製品（同図1・2）が出土している。SD22との新旧関係については、その掘形を検出してはじめて確認できたことから、それに先行する可能性が高いと考えるが、断定はできない。



- SE1
 1 暗青灰色粘質土 粗砂混
 2 灰色砂質土 粗砂
 3 暗オリーブ灰色砂質土 粗砂
 4 灰色砂質土 粗砂

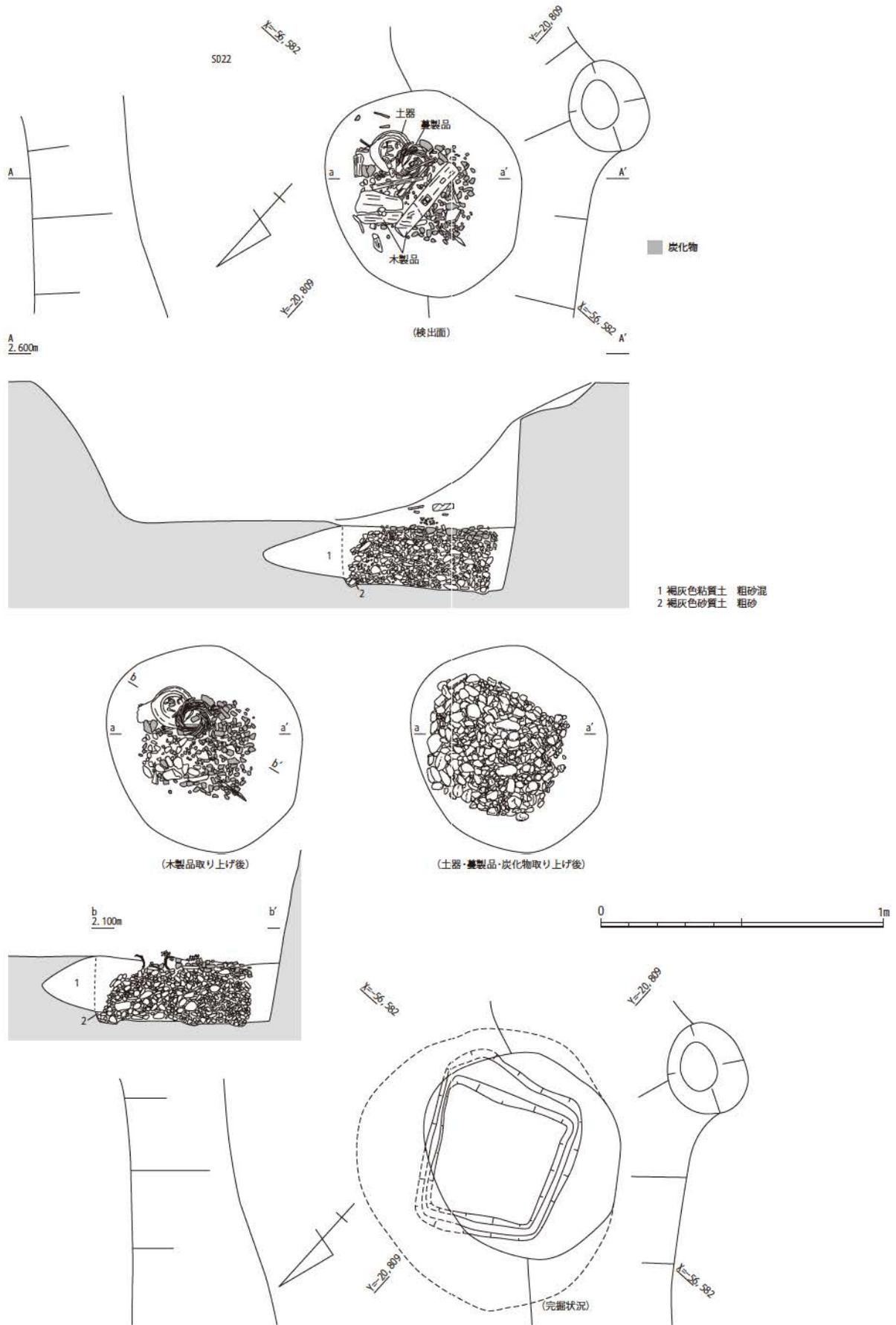


- SE2
 1 暗褐色粘土 細礫少量混
 2 褐灰色粘土 細礫・細砂少量混
 3 褐灰色粘質土 暗褐色砂質土 多量混
 4 褐灰色粘質土 暗褐色砂質土 多量混
 5 褐灰色砂質土
 SK119
 6 暗褐色砂質土

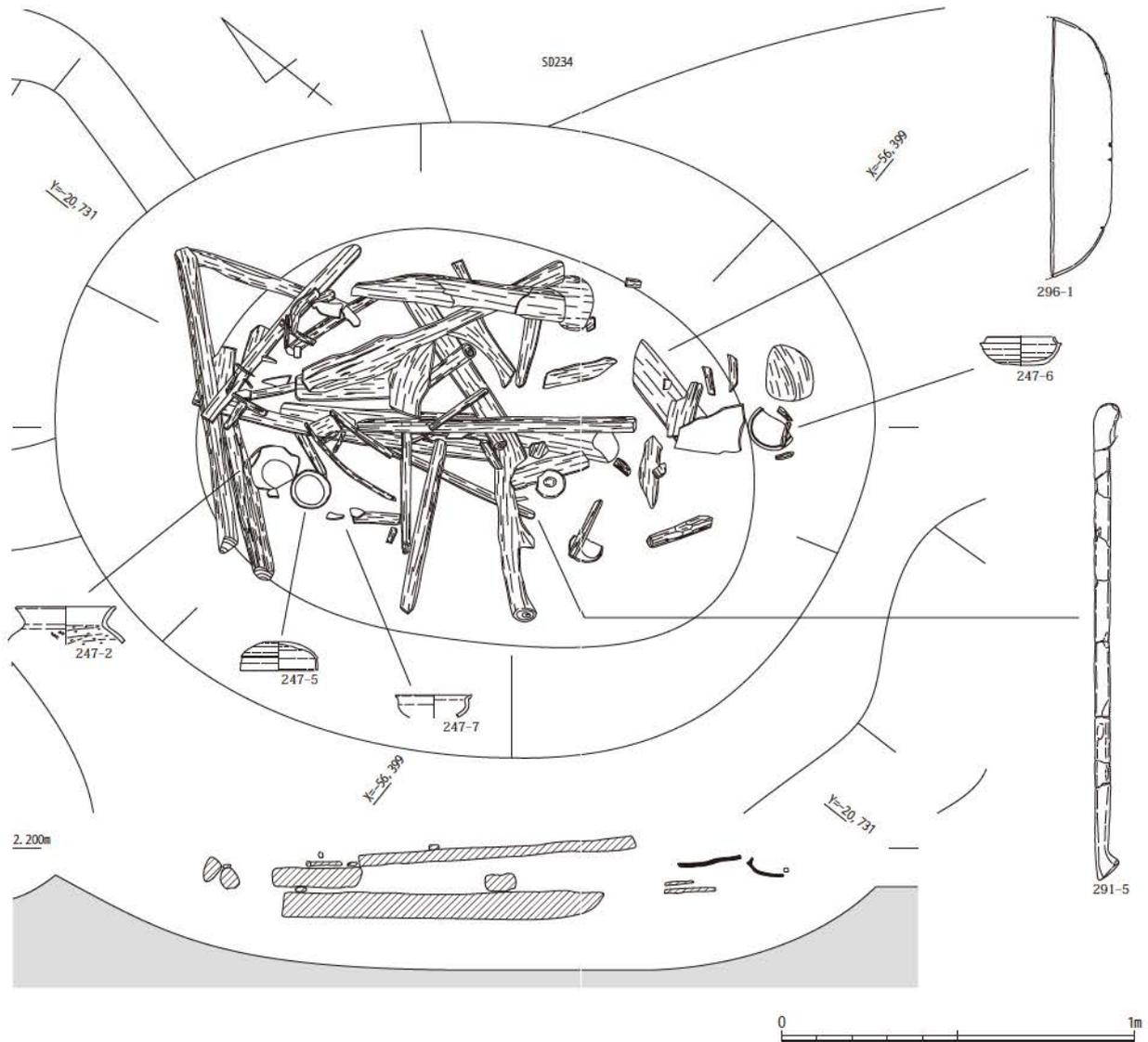


第201図 SE1・2実測図(縮尺1/20)

第4章 遺構と遺物



第202図 SK 3 実測図(縮尺1/20)



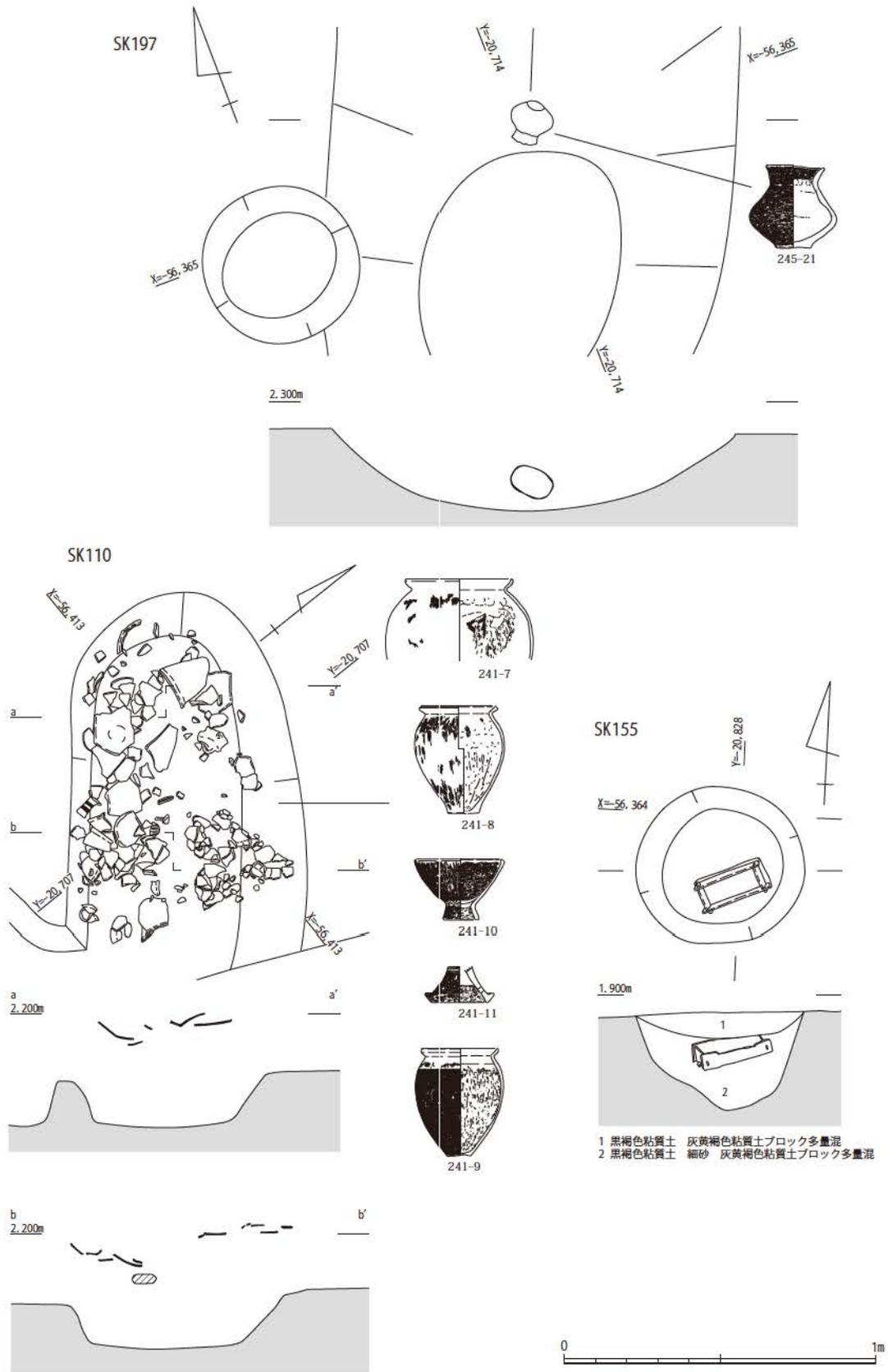
第203図 SK107実測図(縮尺1/20)

註

- 1 宇野隆夫 1982 「井戸考」『史林』第65巻 第5号 史学研究会
- 2 鐘方正樹 2003 『ものが語る歴史8 井戸の考古学』同成社

7 土坑・ピット

土坑 (SK) とピット (SP) の区分は、柱根の存在などから明らかに柱穴と判断されるもの、およびそれに類する形状・規模の遺構をピット、それより平面規模が大きい遺構で、埋葬施設 (SX) や井戸 (SE) を除いたものを土坑として記号番号を付した。したがって、規模については数値による基準がなく、客観的な区分にはなっていない。また、記号番号は基本的に遺物や柱根・礎板が出土したのものに限って与えた。そのなかで、本項では特記すべき遺物の出土状況を示す遺構についてのみ取り上げ、そのほかの主な遺構については一覧表 (第7・8表) の提示にとどめる。



第204図 SK110・155・197実測図(縮尺1/20)

SK107 (第203図) IV区B・C22グリッドに位置する。平面形が楕円形を呈する大型の土坑で、長軸2.3m、短軸1.8m、検出面からの深さ0.25mを測る。6世紀前葉に位置付けられる須恵器や土師器(第247図2～7)と共に多数の木製品が出土した。木製品のなかには鎌柄などの製品(第291図5、第296図1)も認められるが、大半は何らかの機能を付すような加工をもたない棒材・角材といったものである。長大な材が目立つほか、長さ30～50cm程に分断された断面扇形の材がまとまっている。

SK155 (第204図) IV区L25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、直径約0.5m、深さ約0.3mを測る。下層に砂質土、上層に粘質土が堆積しており、砂質土の上部から組合式の箱(第294図)が出土した。

SK109 IV区Z・A20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、直径約0.8m、検出面からの深さ約0.1mを測る。検出面より上位で弥生時代前期の土器(第241図3～6)が多数出土した(図版第85)。

SK110 (第204図) IV区Z20グリッド、調査区東壁際で検出した。調査区外へ延びており、溝状になる可能性もある。検出面より上位で弥生時代中期後半の土器(第241図7～11)が多数出土した。

SK197 (第204図) IV区A25グリッド、方形周溝墓ST45の墳丘に位置し、北側を方形周溝墓ST29西溝に切られている。弥生時代前期の完形の壺(第245図21)が出土した。

8 溝・旧河道

溝・旧河道は遺物を出土したもののだけで300条以上を検出した。SD番号を付したなかには、後に方形周溝墓の周溝と認め、欠番としたものもある。

以下には遺物出土状況図を示した溝のほか、集落域内を区画するなど、特に注目すべき溝および旧河道について記述する。そのほかの主な遺構については一覧表の記載にとどめた(第9表)。

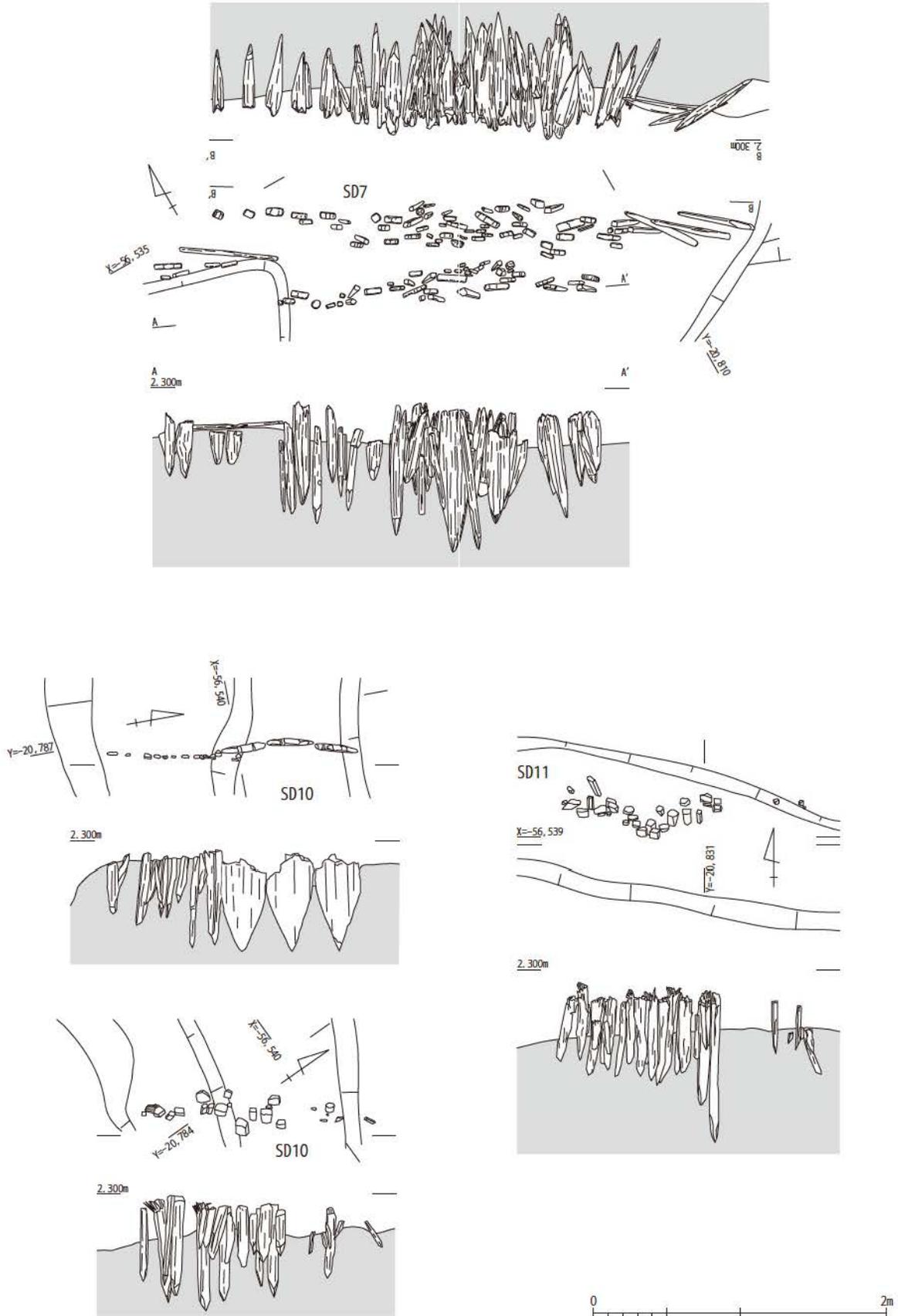
1) 溝

SD6～14・17・18・19・31 (第205・206図) I区H～L6～8、M8グリッドで検出した東西方向の溝群である。SD19は緩やかに蛇行しているが、そのほかの溝は直線的に並走する。切り合いからSD31→9・10・11→7→6・8およびSD12→13→19という新旧関係が捉えられる。埋土は主にシルトと砂からなり、下層ほど砂が粗い傾向にある。また、未分解の植物を多く含む。溝底の標高はおおむね東側が高いことから、西へ向かう水流があったと考えられる。SD7・10・11・19では多数の杭が列状に打ち込まれた箇所を検出した。SD7・11の杭列は溝に斜交するもので、SD7では2列の杭列が「ハ」字をなしている。一方、SD10・19の杭列は溝にほぼ直交するもので、SD10では近接して2列検出した。なお、SD7の杭には年輪年代測定を行ったものがある(第5章第1節)。出土した土器(第250～254図)の多くは弥生時代後期～終末期に属す。そのほか、SD8で切目石錘(第283図1)、SD11で尖頭器(第279図2)、建築部材(第301図13)、SD19で石鏃(第279図3)が出土した。

SD21・22 (第206図) I区J3・4、K3～5、L5・6、M7グリッドで検出した北西-南東方向に並走する溝である。いずれも直線的で、北西方向へ向かう水流があったと考えられる。SD21では数箇所の杭列を検出した。出土した土器(第254図1～13)の多くは弥生時代後期に属す。

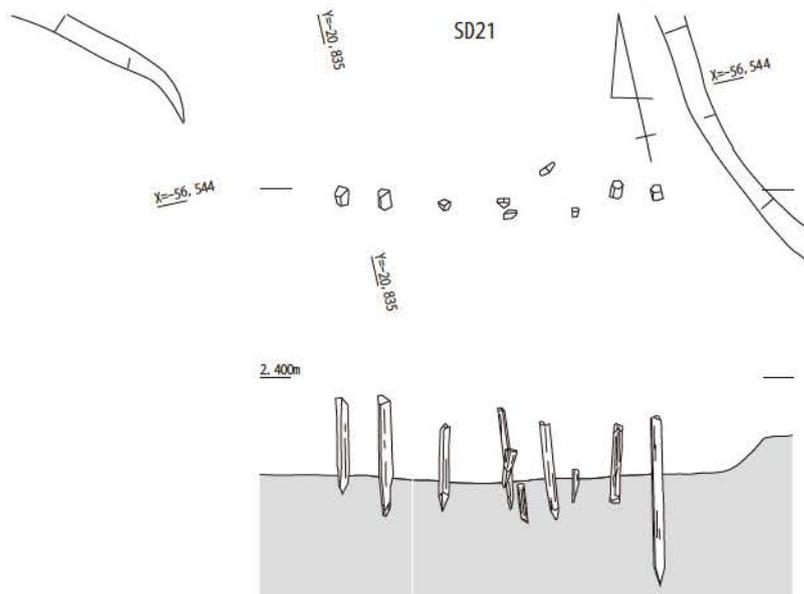
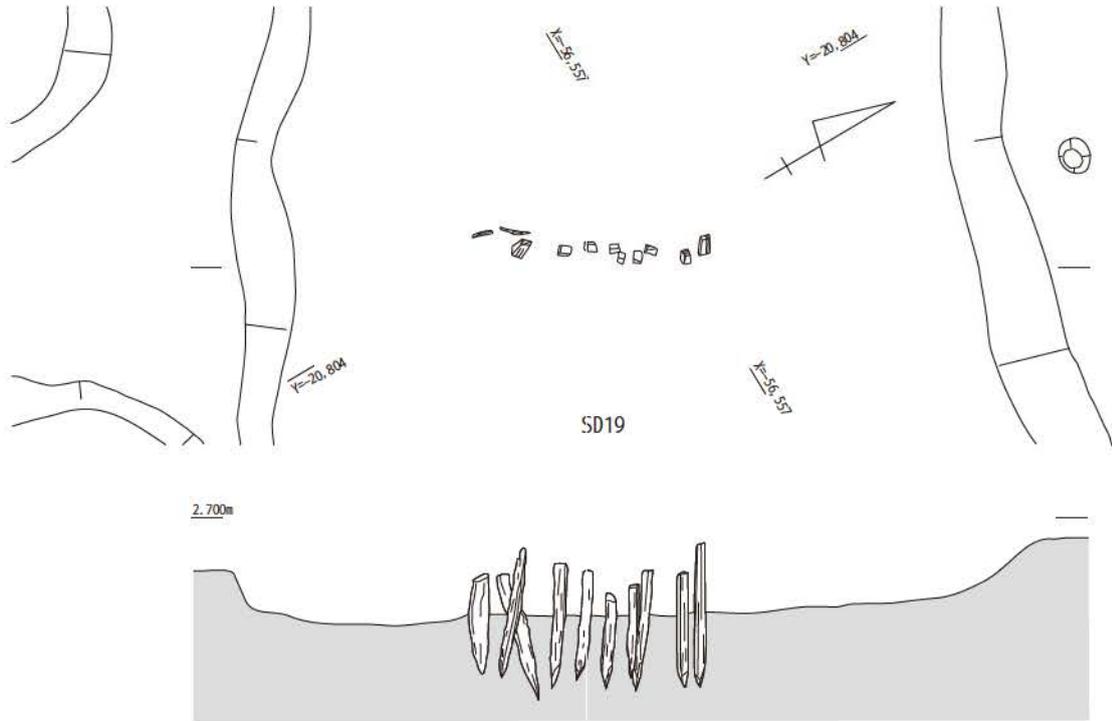
SD43 (第207図) I区K2グリッドに位置する。平面形が「へ」字状をなす短い溝である。古墳時代前期の壺(第254図23)がその場で潰れたような状態で出土した。

SD75 II・IV・V・VII区で検出した総延長160m以上におよぶ溝である。V区からII区にかけては北西へ延び、F12・13グリッドで緩やかにカーブして北北東に進路を変える。その進路は墓域の西端および周溝建物SH1～4の分布範囲の南端を画している。溝幅は最大で約1.0m、同じく深さ約0.3mを測る。

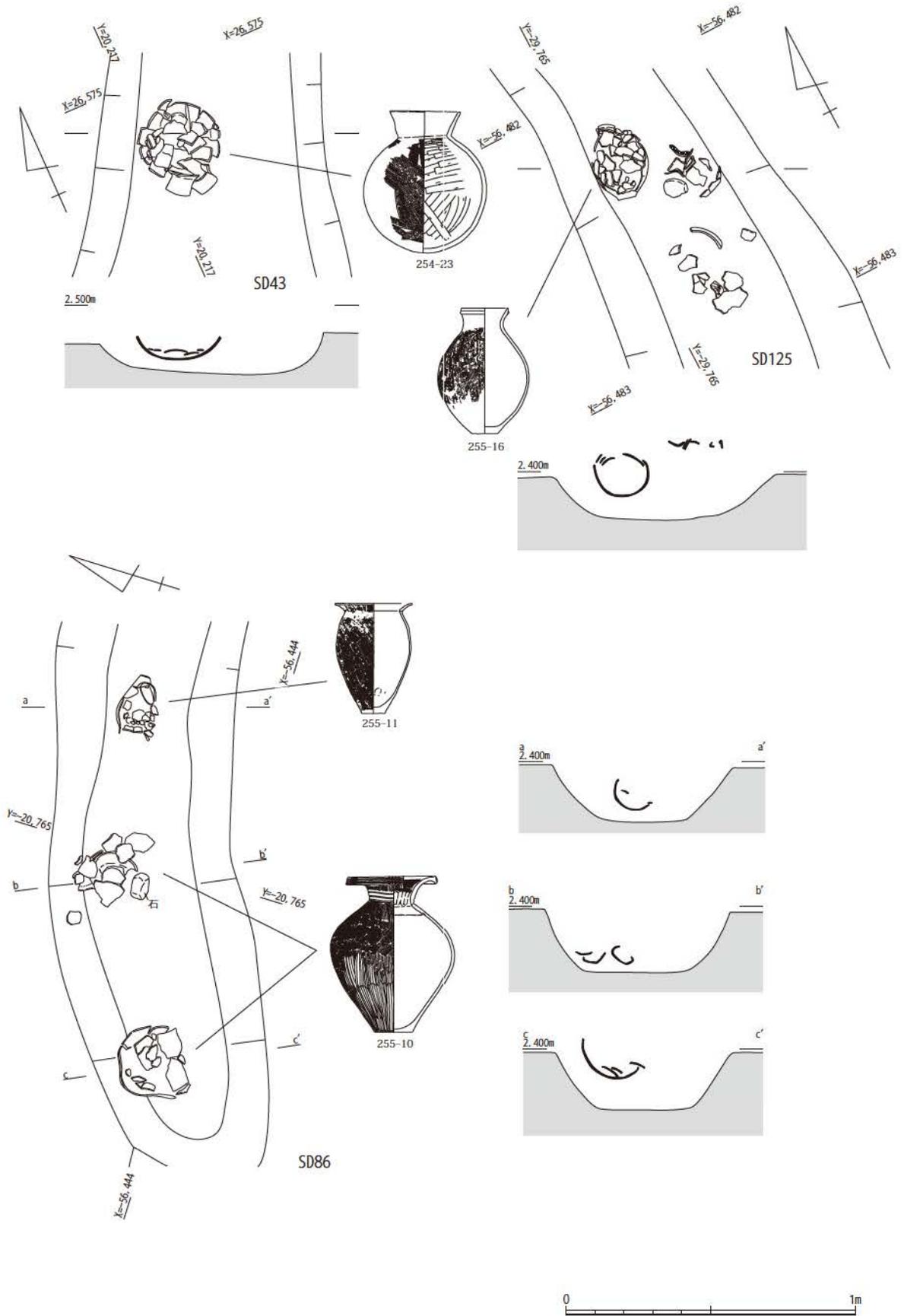


第205図 SD7・10・11杭列実測図(縮尺1/40)

第1節 遺構



第206図 SD19・21杭列実測図(縮尺1/40)



第207図 SD43・86・125遺物出土状況図(縮尺1/20)

遺物は主に弥生時代後期の土器（第255図1～6）が出土した。F12グリッドで平面図上SD2と合流しているが、併存したものか新旧関係にあるのかは不明である。一方、H18グリッドで合流するSD79とは、切り合い関係からSD79がSD75に先行すると判断できる。なお、SD79は方形周溝墓ST3・4・7のいずれにも切られている。

SD86（第207図）Ⅱ区F17グリッド、方形周溝墓ST9の西に近接して位置する東西方向の溝である。長さ約2.7m、最大幅約0.7m、最深約0.2mを測る。ほぼ完形になる弥生時代中期後葉の土器（第255図9～11）が出土している。

SD125（第207図）Ⅱ区F13グリッド、方形周溝墓ST3の墳丘に位置する南北方向の溝である。長さ約3m、最大幅約0.8m、最深約0.15mを測る。南端はST3南溝につながるが、新旧関係はその有無も含め不明である。弥生時代中期後葉の壺（第255図16）が出土した。

SD166 Ⅲ区L・M25グリッドに位置するL字状の溝である。東西約16m、南北約7m、最大幅約0.7m、最深約0.2mを測る。北方に位置する南北方向の溝SD165も一連の溝の可能性はある。弥生時代後期の土器（第256図5～7）と板・棒材、木片が多数出土した。

SD168・170・363・364（第210図）Ⅲ・Ⅷ区L28・29グリッドに位置するコ字状の配置となる溝である。掘立柱建物SB16を区画する溝、あるいは建物の構造自体に関連する遺構の可能性はある。東西方向に延びるSD168は長さ約6.7m、最大幅約0.7m、最深約0.3mを測る。弥生時代後期の土器（第256図8）と板・棒材、木片が多数出土した。これに並行するSD363・364は長さ約6.9m、最大幅約0.7m、最深約0.15mを測る。同じく弥生時代後期の土器（第266図13～16）と板・棒材、木片が多数出土した。南北方向の溝SD170は長さ約4m、最大幅約0.37m、最深約0.1mを測る。遺物は土器の細片が出土したにとどまる。

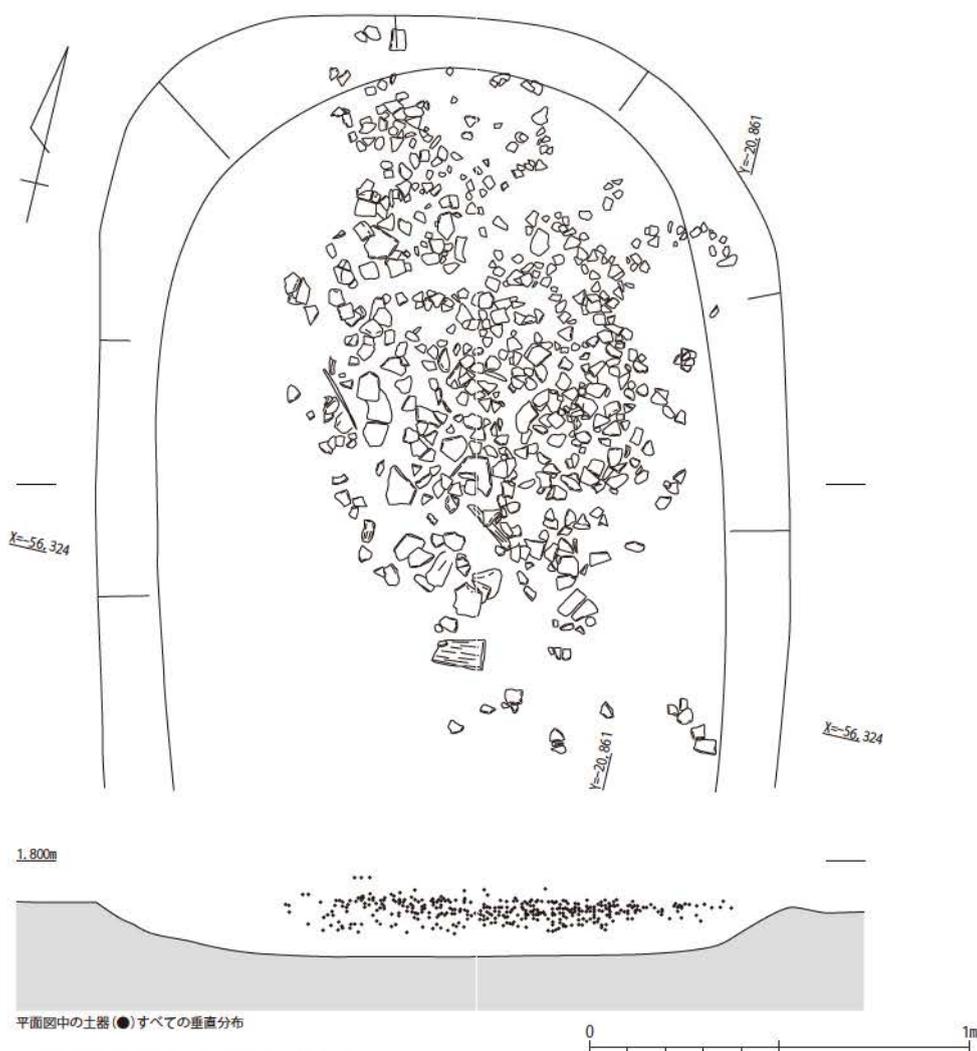
SD179～188（第208図）Ⅲ区西端で検出した南北方向に延びる溝群である。この溝群より西側は、基盤層の上部が砂礫となり、遺構はほとんど認められなくなる。土層断面の観察からSD181→185→180、SD183→185、SD187→180という新旧関係が捉えられる。いずれも検出面からの深さ0.1m以下と浅く、埋土は粗砂で細礫を多く含む。また、SD179・185・186では杭列を検出した。出土土器は弥生時代後期に属し（第256図9～19）、SD186では小破片が集積した箇所を検出した。

SD205 Ⅳ区東端を南北方向に走る溝である。調査した範囲において、おおそ墓域の東端を画している。方形周溝墓ST44・54とは切り合い関係があり、ST44には切られている。ST54との新旧関係は確認できなかった。また、ST26とも切り合う可能性があるが、いずれも後出の溝SD210に切られて判断できない。出土土器は弥生時代中期後葉に位置付けられる（第257図5）。

2) 旧河道

I区南端落ち込み I区K～N1～3グリッドで検出した。試掘調査の成果によれば、幅約30m、深さ1m以上を測り、北西方向に延びると考えられる。本調査の範囲では多数の杭や板材（第301図12）が出土した。埋土は粘質土を基調としており、水流があったとしても非常に弱いものであった可能性が高い。むしろ長期間にわたって湿地的な様相を呈していたと考えられる。土器の出土はなく時期は不明だが、落ち込み北側の遺構密度が低いことから、当初より集落域の南限であった可能性が高い。

SD256 Ⅵ区A～E26～28・Z26グリッドで検出した。試掘調査によれば、その落ち込みは確認された限り北方へ広がり、北川に達する。Ⅵ区の調査範囲では落ち込みの肩の部分を検出し、方形周溝墓群を切っていることが明らかとなった。遺物はほとんど認められず、わずかながら中世以降と考えられる

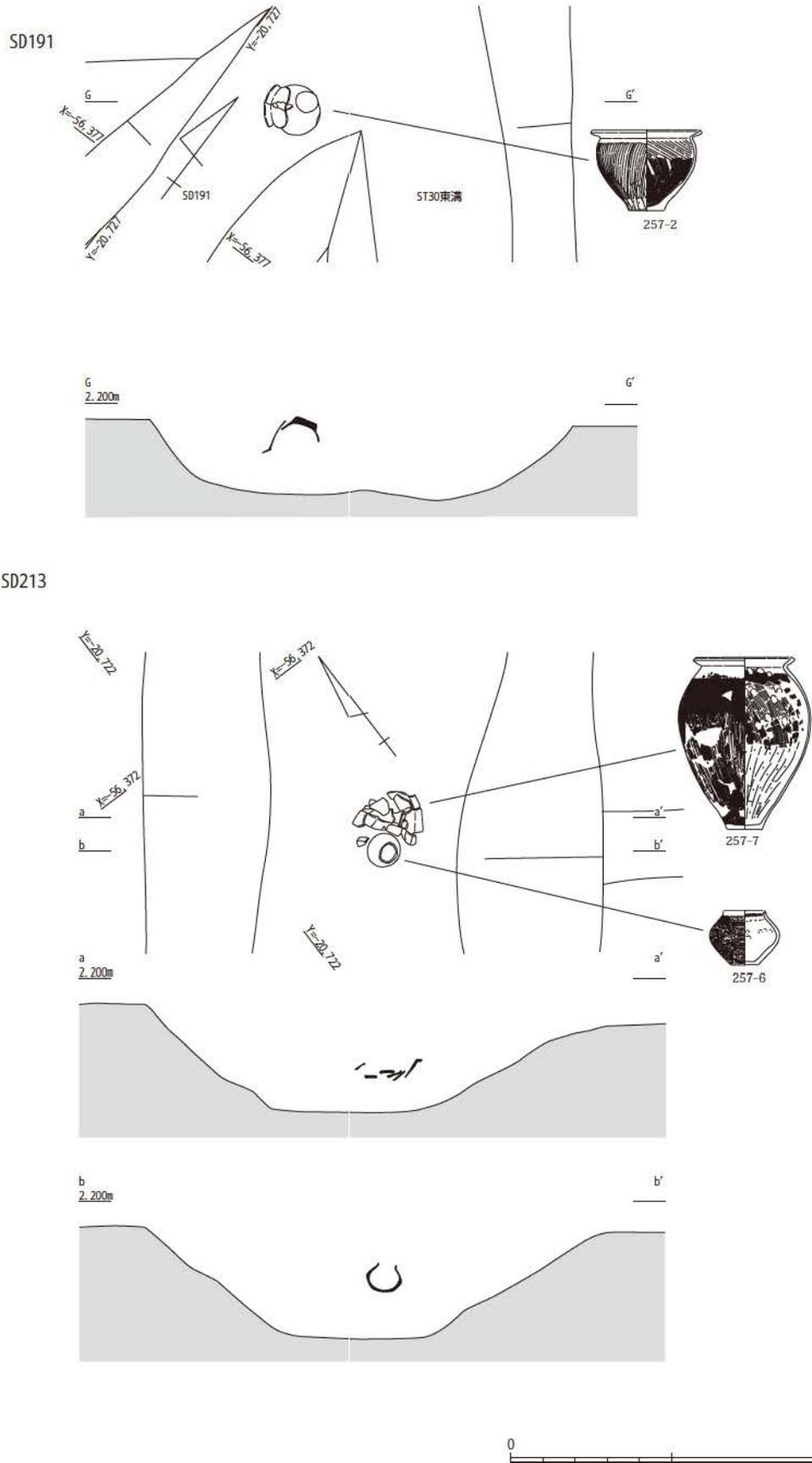


第208図 SD186遺物出土状況図(縮尺1/20)

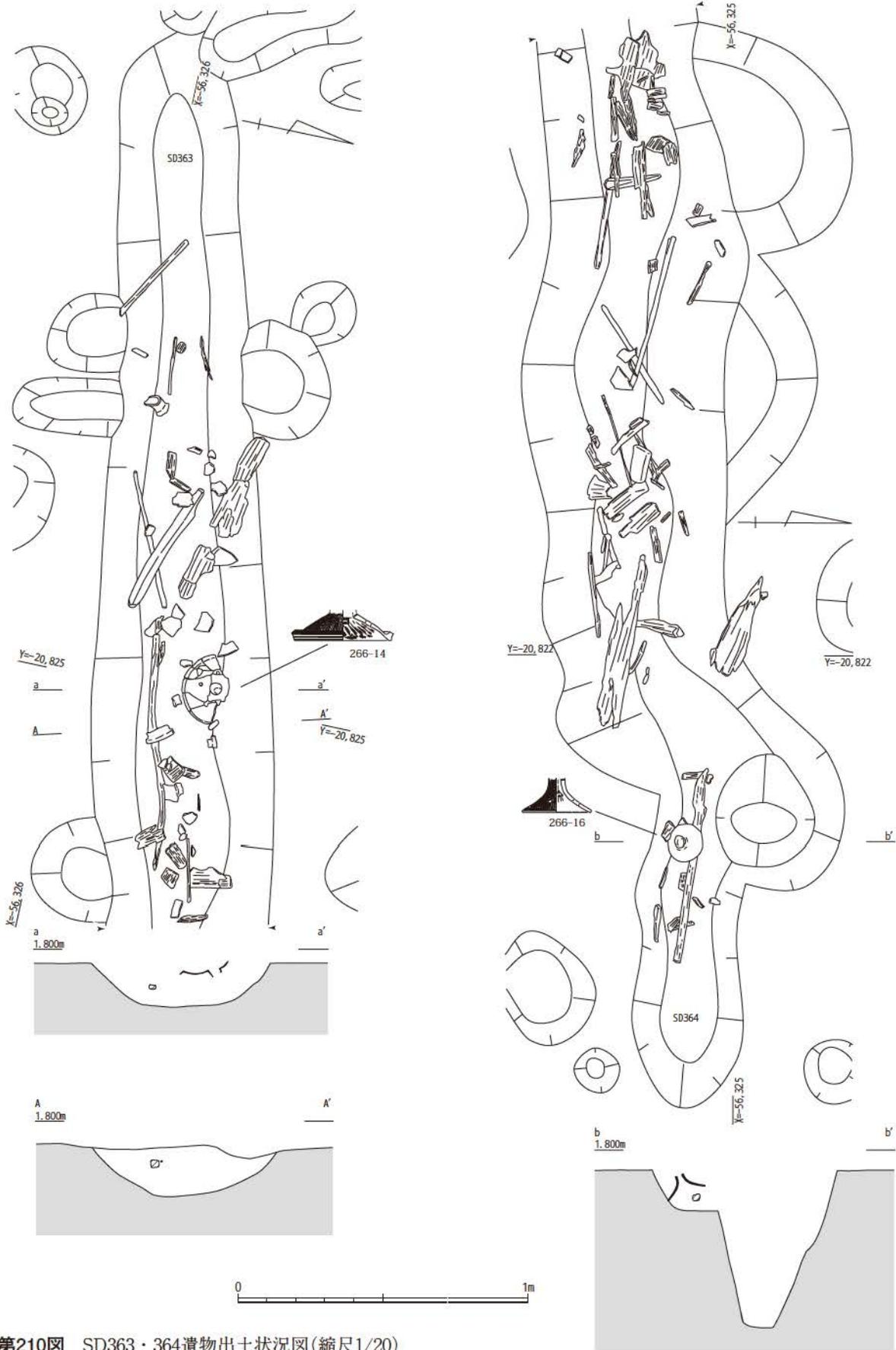
遺物(第308図11)が検出面付近で出土している。以上のことから、弥生時代の墓域はより北方へ展開しており、後世に河川(北川)の影響で削られたと考えられる。I区南端落ち込みと同様に埋土は主に粘質土で、長期間にわたって湿地の様相を呈していたと推測される。

SD324(第211~213図) VI・IX区G31、H31・32、I 32グリッド、方形周溝墓ST62、周溝建物SH 5~9の北方を北西方向に流れていたとみられる旧河道である。埋土は砂質土と粘質土の互層をなしており、断続的な水流の痕跡を示している。SH 8の北端付近から延びる南北方向の溝SD336を切っており、その交点で杭に挟まれ固定された長さ約1.6mの板を検出した。SD324の護岸を目的として設置されたと考えられる。土層断面図では4~13層がSD324の埋土であり、粘質土直下の砂層(6・7層)を中心に弥生時代後期を主体とする土器(第260~265図)が大量に出土した。また、木製遺物も多く出土し、木包丁(第291図4)や火鑽臼(第292図3)、刀形木製品(第295図5)、大型の部材(第299図1~4)などがみられる。さらに、SD336との交点付近では、土器に混じって巴形銅器(第289図1)が出土した。遺物は全般的にVI区とIX区の境を前後する旧河道の肩に沿って集中し、これらは弥生後期に属すと考えられる。一方、IX区の中央付近になると遺物は極端に少なくなる。唯一弥生時代中期に位置付けられる土器(第260図12)はその一帯で検出したものである。

第1節 遺構

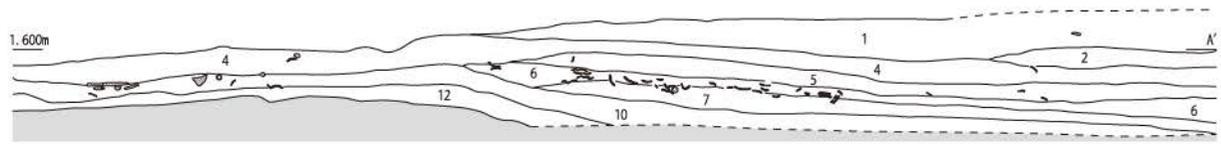
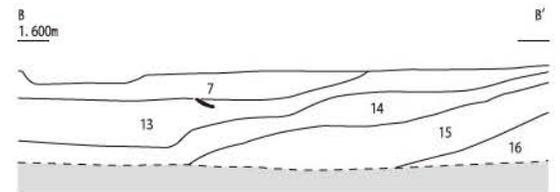
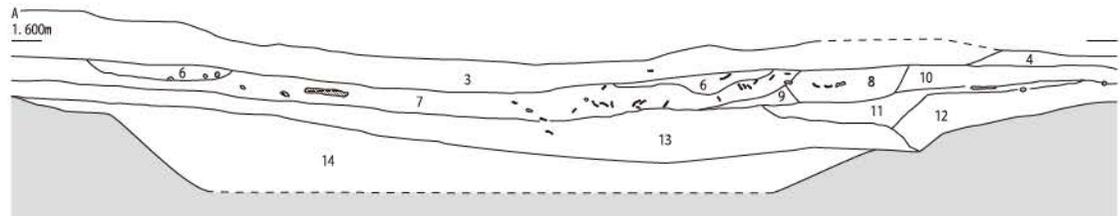
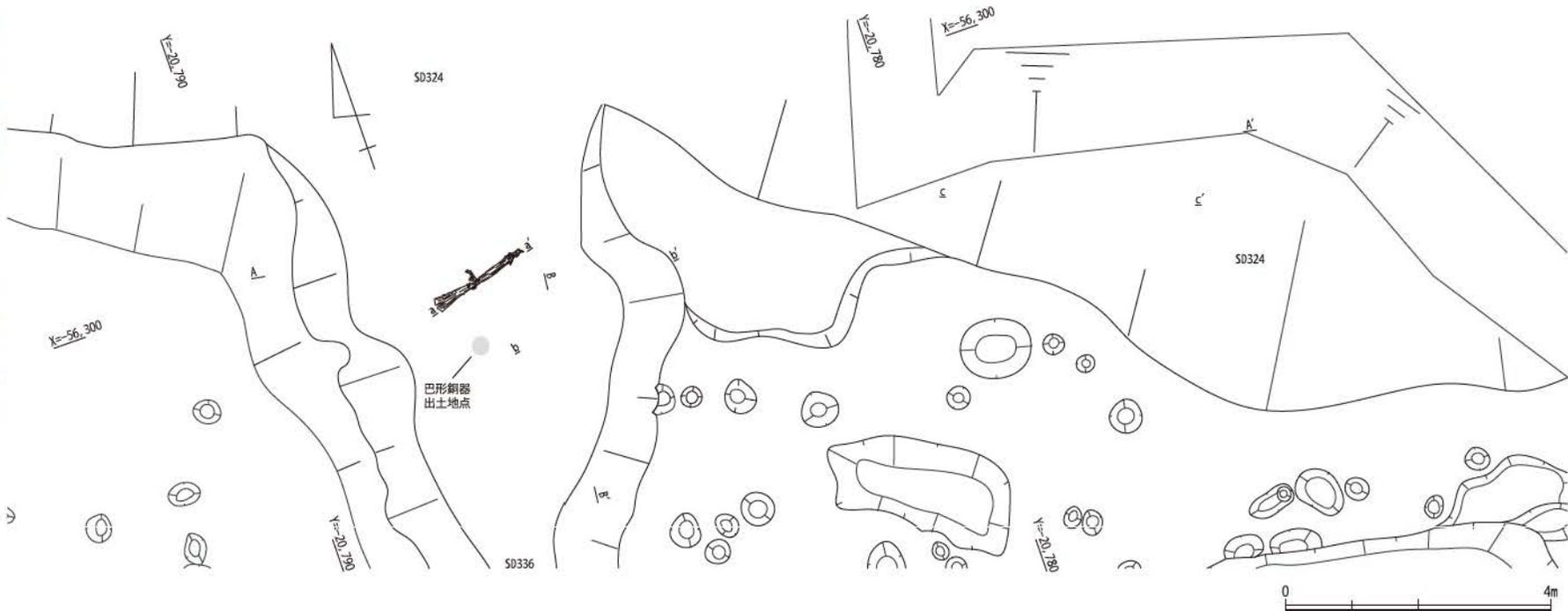


第209図 SD191・213遺物出土状況図(縮尺1/20)

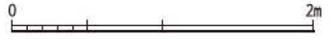


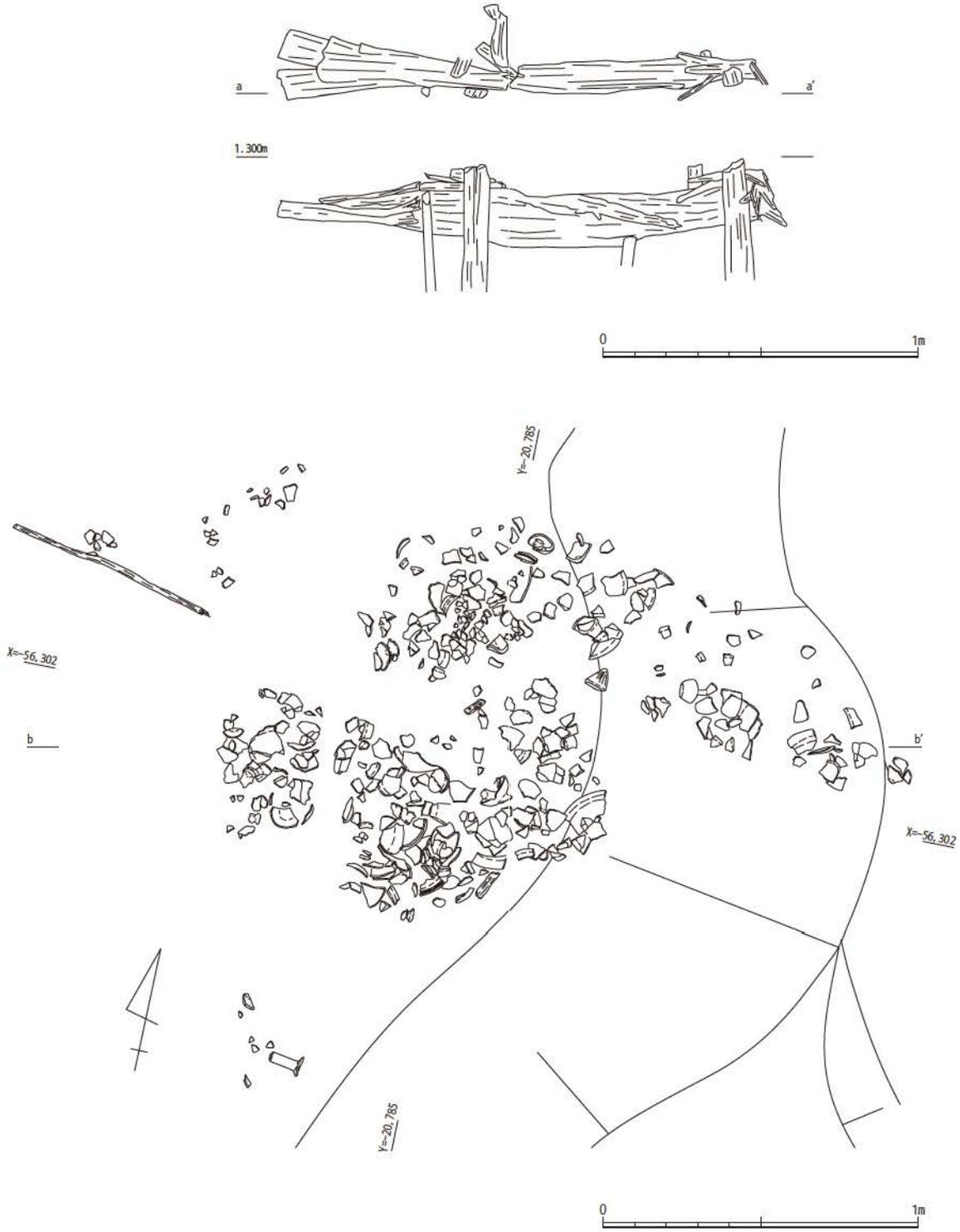
第210図 SD363・364遺物出土状況図(縮尺1/20)

第211図 SD324平面・土層断面図(縮尺1/100・1/50)

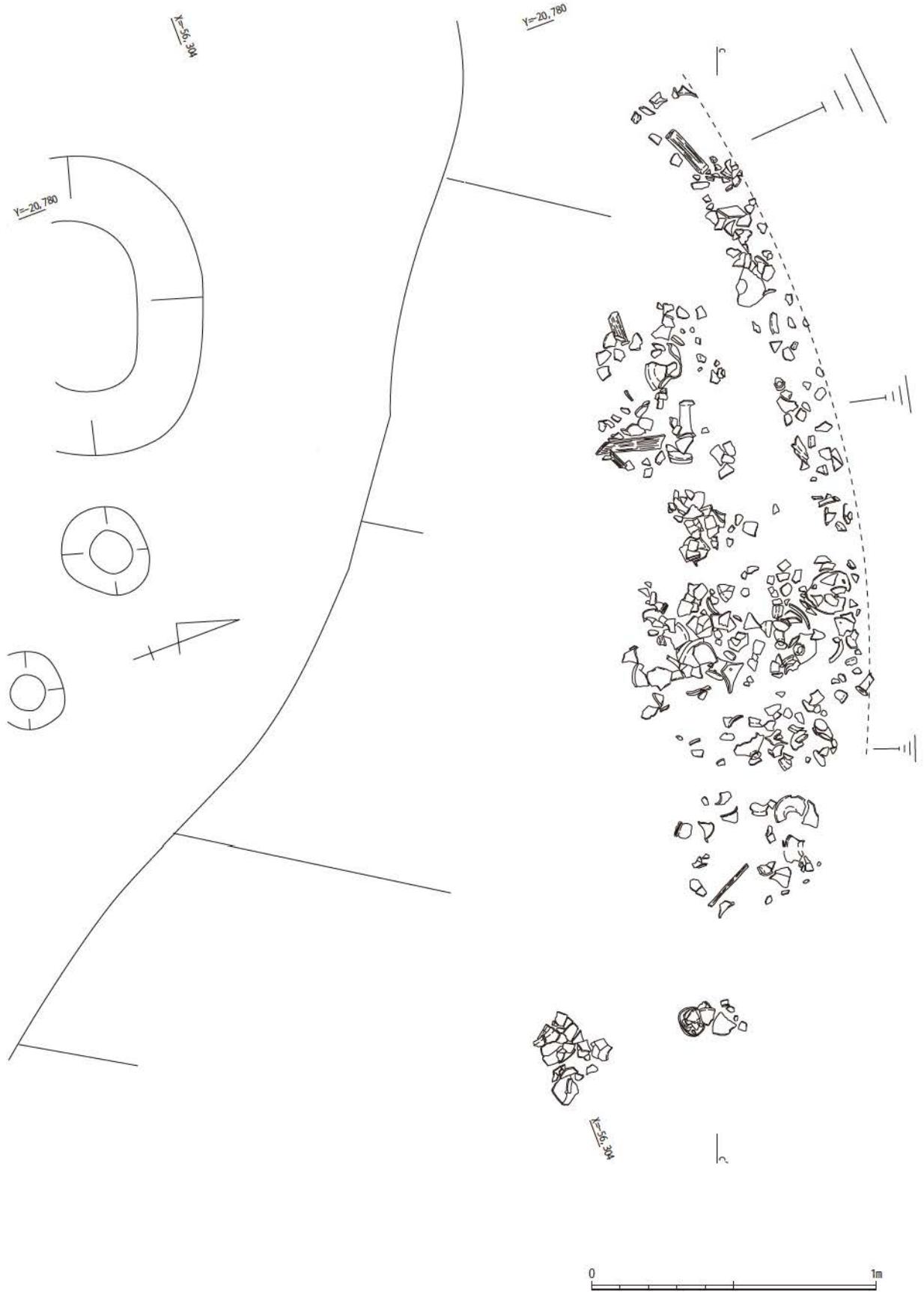


- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色粘質土 | 9 黒褐色砂質土 細砂 |
| 2 灰褐色粘質土 炭化物少量混 | 10 黒褐色粘質土 細砂混 |
| 3 灰褐色粘質土 | 11 緑灰色砂質土 細~中砂 |
| 4 黒褐色粘質土 炭化物少量混 | 12 褐色粘質土 細砂 |
| 5 黒褐色粘質土 炭化物多量混 | 13 黒褐色粘質土 細砂混 |
| 6 緑灰色砂質土 細砂 | 14 褐色粘質土 細砂混 |
| 7 暗緑灰色砂質土 細砂 黒褐色粘質土混 | 15 黒褐色粘質土 砂混 |
| 8 黒褐色粘質土 青灰色粘土ブロック混 | 16 黒褐色粘質土 砂・灰色粘土ブロック混 |





第212図 SD324護岸板・遺物出土状況実測図(縮尺1/20)



第213図 SD324遺物出土状況図(縮尺1/20)

第4章 遺構と遺物

第2表 方形周溝墓一覧

単位m

記号	調査区	グリッド	周溝形状	墳丘長		周溝規模 [最大長×最大幅×深さ]			
				長軸	短軸	東	西	南	北
ST1	II	G・H15・16	全周	13.1	12.4	13.9~×2.2×0.4	11.8×2.0×0.2	12.3~×2.4×0.5	12.9×1.9×0.4
ST2	II	F14,G・H13・14	四隅切れ	12.6	9.2	14.0~×2.5×0.5	9.4~×1.2×0.4	8.5~×1.4×0.4	10.0~×2.0×0.4
ST3	II	E~G13・14	四隅切れ	12.4	9.9	11.9×2.0×0.5	12.7×1.8~×0.5	8.7×2.2~×0.4	8.4~×1.7×0.4
ST4	II	E15,F14・15,G15	四隅切れ	10.6	8.9	7.1~×1.9×0.4	5.6~×0.9×0.2		6.2~×1.6×0.3
ST5	II	D16,E15~17	四隅切れ	12.6	9.8	10.1×2.1×0.5	11.6×1.9×0.6	8.1×1.9×0.4	8.3×2.0×0.4
ST6	II	G・H19・20	四隅切れ	9.6	8.7	8.2×1.6~×0.4	7.5×0.9×0.3	6.8×1.1×0.3	9.1×2.3×0.4
ST7	II	F・G15・16	四隅切れ?	8.8~	7.7	8.9~×1.3×0.3		4.7~×1.1×0.3	4.7×1.3×0.1
ST8	II	F・G18・19	四隅切れ	9.8	7.4	7.1×1.5×0.3	6.9×0.9×0.1	6.2×1.1×0.3	6.5~×0.9×0.3
ST9	II	D~F17・18	一隅切れ	11.5	10.6	10.1×1.6×0.4	10.8×1.6×0.4	11.8×1.8×0.4	9.7×1.8~×0.4
ST11	II	D・E19・20	四隅切れ	11.5	8.6	5.0~×1.8×0.3	8.7~×2.1×0.5	9.4~×2.0~×0.3	10.4×2.2~×0.6
ST12	II	D・E18・19	一隅切れ	9.0	7.3	6.6×0.9×0.1	6.9~×0.8~×0.3	5.5~×1.2×0.2	9.3×1.3~×0.2
ST13	II	C・D18・19	一隅切れ	10.1	7.4~	7.7~×1.6×0.5	6.7×1.2×0.6	10.9~×2.0×0.4	
ST14	II	C・D17・18	一隅切れ	7.6	6.7	7.1×1.2~×0.3	8.0~×0.9×0.1	5.9×1.4×0.2	8.8~×1.3×0.2
ST15	II	B17,C16~18	三隅切れ	10.4	7.1	8.8~×1.8×0.5	9.2×1.9×0.5	5.6×1.0×0.3	6.1×1.1×0.4
ST16	II	C・D15・16	二~四隅切れ				11.4×4.2×0.2		6.2~×1.9×0.2
ST17	II・IV・VII	B・C18~20	一隅切れ?	12.5	8.6	12.7×1.8×0.3	6.3~×2.7×0.5	8.7~×0.9~×0.3	10.4×2.1×0.3
ST18	II	F・G12・13	一隅切れ	8.5	7.1	6.0~×1.5×0.3	6.7~×1.4×0.3	9.6×1.3×0.3	?×?×0.3
ST19	II・VII	F・G19・20	一~三隅切れ	—	7.3	5.8~×1.3×0.4	4.8~×1.0×0.2	7.8×0.8~×?	4.3~×0.8~×0.2
ST20	II	G・H18・19	二隅切れ	7.1	6.4	4.5×0.6×0.2	7.0×0.7×0.2	2.8~×0.7×?	3.1×0.8×0.1
ST21	IV	A・B19・20	二隅切れ	9.2	8.7	6.9~×1.5×0.3	7.3~×1.7×0.3	8.0~×1.2~×0.3	8.4~×1.3~×0.5
ST22	IV	A・B20~22	三隅切れ	13.8	11.4	13.8×2.3×0.5	12.7~×2.7×0.6	11.1×2.1×0.5	9.3×2.5×0.5
ST23	IV	A・B22	一隅切れ	6.6	6.3	4.6~×1.2×0.2	6.6×1.3×0.4	7.2~×1.6×0.5	5.4×1.1×0.3
ST24	IV	B・C22・23	全周	7.3	5.7	7.6~×1.3×0.4	6.3×0.5×0.2	5.3~×0.5×0.1	5.4~×0.9~×0.2
ST25	IV	A22・23	三隅切れ	8.3	7.8	2.3~×1.6×0.2	4.4×1.0×0.3	3.9×1.0×0.3	4.6×1.6×0.4
ST26	IV	Z・A23	四隅切れ	7.0	6.0	6.3~×1.4×0.3	7.5×1.4×0.4	4.8~×1.5×0.3	1.5~×0.5~×0.3
ST27	IV	Z・A23~25	三~四隅切れ	11.4	9.1	8.1×1.4×0.3	6.5~×1.2×0.2	3.7~×1.6~×0.3	2.2~×1.0×0.1
ST28	IV	A・B23・24	全周	8.1	7.5	7.9~×0.8×0.2	4.7~×1.5×0.3	7.0~×2.1×0.4	7.5~×1.0×0.3
ST29	IV・VI	Z・A25	四隅切れ?	9.1	7.3	8.0~×1.3×0.4	6.3~×2.3~×0.6	6.6~×2.2×0.5	3.0~×1.5×0.5
ST30	IV	B・C23・24	一隅切れ?	8.9	8.5	7.2×0.8×0.2	6.0~×1.8×0.3	7.9~×1.0×0.3	5.9~×1.4×0.2
ST31	IV	A25,B・C25・26	全周~一隅切れ	10.1	8.3	6.7~×0.9×0.2	9.9×1.3×0.4	9.6×1.5×0.3	4.6~×1.0×0.2
ST32	IV・VII	C・D19~21	四隅切れ	11.1	8.8	9.0×2.3×0.4	10.0×1.8~×0.3	8.5×1.9×0.3	7.8×2.0×0.5
ST33	IV	C・D20~22	三隅切れ	14.2	10.0	13.9×1.7×0.3	11.4×2.1×0.3	9.8×1.5×0.4	8.7×1.5×0.2
ST34	IV	C・D22	不定形	5.8		4.5×0.8×0.2		4.0~×0.9×0.3	5.0×1.1×0.3
ST35	IV	C・D23・24	四隅切れ	11.5	10.4	7.8×1.9×0.3	5.8×1.7×0.3	8.4×2.8~×0.4	8.8~×3.0×0.4
ST36	IV	B25,C24~26	三隅切れ	9.4	8.1	7.8×1.4×0.3	3.6×0.5×0.1	7.7×1.7×0.2	5.1~×0.7×0.2
ST37	IV	D・E25~27	三~四隅切れ	12.5~	10.8	9.8~×1.3×0.3	10.6~×2.7×0.5	9.4×0.8~×0.4	2.7~×1.7~×0.5
ST38	IV	E26・27	全周?	7.5	5.7~	1.5~×0.9×0.2	6.4~×1.4×0.3	5.3~×1.2~×0.2	1.7~×0.9×0.23
ST39	IV	E・F26・27	二隅切れ 全周?	7.1	5.9	6.9×1.4×0.2	3.4~×0.9×0.3	4.6×0.7×0.2	7.0~×0.8×0.3
ST40	IV	D・E24・25	二隅切れ	11.9	11.7	10.7×2.3×0.2	9.6×1.3~×0.3	11.6~×1.6×0.4	9.6×2.2~×0.4
ST41	IV	D・E24	三隅切れ	7.0	6.3~		5.3~×0.8×0.3	4.0~×0.3×0.2	5.0×0.8×0.2
ST42	IV	D・E23・24	二~三隅切れ	8.4	6.6	6.1×0.6×0.2	4.8~×1.4×0.3	5.3~×1.3×0.4	4.6~×1.1×0.2
ST43	IV	E・F26・27	四隅切れ	5.3	3.9	2.4~×0.7×0.3	3.2×0.8×0.1	2.2×0.6×0.2	2.1~×0.8×0.2
ST44	IV	Z24・25	全周	7.5	5.3~	8.8×0.8~×0.2		5.1~×0.9×0.1	5.2~×0.6×0.3
ST45	IV	A25	二隅切れ	7.2	6.1	4.4~×0.8×0.1	4.1~×0.9×0.3	4.7~×1.3×0.3	4.8~×1.6×0.4
ST46	IV	E・F22~24	全周	13.2	10.2	14.0~×2.2×0.4	9.5~×2.0×0.4	10.0~×2.3~×0.4	8.5~×2.1×0.4
ST47	IV	E・F22・23	全周~三隅切れ	11.7	10.6~	9.0~×1.2×0.3	5.5~×0.8×0.1	2.1~×0.6~×0.09	10.3~×2.1×0.3
ST48	IV	E22	二隅切れ	8.7	8.1	5.4×0.8×0.2	5.3~×0.7~×0.2	7.1~×1.0×0.2	7.4×1.1×0.3
ST49	IV	F・G22	四隅切れ	5.8~	5.0	4.5×1.4×0.36	5.1×0.9×0.35	3.3×1.49×0.34	
ST50	IV	F・G21~23	二隅切れ	13.3~	12.8~	15.0×2.2~×0.2	13.4×3.0×0.2	13.7×1.8~×0.2	13.0~×2.8~×0.3
ST52	IV	E・F21・22	三隅切れ	7.8~	6.3	6.0×2.2×0.4	6.4×1.2×0.3	2.3~×1.2~×0.2	2.5~×1.3×0.24
ST53	IV	F・G21・22	四隅切れ	4.2		3.5×0.7×0.25	3.4×1.0×0.37		3.0×1.3~×0.4
ST54	IV	Z・A22	四隅切れ	6.3	5.6	5.3~×1.4×0.2	4.0×1.4×0.3	2.5~×1.3×0.2	6.5×1.8×0.3
ST55	IV	E24・25,F25	四隅切れ	9.0	7.9	7.2×1.3×0.4	6.4×2.6×0.4	6.3×1.6~×0.4	6.6×1.4×0.3
ST57	IV	F・G22	四隅切れ	5.0		4.5×1.4×0.30		3.6~×0.8×0.30	2.7~×0.8×0.2
ST58	IV・VII	E・F20	二~三隅切れ	7.0~	6.7	4.3~×0.5×0.1	4.7×1.4×0.6	5.0~×0.4~×0.2	5.2×1.7×0.3
ST59	II・IV・VII	G・H20・21	二隅切れ	10.5~	10.5	9.5~×0.7×0.2	5.0×1.1×0.1	9.2×1.0~×0.2	7.2×1.1×0.2
ST60	IV	B・C22・23	二隅切れ	11.1~	9.8	11.3×1.2~×0.5	5.2~×1.3×0.3	11.7~×2.0×0.5	11.2×0.9×0.4
ST61	IV	A・B22・23	四隅切れ	5.3	3.8~	2.5~×1.1×0.3	3.6×1.5×0.3	4.0×0.5~×0.3	3.5×0.9×0.4
ST62	VI	G・H29~31	一隅切れ	11.2	9.0	10.6×1.6×0.4	10.0×1.9×0.3	13.2×2.1×0.5	11.4×2.0×0.4

第1節 遺構

単位m(m²)

各周溝の底面標高値				墳丘面積	埋葬施設 [検出数]	切り合い関係 [古→新]	時期 [～は可能性のある範囲]	備考	挿図
東	西	南	北						
2.11	2.03	2.04	2.12	150.7	8		弥生後期中葉	南溝出土土器は弥生終末期～古墳前期	第26～32図
2.01	2.14	2.14	2.19	117.3	2	ST3→ST2	弥生中期後葉	北溝内に木棺を有す埋葬施設	第33～35図
1.85	2.08	2.06	2.14	118.4	2	ST4・18→ST3→ST2	弥生中期後葉		第36～38図
2.02	2.24		2.06	91.1～	0	ST4→ST3・7	弥生中期後葉		第39図
1.82	1.84	1.85	1.88	117.0	3		弥生中期後葉	有溝磁石	第40～43図
1.84	1.84	1.90	1.82	72.5	1	ST59→ST6→ST20	弥生中期後葉		第44・45図
2.20		2.24	2.32	65.6	1	ST4→ST7	弥生後期中葉?		第46・47図
2.22	2.12	2.10	2.04	70.3	4		弥生中期後葉		第48～50図
1.90	2.02	2.04	1.94	113.0	1	ST9→ST12	弥生中期後葉		第51～53図
2.00	2.10	1.95	2.00	93.7～	0	ST11→ST12・13	～弥生中期後葉		第54・55図
2.14	2.06	2.12	2.15	61.3	0	ST9・11→ST12	弥生中期後葉～		第56図
1.80	1.78	1.85		73.4～	1	ST11→ST13→ST17	弥生中期後葉	周溝再掘削	第57～59図
2.08	2.15	2.12	2.12	47.6	0	ST15→ST14	弥生中期後葉		第60図
1.76	1.82	1.98	1.90	73.8	0	ST15→ST14	弥生中期後葉		第61図
	1.98		1.88		0		弥生中期後葉	東側の大部分調査区外	第62図
1.78	1.86	1.94	1.88	97.4～	1	ST11→ST13→ST17	弥生中期後葉		第63～66図
2.10	2.20	2.20	2.10	55.1	0	ST18→ST3	弥生中期後葉		第67・68図
2.08	2.04		2.10	40.9～	0	ST58→ST19	弥生中期後葉～		第69・70図
2.10	2.08		2.00	42.8	0		弥生中期後葉?		第71図
1.92	1.95	1.94	1.70	72.5	1	ST22→ST21→ST17	弥生中期後葉		第72・73図
1.55	1.60	1.65	1.65	151.1	7	ST22→ST21・23	弥生中期後葉	西溝埋土に礫集積	第74～77図
1.98	1.80	1.72	1.98	36.9	0	ST22・60→ST23	弥生中期後葉	南溝埋土に礫集積	第78・79図
1.82	2.06	2.12	2.12	39.1	0	ST60→ST24	弥生終末期?	北溝埋土に礫集積	第80・81図
1.90	1.88	1.82	1.90	47.2～	0	ST25→ST26・61	～弥生後期		第82図
1.70	1.75	1.80	2.00	38.9～	1	ST25→ST26→ST27	弥生中期後葉		第83・84図
1.85	2.08	1.80	2.02	87.0～	0	ST26→ST27→ST28・29	弥生中期後葉～後期		第85図
2.00	1.92	1.90	1.94	52.6	0	ST27→ST28	弥生後期中葉	磨製石斧	第86・87図
1.74	1.54	2.00	1.80	56.4	1	ST44→ST29	弥生中期後葉～後期	東溝とSD321の関連不明	第88～90図
1.96	1.90	1.94	1.98	59.2	0	ST60→ST30→ST35	弥生中期後葉～弥生終末期		第91図
1.90	1.90	1.90	1.88	83.8～	0	ST36・45→ST31	弥生中期後葉?		第92図
1.88	1.96	2.08	1.82	95.1	0	ST32→ST33	弥生中期後葉		第93・94図
1.94	2.06	1.98	2.04	142.3	2	ST32→ST33→ST34	弥生中期後葉		第95～98図
2.10		2.05	2.04	25.3～	0	ST33→ST34	弥生中期後葉		第99図
1.98	2.00	2.10	1.96	112.1	0	ST30・60→ST35	弥生中期後葉～終末期		第100・101図
2.00	2.20	2.10	2.05	71.4	0	ST36→ST31			第102図
1.80	1.62	1.80	1.50	136.3～	0	ST38→ST37→ST40・55	弥生後期～?		第103・104図
1.90	1.80	1.86	1.76	34.5～	0	ST38→ST37	弥生後期		第105図
1.90	1.80	1.90	1.85	39.2	0	ST43→ST39	弥生後期中葉		第106図
2.08	1.80	1.96	1.70	127.2	0	ST41・42→ST40	弥生後期?		第107図
	1.90	2.00	2.06	39.6～	2	ST41→ST40			第108図
2.20	1.85	2.12	2.00	52.9～	0	ST42→ST40・46・47	弥生中期中葉?		第109図
1.92	1.92	1.90	1.80	19.3～	0	ST43→ST39	弥生中期中葉		第110図
1.90		1.95	1.85	35.7	0	ST27→ST44			第111図
2.08	1.96	1.80	1.78	38.4	0	ST45→ST31	弥生中期後葉		第112・113図
1.80	1.74	1.75	1.76	126.5	1	ST42→ST46→ST47・48・50	弥生中期中葉?	SD253に切られる	第114・115図
1.96	2.04	2.01	1.98	117.3～	0	ST42・46・48・50→ST47	弥生終末期		第116・117図
2.10	1.98	2.10	1.98	63.9～	0	ST46→ST48→ST47	弥生中期後葉～終末期		第118図
1.84	1.83	1.81		26.3～	0	ST53→ST49			第119・120図
2.20	1.80	1.94	1.80	173.7	1	ST46・49・52→ST50→ST47	弥生後期	周溝再掘削 埋葬施設は南溝内	第119～121図
1.88	1.86	2.00	2.04	45.1～	0	ST52→ST50	弥生中期		第122図
1.94	1.82		1.80	16.5～	0	ST53→ST49			第119・120図
1.70	1.76	1.75	1.66	34.4～	0		弥生中期後葉		第123～125図
1.82	1.80	1.70	1.80	69.4	0	ST37→ST55			第126図
1.83		1.86	1.92	13.5～	0	ST49⇄ST57		切り合いの前後関係不明	第119・120図
2.40	2.00	2.28	2.04	45.4～	0	ST11→ST58→ST19	弥生中期中～後葉		第127・128図
2.10	1.90	2.00	2.04	99.6	0	ST59→ST6	～弥生中期後葉		第129図
1.70	2.02	1.88	1.80	100.9～	3	ST60→ST24・30・35	弥生中期後葉		第130～132図
1.90	1.95	2.00	1.95	20.0～	0	ST25→ST61	弥生後期中葉		第133図
1.42	1.50	1.42	1.46	98.7	0		弥生中期中葉		第134～138図

第3表 埋葬施設一覧

単位:m

記号	調査区	グリッド	種別	棺規模 [長×幅]	掘形規模 [長×幅×深]	底面標高	長軸方位	備考	挿図	
ST1	第1埋葬施設	II	H15	土坑墓	—	1.41×0.77×0.10	2.33	N72° W	第2埋葬施設に切られる	第26・30図
	第2埋葬施設	II	H15	土坑墓	—	1.81×1.06×0.22	2.24	N14° E	第1埋葬施設を切る	第26・30図
	第3埋葬施設	II	G・H15	土坑墓	—	1.76×0.80×0.18	2.33	N81° W	第5埋葬施設と並列	第26・31図
	第5埋葬施設	II	G・H15	土坑墓	—	2.54×1.08×0.11	2.39	N81° W	石製管玉・勾玉出土	第26・31図
	第6埋葬施設	II	G・H15	木棺墓?	—	2.28×1.04×0.16	2.32	N68° W	第7埋葬施設に切られる 小口穴?	第26・30図
	第7埋葬施設	II	H15	土坑墓	—	1.33×0.72×0.06	2.38	N56° E	第6埋葬施設を切る	第26・30図
	第8埋葬施設	II	G・H15・16	木棺墓?	—	2.82×1.74×0.30	2.15	N75° W	—	第26・32図
	第9埋葬施設	II	H16	土坑墓	—	1.82×1.16×0.18	2.25	N62° E	弥生中期後葉の土器出土	第26・32図
	ST2	第1埋葬施設	II	G13・14	土坑墓	—	2.12×1.38×0.08	2.48	N55° E	SK62に切られる
第2埋葬施設		II	G14	木棺墓	2.70×0.80 内法1.70×0.52	3.44×1.92×0.54	1.95	N75° W	北溝内 底板・側板・小口板・蓋板	第33・35図
ST3	第1埋葬施設	II	F14	土坑墓	—	3.00×1.50×0.12	2.35	N81° W	第2埋葬施設と並列	第36・38図
	第2埋葬施設	II	F14	土坑墓	—	2.94×1.28×0.10	2.31	N79° W	第1埋葬施設と並列	第36・38図
ST5	第1埋葬施設	II	E15・16	木棺墓	2.66×0.66 内法1.92×0.52	3.62×1.54×0.21	2.06	N56° W	底板・側板・小口板出土	第40・43図
	第2埋葬施設	II	E16	土坑墓	—	2.20×1.29×0.14	2.20	N19° E	—	第40・43図
	第3埋葬施設	II	E16	土坑墓	—	2.08×0.69×0.16	2.14	N27° E	—	第40・43図
ST6	第1埋葬施設	II	G19	土坑墓	—	1.11×0.62×0.08	2.13	N52° E	—	第44・45図
ST7	第1埋葬施設	II	F16	土坑墓	—	2.66×1.00×0.08	2.47	N41° W	—	第46・47図
	第1埋葬施設	II	G18	土坑墓	—	2.88×1.10×0.11	2.31	N75° W	—	第48・50図
ST8	第2埋葬施設	II	G18	土坑墓	—	2.10×0.95×0.20	2.07	N72° E	—	第48・50図
	第3埋葬施設	II	G18	土坑墓	—	1.06×0.68×0.06	2.27	N71° W	—	第48・50図
	第4埋葬施設	II	G18	土坑墓	—	1.56×0.96×0.06	2.34	N84° W	—	第48・50図
	第1埋葬施設	II	E17	木棺墓?	(2.20×0.72)	2.90×1.36×0.20	2.21	N68° W	棺材の可能性のある木片出土	第51・53図
ST13	第1埋葬施設	II	C19	土坑墓	—	1.95×0.45×0.16	2.18	N75° W	北半検出できず	第57・59図
ST17	第1埋葬施設	IV	B19	土坑墓	—	3.80×1.56×0.20	1.78	N70° W	南辺を攪乱に切られる	第63・66図
ST21	第1埋葬施設	IV	B20	土坑墓	—	1.84×0.80×0.12	2.09	N63° W	—	第72・73図
ST22	第1埋葬施設	IV	A・B21	木棺墓	—	1.88×1.24×0.08	2.07	N31° E	第2埋葬施設に切られる 底板	第74・76図
	第2埋葬施設	IV	A21	土坑墓	—	2.14×1.30×0.24	1.89	N64° W	第1埋葬施設を切る	第74・76図
	第3埋葬施設	IV	A21	土坑墓	—	2.29×1.73×0.35	1.78	N73° E	—	—
	第4埋葬施設	IV	A・B21	土坑墓	—	1.96×1.28×0.21	1.99	N55° W	—	第74・77図
	第5埋葬施設	IV	A21	土坑墓	—	2.19×1.56×0.26	1.82	N74° E	—	第74・77図
	第6埋葬施設	IV	A21	土坑墓	—	1.92×1.42×0.31	1.80	N71° W	—	第74・77図
	第7埋葬施設	IV	B21	土坑墓	—	1.76×0.94×0.08	2.07	N82° E	—	第74・77図
ST26	第1埋葬施設	IV	Z23	土坑墓	—	2.00×1.00×0.20	1.88	N88° E	—	第83・84図
ST29	第1埋葬施設	IV	Z25	土坑墓	—	2.30×0.86×0.20	1.98	N68° E	—	第88・90図
ST33	第1埋葬施設	IV	D21	土坑墓	—	2.12×0.90×0.15	2.12	N83° W	—	第95・98図
	第2埋葬施設	IV	D21	土坑墓	—	2.26×1.00×0.10	2.10	N53° W	—	第95・98図
ST41	第1埋葬施設	IV	E24	土坑墓	—	1.53×0.79×0.13	2.05	N4° W	—	第108図
	第2埋葬施設	IV	E24	土坑墓	—	0.82×0.75×0.07	2.04	N77° W	—	第108図
ST46	第1埋葬施設	IV	F23	土坑墓	—	1.78×1.20×0.08	2.04	N89° W	—	第114・115図
ST50	第1埋葬施設	IV	G21	木棺墓	2.24×0.51	2.78×1.07×0.26	1.94	N60° W	南溝内 底板出土	第119・121図
ST60	第1埋葬施設	IV	C22・23	木棺墓?	—	2.30×1.20×0.18	2.04	N66° W	第2埋葬施設を切る 小口穴?	第130・132図
	第2埋葬施設	IV	C23	土坑墓	—	1.68×0.98×0.35	1.87	N76° W	—	第130・132図
	第3埋葬施設	IV	C23	土坑墓	—	1.02×0.78×0.20	1.98	N25° E	—	第130・132図
SX1	II	G17・18	土坑墓	—	1.88×1.31×0.29	2.28	N0°	—	第139図	
SX2	II	F17	土坑墓	—	2.24×0.94×0.15	2.29	N89° W	—	第139図	
SX3	II	H17・18	木棺墓	1.98×0.64	2.32×1.29×0.24	2.22	N36° E	底板・側板・蓋板出土	第139図	
SX4	II	F・G19	土坑墓	—	1.86×1.09×0.11	2.28	N77° W	—	第140図	
SX5	II	F19	木棺墓?	(2.00×0.46)	2.69×1.45×0.24	2.13	N62° E	台石出土	第141図	
SX6	II	F19	土坑墓	—	1.62×0.84×0.12	2.33	N49° E	—	第140図	
SX7	II	F19	木棺墓?	(1.24×0.73)	1.57×1.01×0.29	2.34	N70° W	ガラス小玉 弥生後期土器(墓 壙内破砕土器供献)	第140図	
SX8	II	F12	木棺墓	1.58×0.30 内法1.50×?	1.81×0.65×0.09	2.34	N48° E	底板・側板・小口板・蓋板出土	第141図	
SX9	II	G12	土坑墓	—	2.01×0.87×0.11	2.08	N75° E	—	第142図	
SX10	II	E18	土坑墓	—	0.76×1.08×0.18	2.40	(N69° W)	西半検出できず	第142図	
SX11	II	F12	土坑墓	—	1.65×0.91×0.24	2.01	N11° E	—	第142図	
SX27	IV・VII	A・B19	土坑墓	—	2.66×1.49×0.36	2.05	N28° E	弥生前期の土器、石織出土	第143図	
SX28	IV	A19	土坑墓	—	1.75×0.90×0.15	1.90	N49° E	SX29に切られる	第142図	
SX29	IV	A19	土坑墓	—	1.67×0.93×0.21	1.84	N54° E	SX28を切る 弥生前・中期の土 器、石織ほか出土	第142図	
SX30	IV	C24	土坑墓	—	1.62×0.85×0.23	1.98	N15° E	—	第143図	
SX34	IV	F27	土坑墓	—	1.59×0.81×0.15	1.90	N42° W	—	第143図	
SX35	IV	F27	木棺墓	(1.41×0.67)	1.81×1.09×0.10	1.90	N70° W	底板と考えられる板材出土	第143図	
SX37	IV	F26	土坑墓	—	2.01×1.05×0.13	1.88	N21° E	—	第144図	
SX38	IV	F・G24	土坑墓	—	1.71×0.82×0.24	1.88	N68° W	—	第144図	
SX39	IV	F24	土坑墓	—	1.26×0.80×0.10	2.02	N11° E	—	第144図	
SX50	II	F20	土坑墓	—	1.50×0.30×0.11	2.42	N70° W	北半検出できず	第144図	
SK83	II	C18	土坑墓	—	1.74×0.85×0.17	2.08	N85° W	弥生前期の土器出土	第144図	
SK105	IV	B21	土器棺墓	内法0.34×0.34	0.63×0.50×0.10	—	—	弥生前期の大型甕を横位に埋置	第145図	
SK112	IV	B23	土器棺墓	内法0.50×0.22	0.41×0.40×0.23	2.01	—	弥生後期中葉 合口甕棺	第145図	
SK113	IV	B23	土器棺墓	内法0.50×0.43	—	2.14	—	古墳前期中葉 壺3個体	第145図	
SK116	IV	B25	土器棺墓	内法0.32×0.28	0.55×0.48×0.10	2.04	—	弥生中期後葉 壺2個体	第146図	

※棺規模の()は土層断面からの推定値

第1節 遺構

第4表 掘立柱建物・柱列一覧

単位m (㎡)

記号	調査区	グリッド	柱穴	柱間 [長辺×短辺]	規模			柱間寸法		長軸 方位	備考	挿図
					長辺	短辺	面積	長辺	短辺			
SB1	I	K3・4	SP29・103・104・115・ 214・215・219・251	2間×2間	3.41・3.36	3.22・3.14	10.82	1.66~1.75	1.54~1.68	N46° E	総柱建物 柱根2基 北東へ1間延びる?	第147図
SB2	I	K・L2・3	SP(129)・130・222・ 254・256	3間×2間	4.78・4.63	3.48・3.24	15.62	0.98~2.50	1.62~1.80	N41° E	柱根3基	第147図
SB3	I	K3	SP116・216・(217)・ 250	2間×1間	2.99・2.82	2.78・2.74	8.02	1.34~1.54	2.74~2.78	N35° E	柱根1基	第148図
SB4	I	I5	SP33・35・40・42・62・ 64?・68・192・195・ 194	4間×1間	6.50	4.46	28.50	1.38~2.18	4.46	N32° E	礎板4基 東隅調査区外 SB7・8・9を切る	第150図
SB5	I	K3、L3・4	SP131・139・247、 (SK35)	4間×1間	6.78・6.52	3.32・3.12	21.30	1.36~1.92	3.12~3.32	N21° E	柱根1基	第149図
SB6	I	J4	SP91・92・99・100	?×1間	—	4.26	—	—	4.26	—	柱根2基 南東側調査区外	第148図
SB7	I	I・J4・5	SP72~76・78・79・ 192	2間×2間	3.41・3.30	3.14・3.12	10.65	1.54~1.76	1.24~1.88	N64° E	柱根7基 SB4・8と重複	第151図
SB8	I	I・J5	SP7・30・34・39・41・ 63・68・86・190・191	4間×1間	6.44・6.18	3.46・3.18	20.80	0.96~2.18	3.18~3.46	N28° E	独立棟持柱建物 礎板7基 SB4に切られる	第150図
SB9	I	I・J5	SP33・36・40・42・80 ~84	3間×1・2間	4.4・4.32	3.22・3.16	13.75	1.38~1.56	1.56~3.16	N34° E	柱根6基 SB4に切られる	第150図
SB10	I	I・J9	SP53・55・263、SK8	3間×1間	4.38・4.36	3.04・2.96	13.07	1.28~1.56	2.96~3.04	N80° W	SB11と重複	第151図
SB11	I	I・J9	SP263、SK10・14・21	1間×1間	4.52	4.12	18.52	4.52	4.12	N17° E	SB10と重複	第152図
SB12	I	J9	SP44	2間×1間	2.92	2.62	7.62	1.46	2.62	N52° W		第153図
SB13	I	K6	SP15・147~149	1間×1間	3.26	2.92	9.42	3.26	2.92	N10° E	礎板2基	第152図
SB14	II	D16・17	SP417~419・429	3間×1間	5.38・5.08	2.88・2.86	14.92	1.36~2.60	2.86~2.88	N21° W	柱根2基	第153図
SB15	III	L28	SP464~469	2間×1間	3.92	3.04	11.92	1.84~2.08	3.04	N84° W	SB16と重複	第154図
SB16	III	L28・29	SP465・486	3間×2間	4.10・4.00	3.08・2.94	12.17	0.76~2.28	1.42~1.62	N86° E	SB15と重複 SD168・ 170・363を伴う?	第154図
SB17	III	K27・28	SP470~477	3間×1間	4.68・4.62	3.66	17.02	1.34~1.86	3.66	N64° E	礎板1基	第155図
SB18	III・IV	K26・27	SP456・661・662・664 ~667	3間×1間	4.95・4.74	3.34	16.27	1.50~1.76	3.34	N42° E	柱根7基	第156図
SB19	IV	J・K25	SP719~722	1間×1間	3.52・3.48	2.78・2.66	9.42	3.48~3.52	2.66~2.78	N4° E	柱根4基	第156図
SB20	IV	I・J26・27	SP723~728	1間×2間	2.44・2.40	2.40	5.87	2.40~2.44	1.06~1.34	N28° E	柱根3基	第155図
SB21	IV	I27	SP716~718・861	1間×1・2間	3.34・3.30	2.50	8.35	3.30~3.34	1.20~2.50	N13° E	柱根3基	第157図
SB22	IV	H・I26、H27	SP689~694	1間×2間	4.50・4.28	4.36・4.12	18.62	4.28~4.50	1.98~2.20	N71° W	柱根4基	第157図
SB23	IV	H27	SP695~704・(705)	3間×2(3)間	6.44・6.32	4.38・4.32	27.57	1.74~2.86	2.14~2.24	N15° E	柱根10基 SB24と重複	第158図
SB24	IV	H27	SP706~713	3間×1間	5.32・5.22	3.10・3.04	16.17	1.56~1.94	3.04~3.10	N33° E	柱根3基 SB23と重複	第159図
SB25	IV	G・H25、H26	SP559~570・(631)	3間×3間	6.92・6.88	5.46・5.44	37.52	1.36~3.72	1.32~2.76	N25° E	柱根11基	第160図
SB26	IV	G25・26	SP572~577	2間×1間	3.58・3.46	2.84	9.90	1.72~1.82	2.84	N13° E		第161図
SB27	IV	G26	SP586~591	2間×1間	3.96	2.98・2.80	11.47	1.88~2.08	2.80~2.98	N76° W	SB28と重複	第162図
SB28	IV	G25	SP592~601	4間×1間	6.32	4.50	28.55	1.30~2.06	4.50	N11° E	柱根6基 SB27・29と重複	第163図
SB29	IV	G・H26	SP602~607	1間×2間	3.22・3.10	3.06・2.98	9.60	3.10~3.22	1.40~1.62	N64° W	SB28と重複	第162図
SB30	IV	Z20、Z・A21	SP555~558	1間×1間	2.96・2.88	2.84・2.64	7.82	2.88~2.96	2.64~2.84	N73° W	柱根4基	第161図
SB31	IV	I・J28	SP788~790・792・ 847・857	2間×1間	3.46	2.70	9.27	1.70~1.76	2.70	N5° W	柱根1基	第164図
SB32	IV	G26・27	SP608~613	2間×1間	4.75	3.20	15.27	2.35~2.42	3.20	N3° E		第164図
SB33	IV	I27・28	SP810~812・814・ 816・823	2間×1間	3.50	2.28	7.97	1.68~1.82	2.28	N0°	柱根6基	第165図
SB34	VII	M30・31	SP1092~1095・1097 ~1100	3間×1間	4.16	3.00・2.96	12.42	1.36~1.42	2.96~3.00	N2° W	柱根8基 SB37と重複	第165図
SB35	VII	O30	SP1170・1240~1246	3間×1間	3.34	2.78・2.74	9.20	1.00~1.18	2.74~2.78	N3° E		第166図
SB36	VII	M・N31	SP1104・1126・1146・ 1219・1247・1248	2間×1間	3.64	2.16・2.12	7.77	1.72~1.92	2.12~2.16	N77° W	SH10と重複	第166図
SB37	VII	M30・31	SP1159・1165・1249・ 1250	1間×1間	3.28・3.26	2.04・2.02	6.90	3.26~3.28	2.02~2.04	N75° W	礎板1基 SB34と重複	第167図

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	柱穴	柱間 [長辺×短辺]	規模			柱間寸法		長軸 方位	備考	挿図
					長辺	短辺	面積	長辺	短辺			
SB38	VII	K・L29・30	SP1186~1190	1・2間×1間	4.10・4.00	1.76・1.74	6.77	1.46~4.00	1.74~1.76	N25° E	柱根5基	第167図
SB39	VII	K30・31	SP1194~1197・ 1226・1227・1252・ 1253	2間×2間	3.62・3.56	2.86・2.80	10.05	1.56~2.00	1.28~1.58	N16° E	柱根5基	第168図
SB40	VII	M30	SP1155・1156・1223 ~1225・1251	1間×2間	3.56・3.54	3.00・2.92	10.25	3.54~3.56	1.46~1.54	N10° E	柱根5基 柵列?	第168図
SB41	II	I16	SP320・405・406・ 407・409	2間×1間	3.74・3.72	3.22・3.18	11.87	1.66~2.06	3.18~3.22	N67° W	柱根4基 SB42と重複	第169図
SB42	II	I15・16		2間×1間	3.88・3.82	3.00	11.42	1.88~1.98	3.00	N17° E	SB41と重複	第169図
SB43	II	I15	SP319・327・402・404	2間×1・2間	4.80	3.00	14.20	2.36~2.44	1.42~3.00	N17° E	柱根3基	第170図
SB44	II	I・J13・14	SP278	2間×1間	3.16	2.14・2.12	6.65	1.52~1.64	2.12~2.14	N12° E	SB45と重複	第170図
SB45	II	J13・14	SP277	3間×1間	5.20・5.18	2.62	13.52	1.54~1.88	2.62	N15° E	SB44と重複	第171図
SB46	II	J12・13	SP394	2間×1間	3.52	3.00	10.67	1.50~2.02	3.00	N60° W		第171図
SB47	III	M・N28・29	SP483・488	3間×1間	4.28・4.26	2.42	10.22	1.34~1.52	2.42	N85° E		第172図
SB48	III	L27	SP459・460・479	2間×1間	4.64・4.62	3.26	15.10	2.16~2.48	3.26	N80° E		第172図
SB49	III	L・M27		2間×1間	2.26	1.82	4.12	1.08~1.18	1.82	N79° E		第173図
SB50	III	L26		2間×1間	3.36	2.28	7.62	1.64~1.72	2.28	N4° W		第173図
SB51	IV	J・K27	SP797・798・800	2間×1間	3.16	2.26	7.12	1.48~1.68	2.26	N3° E		第174図
SB52	IV	I24	SP738・840	2間×1間	2.64・2.58	2.20	5.72	1.28~1.32	2.20	N25° E		第174図
SB53	IV	I23・24	SP729~731・736	2間×1間	2.52	2.22	5.55	1.20~1.32	2.22	N28° E	SB54と重複	第175図
SB54	IV	I23・24	SP730・741	1・2間×2間	3.92・3.66	2.84・2.70	10.27	1.90~3.66	1.22~1.48	N57° E	SB53と重複	第175図
SB55	IV	H・I24		2間×1間	2.90	2.86	8.29	1.38~1.52	2.86	N20° E	南東隅の柱穴検出できず	第176図
SB56	IV	H26・27	SP614~616・639・ 643・645	2間×1間	3.74	2.74	10.35	1.66~2.08	2.74	N5° W	柱根?1基 礎板3基	第176図
SB57	II	H・I14	SP283	2間×1間	3.00・2.98	2.34・2.32	6.97	1.44~1.54	2.32~2.34	N22° E		第177図
SB58	IV	G27・28	SP655・657	2間×1間	2.90	1.96	4.86	1.44~1.46	1.96	N43° W	北隅の柱穴検出できず	第177図
SB59	IV	A・B23	SP533	5間×2間	8.86	4.86	43.00	1.26~2.14	2.42~2.44	N85° W		第16図
SB60	VI	J30	SP993・994・1009~ 1011・1082	4間×1間	3.64・3.61	2.16・2.04	7.52	0.74~1.06	2.04~2.16	N76° E	柱根4基 長辺に東柱をもつ	第178図
SB61	VI	H30	SP1017・1034・1043・ 1050・(1061)	1間×1間	2.86	1.98	5.65	2.86	1.98	N21° E	柱根3基 西へ1間分延びる?	第179図
SB62	VI	F・G28・29	SP909	2間×1間	2.98	2.24	6.67	1.42~1.56	2.24	N68° E		第178図
SB63	VI	I31	SP990・988・1007・ 1038	1間×1間	1.92	1.74・1.68	3.22	1.92	1.68~1.74	N2° W		第179図
SB64	VI	G29	SP1026・1027・1036	1間×1間	2.54	2.18	5.52	2.54	2.18	N28° E	柱根3基	第179図
SB65	II	I12	SP271・273・312・313	3間×1間	4.36	2.74	11.72	1.24~1.86	2.74	N10° W		第180図
SB66	VI	J30・31	SP975・976・992・ 1067	1・2間×1間	3.46	2.08	7.22	1.58~3.46	2.08	N10° E	柱根2基 礎板1基 SH9と重複	第180図
SB67	VI	I31	SP968・969・983・ 1008	1・2間×1間	3.90・3.86	2.20・2.00	8.12	1.90~3.86	2.00~2.20	N83° E	柱根2基 礎板1基 亦 生後期の土器出土	第181図
SB68	IV・VI	J28・29	SP782・795・930	1間×1間	3.14	1.65	4.76	3.14	1.65	N88° W	柱根3基 SH8と重複	第181図
SB69	II	I・J14	SP399・400	2間×1間	3.12・3.06	2.98・2.76	9.26	1.33~1.79	2.76~2.98	N10° E	柱根2基	第182図
柱列1	II	H16・17	SP398	3間×2間	4.22	3.90・3.28	—	1.40	1.32~1.96	N19° E	コ字形 柱根1基	第182図
柱列2	III	N29・028	SP489・492・495	3間	6.64	—	—	1.88~2.40	—	N63° E	柱根2基 掘立柱建物?	第183図
柱列3	IV	G25	SP578~582	5間	5.56	—	—	0.88~1.54	—	N18° E	柱根2基 柵列	第183図
柱列4	IV	Z23		3間	3.14	—	—	1.00~1.08	—	N30° E	掘立柱建物?	第183図

第1節 遺構

第5表 周溝建物一覧

単位m (㎡)

記号	調査区	グリッド	周溝・柱穴ほか	形状	周溝区画内規模		周溝規模		支柱	時期	備考	挿図
					長軸	短軸	幅	深				
SH1	II	G-H12・13	SP433	楕円形	9.0	8.0	1.00	0.30	6	弥生後期	西側で周溝途切れる	第184図
SH2	II	F11、 G10・11	SP343・358・356?	隅丸方形	8.5 ~	—	1.50	0.20	—	弥生後期?	西隅で周溝途切れる	第185図
SH3	II	G-H10	SP362	円形	5.4	—	0.90	0.20	6		東側で周溝途切れる SP362で礎板?検出	第185図
SH4	II	F-G13		円形	8.1	—	1.67	0.20	—	~弥生中期 後葉	周溝は東側で途切れる ST2・3・18に切られる	第186図
SH5	VI	G-H28・29	SD332、SP1090? SK190?	隅丸多角形	13.0	12.0	1.05	0.18	—	弥生後期	北側で周溝途切れる SH6に先行する?	第187図
SH6	VI	G~I29	SD341・343	円形	15.0 ~	—	1.30	0.20	—	弥生後期	周溝南半検出できず ST62、SH5・7を切る SH8に切られる	第187図
SH7	VI	H-I28~30	SD323	円形	11.7	—	0.64	0.18	—	弥生後期	南西で周溝途切れる SH8に 切られる 周溝内に焼土・骨 片の集中箇所あり	第188 ~194図
SH8	IV・VI	H~J 28~30	SD289・300・331・333、 SP894・914・915・923・ 924・928・929・931~ 939・942・945・946・ 1021・1022・1025・ 1031・1033・1035・ 1060・1078	円形	18.5	—	1.42	0.14	10 (外周) 5 (内周)	弥生後期	北・南側で周溝途切れる ほぼ全ての柱穴に礎板遺存 SP924から礎柱、SP1022から 石包丁出土 SB68に切られる	第188 ~194図
SH9	VI・VII	J-K30・31	SD334・335・346・353・ 368、 SP974・1004・1074・ 1075・1199	円形	8.5 ~10.0	—	1.36	0.22	5 (外周) 4 (内周)	弥生後期	周溝西側検出できず 周溝再掘削 内周の柱穴に礎板遺存 SB66と重複	第195 ・196図
SH10	VIII	M-N31・32	SD355・370、SP1125・ 1129・1135・1143	隅丸多角形	10.5~	—	1.00	0.14	6	弥生後期	周溝東~北側検出できず 柱穴敷基に礎板遺存 SB36と重複	第197 ・198図
SH11	VIII	L-M32	SD360	円形	—	—	0.62	0.06	—	弥生後期	周溝一部のみ検出	第199図
SH12	IV	F-G27	SD277?、SP618・636・ 640・809	—	—	—	—	—	5		明確な周溝検出できず 柱穴2基に礎板遺存	第200図

第6表 井戸一覧

単位m

遺構名	調査区	グリッド	構造	井戸側規模 [内法]	掘形規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期	備考	挿図
SE1	I	J5・6	木組(丸太割抜き)	0.45×0.37	0.85×0.70×0.63	1.69	弥生後期後葉 ~終末期	丸太分割割り抜き	第201図
SE2	IV	D21	木組(横板井籠組)	一辺0.62~0.64	1.58×1.39×0.30	1.98	古墳終末期	井戸側外で須恵器、井戸側内で曲物底板出土	第201図
SK3	I	J3	木組?	(一辺0.35~0.43)	0.75×0.68×0.74	1.77	弥生後期後葉	釣瓶ほか木製品類出土 炭・礫敷きの浄水施設 井戸側抜き取り?	第202図

第7表 土坑一覧

単位m

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考 [出土遺物など]	挿図
SK1	I	J5・6	楕円	2.22×1.86×0.73	1.62	弥生終末期			
SK2	I	J5	楕円	1.34×1.23×0.42	1.98	弥生後期			
SK4	I	L6	不整楕円	3.55×2.34×0.38	1.34			棒・板・杭	
SK5	I	I7	楕円	1.27×0.95×0.30	1.74	弥生後期			
SK8	I	I9	不整楕円	0.62×0.42×0.24	2.20		SB10		
SK10	I	J9	不整楕円	0.89×0.48×0.18	2.26		SB11		
SK14	I	J9	隅丸方	1.02×0.58×0.14	2.16		SB11		
SK17	I	K3				弥生中期中葉		詳細位置不明	
SK18	I	H・I6	楕円	1.22×1.11×0.14	2.17			柱	
SK20	I	J3	楕円	0.69×0.45×0.13	2.20	弥生後期		棒	
SK21	I	I9	不整楕円	0.92×0.66×0.24	2.16		SB11		
SK23	I	K2	不整楕円	2.33×1.68×0.07	2.38	弥生後期			
SK24	I	K・L3	楕円	0.88×0.63×0.32	2.09	弥生後期?			
SK26	I	L2	不整楕円	2.64×1.90×0.22	2.17	弥生後期			
SK27	I	L・M2	楕円	0.79×0.72×0.30	1.88	弥生後期			
SK29	I	J9	不整楕円	2.94×1.19×0.14	2.21	弥生中期後葉			
SK31	I	J7	不整楕円	2.51×0.91×0.16	2.21			板	
SK32	I	J4	楕円	1.02×0.67×0.19	2.33	弥生後期			
SK34	I	K3	楕円	1.12×1.10×0.59	1.85				
SK38	I	J3	不整楕円	2.19×0.66×1.19	2.12			棒・杭	
SK40	V	J10	楕円	1.62×0.84×0.18	2.21	弥生中期後葉			
SK41	II	H14	楕円	1.31×0.96×0.10	2.41			円柱	
SK43	II	H12	楕円	1.29×0.83×0.20	2.24	弥生後期			
SK44	II	H12	不整楕円	0.85×0.62×0.17	2.32	弥生中期後葉			
SK46	II	H12・13	楕円	1.30×0.72×0.24	2.23	弥生中期後葉		木製品	
SK48	II	H13	楕円	0.86×0.68×0.22	2.24				
SK49	II	H13	楕円	0.92×0.55×0.19	2.22	弥生後期			
SK51	II	H13	楕円	1.36×1.02×0.23	2.20	弥生中期後葉			
SK52	II	H13	楕円	1.54×1.46×0.20	2.22	弥生中期後葉			
SK54	II	J15	不整楕円	1.95×0.91×0.20	2.00	弥生中期?			
SK55	II	H16	楕円	1.30×1.30×0.23	2.10	平安(10c)			
SK57	II	F18	不整楕円	2.74×1.61×0.32	2.16	弥生後期			
SK60	II	B17	不整楕円	2.90×2.40×0.19	1.88	弥生中期後葉			
SK61	II	F14	楕円	1.46×1.44×0.26	2.22	弥生後期			
SK62	II	G14	不整楕円	2.39×1.93×0.50	2.15	弥生中期後葉		棒	
SK66	II	I10・11	楕円	1.41×0.67×0.25	2.19	弥生後期			
SK67	II	F17	不整楕円	2.11×1.47×0.14	2.25	弥生後期			
SK68	II	G17	不整楕円	2.49×1.54×0.31	2.18	弥生後期			
SK69	II	E15	不整楕円	1.46×1.15×0.14	2.16			瓦	
SK72	II	E17	不整楕円	1.56×0.94×0.17	2.16	弥生後期			
SK75	II	E19	不整隅丸方	2.67×1.45×0.35	2.11	弥生後期			
SK77	II	E15	楕円	1.11×0.98×0.14	2.09	須恵器			
SK78	II	E14, E・F15	不整楕円	1.46×1.31×0.22	2.12	弥生中期後葉			
SK80	II	F16	不整楕円	2.24×0.96×0.38	2.10	古墳後期			
SK91	II	H12	不整楕円	1.74×1.46×0.37	2.06	弥生後期			
SK92	II	H12	不整楕円	1.34×0.94×0.21	2.19	弥生後期			
SK93	II	H12	楕円	1.31×0.82×0.35	2.16	弥生後期			
SK94	II	G10・11	不整楕円	1.66×1.02×0.15	2.15	弥生中期後葉			
SK95	IV	Z24	円	1.25×1.24×0.08	2.08	弥生中・後期			
SK100	IV	Y・Z25	不整隅丸方	1.99×1.71×0.58	1.52	弥生前期			
SK101	IV	Y24	不整楕円	1.71×1.36×0.22	1.79	弥生後期中～後葉			
SK103	IV	B24	楕円	1.73×0.87×0.20	1.98	弥生中期中葉?			
SK104	IV	B24	楕円	2.03×1.32×0.30	1.94	弥生前期			
SK106	IV	A24	楕円	2.14×1.52×0.42	1.82	弥生中期後葉		弥生前期土器	
SK107	IV	B・C22	楕円	2.25×1.86×0.32	1.84	古墳後期		鎌柄ほか木製遺物多数	第203図
SK108	IV	A20	不整楕円	0.72×0.57×0.01	1.99	弥生後期中葉			
SK109	IV	A20	楕円	1.32×0.66×0.14	1.86	弥生前期			
SK110	IV	Z20	楕円	1.12×1.03×0.15	1.83	弥生中期後葉			第204図
SK111	IV	C20	楕円	2.92×2.43×0.38	1.81	須恵器			
SK114	IV	B21	隅丸方	1.56×0.72×0.15	2.01	弥生前期			
SK118	IV	A21・22	不整楕円	2.10×2.05×0.38	1.72			ST22を切る 弥生前期土器	
SK121	IV	C21	楕円	1.40×0.64×0.23	2.00	弥生前期			
SK122	IV	A・B20	楕円	2.90×2.72×0.49	2.19	弥生中期後葉		弥生前期土器	
SK123	IV	B21	楕円	0.93×0.62×0.08	2.10	弥生中期後葉			
SK125	IV	A20	楕円	2.27×1.73×0.37	1.70	弥生前期			
SK126	IV	A22	楕円	2.25×1.58×0.36	1.74			磨製石斧	
SK127	IV	F26	楕円	1.03×0.84×0.22	1.89	弥生後期			
SK128	IV	E25	楕円	0.93×0.86×0.17	1.92	古墳後期		円柱	
SK129	IV	F25	不整楕円	2.97×1.56×0.10	1.99	弥生後期		棒	
SK130	IV	D26	楕円	1.74×1.57×0.33	1.77			木片	
SK131	IV	D26	不整楕円	2.57×2.09×0.46	1.72	弥生前期		木片	
SK132	IV	D26	不整楕円	2.38×2.37×0.38	1.71	古墳後期		曲物身 弥生前期土器	
SK135	IV	F24	楕円	1.50×1.05×0.21	1.92	弥生後期		弥生前期土器	

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考 [出土遺物など]	挿図
SK137	IV	F24	楕円	1.28×0.51×0.17	1.99			棒状具	
SK138	IV	F21	楕円	1.43×1.27×0.19	1.98	弥生後期			
SK140	IV	D20	楕円	1.32×1.17×0.37	1.82	弥生前期		磨製石斧	
SK144	IV	H26	楕円	1.26×1.08×0.20	1.74	弥生後期		木片	
SK145	IV	H26	楕円	1.56×0.98×0.16	1.72			木片	
SK146	IV	H26	楕円	0.68×0.55×0.16	1.75			木片	
SK147	IV	H26	楕円	1.33×0.99×0.17	1.67	弥生後期		木片	
SK148	IV	H25	楕円	1.93×0.87×0.20	1.72			木片	
SK149	IV	I25	楕円	0.94×0.51×0.09	1.86			板	
SK151	IV	H26	楕円	1.28×1.08×0.18	1.76	弥生後期			
SK152	IV	H26	楕円	0.75×0.75×0.22	1.71			木片	
SK154	IV	G・H26	楕円	0.99×0.77×0.09	1.69			木片	
SK155	IV	L25	楕円	0.53×0.52×0.17	1.69			指物(組合式箱)	第204図
SK156	IV	J26	楕円	2.39×1.40×0.09	1.73	弥生後期		棒	
SK157	IV	J26	楕円	1.55×1.16×0.33	1.56	弥生後期		円柱	
SK158	IV	H28	楕円	0.52×0.45×0.29	1.60	弥生後期		木片	
SK159	IV	H・I27	楕円	1.70×1.22×0.21	1.67	弥生後期		棒	
SK162	IV	J24	楕円	1.03×0.66×0.16	1.73	弥生後期			
SK164	IV	I28	楕円	1.19×0.83×0.14	1.72	弥生後期			
SK165	IV	J26	楕円	2.21×1.58×0.36	1.48	弥生後期		角柱・板・棒	
SK167	IV	I26	不整楕円	1.29×1.03×0.23	1.62			板	
SK168	IV	I25	楕円	1.26×0.91×0.22	1.70	弥生後期			
SK170	IV	H28	不整楕円	1.31×0.80×0.13	1.73	弥生後期?			
SK175	VII	G20	不整楕円	1.72×1.35×0.28	1.89	古墳後期		棒	
SK179	IV	Z24	不整楕円	1.00×0.83×0.17	1.93	弥生後期			
SK180	IV	B24	円	1.13×0.99×0.13	1.98	弥生前期			
SK182	IV	Z24	楕円	1.26×0.87×0.18	1.90	弥生前期			
SK183	IV	Z24	不整楕円	1.16×1.06×0.11	2.00	弥生中期		弥生前期土器	
SK184	IV	Y24・25	隅丸方	1.39×0.91×0.17	1.86			木片	
SK186	VI	Y25	不整楕円	1.30×1.12×0.30	1.83	弥生前期			
SK188	VI	G28	楕円	1.83×1.44×0.25	1.57	弥生後期	SH5?		
SK190	VI	G29	楕円	2.24×1.31×0.62	1.20		SH5?	SH5の中央部に位置	
SK194	VI	E28	不整楕円	4.00×1.50×0.30	1.78	弥生前期			
SK196	VI	E28	楕円	0.81×0.69×0.21	1.74	弥生後期			
SK197	IV	A25	楕円	1.84×1.79×0.27	2.27	弥生前期			第204図
SK198	VI	I31	楕円	0.93×0.86×0.16	1.54	弥生後期			
SK199	VI	J31	不整楕円	0.81×0.54×0.24	1.47	弥生後期			
SK203	VI	J31	不整楕円	2.18×0.71×0.10	1.62	弥生後期			
SK205	VI	J30	楕円	1.04×0.76×0.15	1.44		SH9?		
SK206	VI	H29	不整楕円	2.24×1.07×0.15	1.62			敲石	
SK207	VI	I30	楕円	0.89×0.68×0.14	1.48	弥生後期	SH8?		
SK209	VI	I30	不整楕円	1.04×0.97×0.25	1.47				
SK214	VIII	M31	楕円	1.24×0.78×0.13	1.48	弥生後期			
SK215	VIII	O30	不整楕円	1.57×0.44×0.08	1.68			棒	
SK219	VIII	L31	不整楕円	1.10×0.58×0.05	1.34			木片	
SK228	VI	Z25	楕円?	0.76×0.63×0.14	1.88	弥生中期中葉		溝状	

第4章 遺構と遺物

第8表 柱穴ほか一覧

単位m

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP1	I	I7	楕円	0.35×0.25×0.16	2.16	五平					
SP5	I	J5	楕円	0.41×0.40×0.18	2.14			弥生中期後葉			
SP8	I	I5	楕円	0.32~×0.29×0.14	2.21						
SP9	I	I5	不整楕円	0.45~×0.34×0.14	2.21			弥生後期			
SP10	I	I5	楕円	0.39~×0.39×0.17	2.23			弥生後期			
SP11	I	I5	楕円	0.38~×0.36×0.17	2.23						
SP12	I	J5	不整隅丸方	1.05×0.88×0.09	2.28			弥生後期			
SP14	I	K5	楕円	0.23×0.22×0.13	2.27			弥生後期		木片	
SP15	I	K6	楕円	0.59×0.44×0.26	2.12				SB13		第152図
SP22	I	J5	不整楕円	1.00×0.75~×0.33	2.04			弥生後期			
SP23	I	L2	楕円	0.47×0.40×0.15	2.23			弥生後期			
SP24	I	L2	不整楕円	0.94×0.87~×0.12	2.27			弥生後期			
SP25	I	L2	隅丸方	0.46×0.46×0.18	2.13			弥生中期後葉			
SP26	I	L2	楕円	0.59×0.49×0.17	2.13			弥生後期			
SP27	I	K3	楕円	0.31×0.27×0.13	2.02	五平		弥生後期			
SP29	I	K3	楕円	0.40×0.32×0.42	2.10	板状			SB1		第147図
SP30	I	I5	楕円	0.96×0.52×0.20	2.18		○		SB8	SP31が内に重複 年輪年代72B.C.(+α)	第150図
SP31	I	I5	楕円	0.44×?×0.14	2.26		○		SB8	SP30を切る 建て替え?	第150図
SP32	I	I5	楕円	0.96×0.96×0.42	2.06	円		弥生後期			
SP33	I	I5	楕円	0.50~×0.50×0.22	2.24				SB4		第150図
SP34	I	I5	隅丸方	0.65×0.48~×0.46	1.98		○		SB8		第150図
SP35	I	I5	楕円	0.80×0.64×0.26	2.18		○	弥生後期	SB4		第150図
SP36	I	I5	楕円	0.33~×0.16~×0.12	2.34				SB9?		第150図
SP37	I	I5	楕円	0.22×0.21×0.14	2.26			弥生後期			
SP38	I	I5・J5	楕円	0.64×0.62×0.32	2.15		○				
SP39	I	I5	隅丸方	0.70×0.50×0.30	2.18				SB8		第150図
SP40	I	I5・J5	楕円	0.58~×0.52×0.23	2.25		○		SB4		第150図
SP41	I	J5	楕円	0.62×0.52×0.16	2.28		○		SB8		第150図
SP42	I	J5	楕円	0.58×0.46×0.20	2.24	円			SB4		第150図
SP44	I	J9	楕円	0.60~×0.46×0.12	2.26				SB12		第153図
SP47	I	J9	楕円	0.47×0.43×0.16	2.33		○	弥生後期			
SP48	I	J9	楕円	0.32~×0.32×0.15	2.36			弥生中期後葉			
SP53	I	I9	楕円	0.50×0.44×0.18	2.24		○		SB10		第151図
SP54	I	J9	不整楕円	0.56×0.55×0.15	2.26			弥生中期後葉			
SP55	I	J9	楕円	0.48×0.40×0.18	2.26				SB10		第151図
SP60	I	H9	楕円	0.33~×0.31×0.09	2.28			弥生中期後葉			
SP61	I	I5	楕円	0.44~×0.39×0.14	2.28		○		SB8		第150図
SP62	I	I5	楕円	0.53×0.39~×0.33	2.23		○		SB4		第150図
SP63	I	I5	楕円	0.88×0.46×?	2.23	○			SB8		第150図
SP64	I	I5	楕円	0.43~×0.40×0.37	2.20			弥生後期	SB4		第150図
SP66	I	J9	楕円	0.35×0.33×0.28	2.06			弥生中期後葉			
SP68	I	I5	楕円	0.68×0.56~×0.37	2.10		○	弥生後期	SB8		第150図
SP72	I	I4	楕円	0.32×0.32×0.10	2.28	円			SB7		第151図
SP73	I	J4	楕円	0.36×0.36×0.26	2.24	円			SB7		第151図
SP74	I	J4	楕円	0.38×0.32×0.24	2.22	円			SB7		第151図
SP75	I	J5	楕円	0.44×0.30×0.16	2.38	円			SB7		第151図
SP76	I	I5	楕円	0.28×0.26×0.16	2.26	円			SB7		第151図
SP77	I	K4	楕円	0.49×0.28×0.32	2.10	円					
SP78	I	I5	楕円	0.36×0.34×0.16	2.26	円			SB7		第151図
SP79	I	I5	楕円	0.32×0.28×0.20	2.19	円			SB7		第151図
SP80	I	J5	楕円	0.32×0.28×0.28	2.22	円			SB9		第150図
SP81	I	J5	楕円	0.30×0.28×0.16	2.18	円			SB9		第150図
SP82	I	J5	楕円	0.34×0.32×0.20	2.12	円			SB9		第150図
SP83	I	J5	楕円	0.32×0.26×0.26	2.04	円			SB9		第150図
SP84	I	J5	楕円	0.30×0.24×0.22	2.14	円			SB9		第150図
SP85	I	I5	楕円	0.43×0.40×0.18	2.21	円					
SP86	I	I5	楕円	0.41×0.36×0.15	2.27	円	○		SB8	棒	第150図
SP87	I	I5	不整楕円	0.43×0.33×0.17	2.16	円					
SP91	I	J4	隅丸方	0.66×0.58×0.48	2.02				SB6	柱痕	第148図
SP92	I	J4	不整楕円	0.64×0.48×0.28	2.14				SB6	柱痕	第148図
SP94	I	L2	楕円	0.47×0.34×0.26	2.08	五平					
SP95	I	K4	円	0.28×0.26×0.55	1.97	円		古墳後期			
SP96	I	J4	楕円	0.32×0.27×0.25	2.26	円					
SP99	I	J4	不整楕円	0.66×0.50×0.20	1.92	円			SB6	柱根下部に方形の貫通孔あり	第148図
SP100	I	J4	不整楕円	0.74×0.72×0.34	1.78	円			SB6		第148図
SP101	V	I9	楕円	0.50×0.49×0.25	2.17	円					
SP103	I	K3	不整楕円	0.70×0.52×0.22	2.18				SB1		第147図
SP104	I	K3	楕円	0.35×0.30×0.18	2.24				SB1		第147図
SP105	I	K2	楕円	0.49×0.48×0.13	2.18			弥生後期			
SP106	I	K3	楕円	0.25×0.20×0.15	2.31			古墳後期			
SP109	I	K5	楕円	0.32×0.26×0.37	2.08	円					
SP111	I	J3	楕円	0.48~×0.45×0.54	1.88	円					
SP112	I	J3	卵	0.36×0.32×0.54	1.85	五平					
SP113	I	J3	楕円	0.38×0.38×0.35	2.10	円					

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP114	V	H9	楕円	0.55×0.54×0.27	2.14	五平					
SP115	I	K3	楕円	0.53×0.50×0.46	2.06	円			SB1		第147図
SP116	I	K3	円	0.42×0.31×0.18	2.22	円			SB3		第148図
SP117	I	J3	楕円	0.42×0.39×0.19	2.10	五平					
SP119	I	J3	楕円	0.62×0.43×0.42	2.01	五平		弥生後期			
SP120	I	J3	楕円	0.32×0.30×0.34	2.06	五平					
SP123	I	L3	楕円	0.52×0.48×0.25	2.15			弥生後期			
SP126	I	K3	不整卵	0.68×0.55×0.46	2.06	五平		弥生後期		出土土器に粉?圧痕あり	
SP127	I	K3	不整楕円	0.50×0.35×0.56	1.92	五平			SB13?		
SP128	I	K3	卵	0.52×0.45×0.39	2.08	円					
SP129	I	L3	楕円	0.60×0.50×0.32	2.02	板状			SB2		第147図
SP130	I	K-L3	楕円	0.60×0.48×0.22	2.22	板状			SB2		第147図
SP131	I	K4	楕円	0.58×0.42×0.18	2.25			弥生後期	SB5		第149図
SP133	I	K2	楕円	0.38×0.36×0.42	2.02	半円					
SP134	I	K2	楕円	0.54×0.52×0.32	2.09	五平					
SP136	I	K4	不整卵	1.14×0.46×0.22	2.18	○?	○				
SP138	I	L5	楕円	0.49×0.42×0.20	2.26		○				
SP139	I	L4	楕円	0.31×0.30×0.16	2.26	五平			SB5		第149図
SP142	I	M3	楕円	0.48×0.42×0.69	1.53					杭	
SP144	I	J7	楕円	0.46×0.42×0.16	2.22	円					
SP147	I	K6	楕円	0.56×0.48×0.22	2.12		○		SB13		第152図
SP148	I	K6	楕円	0.50×0.46×0.16	2.36		○		SB13		第152図
SP149	I	K6	楕円	0.54×0.49×0.28	2.04				SB13		第152図
SP153	V	I10	楕円	0.38×0.36×0.10	2.31			弥生中期後葉			
SP165	I	J7	隅丸方	0.60×0.39×0.08	2.30			弥生後期			
SP166	I	J7	楕円	0.36~×0.35×0.07	2.30			弥生後期			
SP167	I	J7	楕円	0.32×0.23×0.12	2.02			弥生後期			
SP168	I	J7	不整楕円	0.53~×0.48×0.09	2.23			弥生後期			
SP169	I	J7	不整楕円	0.33×0.27~×0.09	2.23			弥生後期			
SP172	I	J7	楕円	0.38~×0.35×0.29	2.04			弥生後期			
SP184	I	J3	楕円	0.55×0.52×0.28	2.06			弥生後期			
SP185	I	J6	楕円	0.40×0.26×0.22	2.15	五平					
SP189	I	J-K7	楕円	0.35×0.29×0.11	2.21			弥生後期		棒	
SP190	I	I5	楕円	0.72×0.50×0.26	2.24		○	弥生後期	SB8		第150図
SP191	I	I5	楕円	0.70×0.42×0.20	2.20		○		SB8	杭	第150図
SP192	I	I5	楕円	0.38×0.32×0.16	2.24				SB4・7	SB7の柱穴をSB4で再利用	第151図
SP193	I	J5	楕円	0.27×0.27×0.16	2.22			弥生後期			
SP194	I	I5	楕円	0.43×0.25~×0.22	2.10				SB4		第150図
SP195	I	I5	楕円	0.36~×0.35×0.30	2.10				SB4		第150図
SP215	I	K3	楕円	0.44×0.42×0.36	2.10				SB1	柱痕	第147図
SP216	I	K3	楕円	0.42×0.32×0.27	2.22	○			SB3		第148図
SP217	I	K3	楕円	0.42×0.22~×0.55	1.93	五平					
SP219	I	J3	楕円	0.28×0.22×0.32	2.14				SB1		第147図
SP222	I	K3	楕円	0.48×0.30×0.18	2.22				SB2		第147図
SP224	I	K2	不整楕円	0.94×0.59×0.32	2.10	五平		弥生後期			
SP227	I	K3	楕円	0.28×0.27×0.24	2.23			弥生後期			
SP229	I	I6	楕円	0.33×0.32×0.30	2.10	五平					
SP230	I	I6	不整楕円	0.53×0.51×0.21	2.15					板	
SP231	I	I6	不整楕円	0.52×0.39×0.27	2.10	○?					
SP238	I	L5	楕円	0.45×0.27×0.15	2.16			弥生後期			
SP247	I	L4	不整楕円	0.60×0.54×0.18	2.22				SB5		第149図
SP249	I	L4	楕円	0.30×0.27×0.17	2.25		○				
SP250	I	K3	楕円	0.54×0.50×0.22	2.26				SB3		第148図
SP251	I	K3	楕円	0.32×0.28×0.22	2.24				SB1		第147図
SP254	I	K2	楕円	0.52×0.46×0.28	2.14				SB2		第147図
SP256	I	L3	楕円	0.30~×0.26×0.16	2.25				SB2		第147図
SP258	I	L2	楕円	0.51×0.49×0.07	2.19			弥生後期			
SP263	I	I9	楕円	0.86~×0.50~×0.36	2.16			弥生中期後葉	SB10・11		第151・152図
SP269	II	J12	楕円	0.48×0.40×0.09	2.10			弥生後期			
SP270	II	J12	隅丸方	0.55×0.50×0.14	2.06						
SP271	II	I12	不整隅丸方	0.48×0.36~×0.28	2.10				SB65		第180図
SP272	II	I12	楕円	0.39×0.37×0.13	2.19			弥生中期後葉			
SP273	II	I12	不整楕円	0.76×0.52×0.22	2.20				SB65		第180図
SP274	II	I12	楕円	0.29×0.27×0.03	2.12			弥生中期後葉			
SP275	II	J12	楕円	0.31×0.29×0.13	2.11			弥生後期			
SP277	II	J13	不整楕円	0.44×0.42×0.18	2.04			弥生後期	SB45		第171図
SP278	II	I14	楕円	0.44×0.42×0.16	2.02			弥生後期	SB44		第170図
SP280	II	H14	楕円	0.33×0.30×0.10	2.27						
SP281	II	H14	楕円	0.24×0.23×0.10	2.30						
SP283	II	I14	楕円	0.44×0.44×0.12	2.20			弥生後期	SB57		第177図
SP285	II	H14	楕円	0.48×0.46×0.19	2.30			弥生中期後葉			
SP286	II	H14	楕円	0.38×0.36×0.20	2.29						
SP293	II	I13	楕円	0.48×0.48×0.22	2.23			弥生中期後葉			
SP294	II	H13	卵	0.50×0.41×0.26	2.26			弥生中期後葉			
SP297	II	H12	楕円	0.45×0.39×0.11	2.37			弥生後期			
SP302	II	H12	楕円	0.52×0.50×0.24	2.26	○				棒	
SP306	II	H12	楕円	0.33×0.25~×0.05	2.38			弥生後期			

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP308	II	H12	卵	0.74×0.55×0.11	2.38			弥生中期後葉			
SP312	II	I12	不整楕円	0.66×0.42×0.18	2.24				SB65		第180図
SP313	II	I12	楕円	0.50×0.40×0.22	2.18				SB65		第180図
SP318	II	H13	楕円	0.43×0.35×0.07	2.18		○				
SP319	II	I15	楕円	0.76×0.48×0.18	2.06				SB43		第170図
SP320	II	I16	楕円	0.34×0.30×0.14	2.14			弥生後期	SB41		第169図
SP324	II	F15	楕円	0.36×0.35×0.16	2.39					加工痕をもつ木片	
SP326	II	F15	楕円	0.24×0.22×0.16	2.34	円					
SP327	II	I15	楕円	0.42×0.36×0.10	2.12	五平			SB43		第170図
SP328	II	I16	楕円	0.46×0.45×0.10	2.12					板	
SP329	II	I16	楕円	0.47×0.46×0.15	2.17	五平				木片	
SP332	II	F18	楕円	0.56×0.43~×0.15	2.33						
SP336	II	F12	楕円	0.37×0.33×0.08	2.21			弥生後期			
SP337	II	F12	楕円	0.39×0.36×0.11	2.20			弥生中期後葉			
SP341	II	H12	楕円	0.64×0.57×0.28	2.18			弥生後期		板	
SP342	II	H12	楕円	0.52×0.49×0.28	2.18			弥生中期後葉			
SP345	II	H11	不整楕円	1.09×0.55×0.21	2.26			弥生後期			
SP347	II	H11	円	0.34×0.34×0.17	2.31			弥生後期			
SP351	II	G10	楕円	0.41×0.39×0.11	2.28			弥生後期			
SP355	II	H10	楕円	0.48×0.44×0.13	2.22					板	
SP356	II	G11	楕円	0.34×0.30×0.16	2.24					板・棒	
SP358	II	G11	楕円	0.48×0.40~×0.15	2.21			弥生後期			
SP359	II	H12	不整楕円	0.92×0.63×0.21	2.26						
SP360	II	H11	不整楕円	0.74×0.57×0.21	2.28					板・棒	
SP361	II	G10	楕円	0.51×0.41×0.12	2.22					板	
SP362	II	G10	楕円	0.93×0.56×0.22	2.07		○?		SH3		
SP363	II	H11	楕円	1.25×0.72×0.21	2.26	円				年輪年代27B. C. (+ α)	
SP365	II	F12	楕円	0.41×0.33×0.14	2.18	円					
SP368	II	H11	不整楕円	1.05×0.52×0.23	2.23			弥生後期			
SP370	II	H11	楕円	0.64×0.40×0.17	2.31					杭	
SP371	II	H12	楕円	0.56×0.37×0.13	2.34		○				
SP372	II	H12	楕円	0.57×0.55×0.24	2.28					棒	
SP375	II	H11	楕円	0.41×0.36×0.19	2.29			弥生後期			
SP377	II	I12	楕円	0.58×0.54×0.10	2.36	五平					
SP380	II	H12	楕円	0.55×0.53×0.19	2.26						
SP381	II	H12-13	不整楕円	0.98×0.76~×0.11	2.38					木片	
SP386	II	I12	楕円	0.34×0.31×0.09	2.39						
SP390	II	J12	楕円	0.40×0.38×0.12	2.10			弥生中期後葉			
SP391	II	J12	楕円	0.32×0.23×0.09	2.07	○					
SP392	II	J12	楕円	0.39×0.38×0.07	2.08			弥生後期			
SP393	II	J12	楕円	0.34×0.30×0.10	2.09	円					
SP394	II	J13	楕円	0.54×0.52×0.14	1.62				SB46		第171図
SP395	II	J13-14	楕円	0.52×0.44×0.15	2.04		○			年輪年代19A. D. (+ α)	
SP398	II	H16	楕円	0.53×0.49×0.20	2.16	円			柱列1		第182図
SP399	II	I14	楕円	0.31×0.30×0.14	2.11	円			SB69		第182図
SP400	II	J14	楕円	0.47×0.36×0.10	2.13	円			SB69		第182図
SP401	II	I15	楕円	0.35×0.35×0.17	2.07					木片	
SP402	II	I15	楕円	0.40×0.36×0.16	2.06	五平			SB43		第170図
SP404	II	I15	楕円	0.38×0.36×0.10	2.10	五平			SB43		第170図
SP405	II	I15	楕円	0.38×0.38×0.12	2.10	五平			SB41		第169図
SP406	II	I16	楕円	0.46×0.44×0.16	2.12	五平			SB41		第169図
SP407	II	I16	楕円	0.39×0.24~×0.18	2.14	五平			SB41		第169図
SP409	II	I16	楕円	0.52×0.36×0.18	2.14	円			SB41		第169図
SP411	II	I17	楕円	0.62×0.45×0.15	2.10					棒	
SP412	II	I17	不整楕円	0.63×0.55×0.15	2.16					杭	
SP417	II	D16	楕円	0.48×0.42×0.18	2.14				SB14		第153図
SP418	II	D16	楕円	0.40×0.32×0.14	2.22			弥生後期	SB14		第153図
SP419	II	D17	楕円	0.48×0.38×0.16	2.26	五平			SB14		第153図
SP420	II	H13	楕円	0.31~×0.31×0.16	2.29			弥生中期後葉			
SP429	II	C16	楕円	0.56×0.48×0.18	2.12	板状			SB14		第153図
SP430	II	H12	楕円	0.64~×0.63×0.14	2.29					杭	
SP433	II	G12	楕円	0.59×0.58×0.24	2.22			弥生後期			
SP434	II	H12	楕円	0.43×0.41×0.19	2.20					杭・板	
SP436	II	H14	楕円	0.50×0.43×0.20	2.31			弥生後期			
SP437	II	H14	楕円	0.51×0.48×0.25	2.29	円					
SP438	II	H14	楕円	0.39×0.31×0.08	2.40	円					
SP439	II	H17	楕円	0.46×0.39×0.10	2.14	五平					
SP445	II	G16	楕円	0.38×0.32×0.17	2.40		○				
SP446	II	H12	楕円	0.72×0.57×0.24	2.18		○				
SP453	III	L26	楕円	0.38×0.32×0.19	1.57					柄頭様の木製品	
SP456	III	K27	楕円	0.48×0.31×0.20	1.60	円			SB18		第156図
SP459	III	L27	楕円	0.72×0.68×0.30	1.40				SB48	棒	第172図
SP460	III	L27	楕円	0.72×0.62×0.40	1.36				SB48		第172図
SP462	III	K28	楕円	0.96×0.92×0.13	1.59	円					
SP464	III	L28	楕円	0.50×0.47×0.20	1.52			弥生後期	SB15		第154図
SP465	III	L28	円	0.46×0.40×0.32	1.40				SB15		第154図
SP466	III	L28-29	楕円	0.52×0.44×0.42	1.34				SB15		第154図

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP467	Ⅲ	L28	楕円	0.64×0.52×0.38	1.32				SB15	板	第154図
SP468	Ⅲ	L28	楕円	0.74×0.68×0.30	1.42				SB15		第154図
SP469	Ⅲ	L28	楕円	0.78×0.72×0.36	1.36				SB15		第154図
SP470	Ⅲ	K27・28	楕円	0.64×0.50×0.36	1.34				SB17	木片	第155図
SP471	Ⅲ	K28	楕円	0.60×0.52×0.28	1.46			弥生後期	SB17		第155図
SP472	Ⅲ	K28	楕円	0.71×0.60×0.12	1.62			弥生後期	SB17	木片	第155図
SP473	Ⅲ	K28	楕円	0.74×0.66×0.08	1.74				SB17		第155図
SP474	Ⅲ	K28	不整楕円	0.72×0.50×0.38	1.32			弥生後期	SB17		第155図
SP475	Ⅲ	K28	楕円	0.46×0.40×0.16	1.48				SB17		第155図
SP476	Ⅲ	K28	楕円	0.46×0.40×0.34	1.32		○	弥生後期	SB17	杭	第155図
SP477	Ⅲ	K28	楕円	0.46×0.46×0.16	1.48			弥生後期	SB17		第155図
SP478	Ⅲ	L28	楕円	0.48×0.42×0.14	1.58	五平					
SP479	Ⅲ	L27	楕円	0.60×0.60×0.38	1.36			弥生後期	SB48		第172図
SP480	Ⅲ	M26	楕円	0.59×0.54×?		半円					
SP483	Ⅲ	N28	楕円	0.46×0.42×0.22	1.44				SB47		第172図
SP484	Ⅲ	M・N28	楕円	0.50×0.46×0.31	1.44	五平					
SP485	Ⅲ	M・N28	楕円	0.54×0.40×0.13	1.61	五平					
SP486	Ⅲ	L28	楕円	0.48×0.42×0.14	1.52				SB16		第154図
SP488	Ⅲ	N29	楕円	0.50×0.48×0.18	1.62				SB47	木片	第172図
SP489	Ⅲ	N29	楕円	0.35×0.28×0.09	1.61				柱列2	木片	第183図
SP492	Ⅲ	O28	楕円	0.42×0.40×?		五平			柱列2		第183図
SP493	Ⅲ	O28	楕円	0.19×0.18×?		五平					
SP494	Ⅲ	O28	楕円	0.25×0.23×?			○			年輪年代133B. C. (+α)	
SP495	Ⅲ	N29	楕円	0.36×0.29×0.16	2.50	五平			柱列2		第183図
SP497	Ⅲ	L25	楕円	0.37×0.36×0.10	1.63					木片	
SP500	Ⅲ	M28	楕円	0.54×0.52×0.33	1.39			弥生後期			
SP501	Ⅲ	K28	楕円	0.36×0.33×0.08	1.57				SB15?		
SP502	Ⅲ	K27	楕円	0.47×0.38×0.06	1.68			弥生後期			
SP505	Ⅳ	A25	楕円	0.96×0.83×0.26	1.94	半円					
SP507	Ⅳ	A23	楕円	0.70×0.57~×0.05	2.09			弥生前期			
SP514	Ⅳ	Z20	楕円	0.74×0.60×0.15	1.91			弥生中期後葉			
SP521	Ⅳ	C21	楕円	0.87×0.80×0.17	2.06			弥生後期		弥生前期土器	
SP522	Ⅳ	C21	楕円	0.64×0.62×0.26	1.95			弥生前期			
SP525	Ⅳ	D22	楕円	0.56×0.51×0.13	2.21			弥生後期			
SP526	Ⅳ	D22	楕円	0.59×0.56×0.08	2.20						
SP527	Ⅳ	C22	楕円	0.61×0.59×0.11	2.18			弥生中期後葉			
SP529	Ⅳ	C21	楕円	1.11×0.60×0.35	1.80					木片	
SP530	Ⅳ	D20	楕円	1.29×0.79×0.13	2.22			弥生中期後葉			
SP533	Ⅳ	A・B23	楕円	0.70×0.70×0.14	2.06			弥生後期	SB59		
SP537	Ⅳ	D26	楕円	0.60×0.43×0.14	2.04					漆器	
SP538	Ⅳ	E26・27	楕円	0.63×0.61×0.25	1.75					磨製石斧	
SP541	Ⅳ	D26	楕円	0.65×0.55×0.17	2.04			弥生中期中葉			
SP543	Ⅳ	E25	楕円	0.58×0.40~×?				弥生後期		弥生前期土器	
SP544	Ⅳ	G25	楕円	0.67×0.56×0.07	1.90			弥生前期			
SP547	Ⅳ	E20	楕円	0.77~×0.59~×0.19	2.26			弥生後期			
SP549	Ⅳ	A19・20	不整楕円	0.78×0.60×0.14	1.88	円					
SP554	Ⅳ	F27	隅丸方	0.58×0.55×0.19	1.74			弥生後期			
SP555	Ⅳ	Z21	楕円	0.46×0.44×0.12	1.76	円			SB30		第161図
SP556	Ⅳ	Z21	楕円	0.78×0.52×0.20	1.92	円			SB30		第161図
SP557	Ⅳ	Z21			1.88	円			SB30	掘形検出できず	第161図
SP558	Ⅳ	Z20	楕円	0.38×0.34×0.30	1.74	円			SB30		第161図
SP559	Ⅳ	H25	楕円	0.78×0.70×0.36	1.60	半円			SB25	年輪年代147B. C. (+α)	第160図
SP560	Ⅳ	H25	楕円	0.86×0.60×0.18	1.72				SB25		第160図
SP561	Ⅳ	H25	楕円	0.74×0.61×0.24	1.62	五平			SB25		第160図
SP562	Ⅳ	H25	楕円	1.04×0.76×0.22	1.66	五平			SB25		第160図
SP563	Ⅳ	H25	楕円	1.00×0.70×0.30	1.76	五平			SB25		第160図
SP564	Ⅳ	H25	楕円	0.81×0.58×0.22	1.74	五平			SB25		第160図
SP565	Ⅳ	H26	楕円	0.81×0.62×0.24	1.70	五平			SB25		第160図
SP566	Ⅳ	H25・26	楕円	0.64×0.22~×0.18	1.72	半円		弥生後期	SB25	年輪年代113B. C. (+α)	第160図
SP567	Ⅳ	H25	楕円	0.64×0.58×0.32	1.52	半円			SB25	年輪年代143B. C. (+α)	第160図
SP568	Ⅳ	G25	楕円	0.84×0.60×0.16	1.66	五平			SB25		第160図
SP569	Ⅳ	G・H25	楕円	0.81×0.56×0.26	1.62	五平			SB25	年輪年代202B. C. (+α)	第160図
SP570	Ⅳ	H25	楕円	0.72×0.44×0.18	1.64	五平			SB25	年輪年代230B. C. (+α)	第160図
SP571	Ⅳ	H24	楕円	0.44×0.41×0.24	1.64	五平					
SP572	Ⅳ	G25	楕円	0.86×0.52×0.28	1.58				SB26	木片	第161図
SP573	Ⅳ	G25	楕円	0.92×0.58×0.18	1.64			弥生後期	SB26	棒・木片・種子	第161図
SP574	Ⅳ	G25・26	不整楕円	0.88×0.74×0.30	1.62			弥生後期	SB26		第161図
SP575	Ⅳ	G25	楕円	0.40×0.36×0.24	1.64				SB26		第161図
SP576	Ⅳ	G25	円	0.48×0.46×0.40	1.50		○		SB26		第161図
SP577	Ⅳ	G25	楕円	0.48×0.44×0.18	1.64				SB26		第161図
SP578	Ⅳ	G25	楕円	0.50×0.36×0.22	1.86				柱列3		第183図
SP579	Ⅳ	G25	円	0.40×0.38×0.18	1.88				柱列3		第183図
SP580	Ⅳ	G25	楕円	0.64×0.32×0.10	1.94				柱列3		第183図
SP581	Ⅳ	G25	楕円	0.40×0.38×0.28	1.84				柱列3		第183図
SP582	Ⅳ	G25	楕円	0.50×0.44×0.20	1.90				柱列3		第183図
SP583	Ⅳ	H25	楕円	0.42×0.38×0.24	1.66			弥生後期		SP584と土器接合	
SP584	Ⅳ	H25	楕円	0.42×0.38×0.24	1.68			弥生後期		SP583と土器接合	

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP585	IV	G26	楕円	0.53×0.50×0.24	1.61		○				
SP586	IV	G26	楕円	0.62×0.52×0.18	1.68			弥生後期	SB27		第162図
SP587	IV	G26	楕円	0.64×0.50×0.18	1.68				SB27		第162図
SP588	IV	G26	楕円	0.48×0.48×0.22	1.62			弥生後期	SB27	木片	第162図
SP589	IV	G26	楕円	0.88×0.56×0.18	1.54				SB27		第162図
SP590	IV	G26	楕円	0.78×0.56×0.18	1.64				SB27	板・杭	第162図
SP591	IV	G26	楕円	0.54×0.48×0.22	1.70				SB27		第162図
SP592	IV	G26	楕円	0.38×0.34×0.34	1.54	五平			SB28		第163図
SP593	IV	G26	楕円	0.54×0.42×0.26	1.56	五平			SB28	年輪年代171B. C. (+α)	第163図
SP594	IV	G26	円	0.42×0.36×0.24	1.56	円			SB28	板	第163図
SP595	IV	G26	楕円	0.30×0.30×0.26	1.56				SB28		第163図
SP596	IV	G26	楕円	0.38×0.36×0.24	1.56				SB28	板	第163図
SP597	IV	G26	楕円	0.48×0.48×0.26	1.66	五平			SB28		第163図
SP598	IV	G26	不整楕円	0.90×0.66×0.32	1.66	五平			SB28		第163図
SP599	IV	G26	円	0.36×0.32×0.26	1.68				SB28		第163図
SP600	IV	G26	楕円	0.56×0.48×0.18	1.70				SB28	木片	第163図
SP601	IV	G26	楕円	0.46×0.40×0.24	1.68	五平			SB28		第163図
SP602	IV	G26	楕円	0.34×0.32×0.10	1.72				SB29		第162図
SP603	IV	G26	円	0.36×0.32×0.18	1.68				SB29		第162図
SP604	IV	G26	楕円	0.36×0.30×0.06	1.72				SB29		第162図
SP605	IV	H26	楕円	0.42×0.40×0.10	1.72				SB29		第162図
SP606	IV	G26	楕円	0.30×0.28×0.08	1.72				SB29		第162図
SP607	IV	G26	楕円	0.44×0.28×0.12	1.72				SB29		第162図
SP608	IV	G26	楕円	0.80×0.64×0.38	1.48				SB32		第164図
SP609	IV	G27	楕円	0.72×0.52×0.21	1.62				SB32		第164図
SP610	IV	G27	楕円	0.56×0.50×0.28	1.56				SB32		第164図
SP611	IV	G26	楕円	0.60×0.50×0.28	1.50				SB32		第164図
SP612	IV	G27	楕円	0.60×0.50×0.26	1.58				SB32		第164図
SP613	IV	G27	楕円	0.52×0.50×0.36	1.42				SB32		第164図
SP614	IV	H26	楕円	0.56×0.50×0.24	1.60		○		SB56		第176図
SP615	IV	H26	楕円	0.68×0.50×0.26	1.60		○	弥生後期	SB56		第176図
SP616	IV	H26	楕円	0.96×0.60×0.20	1.62		○		SB56		第176図
SP617	IV	G27	楕円	0.72×0.52×0.15	1.68	五平				木片	
SP618	IV	G27	楕円	0.85×0.72×0.23	1.61		○		SH12		第200図
SP620	IV	J27	楕円	0.57×0.50×0.27	1.62					建築部材 (軸受け)	
SP634	IV	H26	楕円	0.44×0.39×0.19	1.76			弥生後期			
SP636	IV	G27	卵	1.02×0.82×0.18	1.68		○		SH12		第200図
SP638	IV	H26	楕円	0.60×0.55×0.19	1.67	円					
SP639	IV	H26	楕円	0.60×0.58×0.22	1.62			弥生後期	SB56	木片	第176図
SP640	IV	G27	楕円	0.67×0.62×0.23	1.57		○		SH12		第200図
SP643	IV	H27	楕円	0.60×0.54×0.28	1.58	円?			SB56		第176図
SP645	IV	H27	楕円	0.52×0.48×0.22	1.62			弥生後期	SB56		第176図
SP655	IV	G27・28	楕円	0.82×0.80×0.28	1.62				SB58		第177図
SP656	IV	G28	楕円	0.44×0.43×0.14	1.72			弥生後期			
SP657	IV	G28	楕円	0.60×0.56×0.22	1.58			弥生後期	SB58		第177図
SP658	IV	G28	楕円	1.82×0.94×0.27	1.59			弥生中期後葉			
SP659	IV	J25	不整楕円	0.68×0.64×0.21	1.59			弥生後期		敲石	
SP661	IV	K26	楕円	0.56×0.44×0.44	1.44	円			SB18		第156図
SP662	IV	K26	楕円	0.44×0.42×0.46	1.42	円			SB18		第156図
SP664	IV	K26・27	楕円	0.68×0.50×0.38	1.46	円			SB18		第156図
SP665	IV	K27	楕円	0.56×0.51×0.50	1.52	円			SB18		第156図
SP666	IV	K27	不整楕円	0.62×0.49×0.38	1.48	円			SB18		第156図
SP667	IV	K27	楕円	0.58×0.38×0.39	1.44	円			SB18		第156図
SP668	IV	I26	楕円	0.48×0.33×0.18	1.65	半円	○				
SP670	IV	H28	楕円	0.74×0.68×0.14	1.75			弥生後期		木片	
SP671	IV	H28	楕円	0.59×0.56×0.22	1.70						
SP672	IV	I28	楕円	0.44×0.34×0.12	1.77			弥生後期			
SP673	IV	H27	楕円	0.39×0.39×0.06	1.83						
SP677	IV	I27	楕円	0.62×0.59×0.18	1.72			弥生後期			
SP678	IV	J28	楕円	1.05×0.22×0.22?				弥生後期		木片	
SP681	IV	I・J28	楕円	0.74×0.66×0.21	1.57			弥生後期			
SP686	IV	J28	不整楕円	1.13×0.91×0.16	1.68			弥生後期			
SP687	IV	J28	楕円	0.65×0.62×0.20	1.68			弥生後期			
SP688	IV	J28	楕円	0.41×0.39×0.24	1.66	円		弥生後期			
SP689	IV	I26	隅丸方	0.52×0.48×0.26	1.50	板状			SB22		第157図
SP690	IV	H27	隅丸方	0.34×0.34×0.12	1.58	五平			SB22	年輪年代31B. C. (+α)	第157図
SP691	IV	H27	楕円	0.46×0.32×0.14	1.58	五平			SB22	年輪年代27B. C. (+α)	第157図
SP692	IV	H26	楕円	0.52×0.40×0.30	1.44	五平			SB22	年輪年代71B. C. (+α)	第157図
SP693	IV	H26	楕円	0.46×0.38×0.18	1.54				SB22		第157図
SP694	IV	H27	楕円	0.40×0.38×0.12	1.60				SB22		第157図
SP695	IV	H27	楕円	0.48×0.42×0.28	1.45	五平			SB23	年輪年代33A. D. (+α)	第158図
SP696	IV	H27	楕円	0.46×0.46×0.36	1.42	五平			SB23		第158図
SP697	IV	H27	楕円	0.56×0.42×0.38	1.42	五平			SB23		第158図
SP698	IV	H27	隅丸方	0.62×0.42×0.40	1.40	五平			SB23		第158図
SP699	IV	H27	楕円	0.58×0.40×0.42	1.48	五平		弥生後期	SB23		第158図
SP700	IV	H27	楕円	0.46×0.36×0.32	1.54	五平			SB23		第158図
SP701	IV	H27	隅丸方	0.56×0.41×0.32	1.54	五平			SB23	板	第158図

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP702	IV	H27	楕円	0.68×0.46×0.30	1.54	五平			SB23		第158図
SP703	IV	H27	楕円	0.52×0.48×0.28	1.54	五平			SB23		第158図
SP704	IV	H27	不整楕円	0.54×0.42×0.25	1.62	半円			SB23		第158図
SP706	IV	H27	楕円	0.90×0.80×0.30	1.58			弥生後期	SB24	柱底 棒	第159図
SP707	IV	H27	楕円	1.08×0.64×0.32	1.56	円			SB24	年輪年代9B. C. (+α)	第159図
SP708	IV	H27	不整楕円	0.84×0.76×0.29	1.60				SB24		第159図
SP709	IV	H27	楕円	0.67×0.64×0.26	1.58				SB24		第159図
SP710	IV	H27	不整楕円	0.78×0.78×0.26	1.56				SB24	杭	第159図
SP711	IV	H27	楕円	0.92×0.80×0.20	1.62			弥生後期	SB24	杭	第159図
SP712	IV	H27	楕円	0.74×0.70×0.22	1.58	円			SB24	柱根下端尖る	第159図
SP713	IV	H27	楕円	0.94×0.76×0.28	1.56	円		弥生後期	SB24	年輪年代27B. C. (+α)	第159図
SP714	IV	H27	楕円	0.97×0.76×0.19	1.65		○	弥生中期後葉		木片	
SP715	IV	H27	楕円	0.86×0.69×0.25	1.62			弥生後期			
SP716	IV	I27	楕円	0.34×0.24×0.10	1.76	五平			SB21		第157図
SP717	IV	I27	楕円	0.34×0.28×0.16	1.72	五平			SB21		第157図
SP718	IV	I27	楕円	0.30×0.28×0.16	1.68	五平			SB21		第157図
SP719	IV	J25	楕円	0.36×0.32×0.19	1.64	五平			SB19	年輪年代87B. C. (+α)	第156図
SP720	IV	J25	円	0.34×0.34×0.18	1.65	板状			SB19	年輪年代37B. C. (+α)	第156図
SP721	IV	K25	楕円	0.40×0.38×0.26	1.62	五平			SB19		第156図
SP722	IV	J-K25	不整楕円	0.56×0.54×0.24	1.64	五平			SB19	年輪年代134B. C. (+α)	第156図
SP723	IV	J26	楕円	0.34×0.24×0.14	1.60	五平			SB20	年輪年代43B. C. (+α)	第155図
SP724	IV	J26	楕円	0.42×0.28×1.8	1.64	五平			SB20	年輪年代53B. C. (+α)	第155図
SP725	IV	I26	楕円	0.36×0.34×0.14	1.70				SB20		第155図
SP726	IV	J27	楕円	0.38×0.16×0.08	1.88	五平			SB20		第155図
SP727	IV	I27	隅丸方	0.34×0.21×0.12	1.88				SB20		第155図
SP728	IV	I26-27	楕円	0.36×0.22×0.20	1.76				SB20		第155図
SP729	IV	I24	楕円	0.48×0.36×0.20	1.74			弥生後期	SB53		第175図
SP730	IV	I24	楕円	0.54×0.40×0.18	1.76				SB53・54	木片	第175図
SP731	IV	I23	楕円	0.60×0.46×0.16	1.76				SB53		第175図
SP735	IV	I24	楕円	0.49×0.22×0.15	1.75			弥生後期	SB53		第175図
SP736	IV	I24	楕円	0.58×0.48×0.12	1.78			弥生後期	SB53		第175図
SP738	IV	I24	楕円	0.36×0.36×0.12	1.92				SB52		第174図
SP739	IV	I24	楕円	0.90×0.66×0.11	1.88			弥生後期			
SP740	IV	I23	卵	0.75×0.67×0.12	1.79					木製品 (角切り材)	
SP741	IV	I24	円	0.64×0.56×0.12	1.78				SB54		第175図
SP743	IV	K25	楕円	0.42×0.41×0.17	1.76					棒	
SP745	IV	K25	楕円	0.35×0.34×0.08	1.79			弥生後期			
SP753	IV	I25	楕円	0.57×0.47×0.12	1.79			弥生中期後葉			
SP757	IV	J26	楕円	0.62×0.43×0.19	1.68					棒状具	
SP759	IV	I26	楕円	0.30×0.29×0.19	1.70	円					
SP760	IV	I26	楕円	0.36×0.36×0.09	1.79			弥生後期		棒	
SP761	IV	I26	楕円	0.53×0.35×0.18	1.71			弥生後期			
SP768	IV	J26	楕円	0.51×0.49×0.07	1.75			弥生後期		木片	
SP769	IV	J26	楕円	0.31×0.24×0.22	1.61			弥生後期			
SP770	IV	I27	楕円	0.34×0.31×0.21	1.63			弥生中期後葉			
SP772	IV	I24	楕円	0.33×0.31×0.07	1.85			弥生後期			
SP775	IV	H27	楕円	0.47×0.43×0.15	1.66					木片	
SP779	IV	H27	楕円	0.58×0.44×0.18	1.71			弥生後期			
SP781	IV	K24	楕円	0.35×0.30×0.16	1.78	五平					
SP782	IV	I28-29	楕円	0.44×0.42×0.18	1.62	円			SB68	木片	第181図
SP784	IV	I28	楕円	0.38×0.26×0.18	1.68	五平					
SP786	IV	H28	楕円	1.41×0.92×0.23	1.68			弥生後期			
SP787	IV	J28	楕円	0.71×0.59×0.23	1.54	円	○			柱根の周囲に板を打ち込み固定	
SP788	IV	J28	楕円	0.62×0.42×0.36	1.56	五平		弥生後期	SB31		第164図
SP789	IV	J28	楕円	0.60×0.47×0.22	1.62				SB31	木片	第164図
SP790	IV	J28	楕円	0.58×0.56×0.18	1.62				SB31		第164図
SP791	IV	J28	楕円	0.61×0.48×0.12	1.70			弥生後期			
SP792	IV	I28	楕円	0.64×0.52×0.22	1.62				SB31		第164図
SP793	IV	K26	楕円	0.47×0.43×0.22	1.67			弥生後期			
SP795	IV	J28-29	楕円	0.68×0.58×0.20	1.62	円			SB68		第181図
SP796	IV	K27	楕円	0.50×0.42×0.10	1.75			弥生後期			
SP797	IV	J-K27	楕円	0.60×0.50×0.15	1.74				SB51		第174図
SP798	IV	J-K27	楕円	0.61×0.49×0.20	1.70				SB51		第174図
SP800	IV	J27	楕円	0.50×0.41×0.24	1.64				SB51		第174図
SP801	IV	J27	楕円	0.37×0.36×0.11	1.77			弥生後期			
SP802	IV	J27	楕円	0.64×0.49×0.21	1.64	五平					
SP803	IV	J27	楕円	0.55×0.55×0.20	1.63						
SP807	IV	J27	楕円	0.37×0.32×0.15	1.63	五平					
SP808	IV	F27	円	0.37×0.37×0.26	1.61	五平					
SP809	IV	F27	楕円	0.64×0.60×0.31	1.50				SH12	杭	第200図
SP810	IV	I27	円	0.50×0.48×0.26	1.62	円			SB33	¹⁴ C年代 82~126calAD (79%) 133~162calAD (16%)	第165図
SP811	IV	I27	楕円	0.54×0.44×0.26	1.58	円			SB33	¹⁴ C年代測定予備試料	第165図
SP812	IV	I28	楕円	0.48×0.40×0.20	1.68	五平			SB33		第165図
SP813	IV	I28	卵	0.86×0.59×0.23	1.62			弥生後期			
SP814	IV	I28	円	0.40×0.40×0.10	1.78	円			SB33		第165図

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP816	IV	I28	円	0.28×0.28×0.30	1.62	円			SB33	¹⁴ C年代 60~122calAD(93%) 136~143calAD(3%)	第165図
SP817	IV	I28	楕円	0.21×0.20×0.09	1.59		○				
SP818	IV	I27	楕円	0.44×0.41×0.17	1.65			弥生後期			
SP819	IV	I27	楕円	0.37×0.36×0.24	1.59	円					
SP822	IV	I28	楕円	0.54×0.46×0.25	1.62	円					
SP823	IV	I28	楕円	0.50×0.44×0.28	1.62	円			SB33	¹⁴ C年代測定予備試料	第165図
SP824	IV	I28	楕円	0.92×0.79×0.22	1.65			弥生後期			
SP826	IV	H・I28	楕円	0.95~×0.94×0.07	1.64					板	
SP827	IV	J27	不整楕円	0.60×0.55×0.18	1.68	円					
SP828	IV	J28	楕円	0.45×0.38×0.17	1.70			弥生中期後葉			
SP829	IV	J28	楕円	0.48×0.34×0.07	1.84			弥生後期			
SP830	IV	J28	楕円	0.66×0.64~×?		円				木片	
SP832	IV	J27・28	楕円	0.46×0.41×0.20	1.66			弥生後期			
SP834	IV	J28	楕円	0.40×0.36×0.25	1.64			弥生後期		磨石?	
SP835	IV	J28	楕円	0.65×0.57×0.24	1.65			弥生中期後葉			
SP836	IV	J28	楕円	0.57×0.52×0.17	1.67			弥生後期			
SP840	IV	I24	楕円	0.48×0.46×0.18	1.80				SB52		第174図
SP844	IV	J29	楕円	0.58×0.48~×0.10	1.75	五平					
SP845	IV	J29	楕円	0.42×0.39×0.13	1.61						
SP846	IV	J28	楕円	0.56×0.47~×0.14	1.65			弥生後期			
SP847	IV	I28	楕円	0.66×0.56×0.28	1.54				SB31		第164図
SP850	IV	J28	楕円	0.50×0.44×0.11	1.65						
SP857	IV	I28	楕円	0.42×0.36×0.24	1.48				SB31		第164図
SP859	IV	J27	楕円	0.46×0.44×0.24	1.55					板	
SP860	IV	I27	楕円	0.79×0.72×0.18	1.63			弥生後期			
SP861	IV	I27	楕円	0.28×0.24×0.18	1.70						
SP864	IV	K28	楕円	0.42×0.39×0.13	1.65	円					
SP865	IV	K28	楕円	0.54×0.54×0.10	1.60			弥生後期		板	
SP866	IV	K28	不整楕円	0.50×0.39×0.11	1.57			弥生中期			
SP871	IV	J28	楕円	0.33×0.29×0.18	1.65		○				
SP872	IV	J28	楕円	0.56×0.46×0.24	1.61			弥生後期			
SP879	IV	F27	楕円	0.31×0.30×0.19	1.73			弥生後期		木片	
SP880	VII	E20	楕円	0.27×0.21~×0.09	2.40			古墳後期			
SP885	VI	G28	楕円	0.45×0.39×0.08	1.72		○			年輪年代10A. D. (+α)	
SP886	VI	F29	楕円	0.55×0.51×0.33	1.38	五平					
SP887	VI	F29	楕円	0.40×0.39×0.32	1.39	五平					
SP891	VI	H・I29	楕円	0.94×0.74×0.28	1.51			弥生後期			
SP892	VI	H29	不整楕円	0.47×0.31×0.12	1.72			弥生後期			
SP893	VI	H29	楕円	0.72×0.68×0.31	1.51			弥生後期			
SP894	VI	H29	不整楕円	0.51×0.50×0.25	1.58		○		SH8		第191図
SP895	VI	H29	卵	0.92~×0.74×0.08	1.69			弥生後期			
SP897	VI	H29	楕円	0.49~×0.35~×0.10	1.61			弥生後期			
SP898	VI	H28	不整楕円	0.61×0.57×0.20	1.64			弥生後期		杭	
SP900	VI	H28	楕円	0.69~×0.46~×0.35	1.49			弥生後期			
SP901	VI	H28	不整楕円	0.38~×0.23~×0.36	1.48			弥生後期			
SP903	VI	G29	不整楕円	1.22×0.78×0.14	1.65			弥生後期			
SP908	VI	E28	不整楕円	0.63×0.38×0.06	1.88					須恵器	
SP909	VI	F28	不整楕円	0.66×0.54×0.28	1.48			弥生後期	SB62		第178図
SP912	VI	H29	楕円	0.49~×0.48×0.32	1.41		○		SH7・8?		第191図
SP913	VI	H29	楕円	0.40×0.31~×0.23	1.59		○		SH8		第194図
SP914	VI	H29	不整楕円	0.62×0.61×0.27	1.44		○		SH8	柱根?	第191図
SP915	VI	I29	不整楕円	0.69×0.56~×0.17	1.63		○		SH8		第191図
SP916	VI	H28	不整楕円	0.50×0.46~×0.20	1.59		○		SH8?		第190図
SP918	VI	H29	楕円	0.38×0.33×0.08	1.69			弥生後期	SH5?		第187図
SP919	VI	H28	不整楕円	0.56×0.45~×0.30	1.51	五平					
SP920	VI	H29	楕円	0.32×0.28×0.18	1.64		○				
SP923	VI	I29	不整楕円	0.56~×0.45×0.19	1.58		○		SH8		第189図
SP924	VI	I29	不整楕円	0.53×0.48~×0.28	1.48		○		SH8	琴柱	第189図
SP925	VI	H29	不整楕円	1.84~×0.69×0.19	1.63			弥生後期			
SP927	VI	H29	楕円	0.57×0.56×0.30	1.50		○		SH7?	年輪年代187B. C. (+α)	第190図
SP928	VI	I29	楕円	0.40×0.36~×0.16	1.48		○		SH8		第189図
SP929	VI	I29	楕円	0.60×0.52~×0.19	1.51		○	弥生後期	SH8	年輪年代84A. D. (伐採年代)	第189図
SP930	VI	I29	楕円	0.70×0.34×0.30	1.54	円			SB68		第181図
SP931	VI	I29	不整楕円	0.78~×0.70×0.24	1.43		○		SH8		第191図
SP932	VI	I29	楕円	0.36×0.26~×0.26	1.41		○		SH8		第191図
SP933	VI	I29	楕円?	0.44~×0.30×0.15	1.55		○		SH8		第189図
SP934	VI	I29	円	0.44×0.40×0.21	1.45		○		SH8		第189図
SP935	VI	I29	楕円	0.59~×0.41~×0.25	1.42		○		SH8		第190図
SP936	VI	I29	楕円	0.51×0.45~×0.15	1.50		○	弥生後期	SH8		第190図
SP937	VI	I29	楕円	0.68×0.51×0.22	1.50		○		SH8		第189図
SP938	VI	I30	楕円	0.51×0.44×0.16	1.58				SH8		第190図
SP939	VI	I28	楕円	0.41×0.39×0.15	1.56		○		SH8		第189図
SP940	VI	I29	不整楕円	0.74×0.65×0.17	1.59	円			SH7・8?		第193図
SP942	VI	I29	楕円	0.52×0.50~×0.15	1.64		○		SH8	年輪年代16B. C. (+α)	第193図
SP943	VI	I29	不整楕円	0.52~×0.52×0.22	1.45		○		SH7・8?		第193図
SP945	VI	I29	隅丸方	0.69×0.63×0.40	1.31		○		SH8		第189図

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP946	VI	H29	不整楕円	0.59×0.55×0.30	1.41		○		SH8		第194図
SP947	VI	H29	楕円	0.58×0.34×0.24	1.56	五平					
SP948	VI	I29	不整楕円	0.86×0.48×0.31	1.41		○		SH8?		第192図
SP949	VI	I29	楕円	0.45×0.43~×0.18	1.52		○		SH8?		第192図
SP950	VI	H31	楕円	0.38×0.37×0.29	1.37	五平					
SP951	VI	I29	楕円	0.60×0.53×0.37	1.40		○		SH8?		第194図
SP952	VI	I29	楕円	0.38×0.37~×0.13	1.64				SH8?		第194図
SP954	VI	H29	楕円	0.92~×0.48×0.09	1.71			弥生後期		弥生中期土器	
SP965	VI	I30	楕円	0.40×0.39×0.12	1.49			弥生後期			
SP967	VI	I30	楕円	0.50×0.41×0.15	1.52			弥生後期			
SP968	VI	I31	不整隅丸方	0.53×0.41×0.24	1.46	五平			SB67		第181図
SP969	VI	I31	楕円	0.35×0.31×0.14	1.54	五平			SB67		第181図
SP970	VI	I31	楕円	0.41×0.41×0.07	1.55	五平					
SP971	VI	H31	不整楕円	0.56×0.38~×0.28	1.34	五平					
SP972	VI	J31	楕円	0.36×0.33×0.23	1.33	円					
SP974	VI	J31	楕円	0.28×0.27×0.20	1.42		○		SH9		第196図
SP975	VI	J30	楕円	0.22×0.20×0.10	1.58				SB66	木片	第180図
SP976	VI	J30	楕円	0.46×0.42×0.20	1.48	○			SB66		第180図
SP983	VI	I31	楕円	0.34×0.31×0.15	1.55				SB67		第181図
SP984	VI	J31	不整楕円	0.62×0.57×0.26	1.32					板	
SP985	VI	J31	不整楕円	0.44×0.25×0.20	1.38			弥生後期			
SP986	VI	J31	不整楕円	0.50×0.49×0.17	1.41			弥生後期			
SP988	VI	I31	楕円	0.58×0.52×0.34	1.47				SB63		第179図
SP990	VI	I31	楕円	0.54×0.48×0.26	1.48				SB63		第179図
SP991	VI	J30	楕円	0.30×0.26×0.11	1.71					管玉未成品	
SP992	VI	J31	楕円	0.32×0.24×0.18	1.48	円			SB66		第180図
SP993	VI	J30	楕円	0.40×0.40×0.14	1.36			弥生後期	SB60	板	第178図
SP994	VI	J30	楕円	0.30×0.30×0.16	1.36			弥生後期	SB60		第178図
SP996	VI	J29	楕円	0.40×0.37×0.11	1.64			弥生中期後葉			
SP1000	VI	H31	楕円	0.59×0.54×0.08	1.50	○					
SP1001	VI	H31	楕円	0.45~×0.25~×0.09	1.23						
SP1002	VI	H28	楕円	0.50~×0.42~×0.18	1.76			弥生後期			
SP1003	VI	G28	楕円	0.47×0.38×0.18	1.79			弥生後期			
SP1004	VI	J31	楕円	0.57×0.54×0.20	1.42				SH9		第195図
SP1005	VI	J31	楕円	0.53×0.48×0.01	1.78			弥生中期後葉			
SP1007	VI	I31	楕円	0.52×0.46×0.28	1.46				SB63		第179図
SP1008	VI	I31	楕円	0.86×0.65×0.19	1.52		○	弥生後期	SB67	土器は礎板の下より出土	第181図
SP1009	VI	J30	楕円	0.42×0.40×0.18	1.34	円			SB60		第178図
SP1010	VI	J30	楕円	0.64×0.60×0.16	1.40	円			SB60		第178図
SP1011	VI	J30	楕円	0.42×0.38×0.28	1.36	円			SB60		第178図
SP1012	VI	J29	楕円	0.46×0.42×0.32	1.41	五平					
SP1017	VI	H30	楕円	0.42~×0.40×0.12	1.62	五平			SB61		第179図
SP1019	VI	H30	楕円	0.71×0.69×0.13	1.62			弥生後期			
SP1020	VI	I29	楕円	0.47×0.46~×0.22	1.51				SH7・8?		第193図
SP1021	VI	I29	楕円	0.45×0.31~×0.19	1.52		○		SH8	礎板に柱の圧痕	第193図
SP1022	VI	I29	不整楕円	0.50×0.38~×0.19	1.52		○	弥生後期	SH8	年輪年代61B. C. (+α) 石包丁	第193図
SP1025	VI	I30	不整楕円	0.64×0.49~×0.33	1.35		○		SH8	弥生中期後葉土器	第190図
SP1026	VI	G29	不整楕円	0.56×0.40×0.34	1.40	扇			SB64		第179図
SP1027	VI	G29	楕円	0.46×0.46×0.38	1.42	扇			SB64		第179図
SP1028	VI	H28	隅丸方	0.54×0.49×0.47	1.38	五平					
SP1029	VI	G31	楕円	0.22×0.22×0.20	1.46	円					
SP1030	VI	I30	不整楕円	0.68×0.62~×0.20	1.42			弥生後期			
SP1031	VI	H29	卵	0.37~×0.34×0.25	1.56		○		SH8	木片	第192図
SP1032	VI	H29	不整楕円	0.36~×0.26×0.05	1.75				SH8		第192図
SP1033	VI	H29	楕円	0.57~×0.48×0.37	1.44				SH8	杭・木片	第192図
SP1034	VI	H30	楕円	0.46×0.42×?					SB61	杭	第179図
SP1035	VI	I30	不整楕円	0.62×0.60×0.19	1.38		○		SH8		第190図
SP1036	VI	G29	楕円	0.52×0.48×0.40	1.34	五平			SB64		第179図
SP1038	VI	I31	楕円	0.70×0.60×0.36	1.44			弥生後期	SB63		第179図
SP1040	VI	I30	楕円	0.36×0.31×0.14	1.60					緑色凝灰岩?原石	
SP1041	VI	I29	楕円	0.36×0.32×0.06	1.62	円					
SP1042	VI	H29	卵	0.32×0.26~×0.09	1.72				SH8	木片	第192図
SP1043	VI	H30	不整楕円	0.50×0.40×0.34	1.42			弥生後期	SB61	炭化物	第179図
SP1044	VI	I30	楕円	0.59×0.33×0.44	1.62			弥生後期	SH8		第190図
SP1045	VI	J30	楕円	0.38×0.32×0.25	1.43	円					
SP1046	VI	I29	不整楕円	0.58×0.52~×0.19	1.54	円		弥生後期			第193図
SP1047	VI	I29	不整楕円	0.71×0.35~×0.13	1.58		○		SH7・8?		第193図
SP1049	VI	J30	楕円	0.49×0.28~×0.10	1.56			弥生後期			
SP1050	VI	H30	楕円	0.46×0.42×0.18	1.55	五平			SB61		第179図
SP1053	VI	I30	卵	0.58×0.41×0.27	1.31			弥生後期			
SP1054	VI	J30	楕円	0.49×0.46×0.33	1.41			弥生後期		敲石	
SP1058	VI	H29	楕円	0.33×0.25×0.18	1.66	円					
SP1059	VI	H29	楕円	0.50×0.42×0.20	1.62		○				
SP1060	VI	I29	楕円	0.53×0.34~×0.16	1.60		○		SH8		第191図
SP1061	VI	H30	楕円	0.39~×0.38×0.41	1.25	円					
SP1062	VI	G28	楕円	0.42×0.42×0.30	1.62	五平				年輪年代15A. D. (+α)	
SP1063	VI	G28	楕円	0.51×0.46×0.14	1.61					杭	

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP1065	VI	H28	楕円	0.35×0.31×0.21	1.56	五平					
SP1067	VI	J30	不整楕円	0.50×0.34×0.16	1.54		○		SB66		第180図
SP1068	VI	J31	不整楕円	0.70×0.66×0.27	1.43			弥生後期			
SP1072	VI	G28	楕円	0.52×0.28×0.13	1.68				SH5?	木片	第187図
SP1073	VI	K29	楕円	0.36×0.36×0.34	1.17					竹筒	
SP1074	VI	J30	楕円	0.29×0.27×0.21	1.40		○		SH9		第196図
SP1075	VI	J30	楕円	0.32×0.31×0.25	1.36		○		SH9		第196図
SP1076	VI	J29	楕円	0.42×0.42×0.15	1.61	扇					
SP1077	VI	J30	楕円	0.24×0.21×0.10	1.46	五平					
SP1081	VI	I29	不整楕円	0.68×0.53×0.15	1.64		○		SH8?		第193図
SP1078	VI	I29	楕円	0.72×0.71×0.32	1.43				SH8		第191図
SP1082	VI	J30	楕円	0.40×0.34×0.26	1.40	五平			SB60		第178図
SP1083	VI	I29	不整楕円	0.49×0.31×0.45	1.37		○				第193図
SP1085	VI	H31	楕円	0.35×0.32×0.04	1.61	円					
SP1086	VI	G31	楕円	0.32×0.26×?		五平					
SP1090	VI	G29	楕円	0.33×0.32×0.30	1.47				SH5?		第187図
SP1091	VI	G29	楕円	0.37×0.34×0.15	1.49				板		
SP1092	VII	M31	楕円	0.44×0.40×0.38	1.26	五平			SB34		第165図
SP1093	VII	M31	楕円	0.40×0.28×0.40	1.30	五平			SB34		第165図
SP1094	VII	M31	楕円	0.46×0.34×0.40	1.32	五平			SB34		第165図
SP1095	VII	M30	楕円	0.44×0.38×0.40	1.30	五平			SB34	年輪年代107B.C.(+α)	第165図
SP1096	VII	N30	不整楕円	0.47×0.33×0.55	1.60						
SP1097	VII	M31	楕円	0.52×0.42×0.36	1.22	五平			SB34		第165図
SP1098	VII	M31	楕円	0.42×0.30×0.38	1.22	五平			SB34		第165図
SP1099	VII	M31	楕円	0.48×0.32×0.40	1.28	五平			SB34		第165図
SP1100	VII	M30	楕円	0.50×0.48×0.42	1.28	五平			SB34		第165図
SP1104	VII	M31	楕円	0.58×0.48×0.20	1.50				SB36		第166図
SP1105	VII	M31	楕円	0.56×0.49×0.16	1.49		○				
SP1106	VII	M32	不整楕円	0.63×0.46×0.39	1.26		○				
SP1108	VII	M32	不整楕円	0.55×0.26×0.08	1.56				SH10?	屋根材?	
SP1109	VII	L32	不整楕円	0.48×0.38×0.12	1.46					砥石	
SP1112	VII	L29	楕円	0.56×0.47×0.11	1.55			弥生後期		杭・棒	
SP1113	VII	L29	不整楕円	0.37×0.16×0.12	1.55						
SP1114	VII	M29				五平					
SP1115	VII	N31	楕円	0.23×0.23×0.08	1.60	五平					
SP1117	VII	L29	不整楕円	0.77×0.56×0.22	1.49						
SP1118	VII	L31	不整楕円	0.47×0.38×0.06	1.38						
SP1119	VII	L32	不整楕円	0.42×0.36×0.17	1.29					棒状具	
SP1120	VII	L31	楕円	0.41×0.26×0.04	1.56						
SP1121	VII	L30	楕円	0.39×0.38×?							
SP1122	VII	M31	楕円	0.38×0.34×0.12	1.54		○		SH10?		第198図
SP1123	VII	M31	楕円	0.60×0.34×0.09	1.54		○				
SP1124	VII	M31	楕円	0.53×0.44×0.13	1.50		○		SH10?		第198図
SP1125	VII	M31	楕円	0.41×0.40×0.32	1.30	五平			SH10	柱根は原位置を保たず	第198図
SP1126	VII	M31	楕円	0.46×0.46×0.25	1.52				SB36		第166図
SP1127	VII	M31	楕円	0.47×0.39×0.09	1.54		○		SH10?		第198図
SP1128	VII	M31	隅丸長方	0.66×0.36×0.18	1.49		○		SH10?		第198図
SP1129	VII	M32	楕円	0.37×0.30×0.12	1.43		○		SH10		第198図
SP1130	VII	N32	楕円	0.49×0.34×0.06	1.60		○		SH10?	SP1131に切られる	第198図
SP1131	VII	N32	楕円?	0.15×0.17×0.15	1.48	円			SH10?	柱根下端尖る SP1130を切る	第198図
SP1133	VII	O31	楕円	0.33×0.32×0.06	1.65						
SP1135	VII	M31	楕円	0.44×0.41×0.14	1.40				SH10		第197図
SP1143	VII	N32	楕円	0.83×0.35×0.10	1.51	円			SH10?		第197図
SP1145	VII	L29	不整楕円	0.47×0.34×0.09	1.63		○			埋土が灰白色粘土	
SP1146	VII	M31	不整楕円	0.64×0.52×0.18	1.54			弥生後期	SB36		第166図
SP1155	VII	M30	楕円	0.46×0.38×0.18	1.44	丸杭状			SB40		第168図
SP1156	VII	M30	楕円	0.16×0.14×0.05	1.62	丸杭状			SB40		第168図
SP1157	VII	K29		0.76×0.47×0.36	1.31	円				木片	
SP1158	VII	K29	楕円	0.29×0.28×0.33	1.29	円		弥生後期		木片	
SP1159	VII	M31	楕円	0.46×0.46×0.12	1.58		○		SB37	年輪年代65B.C.(+α)	第167図
SP1162	VII	M31	楕円	0.43×0.20×0.03	1.60					杭	
SP1165	VII	M30	楕円	0.40×0.40×0.12	1.54				SB37		第167図
SP1166	VII	M30	楕円	0.63×0.18×0.06	1.60	五平					
SP1170	VII	O31	楕円	0.48×0.38×0.18	1.56				SB35		第166図
SP1173	VII	J31	楕円	0.22×0.21×0.10	1.49					棒	
SP1178	VII	J32	不整楕円	0.43×0.25×0.03	1.23					板	
SP1181	VII	L30	楕円	0.41×0.18×?				弥生後期			
SP1182	VII	L30	楕円	0.50×0.42×0.05	1.51		○				
SP1186	VII	K30	楕円	0.26×0.22×0.32	1.32	五平			SB38		第167図
SP1187	VII	K30	円	0.38×0.38×0.42	1.18	五平			SB38		第167図
SP1188	VII	L30	楕円	0.38×0.34×0.46	1.12	五平			SB38		第167図
SP1189	VII	L29	楕円	0.46×0.38×0.48	1.18	五平			SB38		第167図
SP1190	VII	K29	楕円	0.32×0.20×0.20	1.42	五平			SB38		第167図
SP1192	VII	L29	楕円	0.30×0.28×0.09	1.70					杭	
SP1193	VII	L29	不整楕円	0.25×0.20×0.04	1.54					杭	
SP1194	VII	K30	楕円	0.36×0.32×0.42	1.08	五平			SB39		第168図
SP1195	VII	K31	楕円	0.32×0.24×0.30	1.14	五平			SB39		第168図

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 標高	柱根 [形状]	礎板	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SP1196	Ⅶ	K31	楕円	0.32×0.24×0.30	1.10	五平			SB39		第168図
SP1197	Ⅶ	K30	楕円	0.28×0.24×0.20	1.24	円			SB39		第168図
SP1198	Ⅶ	J31	不整楕円	0.32×0.30×0.30	1.20	五平					
SP1199	Ⅶ	J31	隅丸方	0.30×0.26×0.22	1.27		○		SH9		第196図
SP1200	Ⅶ	J30	不整楕円	0.34×0.29×0.23	1.23	五平					
SP1201	Ⅶ	M30	楕円	0.29×0.27×0.15	1.53	五平					
SP1202	Ⅶ	M32	楕円	0.39×0.33×0.25	1.28	五平					
SP1203	Ⅶ	M32	楕円	0.34×0.31×0.09	1.43					板	
SP1204	Ⅶ	L32	楕円	0.47×0.41~×0.16	1.40	五平					
SP1205	Ⅶ	M32	不整楕円	0.48~×0.44×0.17	1.44	五平					
SP1215	Ⅶ	L30	楕円	0.53×0.45×0.18	1.38			弥生後期			
SP1216	Ⅶ	K31	楕円	0.31×0.28~×0.27	1.21			弥生後期			
SP1219	Ⅶ	M31	楕円	0.48×0.40×0.22	1.60			弥生後期	SB36		第166図
SP1220	Ⅶ	J32	楕円	0.26×0.23×0.12	1.22	円					
SP1223	Ⅶ	M30	楕円	0.24×0.22×0.12	1.52	丸杭状			SB40		第168図
SP1224	Ⅶ	M30	円	0.20×0.20×0.18	1.50	丸杭状			SB40		第168図
SP1225	Ⅶ	M30	楕円	0.20×0.14×0.22	1.52	丸杭状			SB40		第168図
SP1226	Ⅶ	K31	楕円	0.24×0.22×0.38	1.08	円			SB39		第168図
SP1227	Ⅶ	K31	楕円	0.24×0.20×0.28	1.18			弥生後期	SB39		第168図
SP1230	Ⅶ	K29	楕円	0.28×0.26×0.19	1.38	円	○				
SP1240	Ⅶ	O30	円	0.34×0.32×0.24	1.52				SB35		第166図
SP1241	Ⅶ	O30	楕円	0.24×0.18×0.16	1.58				SB35		第166図
SP1242	Ⅶ	O30	楕円	0.26×0.20×0.08	1.62				SB35		第166図
SP1243	Ⅶ	O30	楕円	0.44×0.34×0.18	1.54				SB35		第166図
SP1244	Ⅶ	O30	楕円	0.50×0.42×0.20	1.54				SB35		第166図
SP1245	Ⅶ	O30	楕円	0.40×0.38×0.30	1.52				SB35		第166図
SP1246	Ⅶ	O30	楕円	0.48×0.40×0.26	1.54				SB35		第166図
SP1247	Ⅶ	M・N31	楕円	0.64~×0.45×0.20	1.54				SB36		第166図
SP1248	Ⅶ	M31	不整楕円	0.48~×0.44~×0.20	1.60				SB36		第166図
SP1249	Ⅶ	M31	楕円	0.48×0.38×0.18	1.50				SB37		第167図
SP1250	Ⅶ	M31	楕円	0.46×0.42×0.20	1.38				SB37		第167図
SP1251	Ⅶ	M30	楕円	0.28×0.22×0.10	1.58				SB40		第168図
SP1252	Ⅶ	K30	楕円	0.22×0.20×0.22	1.30				SB39		第168図
SP1253	Ⅶ	K31	楕円	0.30×0.28×0.28	1.22				SB39		第168図
SP1254	Ⅶ	K31	楕円	0.39~×0.34×0.12	1.38				SB39		第168図

第4章 遺構と遺物

第9表 溝・旧河道一覧

単位m

記号	調査区	グリッド	規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SD1	I	H・I・J9	19.20×1.17×0.10	2.20	弥生中期後葉		木片	
SD2	I・II	H9,I9・10・12,J11	43.50×0.82×0.22	2.07	弥生後期			
SD5	I	I9	3.90×0.52×0.17	2.33	弥生後期		弥生中期後葉土器	
SD6	I	H・I・J8	25.00×1.49×0.12	2.11	弥生後期			
SD7	I	H・I・J・K8	40.80×3.74×0.32	1.78	弥生中・後期		杭列	第205図
SD8	I	I8	5.80×0.89×0.20	2.14	弥生後期		SD7埋土を掘り込む溝 切目石錘	
SD10	I	H・I8,J・K7・8	35.20×2.55×0.37	1.91	弥生後期		杭列	第205図
SD11	I	I・J・K7,L7・8・9	50.20×2.95×0.38	1.71	弥生中・後期		建築部材(台輪)	第205図
SD13	I	I7,J・K6・7	22.40×1.75×0.24	2.00	弥生後期			
SD14	I	I7・8	2.25×1.50×0.27	1.81	弥生後期		木片	
SD16	I	I・J9	3.19×0.69×0.07	2.29	弥生中期後葉			
SD17	I	J7	4.45×1.31×0.30	2.04	弥生後期		須恵器1点 棒	
SD18	I	I8			弥生後期		SD6埋土を掘り込む溝 掘形不明	
SD19	I	I・J・K6	25.00×4.44×0.35	1.95	弥生後期		杭列 磨製石鏃	第206図
SD21	I	J3・4,K4・5・6,L5・6	34.20×3.30×0.37	1.82	弥生後期		杭列 板	第206図
SD22	I	J3・4,K4・5,L5	29.20×1.98×3.23	1.94	弥生後期		角棒(杭?)	
SD23	I	M3	2.48×0.50×0.12	2.30	弥生後期			
SD24	I	J・K7	9.63×0.81×0.13	2.18	弥生後期			
SD28	I	I6	5.71×0.78×0.21	2.16	弥生中・後期			
SD31	I	H・I7	10.00×1.89×0.20	1.83				
SD32	I	I・J4	5.87×1.57×0.15	2.20	弥生後期			
SD33	I	I4,J4・5	4.77×1.04×0.13	2.19	弥生後期			
SD34	I	I・J4	3.40×0.84×0.13	2.26	弥生中期後葉			
SD37	I	H9	2.98×0.59×0.15	2.14	弥生後期		弥生前期土器	
SD38	I	I9	1.43×1.06×0.15	2.28	弥生後期			
SD39	I	J6	7.76×2.20×0.41	1.88	弥生中期後葉		SD53と一連 棒状具	
SD41	I	K2	5.78×1.07×0.24	2.13	弥生後期		棒・木片	
SD43	I	K2	2.87×1.02×0.16	2.20	古墳前期			第207図
SD55	I	K5	2.81×0.74×0.10	2.30	弥生後期			
SD59	I	K5	4.90×0.39×0.09	2.25	弥生後期			
SD61	I	I9	2.21×0.58×0.12	2.29	弥生後期			
SD62	I	I9	3.00×0.57×0.06	2.28	弥生中期後葉			
SD64	I	I9	5.72×1.15×0.19	2.22	弥生中期後葉			
SD66	I	I8・9	3.45×0.45×0.10	2.25	弥生中期後葉			
SD67	I	I8・9	3.86×0.65×0.10	2.28	弥生中期?			
SD72	II	I11・12	1.72×0.45×0.11	2.41	弥生後期			
SD75	II・IV・VII	G9・22・23・24、	165.40×1.96×0.33	1.93	弥生後期後葉		角棒(杭?)	
SD76	II	I11	2.66×0.99×0.12	2.31	弥生中期後葉			
SD77	II	H15	1.62×0.77×0.19	2.25	弥生中期後葉			
SD78	II	H16	3.53×0.79×0.16	2.22	弥生中期後葉			
SD79	II	E13・14,F14・15・16、	55.80×1.82×0.35	2.05	弥生後期			
SD80	II	F・G16	1.95×1.17×0.26	2.31	弥生中期後葉			
SD85	II	F16	3.50×0.92×0.28	2.18	弥生終末期?		杭	
SD86	II	F17	2.63×0.68×0.22	2.17	弥生中期後葉			第207図
SD93	II	F18	2.39×1.39×0.23	2.25	弥生前期			
SD95	II	F17	3.64×0.87×0.19	2.24	弥生後期			
SD104	II	F13	3.17×0.89×0.14	2.22	弥生中期後葉	SH4		第186図
SD106	II	F・G17	6.13×2.25×0.32	2.07	弥生後期			
SD108	II	G12	4.22×1.70×0.23	2.28	弥生後期			
SD109	II	G12	1.05×0.81×0.21	2.30	弥生中期後葉			
SD110	II	G11	6.90×1.07×0.19	2.26	弥生後期			
SD111	II	H11・12	4.97×1.22×0.23	2.24	弥生後期			
SD112	II	G11,H11・12	5.18×2.37×0.23	2.22	弥生後期		木片	
SD113	II	G11・12	3.92×1.09×0.13	2.25	弥生後期		角棒	
SD114	II	G11	3.87×0.72×0.16	2.25	弥生後期			
SD116	II	G・H11	3.99×0.94×0.22	2.20	弥生中期後葉			
SD117	II	G・H11	1.35×0.62×0.19	2.27	弥生後期			
SD118	II	H10	7.00×1.17×0.45	2.03	弥生後期			
SD124	II	F17・18	3.52×2.49×0.30	2.12	弥生後期			
SD125	II	F13・14	3.14×0.87×0.21	2.17	弥生中期			第207図
SD131	II	E17	1.09×0.95×0.11	2.06	弥生後期			
SD132	II	F18	3.14×1.05×0.18	2.27	弥生後期			
SD133	II	E・F18	3.02×0.66×0.13	2.26	弥生後期			
SD137	II	F14・15,G15	6.91×2.14×0.54	2.00	弥生中期後葉	ST2?	ST2が北側へ拡張?	第33図
SD145	II	B・C18	6.85×2.07×0.21	1.90			曲物?	
SD152	II	E18	2.90×0.87×0.22	2.12			棒・板・杭ほか木製遺物多数	
SD164	III・IV	K27,J27・28	8.65×0.64×0.25	1.62	弥生後期		SD279を統合 櫓	
SD165	III	M26	2.34×0.52×0.17	1.55	弥生後期			
SD166	III・IV	L・M25	22.20×0.78×0.15	1.61	弥生後期		L字状 棒ほか木製遺物多数	
SD167	III	K28	5.50×4.80×0.13	1.54	弥生後期			
SD168	III	L28	6.71×0.66×0.30	1.43	弥生後期			
SD169	III	N27	2.21×0.86×0.14	1.68	弥生後期			
SD178	III	O29	4.27×0.58×0.07	1.59	弥生後期			
SD179	III	O29・30	11.32×1.00×0.12	1.50	弥生後期		有孔尖棒	

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	挿図
SD180	III	P25・26・27・28・29、Q24・25	47.40～×1.26×0.17	1.55	弥生後期		SD184を統合	
SD181	III	026・27・28、P26	19.80～×2.58×0.10	1.51	弥生後期			
SD183	III	027・28、P25・26・27	22.80～×0.94×0.11	1.51	弥生後期		蓋	
SD186	III	0・P29	10.56～×1.83×0.11	1.48	弥生後期		種子	第208図
SD188	III	026	70.00～×33.0×0.70	1.61	弥生後期			
SD191	IV	E24	3.45～×0.92×0.23	1.91	弥生中期後葉			第191図
SD204	IV	Z24	2.55～×0.85～×0.19	1.89	弥生中期後葉			
SD205	IV	Y25、Z19・22・23・24・25、	60.50～×1.61×0.35	1.71	弥生中期後葉		弥生前期土器	
SD209	IV	Y24	2.44～×4.12～×0.16	1.84	弥生中期後葉			
SD210	IV	Y23、Z22・23	19.60～×3.12×0.43	1.62	弥生中期後葉			
SD213	IV	A・B24	10.00～×1.60×0.44	1.75	弥生中期後葉			第191図
SD216	IV	A25・26、B26	3.24～×2.65×0.38	1.74	弥生前期			
SD220	IV	A23	1.05～×0.96～×0.20	1.95	弥生中期後葉			
SD225	IV	B23	6.40～×2.17～×0.48	1.77	弥生終末期		弥生前・後期土器 木片	
SD226	IV	B24	1.93×1.20×0.36	1.87	弥生前期			
SD230	IV	B・C24・25	7.82×1.17×0.31	1.85				
SD233	IV	B23	1.08～×0.76×0.22	2.01	弥生前期?			
SD234	IV	B・C22	6.22～×1.38×0.20	1.90	弥生後期	ST23?	ST23が南側へ拡張? 石列 弥生前期土器	
SD243	IV	A20	2.98～×2.16～×0.44	2.04	弥生前期			
SD253	IV	E・F24	7.56～×1.58×0.41	1.69	弥生中期中～後葉			
SD256	IV	B・C26、D26・27	67.50～×13.10～×0.62	1.31	弥生後期		木片・杭・漆器碗(中世?) 旧河道	
SD261	IV	G24・25	11.58～×2.25×0.27	1.80	弥生後期		杭?	
SD262	IV	E21、F21	?×1.48～×0.22	2.06	弥生中期		ST50東溝・ST52東溝に切られる	第119図
SD265	IV	G21	8.30～×0.70～×0.21	1.91	弥生後期?		棒状具	
SD268	IV	D20	1.48～×0.88×0.10	2.09	弥生前期			
SD271	IV	H26	2.20×0.80×0.14	1.70	弥生後期		杭?・木片	
SD273	IV	H24・25	3.67×0.37×0.17	1.80	弥生中・後期			
SD274	IV	H25	1.72×0.36×0.07	1.85	弥生後期			
SD275	IV	I24・25	2.36×0.60×0.20	1.86	弥生後期		切り合う2条の溝	
SD276	IV	H26	1.67×0.35×0.07	1.80	弥生後期			
SD278	IV						詳細位置不明 儀仗形木製品	
SD280	IV	J29	1.63～×0.85～×0.15	1.65			SD301と統合 棒・板・木片多数	
SD281	IV	K27	1.73×0.77×0.14	1.71	弥生後期		板状木片多数	
SD282	IV	I25	1.59×0.65×0.21	1.71	弥生後期			
SD283	IV	H・I28	4.82×1.11×0.22	1.68	弥生後期		棒	
SD284	IV	I26・27	1.54×0.50×0.14	1.73	弥生後期			
SD286	IV	I28	4.75～×1.77×0.29	1.57	弥生後期		板・棒	
SD288	IV	J28	7.70～×1.28×0.31	1.54	弥生後期		棒	
SD289	IV	J28・29	22.40～×2.01×0.22	1.55	弥生後期	SH8	SD333と一連 木片	第188図
SD291	IV	I23・24	3.03×0.54×0.14	1.78	弥生後期		杭	
SD292	IV	H24	3.48×0.88×0.15	1.76	弥生後期		木片	
SD296	IV	I26	1.43×0.55×0.19	1.71	弥生後期			
SD298	IV	K27	2.83～×0.43×0.18	1.67	弥生後期			
SD300	IV	H・I28	33.60～×1.35×0.28	1.58	弥生後期	SH8	SD331と一連	第188図
SD301	IV	J29	1.63～×0.85～×0.15	1.65	弥生後期			
SD308	VII	D・E20			弥生前期		詳細位置不明	
SD311	VII	F20			弥生後期		詳細位置不明	
SD317	VI	A26	3.58×0.62×0.12	1.76	弥生後期			
SD321	VI	Z25	10.80～×1.98×0.52	1.55	弥生中期後葉	ST29?	ST29東溝? 弥生前期土器	第88～90図
SD323	VI	H・I28・29・30	32.50～×0.88×0.17	1.57	弥生後期	SH7	棒・木片 骨片・焼土ブロック	第188図
SD324	VI	G・H・I31	32.7～×4.04～×0.79	0.91	弥生後期		旧河道 護岸板 木製品多数 巴形銅器	第211～213図
SD325	VI	G・H29	12.47×1.31×0.20	1.64	弥生後期	SH6	SD343に重複	
SD326	VI	F28・29	13.10～×5.00×0.52～	1.11	弥生中期		弥生前期土器	
SD327	VI	F・G29	6.20～×1.50～×0.44	1.20	弥生中期		弥生前期土器	
SD331	VI	H28・29・30	33.60～×1.35×0.28	1.58	弥生後期	SH8	SD300と一連 棒・木片 切目石錘	第188図
SD332	VI	G28・29、H28	20.60～×0.76×0.18	1.68	弥生後期	SH5	杭・角柱状木片	第187図
SD333	VI	I30、J29・30	22.40～×2.01×0.22	1.55	弥生後期	SH8	SD289と一連 剝物・棒	第188図
SD335	VI	J30・31	8.91×1.37×0.23	1.56	弥生後期	SH9	板状具・栓形木製品 種実	第195図
SD336	VI	H30・31	14.80～×3.47×0.57～	1.02～	弥生後期		SD324に切られる 石錘	
SD341	VI	H・I29	4.31～×0.71×0.11	1.53	弥生後期	SH6	木片	第187図
SD343	VI	G・H29	12.47×1.31×0.20	1.64	弥生後期	SH6	SD325が重複 木片	第187図
SD348	VI	H29	4.60×0.27～×0.12	1.68	弥生後期		木片	
SD349	VI	H30	1.44～×0.67×0.09	1.62	弥生後期			
SD351	VI	J29	1.19～×0.94×0.16	1.70	弥生後期			
SD352	VI	J29	1.87×1.05～×0.11	1.74	弥生後期			
SD353	VI・VII	K30	3.50×0.65×0.14	1.50	弥生後期	SH9	SD368と一連 板	第195・196図
SD356	VII	L29・30・31、M29	28.60～×2.19×0.17	1.40	弥生後期		棒・板・木片多数	
SD358	VII	L・M29	2.35～×0.50×0.04	1.61	弥生後期			
SD360	VII	L32	2.61×0.77～×0.06	1.46	弥生後期	SH11	棒・板・木片多数(炭化材多数)	第199図
SD363	VII	L29	5.73～×0.48×0.19	1.53	弥生後期	SB16?	SD364と一連 棒・板・木片多数	第210図
SD364	VII	L29	1.31～×0.39×0.06	1.75	弥生後期	SB16?	SD363と一連 棒	第210図
SD368	VII	K30	3.50×0.65×0.14	1.50	弥生後期	SH9	SD353と一連 脚碟木製品	第195・196図
SD370	VII	M31	12.40～×0.79×0.15	1.51	弥生後期	SH10	棒・板・木片多数	第197図
SD371	VII	L30	6.80～×1.86×0.14	1.33	弥生後期		棒・木片	
SD373	VII	L31	2.32～×0.38×0.04	1.31	弥生後期			

第2節 遺物

1 土器・土製品

今回図示できた府中石田遺跡出土土器の点数は、遺構から出土した弥生時代中期から後期を中心とする926点である。以下の記述に用いる土器の製作技術とその痕跡に関わる用語は佐原真⁽¹⁾により体系化されたものを用い、「ヘラケズリ」などの片仮名表記とした。また、器種の名称は「壺形土器」などをすべて「壺」と略して記している。

以下では紙幅の都合によりすべての個体の説明はせず、特筆すべき事項の記載に努めた。各個体の詳細は実測図・写真図版および観察表を参照されたい。

最後に以下で用いる時期区分について説明する。当遺跡が所在する福井県嶺南地域では、発掘調査事例の蓄積がないこともあり、汎用性のある土器編年は未だ存在しない。よって弥生時代を前期・中期・後期・終末期に大別し、それぞれを必要に応じて前葉・中葉・後葉と細別して表記する。各時期の周辺地域の土器編年との併行関係は第8章第1節において記述したい⁽²⁾。

1) 方形周溝墓 (ST) 出土土器 (第214～234図)

第214図はST 1 出土の壺である。口縁部が長く、端部を垂下させて文様帯を作り出す中型壺が複数みられる(1・3・4)。1は頸部のほぼ中央に円形のヘラ記号が、4は底部に焼成後穿孔が認められる。5は大型壺の体部で生駒西麓産胎土の搬入品である。以上は弥生後期中葉のものである。第215図1～3は二重口縁壺。2は頸部の突帯とその下に櫛描直線文、ヘラ列点文がみられる近江・東海系のもの。弥生終末期。11は口縁部が内湾し、内外面ヘラミガキ調整の精製の壺で東海地方に系譜をもつもの。弥生終末期～古墳前期前葉と考えられる。

甕では同図12～15の擬凹線文を施文する有段口縁甕、16～18の無文有段口縁甕、19の受口状口縁甕、20～24の単純口縁のものなど多様性がある。

高杯は口縁部が直線的に短く外方へ開き端部が肥厚するもの(第216図1・2)で脚部は直線的な柱状部をもち、裾部の下端は折り返すものがつく。9～13には混入品と考えられる弥生中期後葉の土器を挙げた。

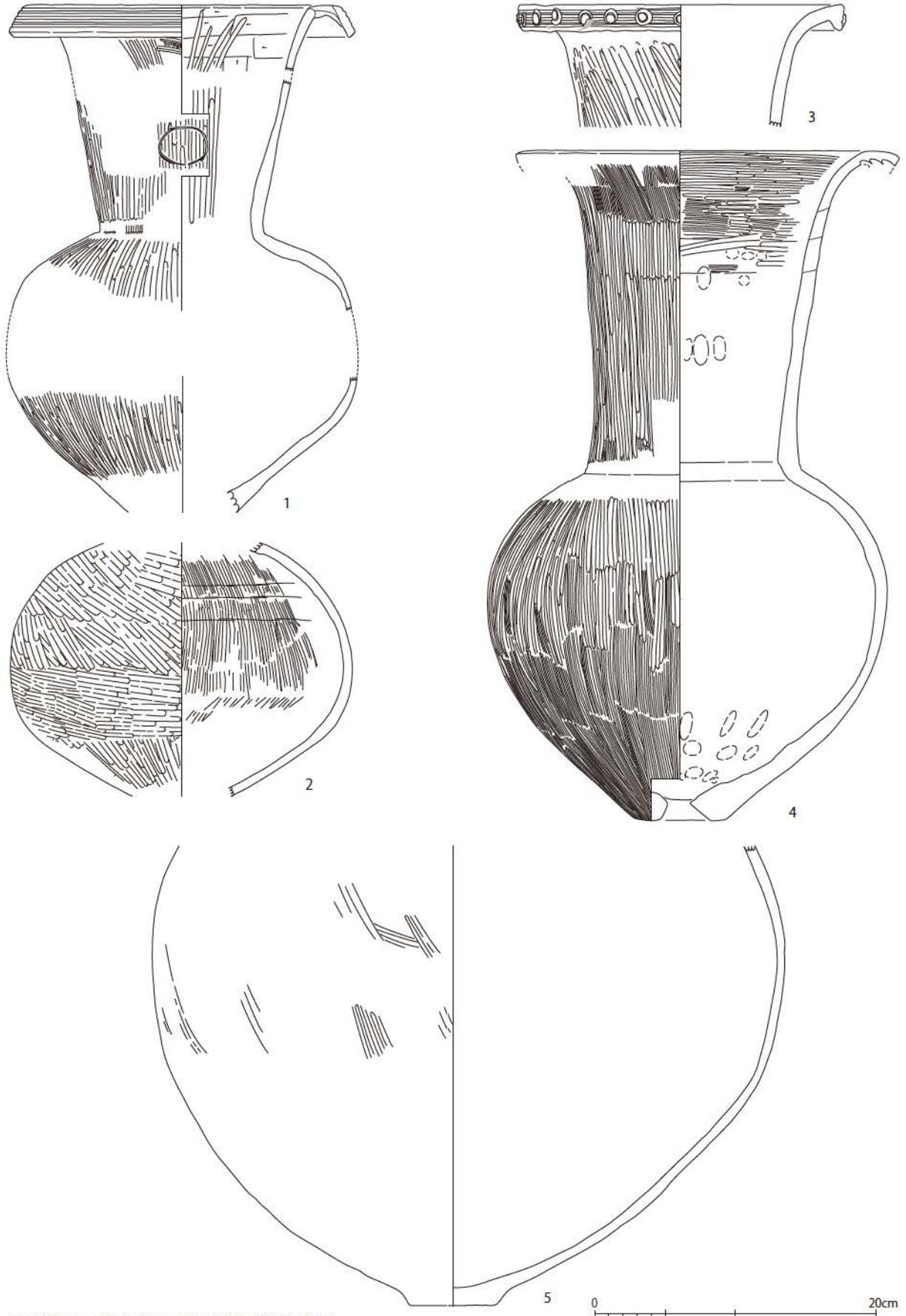
以上のST 1 出土資料は、弥生後期中葉の土器が壺から甕、高杯に至る各種の土器が存在しており、周溝墓の時期を示すと考えられる。弥生中期のものが混入品であるとしても、少量存在する終末期から古墳前期前葉の土器は二重口縁壺などの供献土器とも考えられる器種である。追葬や二次利用などの可能性も考える必要があるだろう。

また、第215図24の第9埋葬施設出土の甕は内面の肩部までヘラケズリがみられる。弥生中期後葉と考えられ、周溝出土の土器群とは時期があわない。

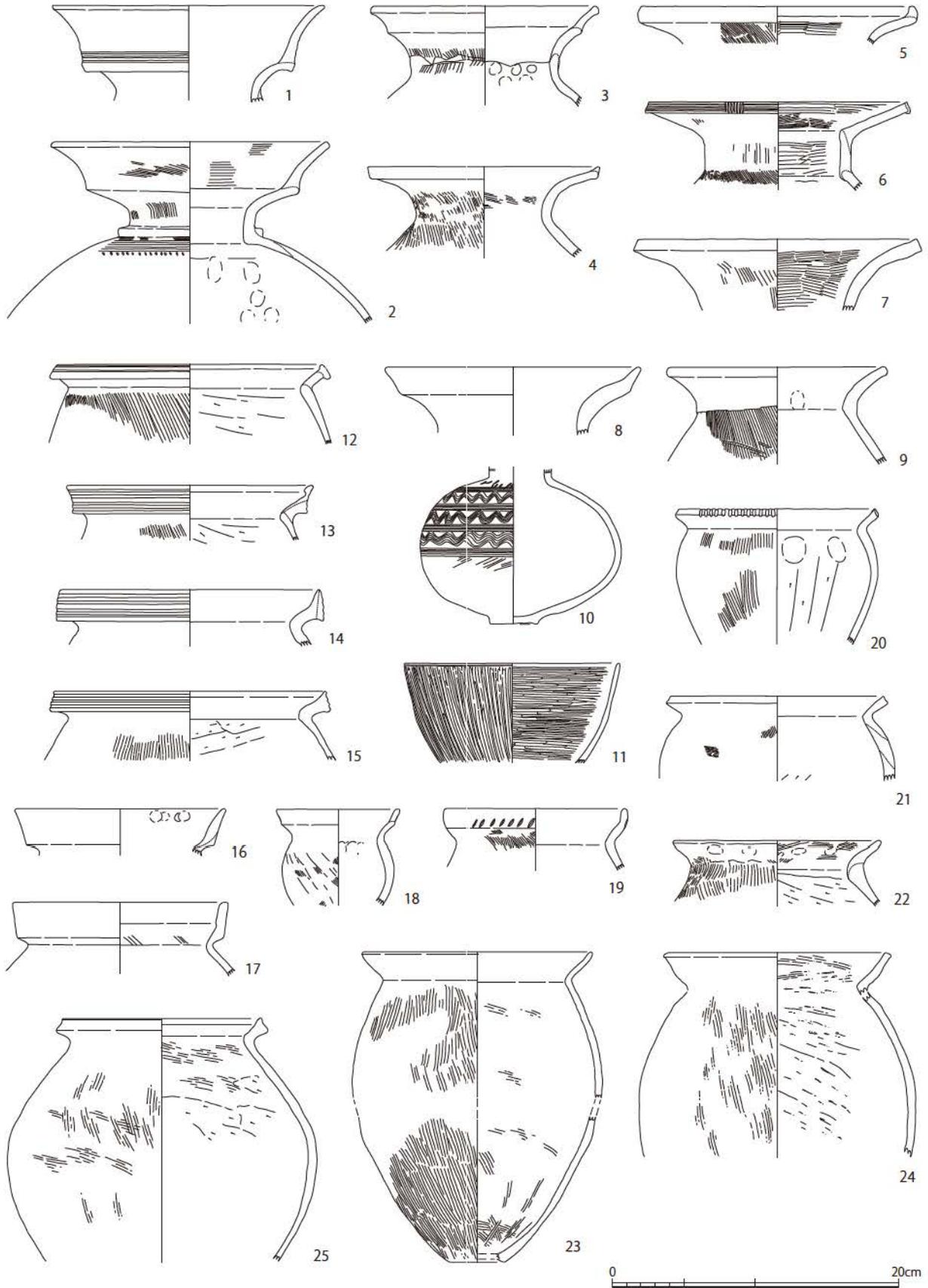
ST 2 出土土器は4点と少なく、いずれも破片であり良好な資料とはいえない(第216図14～17)。14はいわゆる近江系の受口状口縁をもつ細頸壺で櫛描列点文・波状文を施文する。時期はいずれも中期後葉である。

ST 3 からは多くの土器が出土している(第217～220図12)。広口壺は体部に櫛描直線文と波状文を交互に施文するものが目立つ(第217図)。4は頸部に凹線文が施文されている。8は焼成後穿孔がみられる底部である。縦長の体部をもつ大型壺も複数出土している(第218図1・4)。4は頸部にハケメ原体による圧痕文突帯を回らせ、底部に焼成後穿孔がみられる。11は台付の鉢で紐孔がある。

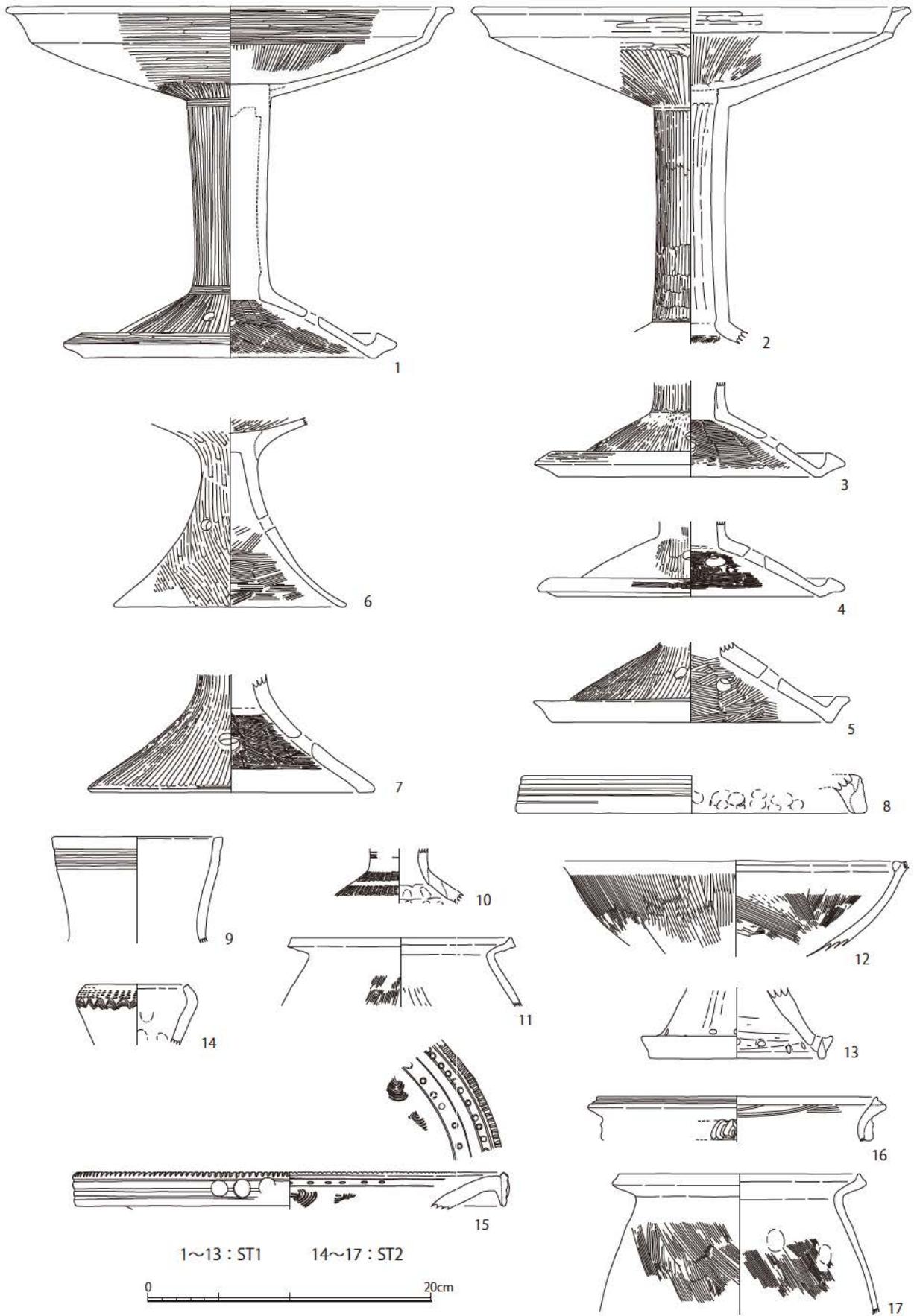
ST 3 の甕では口縁端部に刻目を入れるものが主体となっている(第219図1～4)。それ以外の甕で



第214図 ST 1 出土土器実測図(縮尺1/4)



第215図 ST 1 出土土器実測図(縮尺1/4)



第216図 ST1・2出土土器実測図(縮尺1/4)